

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. 同軸ケーブルにおけるポリエチレン                      同軸ケーブルの材料のうち燃焼するものはポリエチレンとビニルである。                      また、単位長さの燃焼に消費する空気量が最も少ないものは、燃焼するポリエチレン及びビニルの量が最も少ない同軸ケーブルとなる。</p> <p>添付資料2本文の第6表のケーブルNo.8,9の線種で最もポリエチレン等の量が少ないケーブルはNo.8である。                      絶縁体：(架橋)ポリエチレン 9.7g/m                      シース：(架橋)ポリ塩化ビニル8g/m，可塑剤6g/m</p> <p>3. 燃焼に必要な空気量                      (1) ポリエチレン                      ポリエチレンの燃焼を示す以下の式より、ポリエチレン1molの燃焼には3nmolの酸素が必要である。(分子量：ポリエチレン；28n (nは重合数))，酸素；32)</p> $(-CH_2-CH_2-)n + 3nO_2 \rightarrow 2nCO_2 + 2nH_2O$ <p>ポリエチレン1g (1/28n mol)に必要な酸素 (3n/28n mol)の体積は、標準状態 (0℃, 1気圧)での1molの体積を0.0224m<sup>3</sup>とすると、常温状態 (40℃, 1気圧)で0.00275m<sup>3</sup>となる。</p> $\frac{1}{28n} [mol] \times 3n \times 0.0224 \left[ \frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.00275 [m^3]$ <p>空気中の酸素濃度を21%とすると、ポリエチレン1gに必要な空気量は、以下より0.0131m<sup>3</sup>となる。</p> $0.00275 [m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0131 [m^3]$ <p style="text-align: right;">別紙2 (2/3)</p> <p>(2) ビニル                      シースのビニルはポリ塩化ビニル約40%，可塑剤約30%，無機物約30%から成る。このうち燃焼するのはポリ塩化ビニルと可塑剤である。</p>	<p>2. 同軸ケーブルにおけるポリエチレン                      同軸ケーブルの材料のうち燃焼するものはポリエチレンである。                      また、単位長さの燃焼に消費する空気量が最も少ないものは、燃焼するポリエチレン及びビニルの量が最も少ない同軸ケーブルとなる。</p> <p>添付資料2本文の第6表のケーブルNo.15,16の線種で最もポリエチレン等の量が少ないケーブルはNo.15である。                      絶縁体：(架橋)ポリエチレン 38g/m                      内部シース：(架橋)ポリエチレン 16g/m</p> <p>3. 燃焼に必要な空気量                      (1) ポリエチレン                      ポリエチレンの燃焼を示す以下の式より、ポリエチレン1molの燃焼には3nmolの酸素が必要である。(分子量：ポリエチレン；28n (nは重合数))，酸素；32)</p> $(-CH_2-CH_2-)n + 3nO_2 \rightarrow 2nCO_2 + 2nH_2O$ <p>ポリエチレン1g (1/28n mol)に必要な酸素 (3n/28n mol)の体積は、標準状態 (0℃, 1気圧)での1molの体積を0.0224m<sup>3</sup>とすると、常温状態 (40℃, 1気圧)で0.00275m<sup>3</sup>となる。</p> $\frac{1}{28n} [mol] \times 3n \times 0.0224 \left[ \frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.00275 [m^3]$ <p>空気中の酸素濃度を21%とすると、ポリエチレン1gに必要な空気量は、以下より0.0131m<sup>3</sup>となる。</p> $0.00275 [m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0131 [m^3]$	<p>【女川】                      ■設備の相違                      使用するケーブル及びシース材の相違                      【大飯】                      ■記載内容の相違                      (女川実績の反映)                      【女川】                      ■設備の相違                      ポリエチレン含有量の相違、シース材の相違</p> <p>【女川】                      ■設備の相違                      使用するケーブル及びシース材の相違                      【大飯】                      ■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. ポリ塩化ビニル</p> <p>ポリ塩化ビニルの燃焼は以下の式より、ポリ塩化ビニル 1mol の燃焼には 2.5n mol の酸素が必要である。(分子量：ポリ塩化ビニル 62.5n (nは重合数))</p> $\boxed{(-CH_2-CHCl-)_n + 2.5nO_2 \rightarrow 2nCO_2 + nH_2O + nHCl}$ <p>ポリ塩化ビニル 1g (1/62.5n mol) に必要な酸素 (2.5n/62.5n mol) の体積は、標準状態 (0℃, 1気圧) での 1mol の体積を 0.0224m<sup>3</sup> とすると、常温状態 (40℃, 1気圧) で 0.0010m<sup>3</sup> となる。</p> $\boxed{\frac{1}{62.5n} [mol] \times 2.5n \times 0.0224 \left[ \frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.0010 [m^3]}$ <p>空気中の酸素濃度を 21% とすると、ポリ塩化ビニル 1g に必要な空気量は、以下より 0.0049m<sup>3</sup> となる。</p> $\boxed{0.0010 [m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0049 [m^3]}$ <p>b. 可塑剤</p> <p>可塑剤の燃焼は以下の式より、可塑剤 1mol の燃焼には 43.5 mol の酸素が必要である。(分子量：546)</p> $\boxed{C_6H_3(COOC_8H_{17})_3 + 43.5O_2 \rightarrow 33CO_2 + 27H_2O}$ <p>可塑剤 1g (1/546 mol) に必要な酸素 (43.5/546 mol) の体積は、標準状態 (0℃, 1気圧) での 1mol の体積を 0.0224m<sup>3</sup> とすると、常温状態 (40℃, 1気圧) で 0.0020m<sup>3</sup> となる。</p> $\boxed{\frac{1}{546} [mol] \times 43.5 \times 0.0224 \left[ \frac{m^3}{mol} \right] \times \frac{273+40}{273} = 0.0020 [m^3]}$ <p style="text-align: right;">別紙2 (3/3)</p> <p>空気中の酸素濃度を 21% とすると、ポリ塩化ビニル 1g に必要な空気量は、以下より 0.0098m<sup>3</sup> となる。</p> $\boxed{0.0020 [m^3] \times \frac{100}{21} = 0.0098 [m^3]}$		<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>使用するケーブル及びシース材の相違。ビニルは含んでいないため、泊には記載がない。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>同軸ケーブル1mあたりのポリエチレンの重量は9.7g、ポリ塩化ビニルの重量は8g、可塑剤の重量は6gであることから、同軸ケーブル1mの燃焼に必要な空気の体積は、以下より約0.22m<sup>3</sup>となる。</p> $0.0131 \left[ \frac{m^3}{g} \right] \times 9.7[g] + 0.0049 \left[ \frac{m^3}{g} \right] \times 8[g] + 0.0098 \left[ \frac{m^3}{g} \right] \times 6[g] = 0.2247[m^3]$ <p>4. ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ                      同軸ケーブルを敷設している電線管で最も空気量を保有している電線管は、厚網電線管G104 (内径106.4mm) である。内径106.4mmの電線管において、ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さは、以下より約25mとなる。</p> $l = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.2247[m^3]}{\left( \frac{106.4 \times 10^{-3}}{2} \right)^2 \times \pi[m^2]} = 25.3[m]$	<p>同軸ケーブル1mあたりのポリエチレンの重量は54gであることから、同軸ケーブル1mの燃焼に必要な空気の体積は、以下より約0.71m<sup>3</sup>となる。</p> $0.0131 \left[ \frac{m^3}{g} \right] \times 54[g] = 0.7074[m^3]$ <p>4. ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ                      同軸ケーブルを布設している電線管で最も空気量を保有している電線管は、厚網電線管G104 (内径106.4mm) である。内径106.4mmの電線管において、ケーブル1mの燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さは、以下より約80mとなる。</p> $L = \frac{\text{空気量}}{\text{断面積}} = \frac{0.7074[m^3]}{\left( \frac{106.4 \times 10^{-3}}{2} \right)^2 \times \pi[m^2]} = 79.6[m]$	<p>【女川】                      ■設備の相違                      ポリエチレン含有量の相違                      【大飯】                      ■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】                      ■設備の相違                      使用するケーブル及びポリエチレン含有量の相違</p>

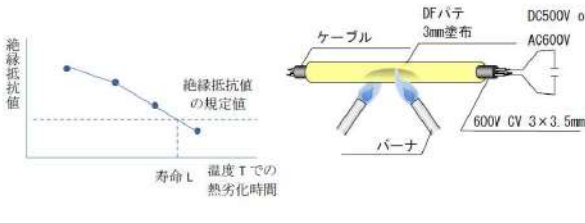
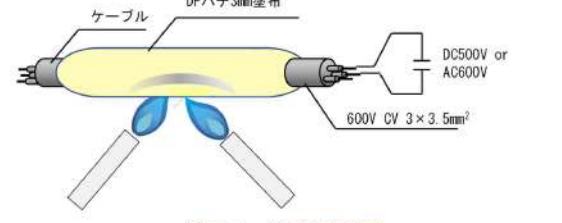
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
	<p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="719 188 1314 304"> <thead> <tr> <th rowspan="2">線種No.</th> <th colspan="2">絶縁体</th> <th colspan="3">シース</th> <th colspan="2">ケーブル</th> <th colspan="3">1m燃焼に必要な空気量</th> <th colspan="3">電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ</th> </tr> <tr> <th>材料</th> <th>ポリエチレン含有量 [g/m]</th> <th>材料</th> <th>ポリエチレン含有量 [g/m]</th> <th>可燃性材料含有量 [g/m]</th> <th>ケーブル外径 [mm]</th> <th>ケーブル質量 [kg/m]</th> <th>φ21.0</th> <th>φ34.0</th> <th>φ106.4</th> <th>φ21.0</th> <th>φ34.0</th> <th>φ106.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5-6</td> <td>難燃性難燃ポリエチレン</td> <td>9.7</td> <td>難燃性難燃ポリエチレン</td> <td>18.4</td> <td>0</td> <td>0.242</td> <td>307.9</td> <td>149.2</td> <td>38.5</td> <td>0.055</td> <td>0.32</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>5-7</td> <td>難燃性難燃ポリエチレン</td> <td>12.3</td> <td>難燃性難燃ポリエチレン</td> <td>20.2</td> <td>0</td> <td>0.233</td> <td>141.8</td> <td>232.9</td> <td>65</td> <td>0.025</td> <td>0.21</td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>5-8</td> <td>難燃性難燃ポリエチレン</td> <td>9.7</td> <td>難燃性フッ素樹脂エポキシ</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0.225</td> <td>398.9</td> <td>98.1</td> <td>25.5</td> <td>0.048</td> <td>0.31</td> <td>1.98</td> </tr> </tbody> </table>	線種No.	絶縁体		シース			ケーブル		1m燃焼に必要な空気量			電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ			材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	可燃性材料含有量 [g/m]	ケーブル外径 [mm]	ケーブル質量 [kg/m]	φ21.0	φ34.0	φ106.4	φ21.0	φ34.0	φ106.4	5-6	難燃性難燃ポリエチレン	9.7	難燃性難燃ポリエチレン	18.4	0	0.242	307.9	149.2	38.5	0.055	0.32	1.2	5-7	難燃性難燃ポリエチレン	12.3	難燃性難燃ポリエチレン	20.2	0	0.233	141.8	232.9	65	0.025	0.21	0.92	5-8	難燃性難燃ポリエチレン	9.7	難燃性フッ素樹脂エポキシ	8	0	0.225	398.9	98.1	25.5	0.048	0.31	1.98	<p>第1表：同軸ケーブル燃焼評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1350 188 1946 304"> <thead> <tr> <th rowspan="2">線種No.</th> <th colspan="2">絶縁体名</th> <th colspan="2">シース名</th> <th rowspan="2">ケーブル1mの燃焼に必要な空気量 [m<sup>3</sup>]</th> <th colspan="3">1m燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]</th> <th colspan="3">電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]</th> </tr> <tr> <th>材料</th> <th>ポリエチレン含有量 [g/m]</th> <th>材料</th> <th>ポリエチレン含有量 [g/m]</th> <th colspan="3">電線管サイズ</th> <th colspan="3">電線管サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>架橋ポリエチレン</td> <td>30</td> <td>架橋ポリエチレン</td> <td>16</td> <td>1.140</td> <td>φ21.0</td> <td>φ34.0</td> <td>φ106.4</td> <td>φ21.0</td> <td>φ34.0</td> <td>φ106.4</td> </tr> </tbody> </table>	線種No.	絶縁体名		シース名		ケーブル1mの燃焼に必要な空気量 [m <sup>3</sup> ]	1m燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]			電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]			材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	電線管サイズ			電線管サイズ			15	架橋ポリエチレン	30	架橋ポリエチレン	16	1.140	φ21.0	φ34.0	φ106.4	φ21.0	φ34.0	φ106.4	<p>【女川】                  ■設備の相違                  使用するケーブル及びポリエチレン含有量の相違</p>
線種No.	絶縁体		シース			ケーブル		1m燃焼に必要な空気量			電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ																																																																																												
	材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	可燃性材料含有量 [g/m]	ケーブル外径 [mm]	ケーブル質量 [kg/m]	φ21.0	φ34.0	φ106.4	φ21.0	φ34.0	φ106.4																																																																																										
5-6	難燃性難燃ポリエチレン	9.7	難燃性難燃ポリエチレン	18.4	0	0.242	307.9	149.2	38.5	0.055	0.32	1.2																																																																																											
5-7	難燃性難燃ポリエチレン	12.3	難燃性難燃ポリエチレン	20.2	0	0.233	141.8	232.9	65	0.025	0.21	0.92																																																																																											
5-8	難燃性難燃ポリエチレン	9.7	難燃性フッ素樹脂エポキシ	8	0	0.225	398.9	98.1	25.5	0.048	0.31	1.98																																																																																											
線種No.	絶縁体名		シース名		ケーブル1mの燃焼に必要な空気量 [m <sup>3</sup> ]	1m燃焼に必要な空気量を保有する電線管長さ [m]			電線管内で燃焼する同軸ケーブル長さ [m]																																																																																														
	材料	ポリエチレン含有量 [g/m]	材料	ポリエチレン含有量 [g/m]		電線管サイズ			電線管サイズ																																																																																														
15	架橋ポリエチレン	30	架橋ポリエチレン	16	1.140	φ21.0	φ34.0	φ106.4	φ21.0	φ34.0	φ106.4																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

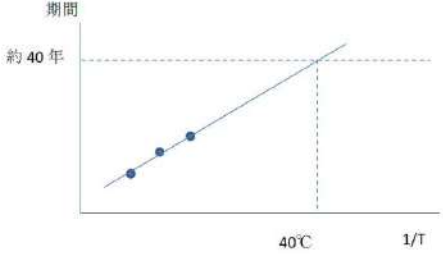
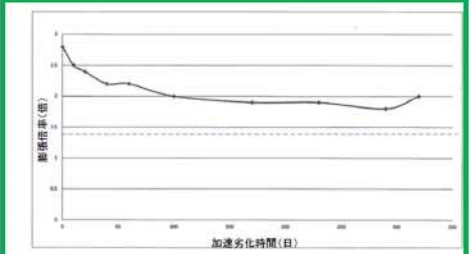
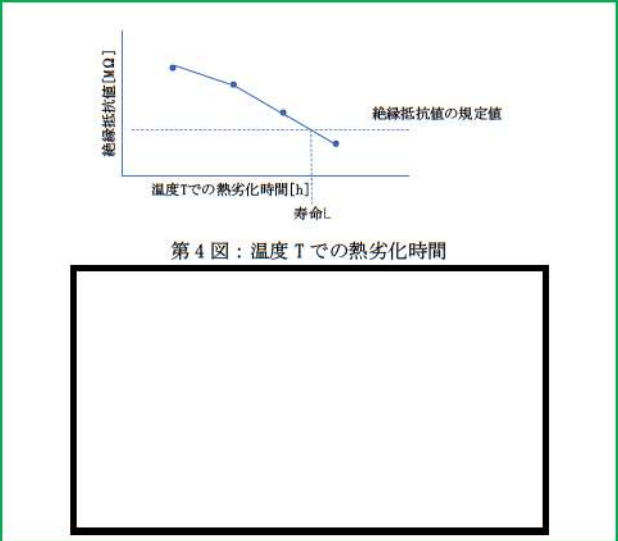

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(本項は玄海発電所3, 4号炉の8条補足説明資料) 別紙2 DFパテの耐久性について</p>	<p>別紙3 コーキング材の耐久性について</p>	<p>別紙3 DFパテの耐久性について</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p>
<p>1. はじめに DFパテは、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱効果及び酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長時間高温にさらされると劣化する。 DFパテの劣化が進むと、発泡効果の低下に伴い断熱効果が低下するので、熱劣化させた供試体を複数製作し、耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要 ・DFパテを塗布したケーブルに炎を当てた場合、DFパテの劣化が進行している程、耐火性能が低下(炎によるケーブルの絶縁性能への影響を防ぐ効果が低下)していることから、ケーブルの絶縁機能の低下が早い。 ・DFパテの劣化度合いを確認するためには、熱劣化させた供試体(ケーブルにDFパテを塗布したもの)をバーナの火炎に一定時間あて、その後のケーブルの絶縁抵抗値を指標とすることができる。 ・熱劣化条件(温度、時間)を変えた供試体を複数作成し、バーナの火炎により、一定時間あてり絶縁抵抗値を測定した結果より、絶縁抵抗値の規定値となる熱劣化時間を求め、その熱劣化時間をその熱劣化温度での寿命とした。</p>	<p>1. はじめに コーキング材は、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果に加え発泡層の断熱効果、酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長期間高温にさらされると劣化する。 コーキング材の劣化が進むと、発泡効果が低下し酸素遮断効果が低下するため、電線管の密閉性が低下し酸素不足による延焼防止効果が期待出来なくなる。 このため、熱加速劣化させた供試体を複数製作し、コーキング材の発泡効果に着目した耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要 ・供試体を90℃に加熱した電気炉に入れ、促進劣化させる。所定時間経過後、電気炉から供試体を取り出し膨張倍率の測定を行う。 ・膨張倍率試験は、供試体を350℃に加熱した電気炉に入れ、15分加熱し供試体を膨張させる。 ・試験後、電気炉から供試体を取り出し、膨張試験前後の体積の比から膨張倍率を求める。</p>	<p>1. はじめに DFパテは、火炎に接すると炭化発泡してケーブルの焼細り空隙を塞ぐ効果と発泡層の断熱効果及び酸素遮断効果により耐火性能を発揮するものであるが、長時間高温にさらされると劣化する。 DFパテの劣化が進むと、発泡効果の低下に伴い断熱効果が低下するので、熱劣化させた供試体を複数製作し、耐久性を確認した。</p> <p>2. 試験概要 ・DFパテを塗布したケーブルに炎を当てた場合、DFパテの劣化が進行している程、耐火性能が低下(炎によるケーブルの絶縁性能への影響を防ぐ効果が低下)していることから、ケーブルの絶縁機能の低下が早い。 ・DFパテの劣化度合いを確認するためには、熱劣化させた供試体(ケーブルにDFパテを塗布したもの)をバーナの火炎に一定時間あて、その後のケーブルの絶縁抵抗値を指標とすることができる。 ・熱劣化条件(温度、時間)を変えた供試体を複数作成し、バーナの火炎により、一定時間あてり絶縁抵抗値を測定した結果より、絶縁抵抗値の規定値となる熱劣化時間を求め、その熱劣化時間をその熱劣化温度での寿命とした。</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【玄海】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p>
		 <p>第3図：供試体概要図</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違 玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p>



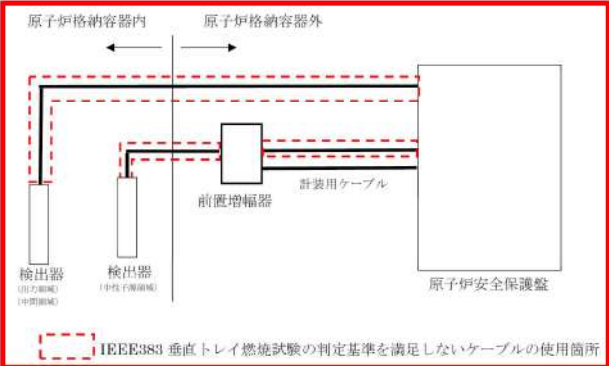
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>期間 約40年</p>  <p>40°C 1/T</p> <p>・上記に示す各温度での寿命結果を用いて、アレニウス則により寿命評価した結果、DFパテの寿命は、常温40°Cで約40年との結果を得た。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1図：膨張倍率に着目した加速劣化試験の結果</p> <p>・上記試験について、アレニウス則により寿命評価した結果、<b>コーキング材</b>の寿命は、常温40°Cで約<b>28年以上</b>との結果を得た。(第1図)</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第4図：温度Tでの熱劣化時間</p>  <p>第5図：熱劣化試験の結果</p> <p>・上記に示す各温度での寿命結果を用いて、アレニウス則により寿命評価した結果、DFパテの寿命は、常温40°Cで約40年との結果を得た。</p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】  <span style="color: green;">■</span>記載表現の相違                  玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】  <span style="color: green;">■</span>記載表現の相違                  玄海にて実績あり、玄海と相違無し</p> <p>【女川】  <span style="color: red;">■</span>設備の相違                  使用するコーキング材の相違</p>

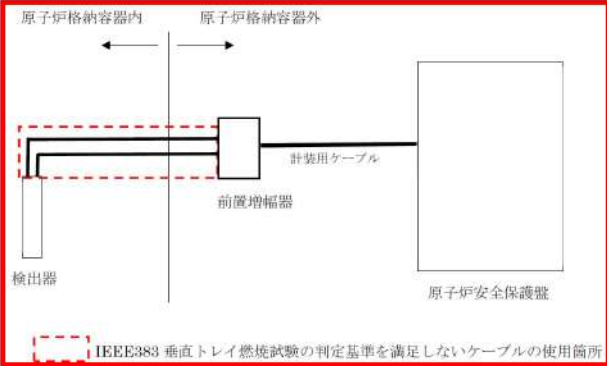
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">別紙4</p> <p>IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しない一部の同軸ケーブルの使用箇所について</p> <p>安全機能を有する機器に使用している核計装用ケーブルや放射線監視設備用ケーブルは、微弱電流・微弱パルスを扱うことから、耐ノイズ性を確保するために不燃性（金属）の電線管に敷設するとともに、絶縁体に誘電率の低い架橋ポリエチレンを有する同軸ケーブルを使用している。これらのケーブルについては、自己消火性を確認するUL垂直燃焼試験は満足するが、耐延焼性を確認するIEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しない。以下に、これら IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルの使用箇所を以下に示す。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p style="text-align: center;">IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルの使用箇所</p> </div> <p>第6図：IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルの使用箇所（核計装用ケーブル）</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊における IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しない一部の同軸ケーブルの使用箇所を明示したものの、PWRの標準設計を採用している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルの使用箇所</p> <p>第7図：IEEE383 垂直トレイ燃焼試験の判定基準を満足しないケーブルの使用箇所                      (放射線監視設備用ケーブル)</p>	<p>以上</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉 添付資料1 ケーブルの損傷距離の判定方法について 垂直トレイ燃焼試験では、下図の損傷の境界を確認し、シースの最大損傷距離を測定する。  図 垂直トレイ燃焼試験のケーブル損傷について	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由 【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず） 【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
添付資料2 (1/1)						【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）	
		種別	No	絶縁体材料	シース材料		品名
		高圧電カケーブル	1	架橋ポリエチレン	難燃低塩化特殊耐熱ビニル		FR-OHV-S 6600V FR-OHV-S
		低圧電カケーブル	2	難燃EPゴム	難燃クロロスルホン化ポリエチレン		FR-PH-S
			3	難燃EPゴム	難燃クロロスルホン化ポリエチレン		FR-PSHV
		制御ケーブル	4	難燃EPゴム	難燃クロロスルホン化ポリエチレン		FR-OPHS
			5	難燃EPゴム	難燃低塩化特殊耐熱ビニル		FR-QPSHVS
			6	FEP	FEP		PFF-S16
			7	FEP	ETFE		FZ-SMB22 FZ-S19
		制御（光）ケーブル	8	難燃低塩化ビニル （両側シース）	難燃低塩化特殊耐熱ビニル		SG90ASYV/2-FRLV
		計装ケーブル	9	難燃EPゴム	難燃クロロスルホン化ポリエチレン		FR-STP-IN FR-STG-IN
			10	難燃EPゴム	難燃低塩化特殊耐熱ビニル		FR-STP-OUT FR-STP
検針線ケーブル	11	架橋ポリエチレン	ETFE	NIS-3X-X-1			
	12	架橋ポリエチレン	難燃架橋ポリエチレン	FR-TRIAX			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																														
<p>VW-1燃焼試験結果速報</p> <p>2013年5月22日に実施いたしました。結果速報をご報告申し上げます。</p> <p>試験方法 UL 1581 1080 VW-1(Vertical Specimen) Flame Testによる                  規格 残炎による燃焼が90秒を超えないこと                  残炎が25%以上燃焼しないこと                  表示旗によって座部の端が燃焼しないこと</p> <p>試験環境 室温:25℃ 湿度:46%                  ガス種・流量 メタン・0.97L/min</p> <p>品名・サイズ FR-STP-INR 2G×1.25SQ</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">試験日</td><td colspan="2">2013年5月22日</td></tr> <tr><td colspan="2">残炎時間(秒)</td><td colspan="2">表示旗損傷時の燃焼有無</td></tr> <tr><td>結果</td><td>1回</td><td>2回</td><td>3回</td><td>4回</td><td>5回</td><td>燃焼</td></tr> <tr><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ FR-STQ-IN 4C×1.25SQ</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">試験日</td><td colspan="2">2013年5月22日</td></tr> <tr><td colspan="2">残炎時間(秒)</td><td colspan="2">表示旗損傷時の燃焼有無</td></tr> <tr><td>結果</td><td>1回</td><td>2回</td><td>3回</td><td>4回</td><td>5回</td><td>燃焼</td></tr> <tr><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ FR-STP-OJT 2G×1.25SQ</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">試験日</td><td colspan="2">2013年5月22日</td></tr> <tr><td colspan="2">残炎時間(秒)</td><td colspan="2">表示旗損傷時の燃焼有無</td></tr> <tr><td>結果</td><td>1回</td><td>2回</td><td>3回</td><td>4回</td><td>5回</td><td>燃焼</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ 延焼防止塗料1010塗布CEE 2C×1.25SQ</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">試験日</td><td colspan="2">2013年5月22日</td></tr> <tr><td colspan="2">残炎時間(秒)</td><td colspan="2">表示旗損傷時の燃焼有無</td></tr> <tr><td>結果</td><td>1回</td><td>2回</td><td>3回</td><td>4回</td><td>5回</td><td>燃焼</td></tr> <tr><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ FR-TRIAx</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">試験日</td><td colspan="2">2013年5月22日</td></tr> <tr><td colspan="2">残炎時間(秒)</td><td colspan="2">表示旗損傷時の燃焼有無</td></tr> <tr><td>結果</td><td>1回</td><td>2回</td><td>3回</td><td>4回</td><td>5回</td><td>燃焼</td></tr> <tr><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ NIS-3C-X-I</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">試験日</td><td colspan="2">2013年5月22日</td></tr> <tr><td colspan="2">残炎時間(秒)</td><td colspan="2">表示旗損傷時の燃焼有無</td></tr> <tr><td>結果</td><td>1回</td><td>2回</td><td>3回</td><td>4回</td><td>5回</td><td>燃焼</td></tr> <tr><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table>	試験日		2013年5月22日		残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無		結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼		0	0	0	0	0	0%	無	試験日		2013年5月22日		残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無		結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼		0	0	0	0	0	0%	無	試験日		2013年5月22日		残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無		結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼		1	0	0	0	0	1	0%	無	試験日		2013年5月22日		残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無		結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼		0	0	0	0	0	0	0%	無	試験日		2013年5月22日		残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無		結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼		0	0	0	0	0	0	0%	無	試験日		2013年5月22日		残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無		結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼		0	0	0	0	0	0	0%	無			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映:着色せず)</p>
試験日		2013年5月22日																																																																																																																																															
残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無																																																																																																																																															
結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼																																																																																																																																											
	0	0	0	0	0	0%	無																																																																																																																																										
試験日		2013年5月22日																																																																																																																																															
残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無																																																																																																																																															
結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼																																																																																																																																											
	0	0	0	0	0	0%	無																																																																																																																																										
試験日		2013年5月22日																																																																																																																																															
残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無																																																																																																																																															
結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼																																																																																																																																											
	1	0	0	0	0	1	0%	無																																																																																																																																									
試験日		2013年5月22日																																																																																																																																															
残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無																																																																																																																																															
結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼																																																																																																																																											
	0	0	0	0	0	0	0%	無																																																																																																																																									
試験日		2013年5月22日																																																																																																																																															
残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無																																																																																																																																															
結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼																																																																																																																																											
	0	0	0	0	0	0	0%	無																																																																																																																																									
試験日		2013年5月22日																																																																																																																																															
残炎時間(秒)		表示旗損傷時の燃焼有無																																																																																																																																															
結果	1回	2回	3回	4回	5回	燃焼																																																																																																																																											
	0	0	0	0	0	0	0%	無																																																																																																																																									





赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																
<p>VW-1燃焼試験結果速報</p> <p>2013年7月29日に実施いたしました。掲題試験の結果速報をご報告申し上げます。</p> <p>試験方法 UL 1581 1080 VW-1(Vertical Specimen) Flame Testによる                  規格 残炎による燃焼が60秒を超えないこと                  表示旗が25%以上損壊しないこと                  落下物によって底部の縁が燃焼しないこと</p> <p>試験環境 室温:24℃ 湿度:63%                  ガス種・流量 メタン・0.97L/min.</p> <p>品名・サイズ FR-5C-2V</p> <table border="1" data-bbox="257 359 555 430"> <tr><th colspan="7">試験日</th><th colspan="2">2013年7月29日</th></tr> <tr><th colspan="7">残炎時間(秒)</th><th rowspan="2">表示旗損傷率</th><th rowspan="2">燃焼有無</th></tr> <tr><th>1回</th><th>2回</th><th>3回</th><th>4回</th><th>5回</th><th>最大</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>VW-1燃焼試験結果速報</p> <p>2013年8月22日に実施いたしました。掲題試験の結果速報をご報告申し上げます。                  なお、FR-SHCVV-S 2C×0.9SQにつきましては、事前に試験を実施しておりましたのでその結果を記載させて頂きます。</p> <p>試験方法 UL 1581 1080 VW-1(Vertical Specimen) Flame Testによる                  規格 残炎による燃焼が60秒を超えないこと                  表示旗が5%以上損壊しないこと                  落下物によって底部の縁が燃焼しないこと</p> <p>試験環境 室温:22℃ 湿度:56%                  ガス種・流量 メタン・0.97L/min.</p> <p>品名・サイズ #800V FR-CHV-S 3C×3BSQ</p> <table border="1" data-bbox="257 678 555 750"> <tr><th colspan="7">試験日</th><th colspan="2">2013年8月22日</th></tr> <tr><th colspan="7">残炎時間(秒)</th><th rowspan="2">表示旗損傷率</th><th rowspan="2">燃焼有無</th></tr> <tr><th>1回</th><th>2回</th><th>3回</th><th>4回</th><th>5回</th><th>最大</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ FR-SHVV-S 2C×5.5SQ</p> <table border="1" data-bbox="257 782 555 853"> <tr><th colspan="7">試験日</th><th colspan="2">2013年8月22日</th></tr> <tr><th colspan="7">残炎時間(秒)</th><th rowspan="2">表示旗損傷率</th><th rowspan="2">燃焼有無</th></tr> <tr><th>1回</th><th>2回</th><th>3回</th><th>4回</th><th>5回</th><th>最大</th></tr> <tr><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ FR-SHCVV-S 2C×0.9SQ</p> <table border="1" data-bbox="257 885 555 957"> <tr><th colspan="7">試験日</th><th colspan="2">2013年5月22日</th></tr> <tr><th colspan="7">残炎時間(秒)</th><th rowspan="2">表示旗損傷率</th><th rowspan="2">燃焼有無</th></tr> <tr><th>1回</th><th>2回</th><th>3回</th><th>4回</th><th>5回</th><th>最大</th></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ PFTT-S16 16P×18AWG</p> <table border="1" data-bbox="257 989 555 1061"> <tr><th colspan="7">試験日</th><th colspan="2">2013年8月22日</th></tr> <tr><th colspan="7">残炎時間(秒)</th><th rowspan="2">表示旗損傷率</th><th rowspan="2">燃焼有無</th></tr> <tr><th>1回</th><th>2回</th><th>3回</th><th>4回</th><th>5回</th><th>最大</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table> <p>品名・サイズ STP-NC(カン熱線シユース) 2C×1.2SSQ</p> <table border="1" data-bbox="257 1093 555 1165"> <tr><th colspan="7">試験日</th><th colspan="2">2013年8月22日</th></tr> <tr><th colspan="7">残炎時間(秒)</th><th rowspan="2">表示旗損傷率</th><th rowspan="2">燃焼有無</th></tr> <tr><th>1回</th><th>2回</th><th>3回</th><th>4回</th><th>5回</th><th>最大</th></tr> <tr><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>3</td><td>0%</td><td>無</td></tr> </table>	試験日							2013年7月29日		残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無	1回	2回	3回	4回	5回	最大	0	0	0	0	0	1	0%	無	試験日							2013年8月22日		残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無	1回	2回	3回	4回	5回	最大	0	0	0	0	0	3	0%	無	試験日							2013年8月22日		残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無	1回	2回	3回	4回	5回	最大	2	0	0	0	0	2	0%	無	試験日							2013年5月22日		残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無	1回	2回	3回	4回	5回	最大	1	1	0	1	3	3	0%	無	試験日							2013年8月22日		残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無	1回	2回	3回	4回	5回	最大	0	0	0	1	1	1	0%	無	試験日							2013年8月22日		残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無	1回	2回	3回	4回	5回	最大	1	3	0	0	2	3	0%	無			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                  (女川実績の反映:着色せず)</p>
試験日							2013年7月29日																																																																																																																																																																																												
残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無																																																																																																																																																																																											
1回	2回	3回	4回	5回	最大																																																																																																																																																																																														
0	0	0	0	0	1	0%	無																																																																																																																																																																																												
試験日							2013年8月22日																																																																																																																																																																																												
残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無																																																																																																																																																																																											
1回	2回	3回	4回	5回	最大																																																																																																																																																																																														
0	0	0	0	0	3	0%	無																																																																																																																																																																																												
試験日							2013年8月22日																																																																																																																																																																																												
残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無																																																																																																																																																																																											
1回	2回	3回	4回	5回	最大																																																																																																																																																																																														
2	0	0	0	0	2	0%	無																																																																																																																																																																																												
試験日							2013年5月22日																																																																																																																																																																																												
残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無																																																																																																																																																																																											
1回	2回	3回	4回	5回	最大																																																																																																																																																																																														
1	1	0	1	3	3	0%	無																																																																																																																																																																																												
試験日							2013年8月22日																																																																																																																																																																																												
残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無																																																																																																																																																																																											
1回	2回	3回	4回	5回	最大																																																																																																																																																																																														
0	0	0	1	1	1	0%	無																																																																																																																																																																																												
試験日							2013年8月22日																																																																																																																																																																																												
残炎時間(秒)							表示旗損傷率	燃焼有無																																																																																																																																																																																											
1回	2回	3回	4回	5回	最大																																																																																																																																																																																														
1	3	0	0	2	3	0%	無																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

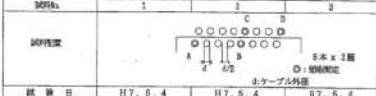
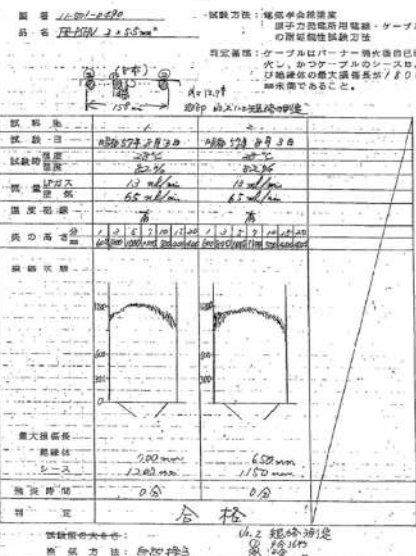
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
<p>2013年9月24日に実施いたしました。掲載試験の結果速報をご報告申し上げます。</p> <p>試験方法 UL 1581 1080 VW-1(Vertical Specimen) Flame Testによる規格                  残炎による燃焼が60秒を超えないこと                  表示値が2%以上検出しないこと                  落下物によって底部の線が燃焼しないこと</p> <p>試験環境 室温:23℃ 湿度:54%</p> <p>ガス種・流量 メタン:0.97L/min.</p> <p>品名・サイズ PFF-S16 16P×18AWG</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">試験日</th> <th colspan="2">2013年9月24日</th> </tr> <tr> <th>結果</th> <th>残炎時間(秒)</th> <th>表示旗損傷</th> <th>線の燃焼有無</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>5回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>最大</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>無</td> </tr> </table> <p>品名・サイズ TF-S14 14G×16AWG</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">試験日</th> <th colspan="2">2013年9月24日</th> </tr> <tr> <th>結果</th> <th>残炎時間(秒)</th> <th>表示旗損傷</th> <th>線の燃焼有無</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>5回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>最大</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>無</td> </tr> </table> <p>2013年10月18日に実施いたしました。掲載試験の結果速報をご報告申し上げます。</p> <p>試験方法 UL 1581 1080 VW-1(Vertical Specimen) Flame Testによる規格                  残炎による燃焼が60秒を超えないこと                  表示値が2%以上検出しないこと                  落下物によって底部の線が燃焼しないこと</p> <p>試験環境 室温:24℃ 湿度:38%</p> <p>ガス種・流量 メタン:0.97L/min.</p> <p>品名・サイズ FR-RMS-9C</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">試験日</th> <th colspan="2">2013年10月18日</th> </tr> <tr> <th>結果</th> <th>残炎時間(秒)</th> <th>表示旗損傷</th> <th>線の燃焼有無</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>5回</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>最大</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0%</td> </tr> </table>	試験日		2013年9月24日		結果	残炎時間(秒)	表示旗損傷	線の燃焼有無	1回	0	0	無	2回	0	0	無	3回	0	0	無	4回	0	0	無	5回	0	0	無	最大	0	0%	無	試験日		2013年9月24日		結果	残炎時間(秒)	表示旗損傷	線の燃焼有無	1回	0	0	無	2回	0	0	無	3回	0	0	無	4回	0	0	無	5回	0	0	無	最大	0	0%	無	試験日		2013年10月18日		結果	残炎時間(秒)	表示旗損傷	線の燃焼有無	1回	0	0	無	2回	2	2	無	3回	2	3	無	4回	3	5	無	5回	5	5	無	最大	5	5	0%			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映:着色せず)</p>
試験日		2013年9月24日																																																																																																	
結果	残炎時間(秒)	表示旗損傷	線の燃焼有無																																																																																																
1回	0	0	無																																																																																																
2回	0	0	無																																																																																																
3回	0	0	無																																																																																																
4回	0	0	無																																																																																																
5回	0	0	無																																																																																																
最大	0	0%	無																																																																																																
試験日		2013年9月24日																																																																																																	
結果	残炎時間(秒)	表示旗損傷	線の燃焼有無																																																																																																
1回	0	0	無																																																																																																
2回	0	0	無																																																																																																
3回	0	0	無																																																																																																
4回	0	0	無																																																																																																
5回	0	0	無																																																																																																
最大	0	0%	無																																																																																																
試験日		2013年10月18日																																																																																																	
結果	残炎時間(秒)	表示旗損傷	線の燃焼有無																																																																																																
1回	0	0	無																																																																																																
2回	2	2	無																																																																																																
3回	2	3	無																																																																																																
4回	3	5	無																																																																																																
5回	5	5	無																																																																																																
最大	5	5	0%																																																																																																
<p>2</p> <p>品名 TR-CHV-S</p> <p>サイズ 9C×140mm</p> <p>試験方法：電気学会規格                  原子力発電所用電線・ケーブルの耐火性能試験方法                  耐火基準：ケーブルはバーナー直火後自己燃焼し、かつケーブルのシースおよび絶縁体の最大損傷長が140mm未満であること。</p> <table border="1"> <tr> <td>材料名</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>試験日</td> <td>83.5.4</td> </tr> <tr> <td>試験時 温度</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>湿度</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>燃料ガス</td> <td>1.1 L/min</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>6.5 L/min</td> </tr> <tr> <td>測定距離</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>長さの長さ</td> <td>分 2 3 4 5 7 10 15 20 mm 70 80 100 100 110 110 100</td> </tr> <tr> <td>損傷状態</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>最大損傷長</td> <td>70 mm</td> </tr> <tr> <td>絶縁層</td> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>燃焼時間</td> <td>7分</td> </tr> <tr> <td>試験時間</td> <td>中 途： 終 止 セ ず</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>良</td> </tr> </table> <p>試験室の大きさ：4m×3.5m×6m<sup>2</sup>                  換気方法：自然換気</p>	材料名	1	試験日	83.5.4	試験時 温度	23	湿度	58	燃料ガス	1.1 L/min	空気	6.5 L/min	測定距離	有	長さの長さ	分 2 3 4 5 7 10 15 20 mm 70 80 100 100 110 110 100	損傷状態		最大損傷長	70 mm	絶縁層	115 mm	燃焼時間	7分	試験時間	中 途： 終 止 セ ず	判定	良																																																																							
材料名	1																																																																																																		
試験日	83.5.4																																																																																																		
試験時 温度	23																																																																																																		
湿度	58																																																																																																		
燃料ガス	1.1 L/min																																																																																																		
空気	6.5 L/min																																																																																																		
測定距離	有																																																																																																		
長さの長さ	分 2 3 4 5 7 10 15 20 mm 70 80 100 100 110 110 100																																																																																																		
損傷状態																																																																																																			
最大損傷長	70 mm																																																																																																		
絶縁層	115 mm																																																																																																		
燃焼時間	7分																																																																																																		
試験時間	中 途： 終 止 セ ず																																																																																																		
判定	良																																																																																																		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>試験種別：垂直トレイ燃焼試験種別</p> <p>試験番号：BB-501-1449</p> <p>品名：FR-FH-5 2×5.5mm<sup>2</sup></p> <p>試験方法：電気学会試験報告(D)第10号の項による。                  判定基準：トレイ上面まで燃焼しないこと。</p>  <table border="1" data-bbox="197 406 571 758"> <thead> <tr> <th>試験日</th> <th>H7.5.4</th> <th>H7.5.4</th> <th>H7.5.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度(°C)</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>風速(M)</td> <td>0.4</td> <td>1.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>風速(L/min)</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>炎の長さ(mm)</td> <td>1分後 700 5分後 1000 10分後 1200 15分後 800</td> <td>1分後 800 5分後 1100 10分後 1000 15分後 500</td> <td>1分後 600 5分後 1000 10分後 600 15分後 500</td> </tr> <tr> <td>最大燃焼長さ(mm)</td> <td>1400(7分後)</td> <td>1400(7分後)</td> <td>1300(8分後)</td> </tr> <tr> <td>残存時間(分)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>燃焼長さ(mm)</td> <td>980</td> <td>840</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>シース(mm)</td> <td>1190</td> <td>1140</td> <td>1140</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sheet No. B                  垂直トレイ燃焼試験</p> <p>品名：FR-FH-5 2×5.5mm<sup>2</sup></p> <p>試験方法：電気学会試験報告(D)第10号の項による。                  判定基準：ケーブルはバーナー噴水後燃焼停止し、かつケーブルのシースが、燃焼後の最大燃焼長さ/800未満であること。</p> 	試験日	H7.5.4	H7.5.4	H7.5.4	温度(°C)	19	19	19	風速(M)	0.4	1.4	0.4	風速(L/min)	1.9	1.9	1.9	炎の長さ(mm)	1分後 700 5分後 1000 10分後 1200 15分後 800	1分後 800 5分後 1100 10分後 1000 15分後 500	1分後 600 5分後 1000 10分後 600 15分後 500	最大燃焼長さ(mm)	1400(7分後)	1400(7分後)	1300(8分後)	残存時間(分)	0	0	0	燃焼長さ(mm)	980	840	880	シース(mm)	1190	1140	1140			<p>【大飯】                  ■記載方針の相違                  (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【大飯】                  ■記載方針の相違                  (女川実績の反映:着色せず)</p>
試験日	H7.5.4	H7.5.4	H7.5.4																																				
温度(°C)	19	19	19																																				
風速(M)	0.4	1.4	0.4																																				
風速(L/min)	1.9	1.9	1.9																																				
炎の長さ(mm)	1分後 700 5分後 1000 10分後 1200 15分後 800	1分後 800 5分後 1100 10分後 1000 15分後 500	1分後 600 5分後 1000 10分後 600 15分後 500																																				
最大燃焼長さ(mm)	1400(7分後)	1400(7分後)	1300(8分後)																																				
残存時間(分)	0	0	0																																				
燃焼長さ(mm)	980	840	880																																				
シース(mm)	1190	1140	1140																																				











赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">ケーブルの延焼性に関する IEEE383 の適用年版</p> <p>ケーブルの延焼性については、IEEE383 Std 1974 を基礎とした「電気学会技術報告（Ⅱ部）第139号原子力発電用電線・ケーブルの環境試験方法ならびに耐延焼性試験方法に関する推奨案」の垂直トレイ燃焼試験により確認しており、このIEEE383の適用年版について、以下に整理した。</p> <p>(1) 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下、「審査基準」という）の「2.1 火災発生防止」の参考には、延焼性の実証試験は、IEEE383の実証試験により示されていることを要求している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(参考)</p> <p>(3) 難燃ケーブルについて</p> <p>使用するケーブルについて、「火災により着火し難く、著しい燃焼をせず、また、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらない性質」を有していることが、延焼性及び自己消火性の実証試験により示されていること。</p> <p>(実証試験の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己消火性の実証試験・・・UL 垂直燃焼試験</li> <li>・延焼性の実証試験・・・IEEE383 または IEEE1202</li> </ul> </div> <p>(2) また、「審査基準」の「2.基本事項」の参考には、審査基準に記載されていないものについては、JEAC4626-2010 及び JEAG4607-2010 を参照するよう要求されている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(参考)</p> <p>上記事項に記載されていないものについては、JEAC4626-2010 及び JEAG4607-2010 を参照すること。</p> </div> <p>(3) 従って、審査基準に記載されない IEEE383 の適用年版については、以下に示す JEAC4626-2010 の記載により IEEE383-1974 年版を適用した。</p>			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映:着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料2 泊発電所3号炉重大事等対処施設における難燃ケーブルの使用について）



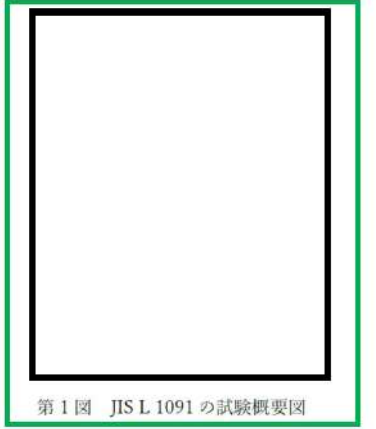

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>JEAC4626-2010（抜粋）</p> <p>難燃性ケーブルとは、米国電気電子工学学会（IEEE）規格 383（1974年版）（原子力発電所用ケーブル等の型式試験）（国内では IEEE383 の国内版である電気学会技術報告（II部）第 139号）の垂直燃焼試験に合格したものをいう。</p>			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>（女川実績の反映：着色せず）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉  添付資料3  女川原子力発電所2号炉  重大事故等対処施設における 不燃性又は難燃性の換気フィルタの 使用状況について  1. 不燃性又は難燃性の換気フィルタの使用状況	泊発電所3号炉  添付資料3  泊発電所3号炉  重大事故等対処施設における 不燃性又は難燃性の換気フィルタの 使用状況について  1. 不燃性又は難燃性の換気フィルタの使用状況	相違理由  【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違  【女川】 ■設備の相違 炉型の違いによる系 統、機器の相違																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>換気空調設備</th> <th>フィルタの種類 (チャコールフィルタ 以外)</th> <th>ろ材材質</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">非常用ガス処理系</td> <td>中性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>高性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ室空調機</td> <td>給気フィルタ</td> <td>不織布</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ室空調機</td> <td>給気フィルタ</td> <td>不織布</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ室空調機</td> <td>給気フィルタ</td> <td>不織布</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ室空調機</td> <td>給気フィルタ</td> <td>不織布</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機室換気空調系</td> <td>バッグエアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉種換気空調系</td> <td>高性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>バッグエアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">廃棄物処理区域換気空調系</td> <td>高性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>バッグエアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中央制御室換気空調系</td> <td>高性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>中性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>バッグエアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室換気空調系</td> <td>バッグエアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タービン建屋換気空調系</td> <td>高性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>中性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>バッグエアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急時対策所換気空調系</td> <td>高性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>中性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>緊急用電気品建屋換気空調系</td> <td>中性能エアフィルタ</td> <td>グラスファイバ</td> <td>難燃性</td> </tr> </tbody> </table>	換気空調設備	フィルタの種類 (チャコールフィルタ 以外)	ろ材材質	性能	非常用ガス処理系	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	低圧炉心スプレィ系ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性	高圧炉心スプレィ系ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性	残留熱除去系ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性	原子炉補機冷却水ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性	原子炉補機室換気空調系	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	原子炉種換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	廃棄物処理区域換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	中央制御室換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	計測制御電源室換気空調系	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	タービン建屋換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	緊急時対策所換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	緊急用電気品建屋換気空調系	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>換気空調設備</th> <th>フィルタの種類 (チャコールフィルタ 以外)</th> <th>ろ材材質</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助建屋換気空調装置</td> <td>平型フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>粗フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>微粒子フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>安全補機閉器室空調装置</td> <td>粗フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中央制御室空調装置</td> <td>粗フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>微粒子フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機室換気装置</td> <td>平型フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管室換気装置</td> <td>平型フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器空調装置</td> <td>平型フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>粗フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>微粒子フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所空気浄化装置</td> <td>平型フィルタ</td> <td>ガラス繊維</td> <td>難燃性</td> </tr> </tbody> </table>	換気空調設備	フィルタの種類 (チャコールフィルタ 以外)	ろ材材質	性能	補助建屋換気空調装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性	微粒子フィルタ	ガラス繊維	難燃性	安全補機閉器室空調装置	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性	中央制御室空調装置	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性	微粒子フィルタ	ガラス繊維	難燃性	ディーゼル発電機室換気装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性	主蒸気管室換気装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性	格納容器空調装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性	微粒子フィルタ	ガラス繊維	難燃性	緊急時対策所空気浄化装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性
換気空調設備	フィルタの種類 (チャコールフィルタ 以外)	ろ材材質	性能																																																																																																																														
非常用ガス処理系	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
低圧炉心スプレィ系ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性																																																																																																																														
高圧炉心スプレィ系ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性																																																																																																																														
残留熱除去系ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性																																																																																																																														
原子炉補機冷却水ポンプ室空調機	給気フィルタ	不織布	難燃性																																																																																																																														
原子炉補機室換気空調系	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
原子炉種換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
廃棄物処理区域換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
中央制御室換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
計測制御電源室換気空調系	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
タービン建屋換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	バッグエアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
緊急時対策所換気空調系	高性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
緊急用電気品建屋換気空調系	中性能エアフィルタ	グラスファイバ	難燃性																																																																																																																														
換気空調設備	フィルタの種類 (チャコールフィルタ 以外)	ろ材材質	性能																																																																																																																														
補助建屋換気空調装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
	微粒子フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
安全補機閉器室空調装置	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
中央制御室空調装置	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
	微粒子フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
ディーゼル発電機室換気装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
主蒸気管室換気装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
格納容器空調装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
	粗フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
	微粒子フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														
緊急時対策所空気浄化装置	平型フィルタ	ガラス繊維	難燃性																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料3 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における不燃性又は難燃性の換気フィルタの使用状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. JIS L 1091 の試験概要について</p> <p>JIS L 1091 の難燃性確認試験については第1図の試験装置を用いて、120秒間供試体を規定の条件の炎にさらし、燃焼面積、残炎・残じん時間、燃焼距離を測定し、難燃性に対する評価を行うものである。</p>  <p>第1図：JIS L 1091 試験概要図</p> <p>3. JACA No.11A-2003 の試験概要について</p> <p>JACA No.11A-2003 の難燃性確認試験については第2図の試験装置を用いて、ろ材試験片を、ガスバーナにより60秒間加熱し、燃焼時間、残炎・残じん時間、溶融滴下物による発火の有無、燃焼距離を測定し、難燃性に対する評価を行うものである。</p>  <p>第2図：JACA No.11A-2003 試験概要図</p>	<p>2. JIS L 1091 の試験概要について</p> <p>JIS L 1091 の難燃性確認試験については第1図の試験装置を用いて、120秒間供試体を規定の条件の炎にさらし、燃焼面積、残炎・残じん時間、燃焼距離を測定し、難燃性に対する評価を行うものである。</p>  <p>第1図 JIS L 1091 の試験概要図</p> <p>3. JACA No.11A-2003 の試験概要について</p> <p>JACA No.11A-2003 の難燃性確認試験については第2図の試験装置を用いて、ろ材試験片を、ガスバーナにより60秒間加熱し、燃焼時間、残炎・残じん時間、溶融滴下物による発火の有無、燃焼距離を測定し、難燃性に対する評価を行うものである。</p>  <p>第2図 JACA No.11A-2003 の試験概要図</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】  <span style="color: green;">■</span>記載表現の相違</p> <p>【女川】  <span style="color: green;">■</span>記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料4 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における保温材の使用状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">参考資料4</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設の保温材の使用状況について</p> <p>1. 目的 「重大事故等対処施設」に使用している保温材が、審査基準の要求事項を満足することを、以下に示す。</p> <p>2. 保温材の要求事項について 審査基準の保温材に係る要求事項を以下に示す。</p> <p>2.1.2 安全機能を有する構築物、系統及び機器は、以下の各号に掲げるとおり、不燃性材料又は難燃性材料の使用した設計であること。ただし、当該構築物、系統及び機器の材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合、もしくは、当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合は、この限りではない。</p> <p>(5)保温材は、ロックウール又はグラスウール等、不燃性のものを使用すること。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉 重大事故等対処施設における保温材の使用状況について</p> <p>1. はじめに 女川原子力発電所2号炉において、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）の要求に基づき、重大事故等対処施設に使用する保温材について、不燃性材料又は難燃性材料の使用状況を確認した結果を示す。</p> <p>2. 要求事項 保温材については、「火災防護に係る審査基準」の「2.1 火災発生防止」の2.1.2に基づき実施することが要求されている。保温材の要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2.1.2 安全機能を有する構築物、系統及び機器は、以下の各号に掲げるとおり、不燃性材料又は難燃性材料を使用した設計であること。ただし、当該構築物、系統及び機器の材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合、もしくは、当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合は、この限りではない。</p> </div> <p>(5) 保温材は金属、ロックウール又はグラスウール等、不燃性のものを使用すること。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 重大事故等対処施設における保温材の使用状況について</p> <p>1. はじめに 泊発電所3号炉において、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）の要求に基づき、重大事故等対処施設に使用する保温材について、不燃性材料又は難燃性材料の使用状況を確認した結果を示す。</p> <p>2. 要求事項 保温材については、「火災防護に係る審査基準」の「2.1 火災発生防止」の2.1.2に基づき実施することが要求されている。保温材の要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2.1.2 安全機能を有する構築物、系統及び機器は、以下の各号に掲げるとおり、不燃性材料又は難燃性材料を使用した設計であること。ただし、当該構築物、系統及び機器の材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合、もしくは、当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合は、この限りではない。</p> </div> <p>(5) 保温材は金属、ロックウール又はグラスウール等、不燃性のものを使用すること。</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料4 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における保温材の使用状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(参考)</p> <p>「当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合」とは、ポンプ、弁等の駆動部の潤滑油、機器躯体内部に設置される電気配線、不燃材料の表面に塗布されるコーティング剤等、当該材料が発火した場合においても、他の構築物、系統又は機器において火災を生じさせるおそれが小さい場合をいう。</p>	<p>(参考)</p> <p>「当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合」とは、ポンプ、弁等の駆動部の潤滑油、機器躯体内部に設置される電気配線、不燃材料の表面に塗布されるコーティング剤等、当該材料が発火した場合においても、他の構築物、系統又は機器において火災を生じさせるおそれが小さい場合をいう。</p>	<p>(参考)</p> <p>「当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合」とは、ポンプ、弁等の駆動部の潤滑油、機器躯体内部に設置される電気配線、不燃材料の表面に塗布されるコーティング剤等、当該材料が発火した場合においても、他の構築物、系統又は機器において火災を生じさせるおそれが小さい場合をいう。</p>	
<p>3. 保温材の不燃性材料使用状況の調査</p> <p>重大事故等対処施設に対する保温材は、何れも建設時より不燃性材料を使用するが、保温材を取替えていることを踏まえて、調査を実施した。</p> <p>不燃性の保温材は、平成12年建設省告示第1400号に定められたもの又は、建築基準法の不燃材料認定品とした。図1に保温材の不燃性確認フローを示す。</p>	<p>3. 重大事故等対処施設の保温材について</p> <p>(1) 保温材の不燃性使用状況調査</p> <p>重大事故等対処施設に対する保温材は、機器設計仕様書にて不燃性材料を要求している。</p> <p>不燃性の保温材は、平成12年建設省告示第1400号<sup>*1</sup>に定められたもの、又は建築基準法の不燃材料認定品とした。</p>	<p>3. 重大事故等対処施設の保温材について</p> <p>(1) 保温材の不燃性使用状況調査</p> <p>重大事故等対処施設に対する保温材は、保温仕様書（設計図書）にて不燃性材料を要求している。</p> <p>不燃性の保温材は、平成12年建設省告示第1400号<sup>*1</sup>に定められたもの、又は建築基準法の不燃材料認定品とした。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                  (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
<p>4. 保温材の不燃性適合状況調査結果</p> <p>保温材の不燃性確認フローに基づき調査した結果、使用する保温材は、何れも不燃性であることを確認した。調査結果を表1に示す。</p>			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      （女川実績の反映）</p>																																
<p>表1 保温材不燃性適合状況確認結果</p>																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保温材種別</th> <th colspan="4">使用部位</th> <th rowspan="2">フロー結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>配管</th> <th>弁、フランジ、サポータ部</th> <th>機器類（熱交換器、タンク、ポンプ）</th> <th>原子炉容器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックウール</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>①</td> <td>仕様規定*1</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸カルシウム</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>①</td> <td>仕様規定*1</td> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>①</td> <td>仕様規定*1</td> </tr> </tbody> </table>	保温材種別	使用部位				フロー結果	備考	配管	弁、フランジ、サポータ部	機器類（熱交換器、タンク、ポンプ）	原子炉容器	ロックウール	○	○	○	-	①	仕様規定*1	ケイ酸カルシウム	○	○	○	-	①	仕様規定*1	金属	-	-	-	○	①	仕様規定*1			
保温材種別		使用部位						フロー結果	備考																										
	配管	弁、フランジ、サポータ部	機器類（熱交換器、タンク、ポンプ）	原子炉容器																															
ロックウール	○	○	○	-	①	仕様規定*1																													
ケイ酸カルシウム	○	○	○	-	①	仕様規定*1																													
金属	-	-	-	○	①	仕様規定*1																													
<p>※1：&lt;平成12年建設省告示第1400号（不燃材料を定める件）&gt;</p>	<p>※1：&lt;平成12年建設省告示第1400号（不燃材料を定める件）&gt;</p>	<p>※1：&lt;平成12年建設省告示第1400号（不燃材料を定める件）&gt;</p>																																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第九号の規定に基づき、不燃材料を次のように定める。</li> <li>・建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第108条の2各号（建築物の外部の仕上げに用いるものにあつては、同条第一号及び第二号）に掲げる要件を満たしている建築材料は、次に定めるものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第九号の規定に基づき、不燃材料を次のように定める。</li> <li>・建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第108条の2各号（建築物の外部の仕上げに用いるものにあつては、同条第一号および第二号）に掲げる要件を満たしている建築材料は、次に定めるものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第九号の規定に基づき、不燃材料を次のように定める。</li> <li>・建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第108条の2各号（建築物の外部の仕上げに用いるものにあつては、同条第一号及び第二号）に掲げる要件を満たしている建築材料は、次に定めるものとする。</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>																																
<ul style="list-style-type: none"> <li>一 コンクリート</li> <li>二 れんが</li> <li>三 瓦</li> <li>四 陶磁器質タイル</li> <li>五 繊維強化セメント板</li> <li>六 厚さが3mm以上のガラス繊維混入セメント板</li> <li>七 厚さが5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板</li> <li>八 鉄鋼</li> <li>九 アルミニウム</li> <li>十 金属板</li> <li>十一 ガラス</li> <li>十二 モルタル</li> <li>十三 しっくい</li> <li>十四 石</li> <li>十五 厚さが12mm以上のせっこうボード                      （ボード用原紙の厚さが0.6mm以下のものに限る。）</li> <li>十六 ロックウール</li> <li>十七 グラスウール板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一 コンクリート</li> <li>二 れんが</li> <li>三 瓦</li> <li>四 陶磁器質タイル</li> <li>五 繊維強化セメント板</li> <li>六 厚さが3mm以上のガラス繊維混入セメント板</li> <li>七 厚さが5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板</li> <li>八 鉄鋼</li> <li>九 アルミニウム</li> <li>十 金属板</li> <li>十一 ガラス</li> <li>十二 モルタル</li> <li>十三 しっくい</li> <li>十四 石</li> <li>十五 厚さが12mm以上のせっこうボード                      （ボード用原紙の厚さが0.6mm以下のものに限る。）</li> <li>十六 ロックウール</li> <li>十七 グラスウール板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一 コンクリート</li> <li>二 れんが</li> <li>三 瓦</li> <li>四 陶磁器質タイル</li> <li>五 繊維強化セメント板</li> <li>六 厚さが3mm以上のガラス繊維混入セメント板</li> <li>七 厚さが5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板</li> <li>八 鉄鋼</li> <li>九 アルミニウム</li> <li>十 金属板</li> <li>十一 ガラス</li> <li>十二 モルタル</li> <li>十三 しっくい</li> <li>十四 石</li> <li>十五 厚さが12mm以上のせっこうボード                      （ボード用原紙の厚さが0.6mm以下のものに限る。）</li> <li>十六 ロックウール</li> <li>十七 グラスウール板</li> </ul>																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料5 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">参考資料5</p> <p>重大事故等対処施設の建屋内装材の不燃性について</p> <p>大阪発電所3/4号炉及び緊急時対策所の火災区域に施工された全ての建屋内装材について調査・試験を行い、建築基準法等の国内規制に基づく不燃性材料であることを確認した。</p> <p>なお、原子炉格納容器内部コンクリートの表面に塗布するコーティング剤は、不燃性材料であるコンクリートに塗布すること、重大事故等対処施設には、不燃性又は難燃性材料を使用することにより、審査基準2.1.2（参考）に記載されている、火災により著しく燃焼せず、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらず、他の重大事故等対処施設及び設計基準事故対処設備において火災を生じさせるおそれが小さい設計とする。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料5</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p> <p>重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>女川原子力発電所2号炉における、重大事故等対処施設を設置する建屋の内装材について、建築基準法等の国内規制に基づく、不燃性材料であることを確認する。</p> <p>2. 要求事項</p> <p>建屋内装材への不燃性材料の使用は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）の「2.1火災発生防止」の2.1.2に基づき実施することが要求されている。</p> <p>火災防護に係る審査基準の記載を以下に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料5</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <p>重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について</p> <p>1. はじめに</p> <p>泊発電所3号炉における、重大事故等対処施設を設置する建屋の内装材について、建築基準法等の国内規制に基づく、不燃性材料であることを確認する。</p> <p>2. 要求事項</p> <p>建屋内装材への不燃性材料の使用は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）の「2.1火災発生防止」の2.1.2に基づき実施することが要求されている。</p> <p>火災防護に係る審査基準の記載を以下に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料5 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.1 火災発生防止</p> <p>2.1.2 安全機能を有する構築物、系統及び機器は、以下の各号に掲げるとおり、不燃性材料又は難燃性材料を使用した設計であること。ただし、当該構築物、系統及び機器の材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合、もしくは、当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合は、この限りではない。</p> <p>(6) 建屋内装材は、不燃性材料を使用すること。</p> <p>(参考)</p> <p>「当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合」とは、ポンプ、弁等の駆動部の潤滑油、機器躯体内部に設置される電気配線、不燃材料の表面に塗布されるコーティング剤等、当該材料が発火した場合においても、他の構築物、系統又は機器において火災を生じさせるおそれが小さい場合をいう。</p>	<p>2.1 火災発生防止</p> <p>2.1.2 安全機能を有する構築物、系統及び機器は、以下の各号に掲げるとおり、不燃性材料又は難燃性材料を使用した設計であること。ただし、当該構築物、系統及び機器の材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合、もしくは、当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合は、この限りではない。</p> <p>(6) 建屋内装材は、不燃性材料を使用すること。</p> <p>(参考)</p> <p>「当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の安全機能を有する構築物、系統及び機器において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合」とは、ポンプ、弁等の駆動部の潤滑油、機器躯体内部に設置される電気配線、不燃材料の表面に塗布されるコーティング剤等、当該材料が発火した場合においても、他の構築物、系統又は機器において火災を生じさせるおそれが小さい場合をいう。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>
<p>1. 建屋内装材における国内規制内容</p> <p>建物の天井、壁、床に使用される内装材には、出火時の急速な火災拡大を防止するための防火規制が定められている。</p>	<p>3. 建屋内装材における国内規制内容</p> <p>建物の天井、壁、床に使用される内装材には、出火時の急速な火災拡大を防止するための防火規制が定められている。</p>	<p>3. 建屋内装材における国内規制内容</p> <p>建物の天井、壁、床に使用される内装材には、出火時の急速な火災拡大を防止するための防火規制が定められている。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料5 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p>火災拡大には天井材及び壁材の寄与が大きく、床材の寄与は小さいことから、国内規制では下表のとおり「天井材及び壁材」と「床材」で規制内容が異なる。天井材及び壁材については建築基準法により、また、床材については消防法により規制されている。</p> <table border="1" data-bbox="168 323 604 550"> <tr> <td></td> <td>建築基準法 (第35条の2)</td> <td>消防法 (第8条の3)</td> </tr> <tr> <td>規制の種類</td> <td>内装制限</td> <td>防災規制</td> </tr> <tr> <td>規制の対象</td> <td>壁材、天井材</td> <td>床材 (じゅうたん等)</td> </tr> <tr> <td>規制適合品の分類</td> <td>不燃材料 準不燃材料 難燃材料</td> <td>防災物品</td> </tr> <tr> <td>認定(確認)方法</td> <td>試験による大臣認定 仕様規定</td> <td>試験による認定</td> </tr> </table>		建築基準法 (第35条の2)	消防法 (第8条の3)	規制の種類	内装制限	防災規制	規制の対象	壁材、天井材	床材 (じゅうたん等)	規制適合品の分類	不燃材料 準不燃材料 難燃材料	防災物品	認定(確認)方法	試験による大臣認定 仕様規定	試験による認定	<p>火災拡大には天井材及び壁材の寄与が大きく、床材の寄与は小さいことから、国内規制では第1表のとおり「天井材及び壁材」と「床材」で規制内容が異なる。天井材及び壁材については建築基準法により、また、床材については消防法により規制されている。</p> <p>第1表：規制内容比較</p> <table border="1" data-bbox="721 344 1294 579"> <tr> <td></td> <td>建築基準法 (第三十五条の二)</td> <td>消防法 (第八条の三)</td> </tr> <tr> <td>規制の種類</td> <td>内装制限</td> <td>防災規制</td> </tr> <tr> <td>規制の対象</td> <td>壁材、天井材</td> <td>床材 (じゅうたん等)</td> </tr> <tr> <td>規制適合品の分類</td> <td>不燃材料 準不燃材料 難燃材料</td> <td>防災物品</td> </tr> <tr> <td>認定(確認)の方法</td> <td>試験による大臣認定 仕様規定</td> <td>試験による認定</td> </tr> </table>		建築基準法 (第三十五条の二)	消防法 (第八条の三)	規制の種類	内装制限	防災規制	規制の対象	壁材、天井材	床材 (じゅうたん等)	規制適合品の分類	不燃材料 準不燃材料 難燃材料	防災物品	認定(確認)の方法	試験による大臣認定 仕様規定	試験による認定	<p>火災拡大には天井材及び壁材の寄与が大きく、床材の寄与は小さいことから、国内規制では第1表のとおり「天井材及び壁材」と「床材」で規制内容が異なる。天井材及び壁材については建築基準法により、また、床材については消防法により規制されている。</p> <p>第1表 規制内容比較</p> <table border="1" data-bbox="1355 368 1930 603"> <tr> <td></td> <td>建築基準法 (第三十五条の二)</td> <td>消防法 (第八条の三)</td> </tr> <tr> <td>規制の種類</td> <td>内装制限</td> <td>防災規制</td> </tr> <tr> <td>規制の対象</td> <td>壁材、天井材</td> <td>床材 (じゅうたん等)</td> </tr> <tr> <td>規制適合品の分類</td> <td>不燃材料 準不燃材料 難燃材料</td> <td>防災物品</td> </tr> <tr> <td>認定(確認)の方法</td> <td>試験による大臣認定 仕様規定</td> <td>試験による認定</td> </tr> </table>		建築基準法 (第三十五条の二)	消防法 (第八条の三)	規制の種類	内装制限	防災規制	規制の対象	壁材、天井材	床材 (じゅうたん等)	規制適合品の分類	不燃材料 準不燃材料 難燃材料	防災物品	認定(確認)の方法	試験による大臣認定 仕様規定	試験による認定	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p>
	建築基準法 (第35条の2)	消防法 (第8条の3)																																														
規制の種類	内装制限	防災規制																																														
規制の対象	壁材、天井材	床材 (じゅうたん等)																																														
規制適合品の分類	不燃材料 準不燃材料 難燃材料	防災物品																																														
認定(確認)方法	試験による大臣認定 仕様規定	試験による認定																																														
	建築基準法 (第三十五条の二)	消防法 (第八条の三)																																														
規制の種類	内装制限	防災規制																																														
規制の対象	壁材、天井材	床材 (じゅうたん等)																																														
規制適合品の分類	不燃材料 準不燃材料 難燃材料	防災物品																																														
認定(確認)の方法	試験による大臣認定 仕様規定	試験による認定																																														
	建築基準法 (第三十五条の二)	消防法 (第八条の三)																																														
規制の種類	内装制限	防災規制																																														
規制の対象	壁材、天井材	床材 (じゅうたん等)																																														
規制適合品の分類	不燃材料 準不燃材料 難燃材料	防災物品																																														
認定(確認)の方法	試験による大臣認定 仕様規定	試験による認定																																														
<p>2. 内装材の不燃性について</p> <p>重大事故等対処施設を設置する建屋の内装材は、建築基準法に基づく不燃材料若しくはこれと同等以上の性能を有することを試験により確認した材料、又は消防法に基づく防災物品若しくはこれと同等以上の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計とする。</p> <p>また、原子炉格納容器内部コンクリート表面に塗布するコーティング剤は、不燃材料であるコンクリート等に塗布すること、重大事故等に対処するための機能を有する機器等には、不燃性又は難燃性の材料を使用することにより、火災により著しく燃焼せず、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらず、他の重大事故等対処施設及び設計基準事故対処設備において火災を生じさせるおそれが小さい設計とする。</p> <p>建屋内装材の不燃性については、下図のフローに基づき確認する。</p>	<p>4. 建屋内装材の不燃性について</p> <p>「3. 建屋内装材における国内規制内容」を踏まえ、建築基準法における不燃材料、準不燃材料及び消防法における防災物品として防火性能を確認できた材料を「不燃性材料」とする。</p> <p>また、国内規定に定められる防火要求において、試験により確認できた材料を「代替材料」と位置づける。(火災防護に係る審査基準2.1.2ただし書き及び(参考)の適用)</p> <p>なお、耐放射線性等の機能要求があり、代替材料の使用が技術上困難な場合で、不燃材料の表面に塗布されたコーティング剤については、不燃性材料の適用外とする。(火災防護に係る審査基準2.1.2ただし書き及び(参考)の適用)</p> <p>以上より、内装材の不燃性を第1図に基づき確認する。</p>	<p>4. 建屋内装材の不燃性について</p> <p>「3. 建屋内装材における国内規制内容」を踏まえ、建築基準法における不燃材料、準不燃材料及び消防法における防災物品として防火性能を確認できた材料を「不燃性材料」とする。</p> <p>また、国内規定に定められる防火要求において、試験により確認できた材料を「代替材料」と位置づける。(火災防護に係る審査基準2.1.2ただし書き及び(参考)の適用)</p> <p>なお、耐放射線性等の機能要求があり、代替材料の使用が技術上困難な場合で、不燃材料の表面に塗布されたコーティング剤については、不燃性材料の適用外とする。(火災防護に係る審査基準2.1.2ただし書き及び(参考)の適用)</p> <p>以上より、内装材の不燃性を第1図に基づき確認する。</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p>																																													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料5 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>※4 建築基準法上及び消防法上の試験                  不燃性材料との同等性を確認する試験には、以下のものがある。                  ・コーンカロリメータ試験                  公的試験機関の「耐火性能試験・評価業務方法書」に規定された発熱性試験、評価方法により行われる試験                  ・防炎試験                  消防法施行令の「防炎防火対象物の指定等」及び消防法施行規則の「防炎性能の基準の数値等」に示される、じゅうたん等の試験</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>第1図 内装材の適合性判定フロー</p> <p>5. 内装材の認定、仕様規定の確認（ルートⅠ）                  設計図書及び現地確認により、内装材における防火規制上の認定及び仕様規定への適合を確認した。なお、中央制御室のカーベットは、消防法施行規則第四条の三に基づき、第三者機関において防炎物品の試験を実施し、防炎性能を有することを確認した材料を使用する設計とする。</p> <p>6. 試験による内装材の適合性判定（ルートⅡ）                  内装材のうち防火規制上の認定及び仕様規定への適合が確認できない材料については、建築基準法施行令第一条の六又は消防法施行令第四条の三に基づく試験により、不燃性材料の防火性能と同等以上（「代替材料」）であることを確認した。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1図 内装材の適合性判定フロー</p> <p>5. 内装材の認定、仕様規定の確認（ルートⅠ）                  設計図書及び現地確認により、内装材における防火規制上の認定及び仕様規定への適合を確認した。なお、中央制御室のカーベットは、消防法施行規則第四条の三に基づき、第三者機関において防炎物品の試験を実施し、防炎性能を有することを確認した材料を使用する設計とする。</p> <p>6. 試験による内装材の適合性判定（ルートⅡ）                  内装材のうち防火規制上の認定及び仕様規定への適合が確認できない材料については、建築基準法施行令第一条の六又は消防法施行令第四条の三に基づく試験により、不燃性材料の防火性能と同等以上（「代替材料」）であることを確認した。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】                  ■記載方針の相違                  （女川実績の反映）</p> <p>【大阪】                  ■記載内容の相違                  （女川実績の反映）</p> <p>【大阪】                  ■記載内容の相違                  （女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料5 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における建屋内装材の不燃性について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>7. 不燃基材の仕様確認（ルートⅢ）</p> <p>管理区域の床、壁には耐放射線性及び除染性を確保すること、原子炉格納容器内の床、壁には耐放射線性、除染性及び耐腐食性を確保することを目的として、コーティング剤を塗布する設計としている。このコーティング剤は、建築基準法施行令第一条の六に基づく難燃性が確認された塗料であること、不燃性材料であるコンクリート表面に塗布されていることを確認することで、火災防護に係る審査基準2.1.2の（参考）に基づく「不燃材料表面のコーティング剤は、他の構築物、系統又は機器において火災が生じるおそれが小さい」に該当することから、不燃性材料の適用外とする。</p> <p>8. 内装材の不燃性判定結果</p> <p>建屋内装材の不燃性判定結果を第2表に示す。</p> <p>すべての建屋内装材は不燃性材料又は不燃性材料と同等であることを確認した。また、第2表に示す以外の内装材を設ける場合については、「6. 試験による内装材の適合性判定」、「7. 不燃基材の仕様確認」に基づく設計とする。</p>	<p>7. 不燃基材の仕様確認（ルートⅢ）</p> <p>管理区域の床、壁には耐放射線性及び除染性を確保すること、原子炉格納容器内の床、壁には耐放射線性、除染性及び耐腐食性を確保することを目的として、コーティング剤を塗布する設計としている。このコーティング剤は、建築基準法施行令第一条の六に基づく難燃性が確認された塗料であること、不燃性材料であるコンクリート表面に塗布されていることを確認することで、火災防護に係る審査基準2.1.2の（参考）に基づく「不燃材料表面のコーティング剤は、他の構築物、系統又は機器において火災が生じるおそれが小さい」に該当することから、不燃性材料の適用外とする。</p> <p>8. 内装材の不燃性判定結果</p> <p>建屋内装材の不燃性判定結果を第2表に示す。</p> <p>すべての建屋内装材は不燃性材料又は不燃性材料と同等であることを確認した。また、第2表に示す以外の内装材を設ける場合については、「6. 試験による内装材の適合性判定」、「7. 不燃基材の仕様確認」に基づく設計とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由									
内装材の不燃性判定結果						第2表 内装材の不燃性判定結果						第2表 内装材の適合性判定結果															
種類	材料	使用箇所		判定ルート	判定結果	備考	種類	材料	使用箇所			判定ルート	判定	備考	種類	材料	使用箇所				判定ルート	判定結果	備考				
		天井	壁						床	天井	壁						床	鉄部	天井	壁					床	鉄部	
塗料	ウレタン樹脂塗料		○		II	不燃性材料	塗料	球状樹脂系塗料	○	○	○	III	不燃性材料同等	コーティング剤 (ウレタン下地)	塗料	エポキシ樹脂系塗料	○	○	○	○	II	不燃性材料	不燃試験	相違理由			
	合成樹脂エマルジョン系塗料	○	○		I	不燃性材料		不燃認定	塩化ビニル樹脂系塗料	○	○		I	不燃性材料		不燃認定	合成樹脂エマルジョン系塗料	○	○		I	不燃性材料	不燃認定				
	エポキシ樹脂系塗料	○	○	○	III	適用除外 (注)		不燃試験	アクリルエマルジョン樹脂系塗料	○	○		I	不燃性材料		不燃認定	フタル酸系塗料				○	II	不燃性材料		不燃試験		
	塩化ビニル樹脂塗料	○	○		I	不燃性材料		不燃認定	防塵塗料			○	II	不燃性材料		不燃試験	岩綿吸音板	○				I	不燃性材料		不燃認定		
	アクリルシリコン樹脂塗料	○	○		I	不燃性材料		不燃認定	アクリル単層弾性吹付タイプ	○	○		IV	その他材料		※4	ケイ酸カルシウム板	○	○			I	不燃性材料		仕様規定		
	内装材	石膏ボード	○	○		I		不燃性材料	不燃認定	アクリルM系吹付防水			○	IV		その他材料	※4	石膏ボード		○			I		不燃性材料	不燃認定	相違理由
		ケイ酸カルシウム板	○	○		I		不燃性材料	仕様規定	岩綿吸音板	○			I		不燃性材料	不燃認定	化粧石膏ボード					I		不燃性材料	不燃認定	
		クロス張 (コンクリート下地)	○	○		I		不燃性材料	不燃認定	石膏ボード	○	○		I		不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード		○			I		不燃性材料	不燃認定	
		岩綿吸音板	○			I		不燃性材料	不燃認定	石膏ボード				I		不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I		不燃性材料	不燃認定	
		陶磁器タイル		○	○	I		不燃性材料	仕様規定	石膏ボード				I		不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I		不燃性材料	不燃認定	
タイルカーペット				○	I	不燃性材料	防火認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
塩化ビニルシート				○	I	不燃性材料	防火認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
ビニル床タイル				○	I	不燃性材料	防火認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
アルミニウムはく張 / グラスウール保温板		○			I	不燃性材料	不燃認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
化粧石膏ボード		○			I	不燃性材料	不燃認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
内装材	ビニルクロス (不燃認定品)		○		I	不燃性材料	不燃認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定	相違理由				
	ビニルクロス		○		IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	帯電防止ビニル床タイプ			○	IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	長尺塩化ビニルシート			○	IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	プラスチックタイプ			○	IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	ビニルクロス (不燃認定品)		○		I	不燃性材料	不燃認定	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	ビニルクロス		○		IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	帯電防止ビニル床タイプ			○	IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	長尺塩化ビニルシート			○	IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					
	プラスチックタイプ			○	IV	その他材料	※4	石膏ボード				I	不燃性材料	仕様規定	化粧石膏ボード					I	不燃性材料	不燃認定					

※4：不燃性材料に取替えを行う。

(注1) 判定ルートIII「技術基準に関する規則第十一条一項ロ(2)の適用 (適用除外となる不燃材料の表面に塗布されたコーティング剤)」に該当

上表に示すとおり、すべての建屋内装材は不燃性材料または不燃性材料と同等材料である。

【大飯】  
 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)  
 【女川】  
 ■使用材料の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 中央制御室の排煙設備について</p> <p>1. はじめに 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(以下、「火災防護に係る審査基準」という。)では、中央制御室のような運転員が常駐するエリアには、火災発生時の煙を排気するため排煙設備を設置することが要求されていることから、重大事故等対処施設である2号炉中央制御室に以下のとおり排煙設備を配備する。</p> <p>2. 要求事項 火災防護に係る審査基準の「2.2 火災の感知, 消火」の2.2.1では、火災時に煙の充満等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備の設置が要求されている。一方、重大事故等対処施設である2号炉中央制御室については、通常運転員等が駐在しており、火災時に煙が充満しなければ迅速に消火活動が可能であることから、排煙設備を設置する。 火災防護に係る審査基準の記載を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2.2 火災の感知, 消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(2) 消火設備</p> <p>① 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域または火災区画であって、火災時に煙の充満、放射線の影響等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備を設置すること。</p> </div> <p>3. 排煙設備 2号炉中央制御室の煙を排気するため、建築基準法等に準じて排煙設備を配備する。以下に排煙設備の仕様を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 中央制御室の排煙設備について</p> <p>1. はじめに 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(以下、「火災防護に係る審査基準」という。)では、中央制御室のような運転員が常駐するエリアには、火災発生時の煙を排気するため排煙設備を設置することが要求されていることから、重大事故等対処施設である3号炉中央制御室に以下のとおり排煙設備を配備する。</p> <p>2. 要求事項 火災防護に係る審査基準の「2.2 火災の感知, 消火」の2.2.1では、火災時に煙の充満等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備の設置が要求されている。一方、重大事故等対処施設である3号炉中央制御室については、通常運転員等が駐在しており、火災時に煙が充満しなければ迅速に消火活動が可能であることから、排煙設備を設置する。 火災防護に係る審査基準の記載を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2.2 火災の感知, 消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(2) 消火設備</p> <p>h. 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域又は火災区画であって、火災時に煙の充満、放射線の影響等により消火活動が困難なところには、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備を設置すること。</p> </div> <p>3. 排煙設備 3号炉中央制御室の煙を排気するため、建築基準法等に準じて排煙設備を配備する。以下に排煙設備の仕様を示す。</p>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■記載内容の相違 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3.1.2号炉中央制御室</p> <p>(1) 排煙容量</p> <p>中央制御室の排煙設備は、「建築基準法施行令第百二十六条の三」に準じて、以下の容量以上の能力を有するものとする。</p> <p>排煙容量：812m<sup>3</sup>/min</p> <p>[中央制御室防煙区画のうち最大区画床面積：406m<sup>2</sup>]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>建築基準法における排煙容量の算出</p> <p>中央制御室防煙区画数：4区画</p> <p>最大区画床面積：406m<sup>2</sup></p> <p>排煙容量：最大区画床面積×2m<sup>3</sup>/min/m<sup>2</sup>= 406m<sup>2</sup>×2m<sup>3</sup>/min/m<sup>2</sup>=812m<sup>3</sup>/min</p> <p>[建築基準法の要求排煙容量]</p> <p>120m<sup>3</sup>/min以上で、かつ、防煙区画部分の床面積1m<sup>2</sup>につき1m<sup>3</sup>/min以上 (2以上の防煙区画部分に関わる排煙機にあつては、当該防煙区画部分のうち床面積の最大のものの床面積1m<sup>2</sup>につき2m<sup>3</sup>/min以上)</p> </div> <p>(2) 排煙設備の使用材料</p> <p>排煙設備の排煙機及びダクトは、火災時における高温の煙の排気も考慮して以下の材料を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排煙機：鋼製</li> <li>・ダクト：不燃材 (亜鉛鉄板)</li> </ul>	<p>3.1.3号炉中央制御室</p> <p>(1) 排煙容量</p> <p>中央制御室の排煙設備は、「建築基準法施行令第百二十六条の三」に準じて、以下の容量以上の能力を有するものとする。</p> <p>排煙容量：360m<sup>3</sup>/min</p> <p>[中央制御室床面積：360m<sup>2</sup>]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>建築基準法における排煙容量の算出</p> <p>中央制御室防煙区画数：1区画</p> <p>最大区画床面積：360m<sup>2</sup></p> <p>排煙容量：最大区画床面積×1m<sup>3</sup>/min/m<sup>2</sup>= 360m<sup>2</sup>×1m<sup>3</sup>/min/m<sup>2</sup>=360m<sup>3</sup>/min</p> <p>[建築基準法の要求排煙容量]</p> <p>120m<sup>3</sup>/min以上で、かつ、防煙区画部分の床面積1m<sup>2</sup>につき1m<sup>3</sup>/min以上 (2以上の防煙区画部分に関わる排煙機にあつては、当該防煙区画部分のうち床面積の最大のものの床面積1m<sup>2</sup>につき2m<sup>3</sup>/min以上)</p> </div> <p>(2) 排煙設備の使用材料</p> <p>排煙設備の排煙機及びダクトは、火災時における高温の煙の排気も考慮して以下の材料を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排煙機：鋼製</li> <li>・ダクト：不燃材 (鋼製及びアルミ)</li> </ul>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>中央制御室の床面積の相違による排煙設備容量の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>中央制御室の防煙区画数および床面積の相違による排煙設備容量の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>ダクト材質の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 添付資料6 泊発電所3号炉における中央制御室の排煙設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 起動装置                      排煙設備の起動設備は、排煙設備の運転状況を確認するため、排煙設備近傍に手動起動装置を設置する。</p> <p>(4) 電源                      排煙設備の電源は、外部電源喪失を考慮し、非常用電源より供給する。</p>	<p>(3) 電源                      排煙設備の電源は、外部電源喪失を考慮し、非常用電源より供給する。</p>	<p>【大飯】                      ■記載内容の相違                      （女川実績の反映）</p> <p>【女川】                      ■設備の相違                      泊は排煙設備の手動起動装置はなく、電源の接続により起動を行う設計のため、当該記載はない。</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">参考資料 8</p> <p style="text-align: center;">消火用の照明器具の配置図</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 7</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉 重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具の配置図</p> <p>1. 概要                      建屋内の消火栓、消火設備現場盤の設置場所及び設置場所への経路には、移動及び消火設備の操作を行うため、現場への移動等の時間 (最大約1時間程度 (中央制御室での感知後、建屋内の火災発生場所に到達する時間約15分、消火活動準備約40分)) に加え、消防法の消火継続時間20分及び火災以外の非常時も考慮して、8時間以上の容量の蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。                      蓄電池内蔵型照明の配置を以下に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 7</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉 重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具の配置図</p> <p>1. 概要                      建屋内の消火栓、消火設備現場盤の設置場所及び設置場所への経路には、移動及び消火設備の操作を行うため、現場への移動等の時間 (最大約 1 時間程度 (中央制御室での感知後、建屋内の火災発生場所に到達する時間約25分、消火活動準備約 5 分)) に加え、消防法の消火継続時間20分及び火災以外の非常時も考慮して、4 時間以上の容量の蓄電池を内蔵する照明器具を設置する設計とする。                      蓄電池内蔵型照明の配置を以下に示す。</p>	<p>【大飯】                      ■記載方針の相違                      (女川実績の反映)                      【女川】                      ■設備名称の相違</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      想定移動時間及び設置する非常用照明の蓄電池の容量の相違</p>



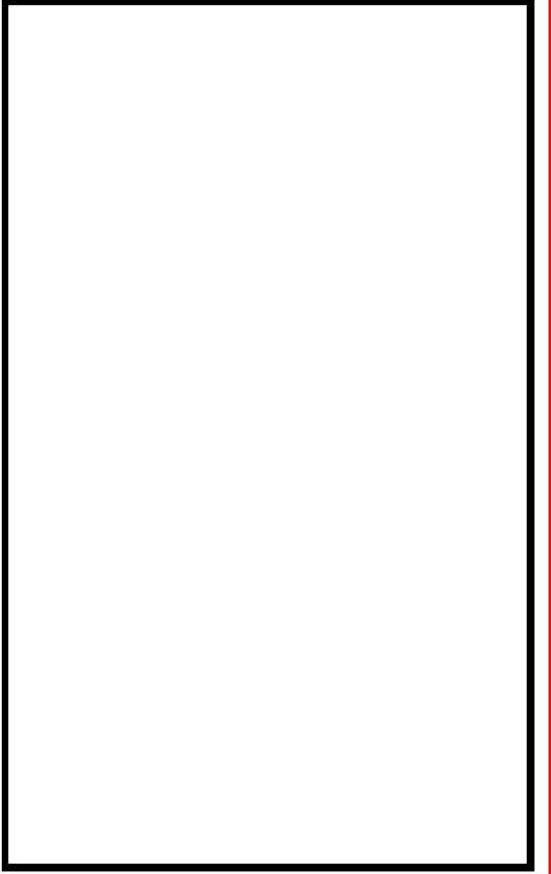
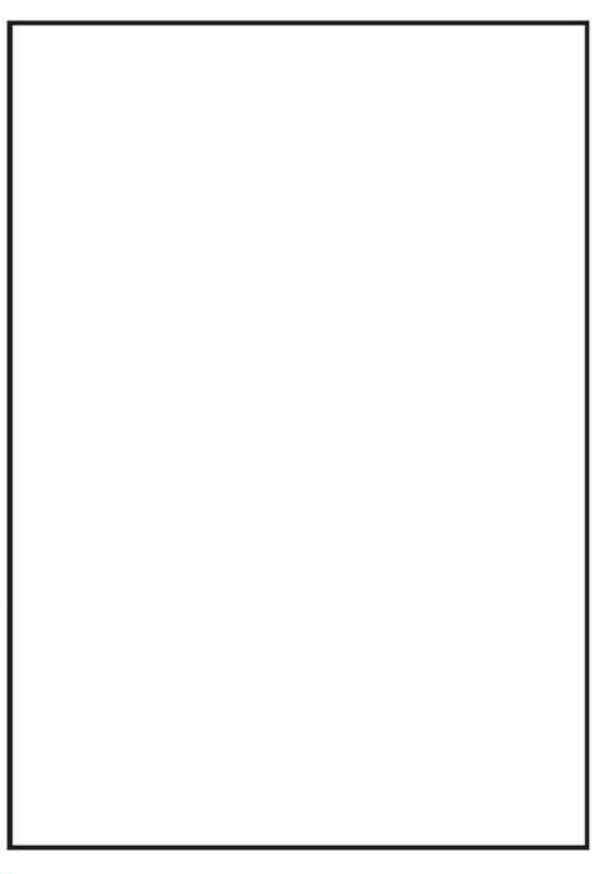
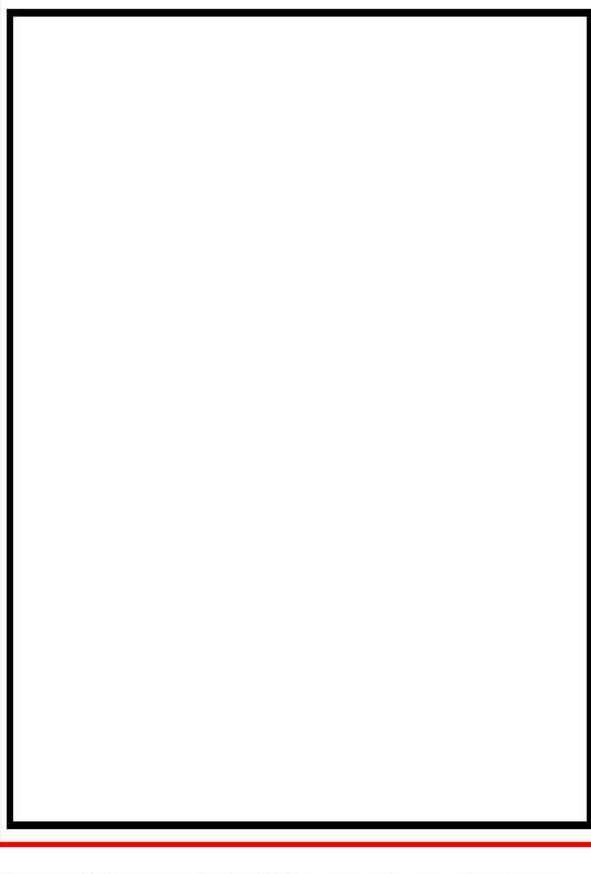
泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 10px; top: 200px;">大飯3, 4号機 照明配置図 (EL3.5m, 7.0m)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 90%; height: 60%; margin: 10px auto;"></div>	<div style="border: 2px solid black; width: 90%; height: 60%; margin: 10px auto;"></div>	<div style="border: 2px solid black; width: 90%; height: 60%; margin: 10px auto;"></div> <p style="margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

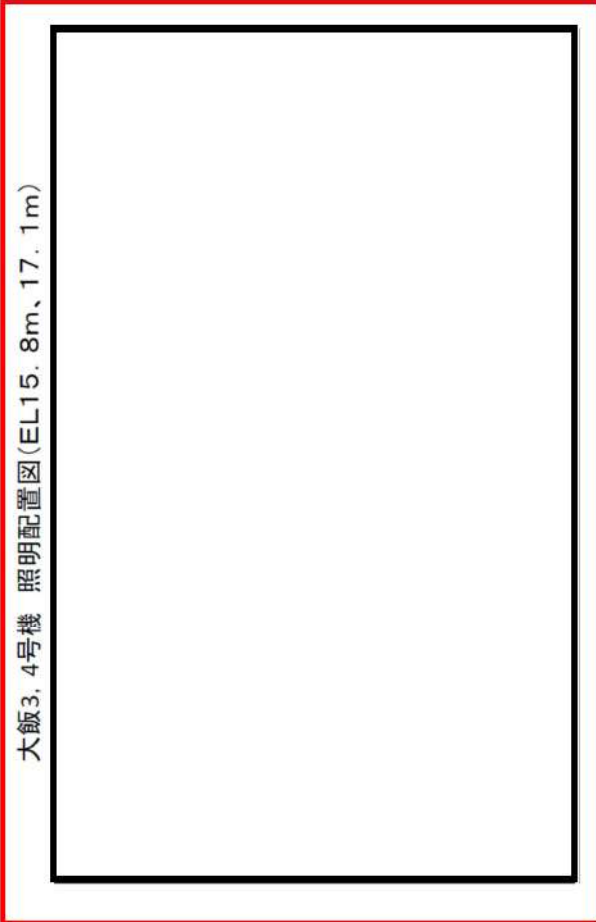
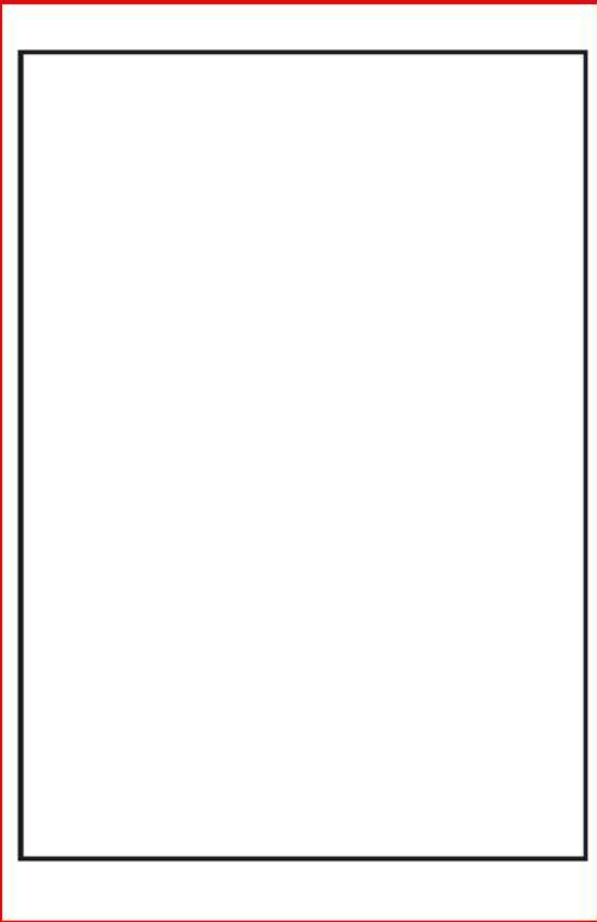
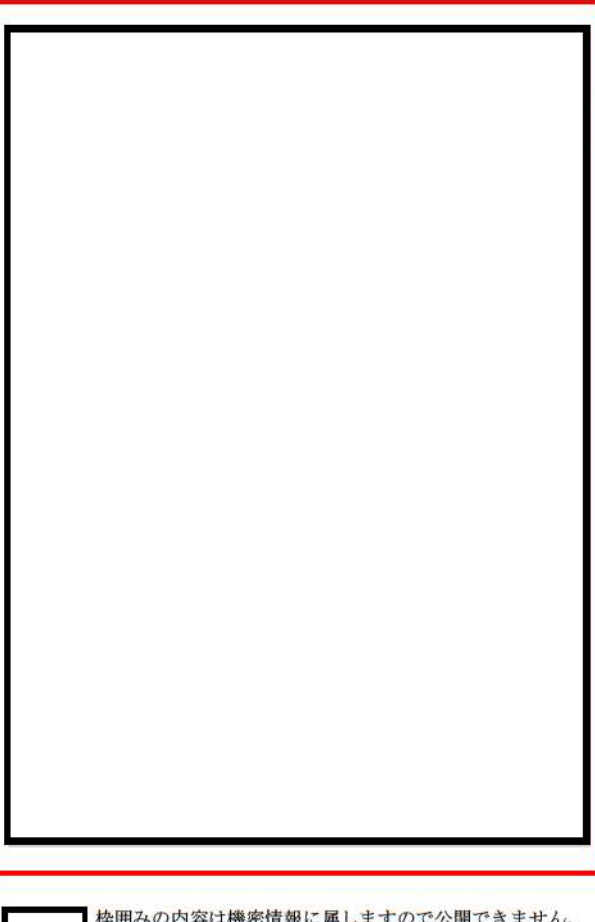

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大飯3, 4号機 照明配置図 (EL10.0m)</p> 			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

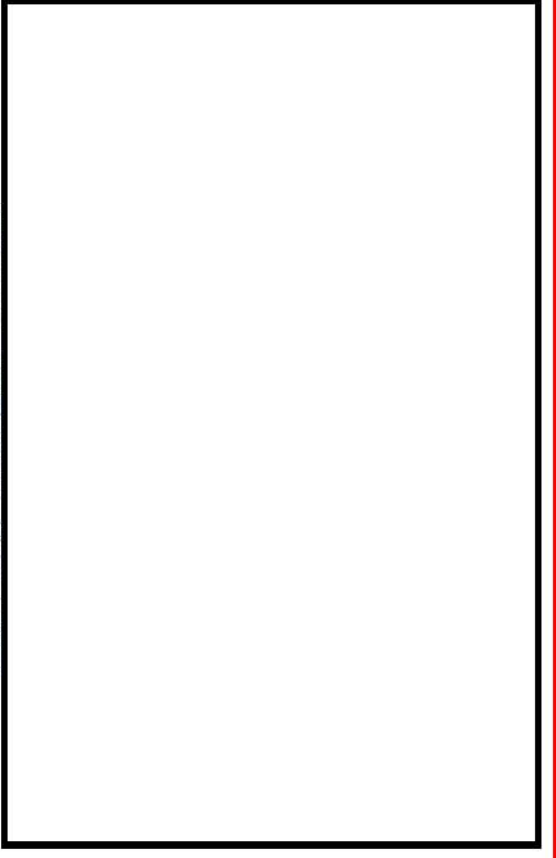
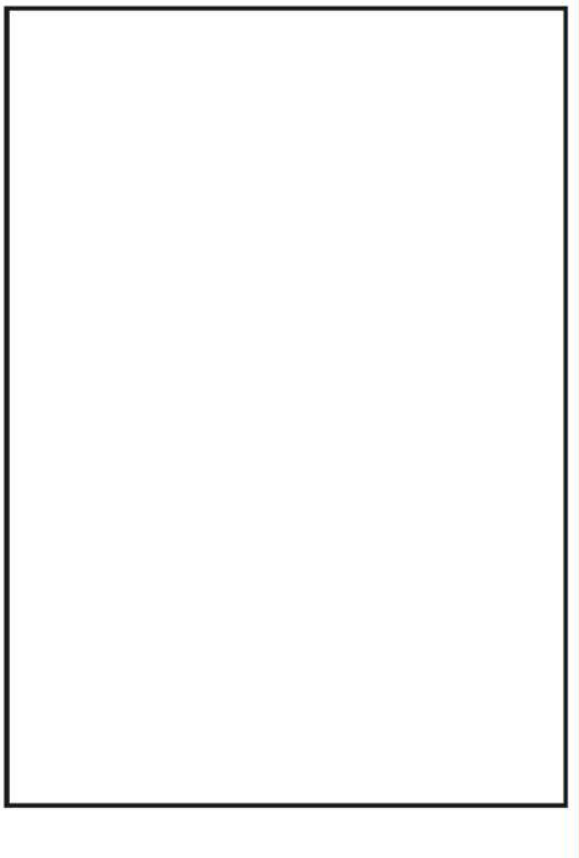

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大飯3,4号機 照明配置図 (EL15.8m、17.1m)</p> 			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
<p> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

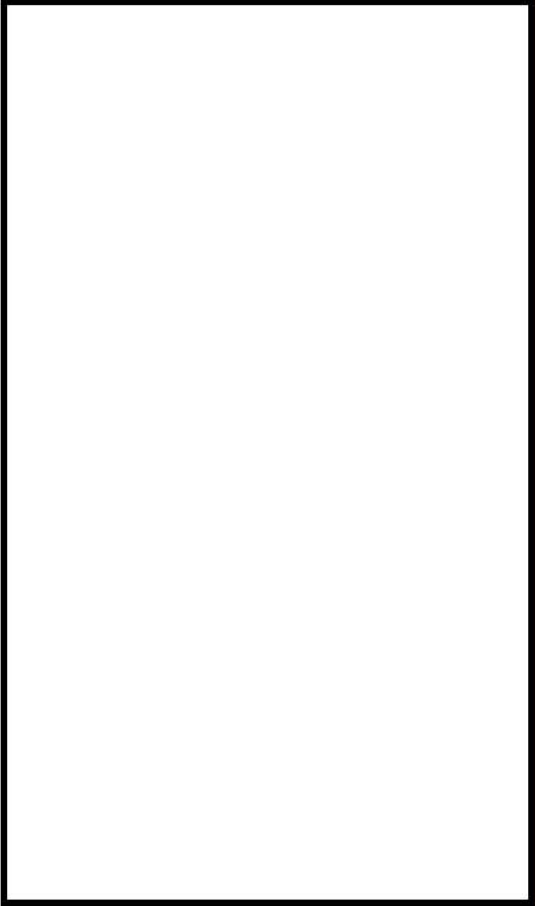
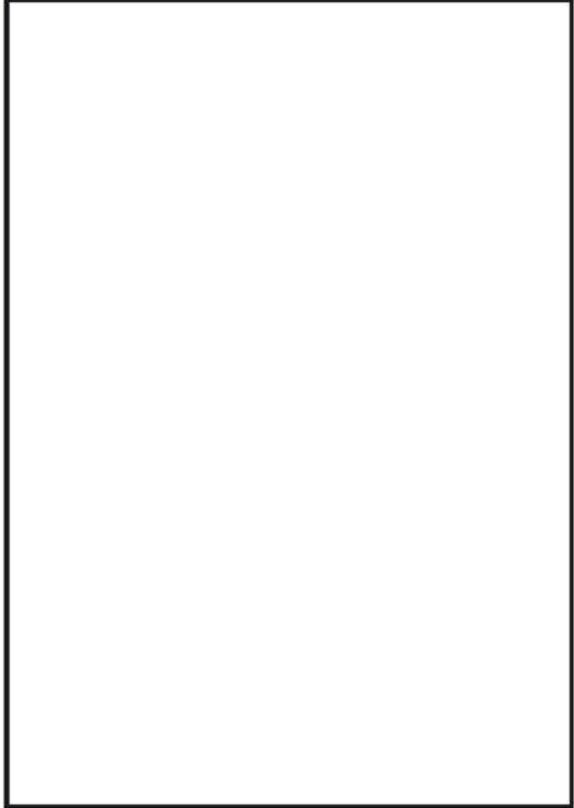
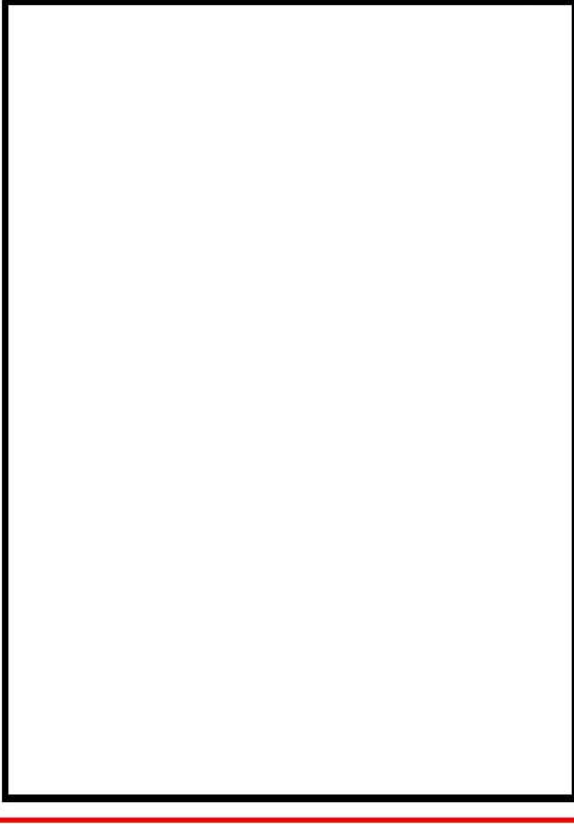

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 40px; top: 250px;">大飯3.4号機 照明配置図(EL21.8m)</p> 			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>			



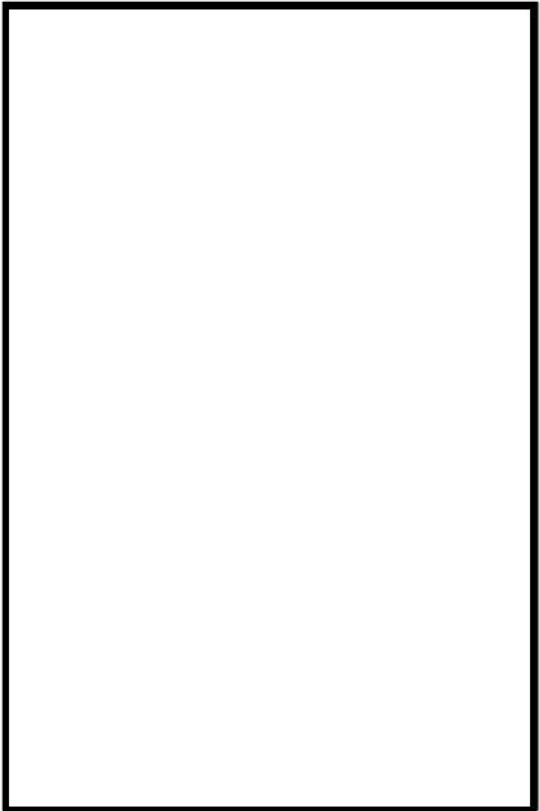

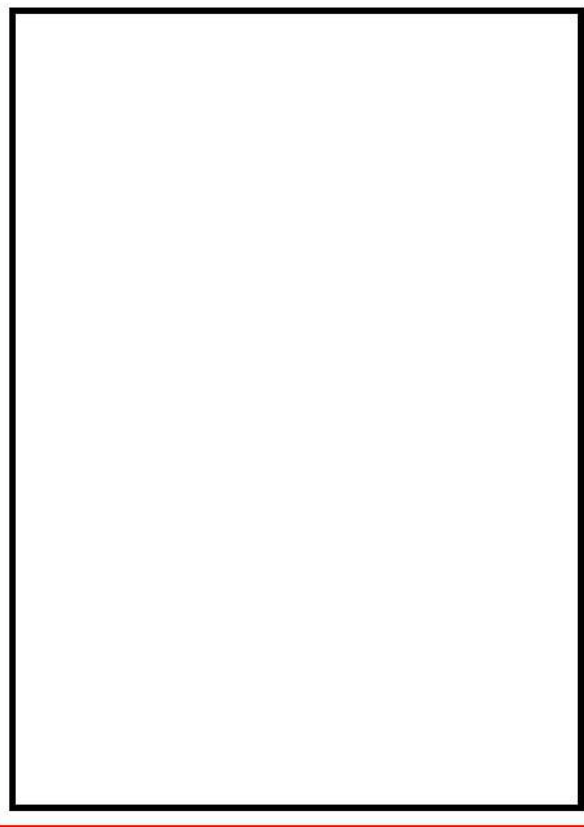

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大飯3, 4号機 照明配置図 (EL26. 0m、26. 1m)</p> 		 <p data-bbox="1355 1050 1926 1082">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1977 156 2085 177">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1977 188 2145 276">                     ■設計の相違                      建屋構造、機器配置及び設備の相違                 </p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

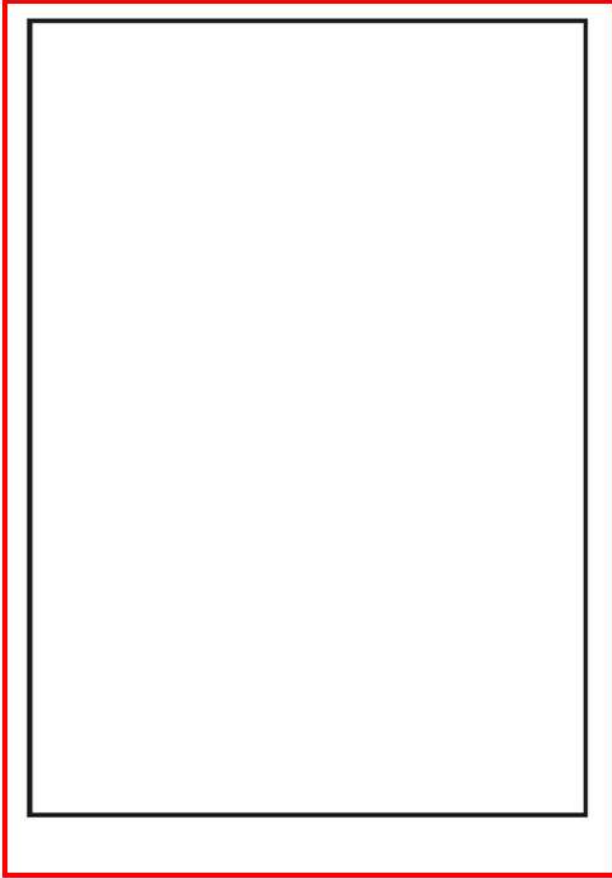
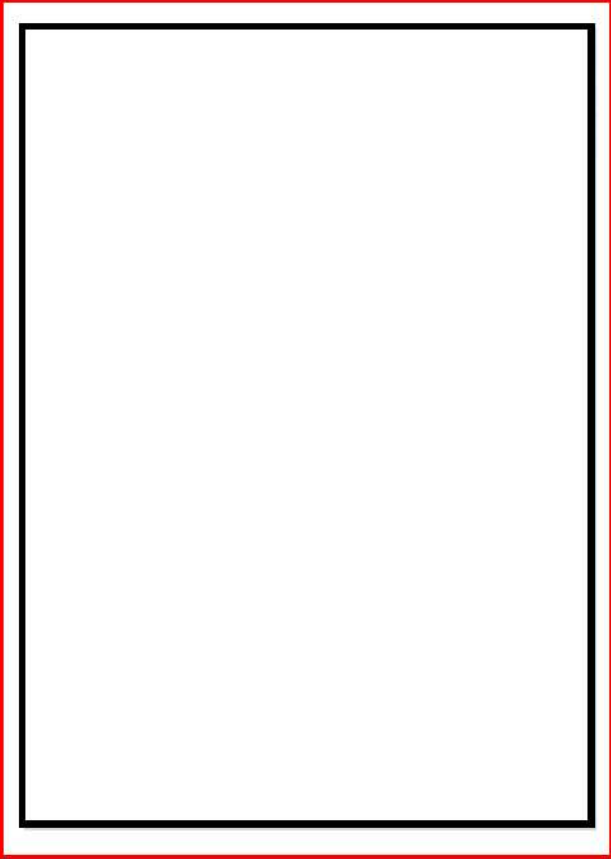
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">大飯3, 4号機 照明配置図 (EL33. 6m)</p> 		 <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

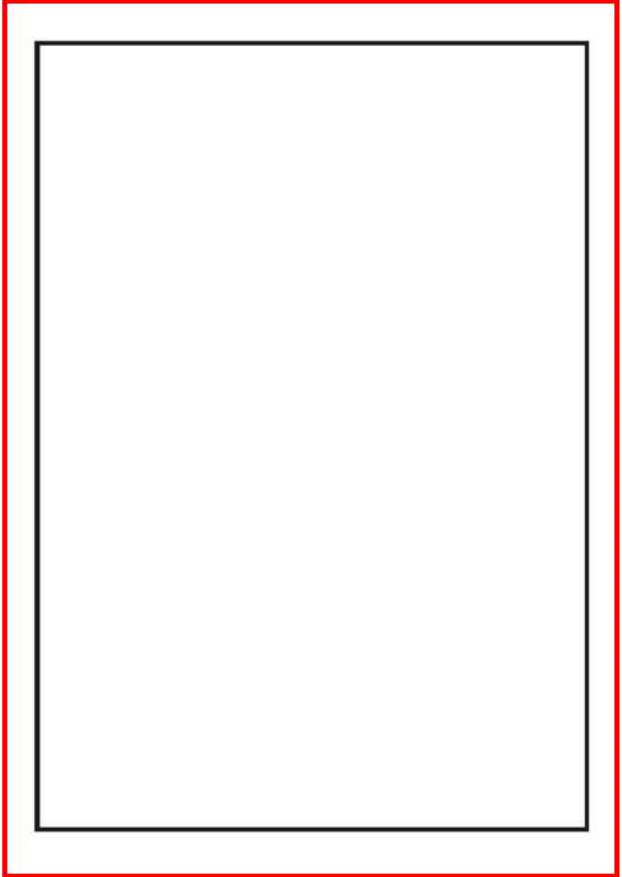
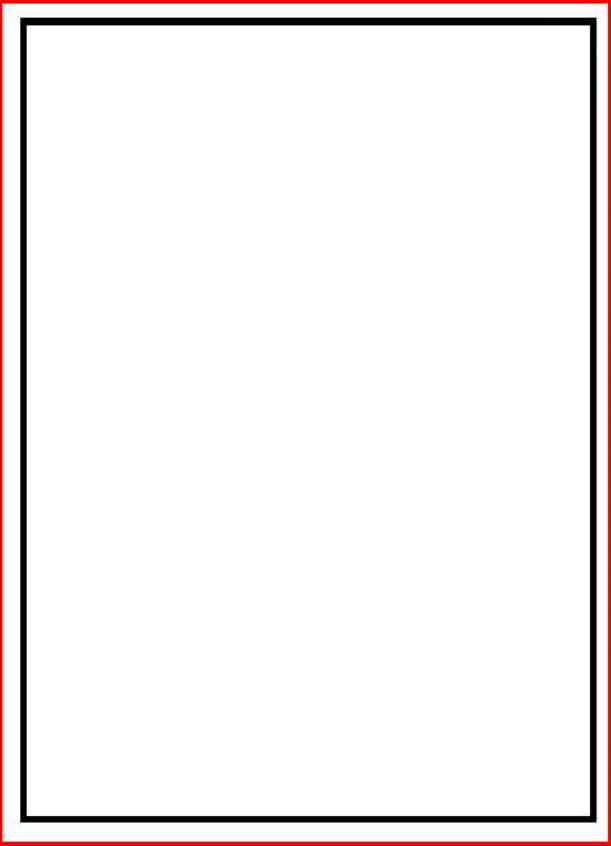

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

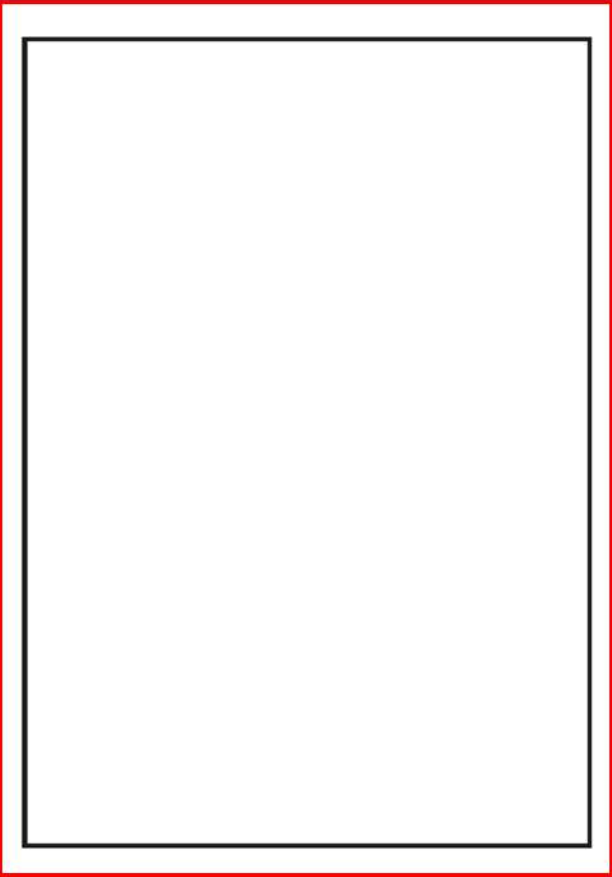
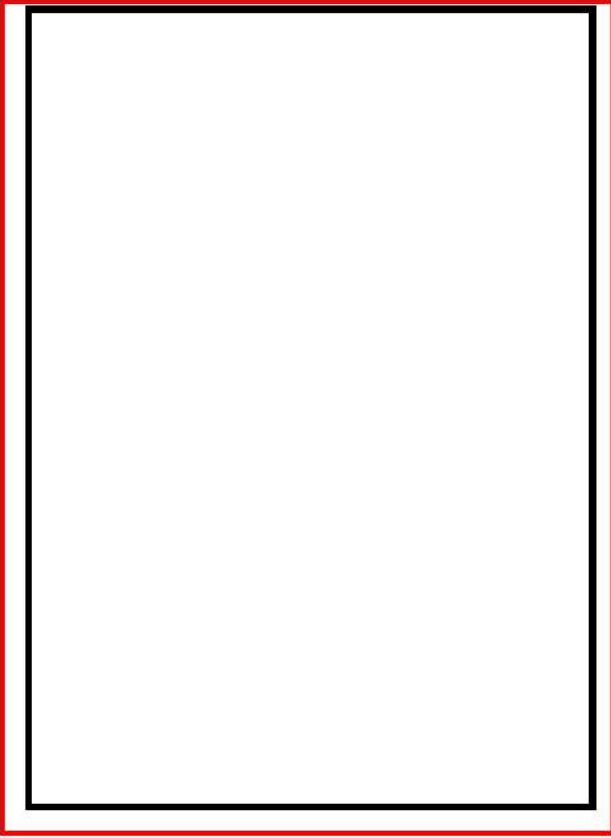

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1361 1066 1935 1094">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1977 156 2085 177">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1977 188 2085 209">■設計の相違</p> <p data-bbox="1977 220 2145 277">建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

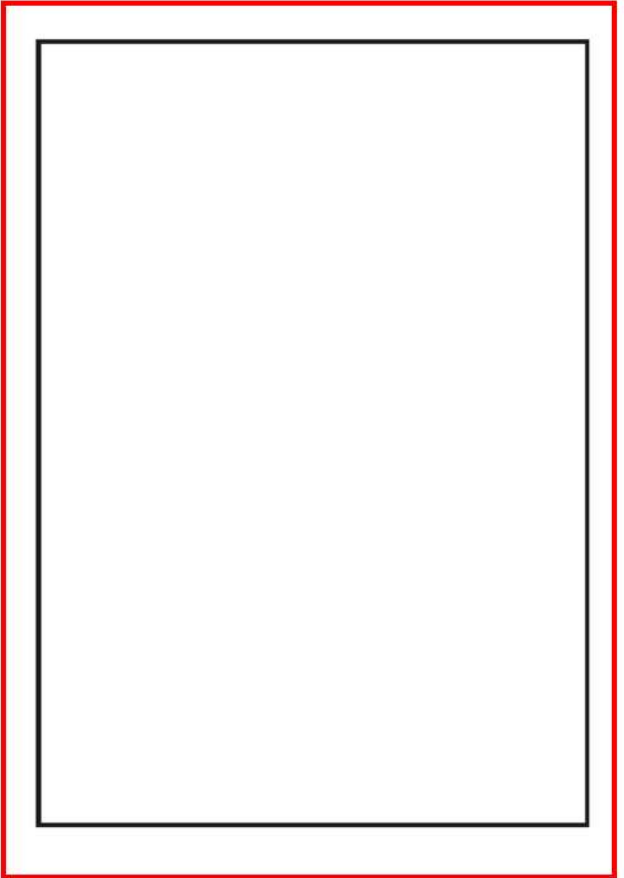
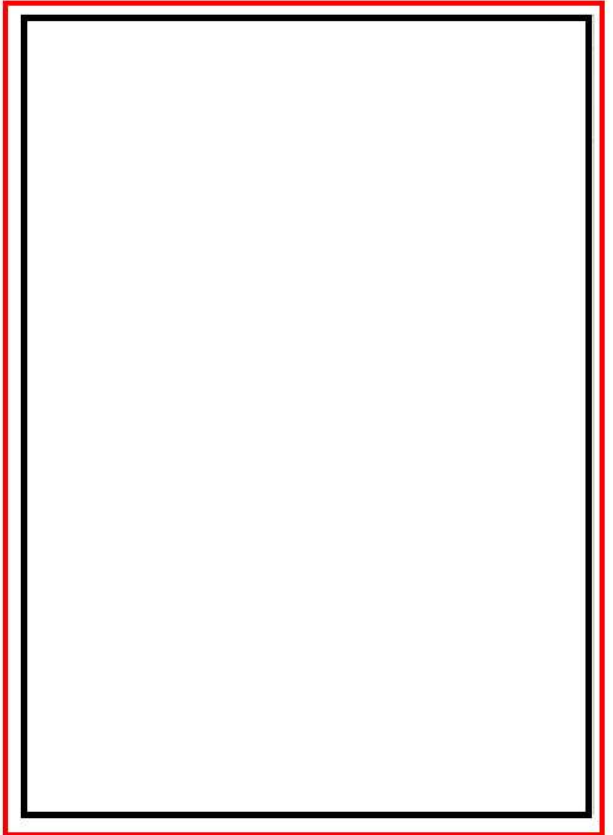

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

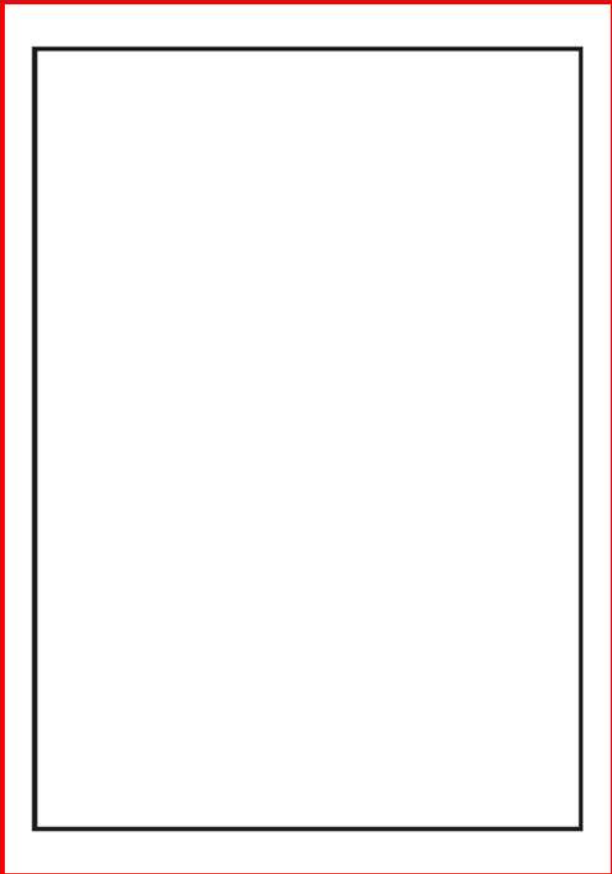
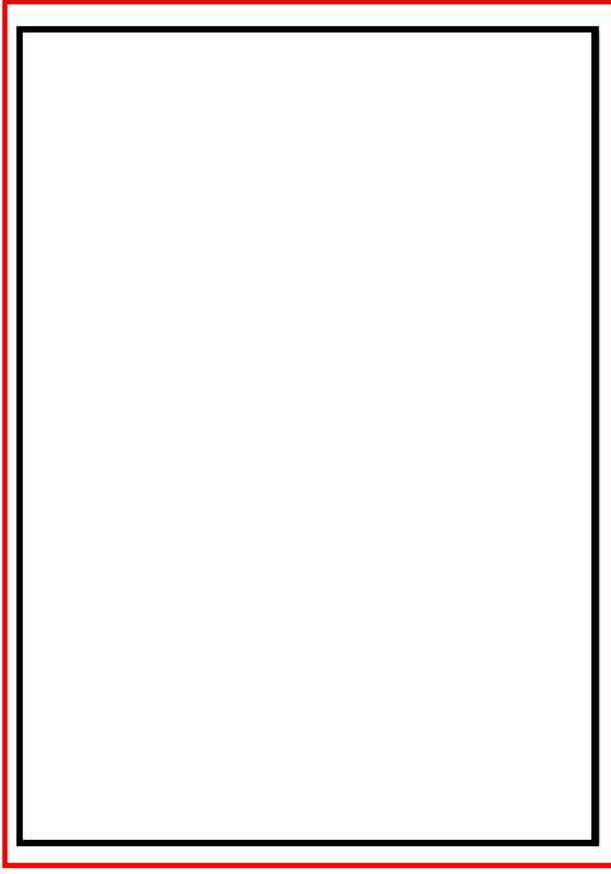

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

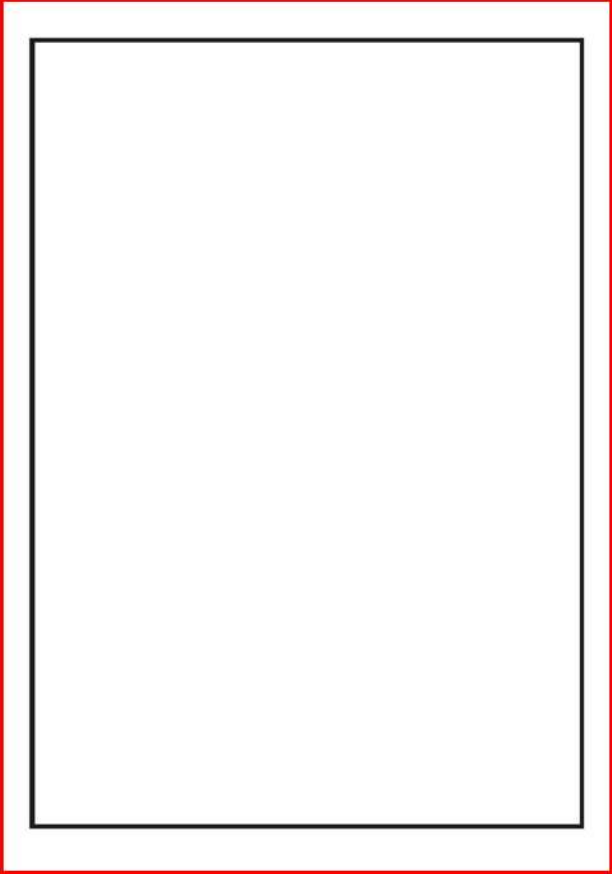
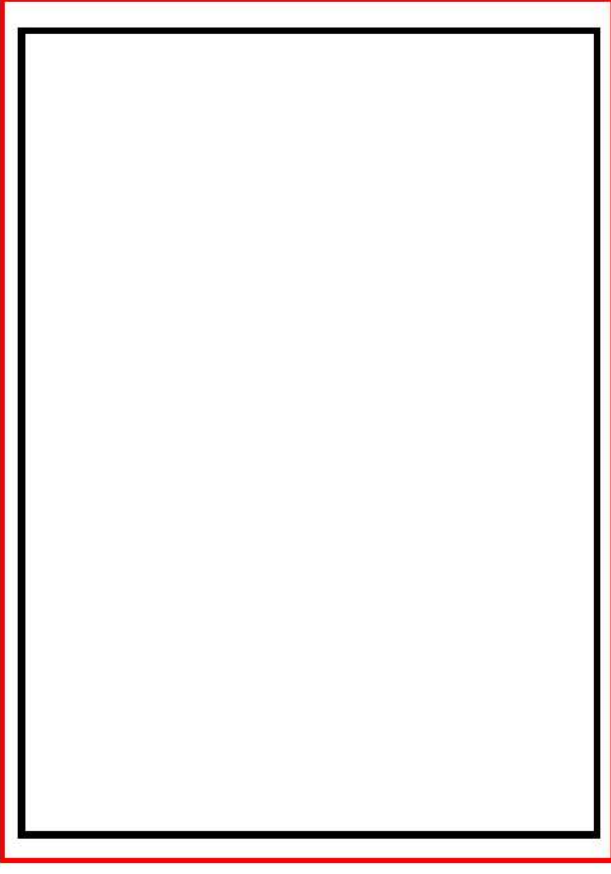

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

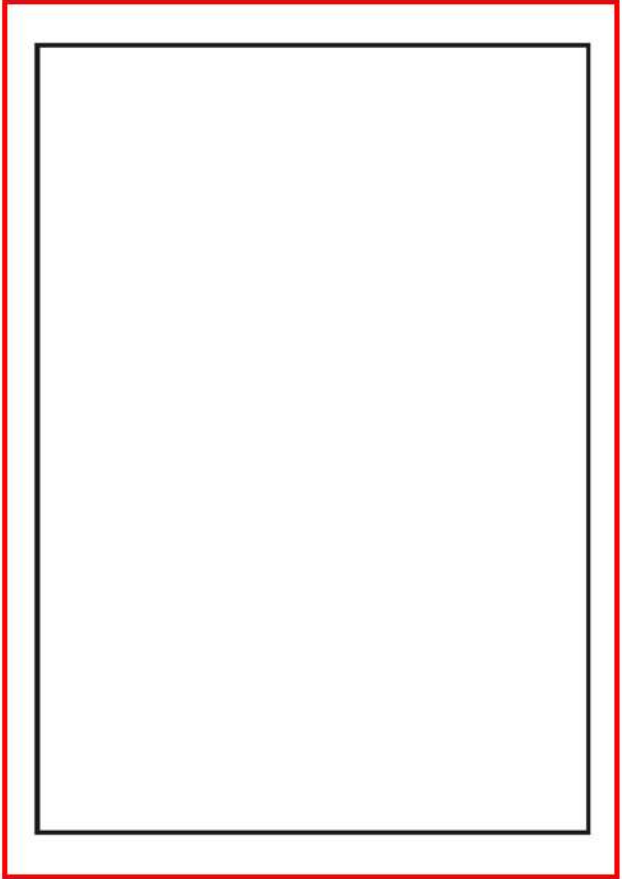
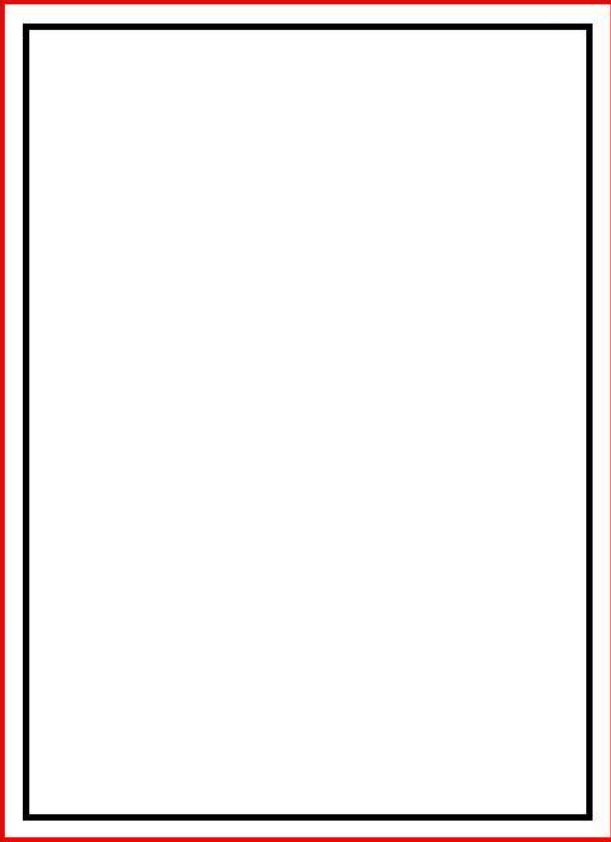

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。			



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

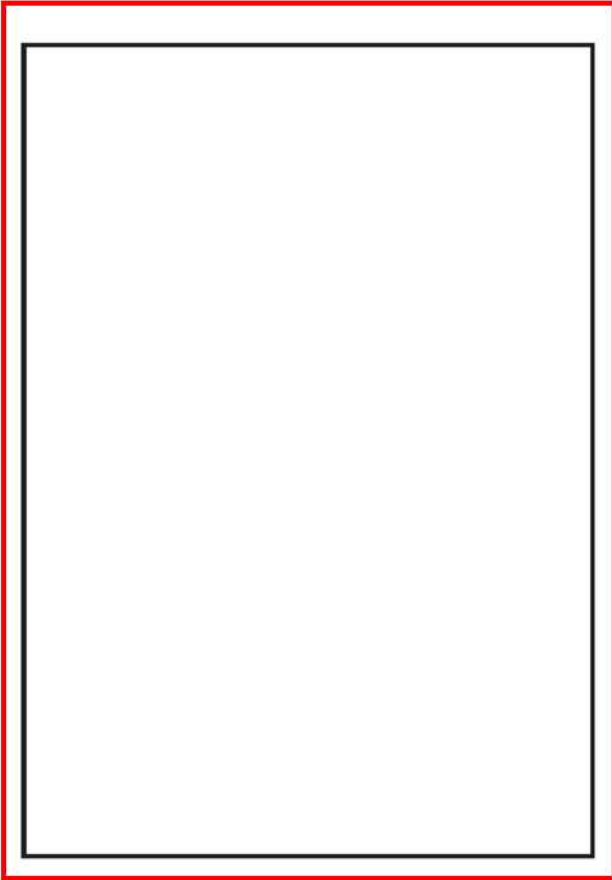
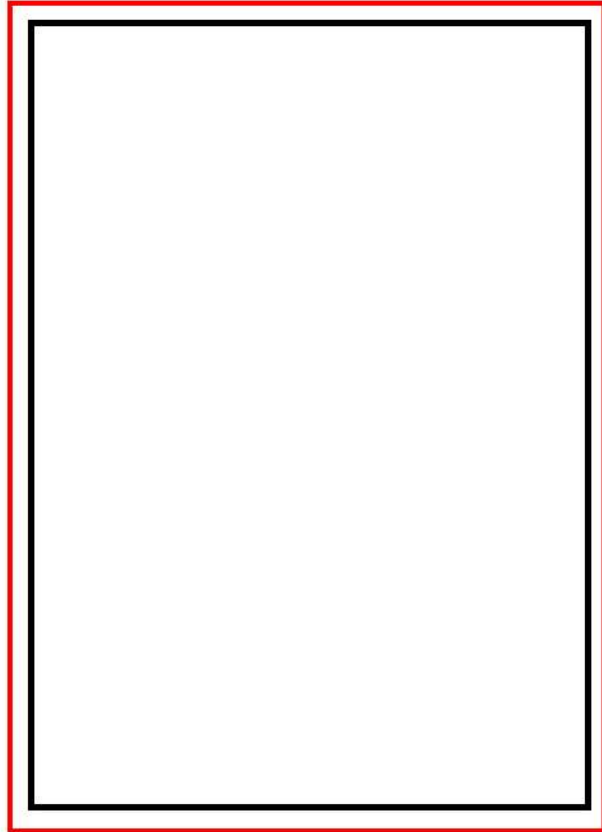

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違                      建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
		 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

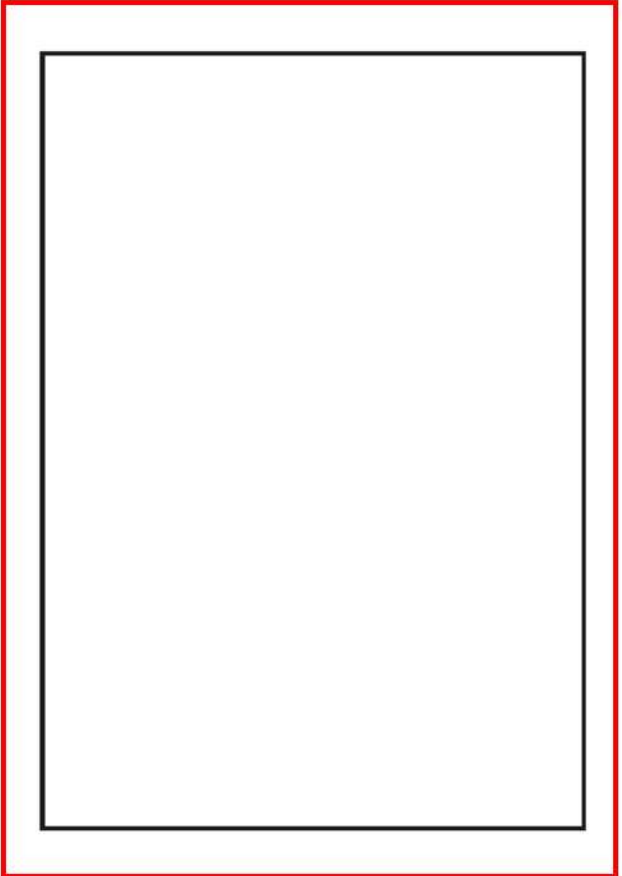
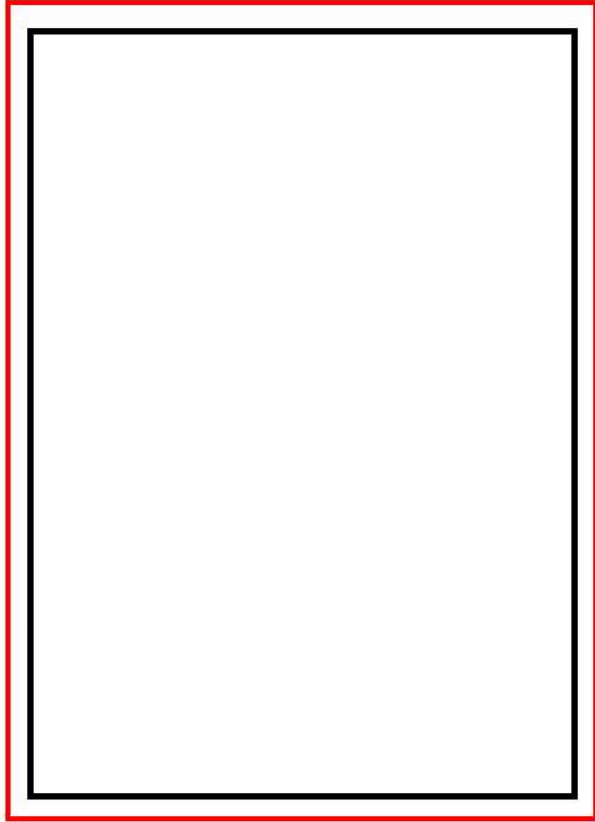

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

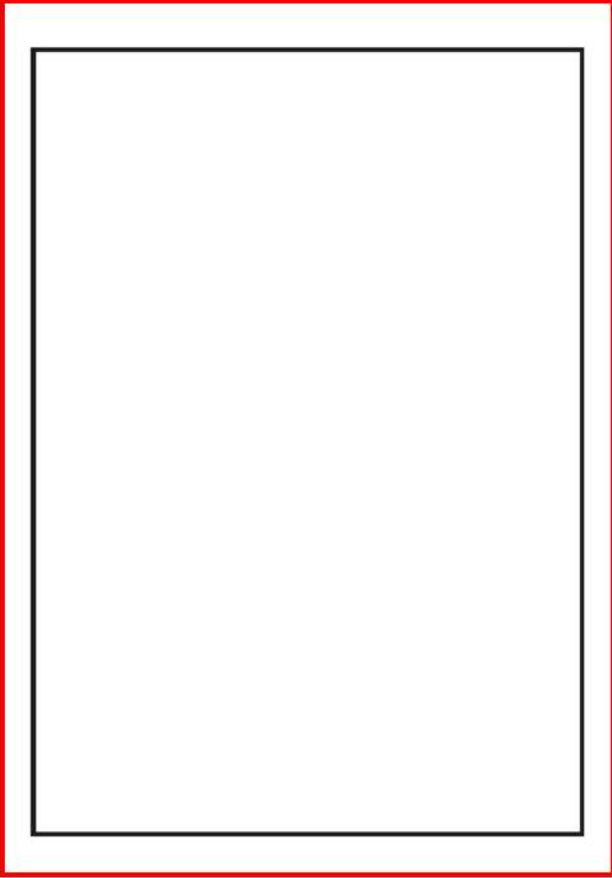
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1361 1018 1935 1045">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1980 156 2085 177">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1980 188 2085 209">■設計の相違</p> <p data-bbox="1980 220 2145 277">建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

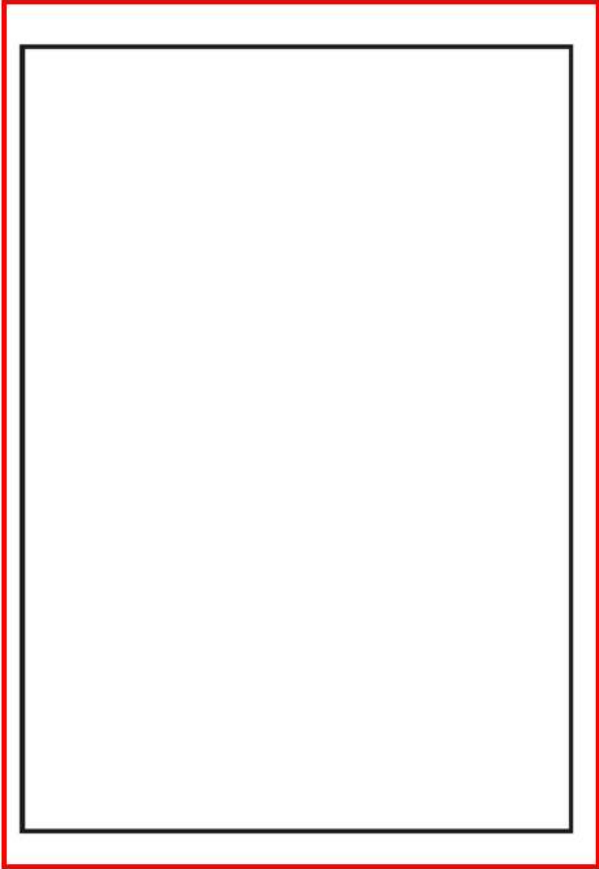
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

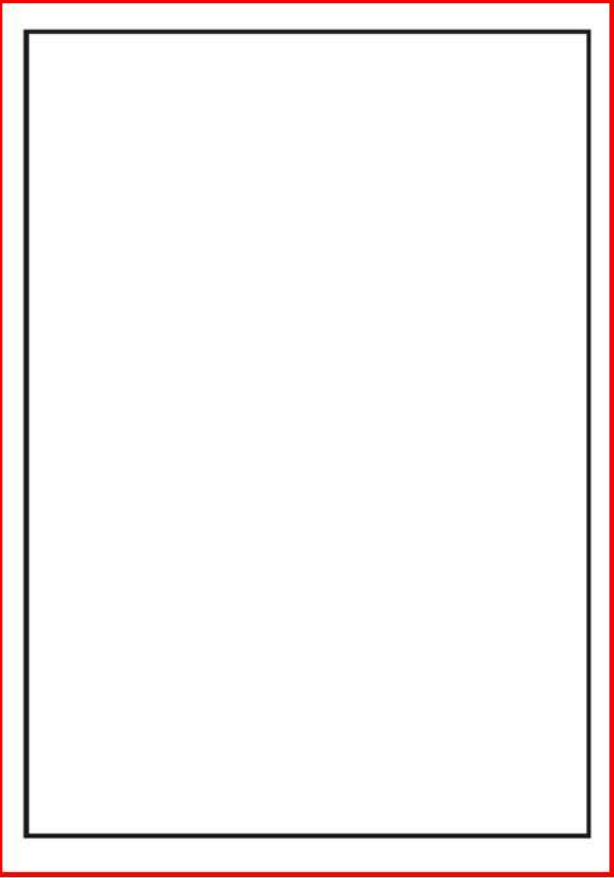
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

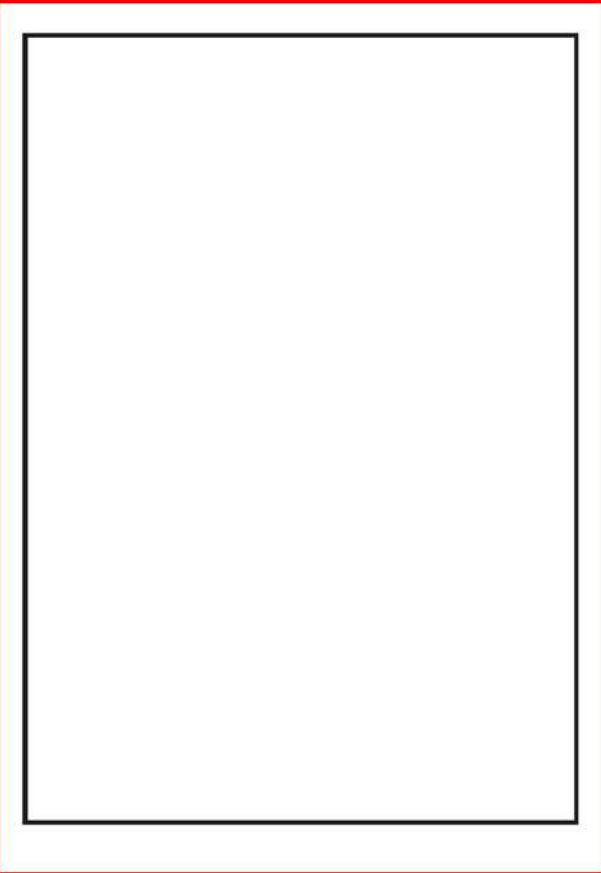
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

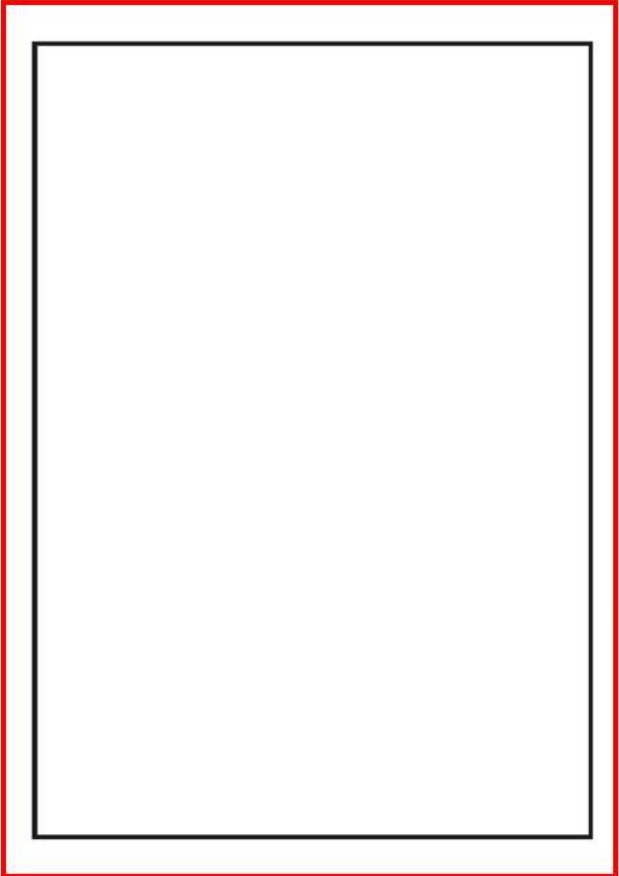
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

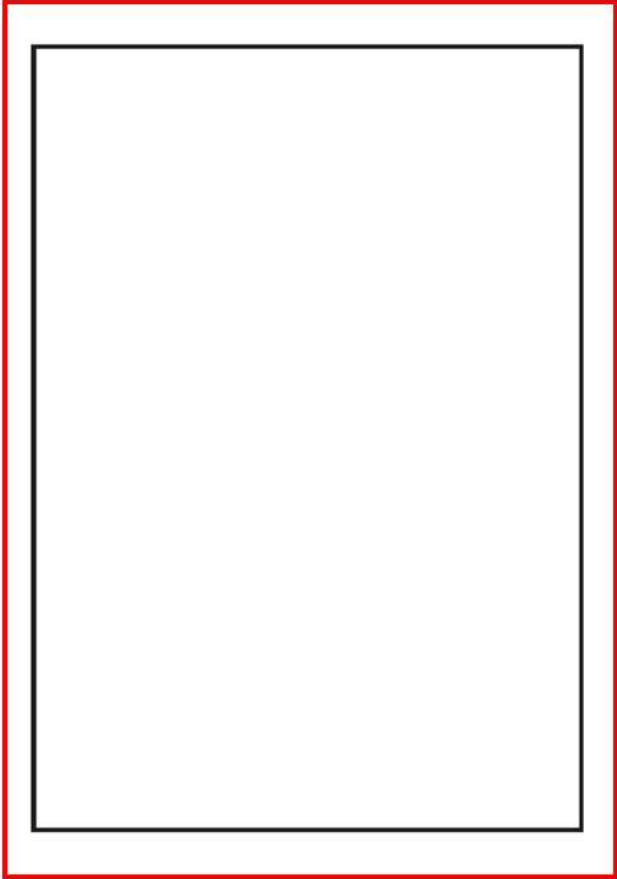
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

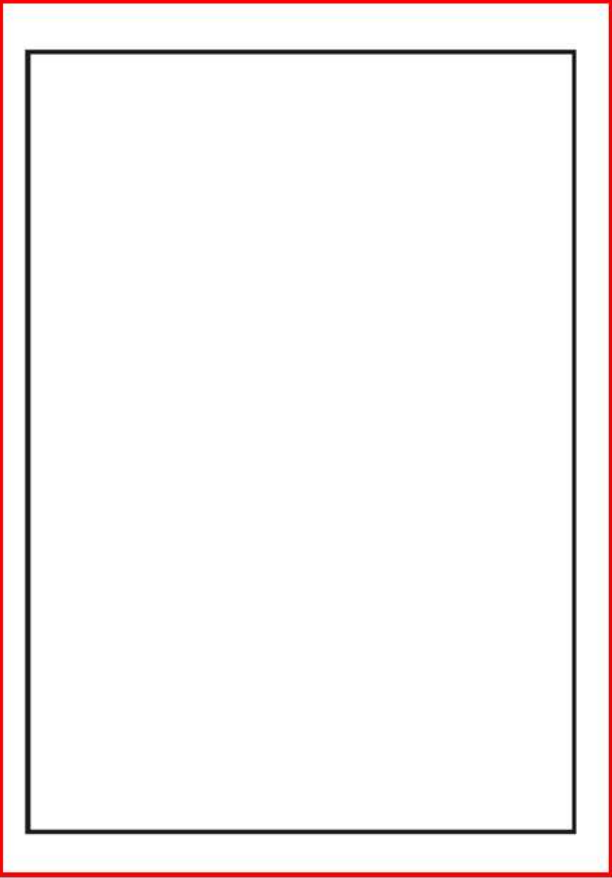
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 1px solid black; width: 90%; margin: 10px auto; height: 500px;"></div>		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

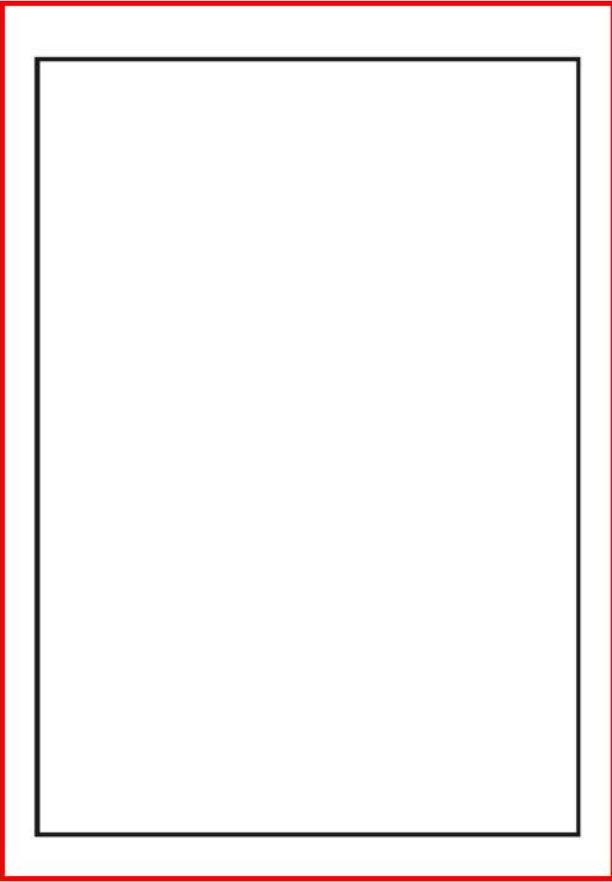
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

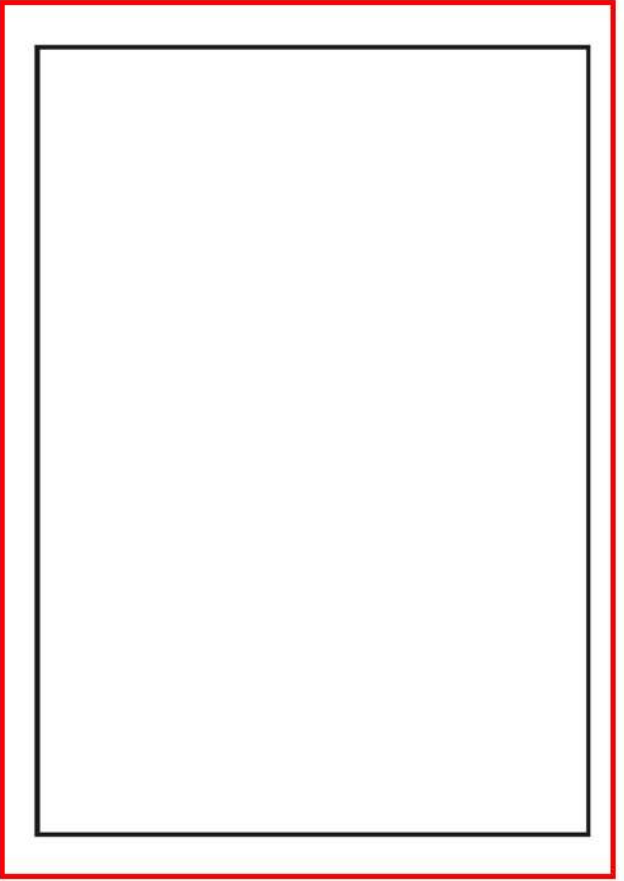
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

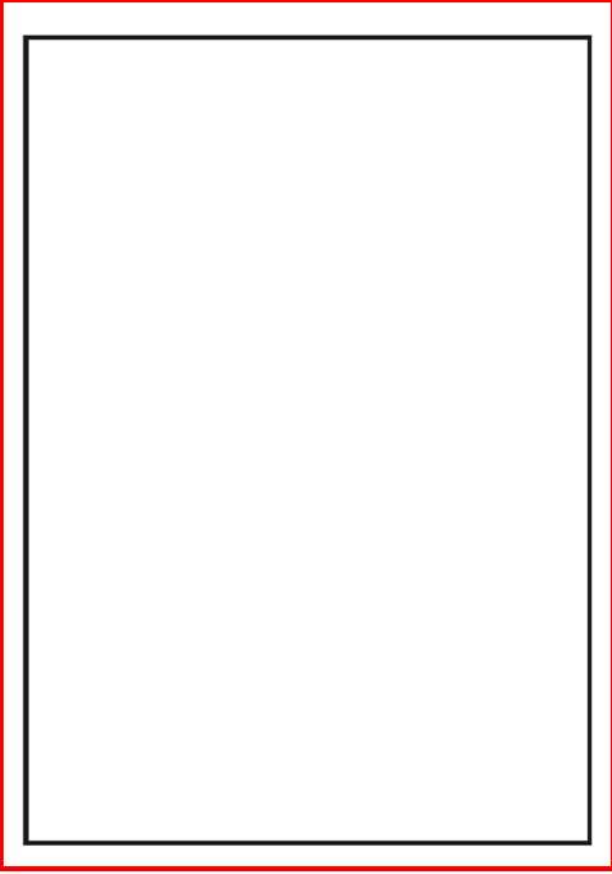
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

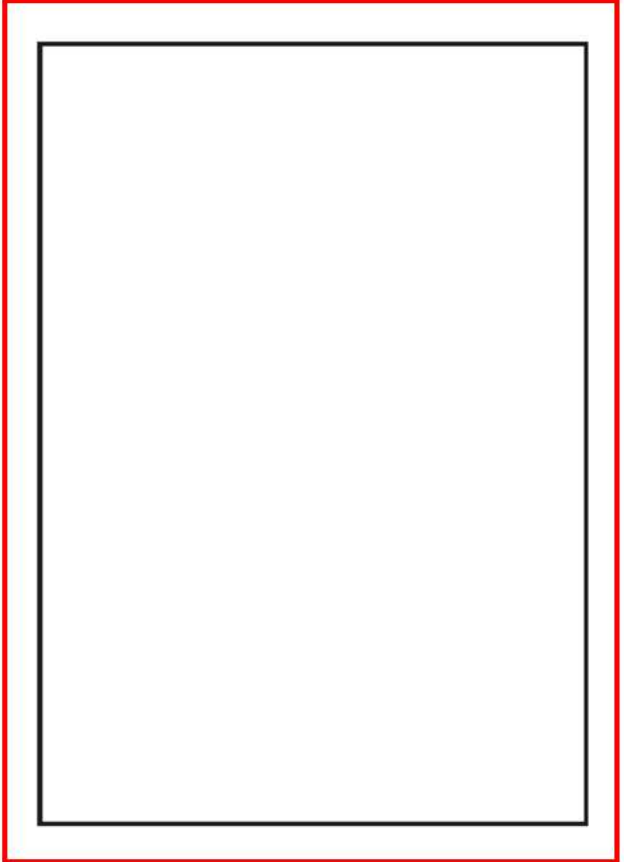
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div>		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>建屋構造、機器配置及び設備の相違</p>																																								
	<p style="text-align: center;">バッテリー内蔵型照明 仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>仕様</td><td>壁付 バッテリー内蔵 LED 照明</td></tr> <tr><td>出力電圧</td><td>DC12V</td></tr> <tr><td>出力電流</td><td>DC3.5A (最大)</td></tr> <tr><td>内蔵電池</td><td>リン酸鉄リチウムバッテリー</td></tr> <tr><td>非常用 LED 仕様</td><td>LED 消費電力：18W、LED 光束 1450lm</td></tr> <tr><td>非常照明動作時間</td><td>付属 LED 照明を 8 時間以上点灯可能</td></tr> <tr><td>入力電圧</td><td>AC210V</td></tr> <tr><td>内蔵電池充電方式</td><td>定電圧一定電流充電方式</td></tr> <tr><td>充電電圧</td><td>DC14V ± 10%</td></tr> <tr><td>充電電流</td><td>DC 4A ± 10%</td></tr> </table>	仕様	壁付 バッテリー内蔵 LED 照明	出力電圧	DC12V	出力電流	DC3.5A (最大)	内蔵電池	リン酸鉄リチウムバッテリー	非常用 LED 仕様	LED 消費電力：18W、LED 光束 1450lm	非常照明動作時間	付属 LED 照明を 8 時間以上点灯可能	入力電圧	AC210V	内蔵電池充電方式	定電圧一定電流充電方式	充電電圧	DC14V ± 10%	充電電流	DC 4A ± 10%	<p style="text-align: center;">バッテリー内蔵型照明 仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>仕様</td><td>バッテリー内蔵 LED 照明</td></tr> <tr><td>出力電圧</td><td>DC24V</td></tr> <tr><td>出力電流</td><td>DC687mA ± 10%</td></tr> <tr><td>内蔵電池</td><td>リン酸鉄リチウムイオンバッテリー</td></tr> <tr><td>非常用 LED 仕様</td><td>LED 消費電力：18W、LED 光束 2000lm</td></tr> <tr><td>非常照明動作時間</td><td>付属 LED 照明を 4 時間以上点灯可能</td></tr> <tr><td>入力電圧</td><td>AC100V-240V</td></tr> <tr><td>内蔵電池充電方式</td><td>定電圧一定電流充電方式</td></tr> <tr><td>充電電圧</td><td>DC10.8V ± 10%</td></tr> <tr><td>充電電流</td><td>DC200mA</td></tr> </table>	仕様	バッテリー内蔵 LED 照明	出力電圧	DC24V	出力電流	DC687mA ± 10%	内蔵電池	リン酸鉄リチウムイオンバッテリー	非常用 LED 仕様	LED 消費電力：18W、LED 光束 2000lm	非常照明動作時間	付属 LED 照明を 4 時間以上点灯可能	入力電圧	AC100V-240V	内蔵電池充電方式	定電圧一定電流充電方式	充電電圧	DC10.8V ± 10%	充電電流	DC200mA	<p>【女川】</p> <p>■設計の装置</p> <p>使用する照明器具の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違</p> <p>(女川実績の反映)</p>
仕様	壁付 バッテリー内蔵 LED 照明																																										
出力電圧	DC12V																																										
出力電流	DC3.5A (最大)																																										
内蔵電池	リン酸鉄リチウムバッテリー																																										
非常用 LED 仕様	LED 消費電力：18W、LED 光束 1450lm																																										
非常照明動作時間	付属 LED 照明を 8 時間以上点灯可能																																										
入力電圧	AC210V																																										
内蔵電池充電方式	定電圧一定電流充電方式																																										
充電電圧	DC14V ± 10%																																										
充電電流	DC 4A ± 10%																																										
仕様	バッテリー内蔵 LED 照明																																										
出力電圧	DC24V																																										
出力電流	DC687mA ± 10%																																										
内蔵電池	リン酸鉄リチウムイオンバッテリー																																										
非常用 LED 仕様	LED 消費電力：18W、LED 光束 2000lm																																										
非常照明動作時間	付属 LED 照明を 4 時間以上点灯可能																																										
入力電圧	AC100V-240V																																										
内蔵電池充電方式	定電圧一定電流充電方式																																										
充電電圧	DC10.8V ± 10%																																										
充電電流	DC200mA																																										

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-1 添付資料7 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における消火用非常用照明器具

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>■設計の装置                      使用する照明器具の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p>

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料1 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における潤滑油又は燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">参考資料2</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設の潤滑油及び燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について</p> <p>1. はじめに                      火災区域内に設置する油内包設備に使用している潤滑油及び燃料油は、その引火点が油内包機器を設置する室内温度よりも十分高く、機器運転時の温度よりも高いため、可燃性蒸気とならないことを以下のとおり確認した。</p> <p>2. 潤滑油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度                       火災区域内に設置する油内包機器に使用している潤滑油の引火点は約220～256℃であり、各火災区域の室内温度（空調設計上の上限値である室内設計温度：約40～50℃）及び機器運転時の潤滑油温度（運転時の最高使用温度：約66～115℃）に対し大きいことを確認した。                       下表に、主要な潤滑油内包機器に使用している潤滑油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度を示す。</p>	<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設における潤滑油又は燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について</p> <p>1. はじめに                      重大事故等対処施設を設置する火災区域内にある油内包設備に使用している潤滑油及び燃料油は、その引火点が油内包機器を設置する環境温度よりも高く、機器運転時の温度よりも高いため、可燃性蒸気とならないことを以下のとおり確認した。</p> <p>2. 潤滑油又は燃料油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度                      2.1. 常設代替交流電源設備                      2.1.1. 潤滑油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度                      油内包機器に使用している潤滑油の引火点は 270℃であり、ガスタービン発電機車内の環境温度（外気温40℃における運転中の発電機車内最高温度：約100℃）及び機器運転時の潤滑油温度（運転時の最高使用温度：165℃）に対し、大きいことを確認した。                       第1表に、主要な潤滑油内包機器に使用している潤滑油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度を示す。</p>	<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設における潤滑油又は燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について</p> <p>1. はじめに                      重大事故等対処施設を設置する火災区域内にある油内包設備に使用している潤滑油及び燃料油は、その引火点が油内包機器を設置する環境温度よりも高く、機器運転時の温度よりも高いため、可燃性蒸気とならないことを以下のとおり確認した。</p> <p>2. 潤滑油又は燃料油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度                      2.1. 常設代替交流電源設備                      2.1.1. 潤滑油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度                      油内包機器に使用している潤滑油の引火点は 200℃であり、代替非常用発電機車内の環境温度（外気温40℃における機器設備仕様上の最高温度：40℃）及び機器運転時の潤滑油温度（運転時の最高使用温度：109.5℃）に対し、大きいことを確認した。                       第1表に、主要な潤滑油内包機器に使用している潤滑油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度を示す。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</li> <li>【女川】</li> <li>■設備名称の相違</li> </ul> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違                      使用する潤滑油の相違</li> <li>【女川】</li> <li>■設備名称の相違</li> <li>【女川】</li> <li>■記載表現の相違                      女川のカスタービン発電機は発電機車と制御車に別れて構成されているのに対し、泊の代替非常用発電機はディーゼルエンジンと制御盤を1台の車内に設置し構成しているため、制御盤の最高使用温度を環境温度と記載している。</li> <li>【女川】</li> <li>■設備の相違                      運転時の最高使用温度の相違</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料1 泊発電所3号炉重大事故等対処施設における潤滑油又は燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p>表主要な潤滑油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度</p> <table border="1" data-bbox="94 172 526 507"> <thead> <tr> <th>潤滑油品種</th> <th>潤滑油内包機器</th> <th>引火点 [°C]</th> <th>室内温度 [°C]</th> <th>機器運転時の潤滑油温度 [°C]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コスモタービンスーパーE32</td> <td>余熱除去ポンプ、タービン動補助給水ポンプ、他</td> <td>220</td> <td>40</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>コスモオルパス100</td> <td>充電ポンプ、他</td> <td>248</td> <td>40</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>コスモタービンスーパー68</td> <td>制御用空気圧縮機、他</td> <td>246</td> <td>34</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>コスモマリン4010</td> <td>ディーゼル発電機、他</td> <td>256</td> <td>40</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 燃料油の引火点及び室内温度                      火災区域内にて使用する燃料油であるA重油の引火点は約60°Cであり、ディーゼル発電機室の室内設計温度である40°Cに対し大きいことを確認した。</p>	潤滑油品種	潤滑油内包機器	引火点 [°C]	室内温度 [°C]	機器運転時の潤滑油温度 [°C]	コスモタービンスーパーE32	余熱除去ポンプ、タービン動補助給水ポンプ、他	220	40	115	コスモオルパス100	充電ポンプ、他	248	40	80	コスモタービンスーパー68	制御用空気圧縮機、他	246	34	89	コスモマリン4010	ディーゼル発電機、他	256	40	66	<p>第1表：主要な潤滑油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度</p> <table border="1" data-bbox="721 183 1182 290"> <thead> <tr> <th>潤滑油品種</th> <th>潤滑油内包機器</th> <th>引火点 [°C]</th> <th>環境温度 [°C]</th> <th>機器運転時の潤滑油温度 [°C]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガスタービン潤滑油</td> <td>高設代替交流電源設備</td> <td>270</td> <td>100</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table> <p>2.1.2. 燃料油の引火点及び環境温度                      運転中はパッケージ換気ファンにより発電機車内を換気しているため、外気温40°Cにおける運転中のガスタービン燃料供給部分付近は、軽油の引火点45°C以下となる。</p>	潤滑油品種	潤滑油内包機器	引火点 [°C]	環境温度 [°C]	機器運転時の潤滑油温度 [°C]	ガスタービン潤滑油	高設代替交流電源設備	270	100	165	<p>第1表：主要な潤滑油の引火点、環境温度及び機器運転時の温度</p> <table border="1" data-bbox="1352 183 1966 268"> <thead> <tr> <th>潤滑油品種</th> <th>潤滑油内包機器</th> <th>引火点 [°C]</th> <th>環境温度 [°C]</th> <th>機器運転時の潤滑油温度 [°C]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディーゼルエンジン油</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>200</td> <td>40</td> <td>109.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>2.1.2. 燃料油の引火点及び環境温度                      運転中は機関付き冷却ファンにより発電機車内を換気しているため、外気温40°Cにおける運転中の代替非常用発電機燃料供給部分付近は、軽油の引火点45°C以下となる。</p>	潤滑油品種	潤滑油内包機器	引火点 [°C]	環境温度 [°C]	機器運転時の潤滑油温度 [°C]	ディーゼルエンジン油	代替非常用発電機	200	40	109.5	<p>【大阪】                      ■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【女川】                      ■設備の相違                      使用する潤滑油及び設備の相違</p> <p>【女川】                      ■記載表現の相違                      ■設備名称の相違</p>
潤滑油品種	潤滑油内包機器	引火点 [°C]	室内温度 [°C]	機器運転時の潤滑油温度 [°C]																																												
コスモタービンスーパーE32	余熱除去ポンプ、タービン動補助給水ポンプ、他	220	40	115																																												
コスモオルパス100	充電ポンプ、他	248	40	80																																												
コスモタービンスーパー68	制御用空気圧縮機、他	246	34	89																																												
コスモマリン4010	ディーゼル発電機、他	256	40	66																																												
潤滑油品種	潤滑油内包機器	引火点 [°C]	環境温度 [°C]	機器運転時の潤滑油温度 [°C]																																												
ガスタービン潤滑油	高設代替交流電源設備	270	100	165																																												
潤滑油品種	潤滑油内包機器	引火点 [°C]	環境温度 [°C]	機器運転時の潤滑油温度 [°C]																																												
ディーゼルエンジン油	代替非常用発電機	200	40	109.5																																												

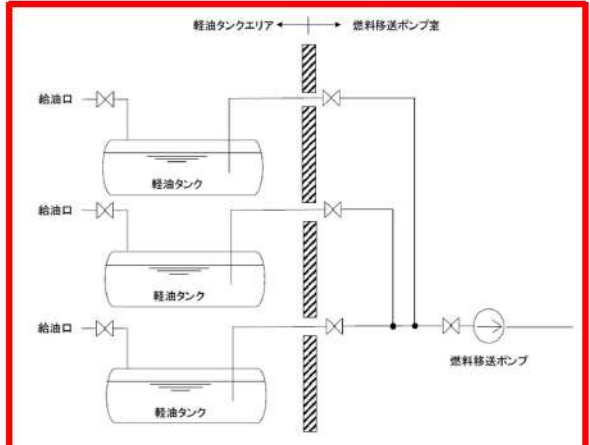
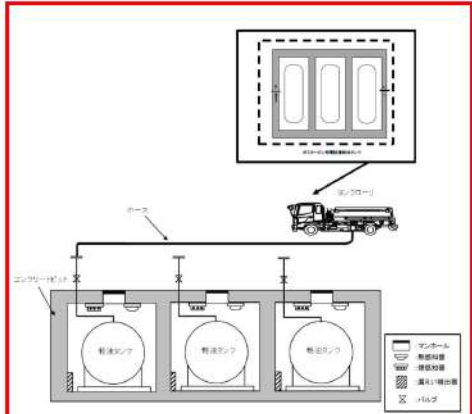
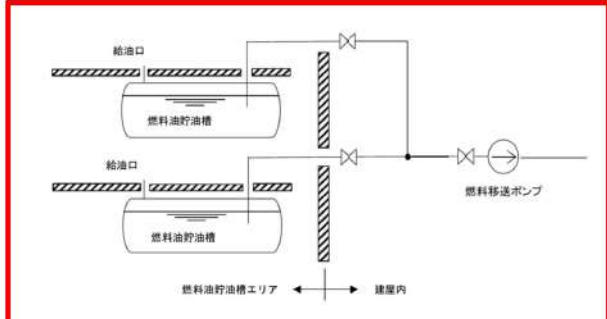


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

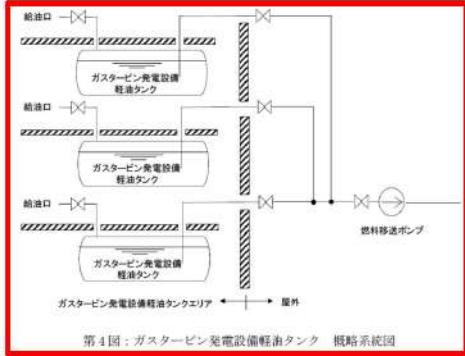
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉 参考資料2	泊発電所3号炉 参考資料2	相違理由
	<p>女川原子力発電所 2号炉 軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの構造について</p> <p>1. 概要                      (1) 軽油タンク                      軽油タンクは、屋外地下貯蔵式の横置円筒型のタンクである。                      非常用ディーゼル発電設備軽油タンク (A) 系及び (B) 系は、タンク1基の容量が110m<sup>3</sup>であり、1ピット内にタンク3基 (合計容量330 m<sup>3</sup>) を連結して設置する設計である。また、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクは、タンク1基の容量が170m<sup>3</sup>であり、1ピット内にタンク1基を設置する設計である。                      軽油タンクの概要及び給油イメージを第1図、概略系統図を第2図に示す。</p>  <p>第1図：軽油タンクの構造及び給油イメージ (A-A' 矢視)</p>	<p>泊発電所 3号炉 ディーゼル発電機燃料油貯油槽の構造について</p> <p>1. 概要                      (1) ディーゼル発電機燃料油貯油槽                      ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、屋外地下貯蔵式の横置円筒型のタンクである。                      ディーゼル発電機燃料油貯油槽 (A) 系及び (B) 系は、タンク1基の容量が146m<sup>3</sup>であり、1ピットに1基ずつ合計2基 (合計容量292m<sup>3</sup>) を連結して設置する設計である。                      ディーゼル発電機燃料油貯油槽の概要及び給油イメージを第1図、系統概要図を第2図に示す。</p>  <p>第2図：ディーゼル発電機燃料油貯油槽 系統概要図</p>	<p>【女川】                      ■設備名称の相違</p> <p>【女川】                      ■設備名称の相違</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      泊はA系B系それぞれに1ピット1基ずつ合計2基 (292m<sup>3</sup>) の貯油槽を有する設計。また、女川の高圧炉心スプレイ計ディーゼル発電設備軽油タンクと同等の燃料タンクは有していない。</p> <p>【女川】                      ■記載表現の相違</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      燃料タンクの構造及び構成の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第2図：軽油タンク燃料移送系 概略系統図</p> <p>(2) ガスタービン発電設備軽油タンク                  ガスタービン発電設備軽油タンクは、屋外地下貯蔵式の横置円筒型のタンクである。                  ガスタービン発電設備軽油タンクは、タンク1基の容量が110m<sup>3</sup>であり、各ピットに1基ずつ、合計3基(合計容量330 m<sup>3</sup>)を連結して設置する設計である。ガスタービン発電設備軽油タンクの概要及び給油イメージを第3図、概略系統図を第4図に示す。</p>  <p>第3図：ガスタービン発電設備軽油タンクの構造及び給油イメージ (A-A'矢視)</p>	 <p>第2図：ディーゼル発電機燃料油貯油槽 概略系統図</p>	<p>【女川】                  ■設計の相違                  燃料タンクの構成及び系統の相違</p> <p>【女川】                  ■設計の相違                  泊は該当するタンクがディーゼル発電機燃料油貯油槽のみである。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第4図：ガスタービン発電設備軽油タンク 概略系統図</p> <p>2. 火災防護対策及びメンテナンス性について</p> <p>軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは、危険物の規制に関する政令第13条に基づく地下タンク貯蔵所である。地下タンク貯蔵所はタンク周囲に乾燥砂をつめることが規定されているが、定期的にタンク本体及び付属配管の点検のためにタンク室内に入室可能な構造とすることから、危険物の規制に関する政令第23条に基づく申請により乾燥砂を不要な設計とするため、以下の対策を実施する。</p>	<p>2. 火災防護対策及びメンテナンス性について</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、危険物の規制に関する政令第13条に基づく地下タンク貯蔵所である。地下タンク貯蔵所はタンク周囲に乾燥砂をつめることが規定されているため、ディーゼル発電機燃料油貯油槽の周囲に乾燥砂を敷き詰めている。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、以下の火災防護対策を実施する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は該当するタンクがディーゼル発電機燃料油貯油槽のみである。</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の燃料油貯油槽は政令第23条に基づく申請をせず、周辺に乾燥砂を敷き詰めている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料2 泊発電所3号炉ディーゼル発電機燃料油貯油槽の構造について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・軽油タンク室内に異なる2種類の火災感知器（防爆型）を設置し火災を早期に発見する。</p> <p>・軽油タンク室内に漏えい検出器を設置し、軽油漏えいを早期に発見する。</p> <p>・定期的（月1回）に軽油タンク室を開放し、室内空気を局所排風機にて強制換気することにより可燃性蒸気の滞留を防止する。</p> <p>なお、軽油タンクエリアに入域するためのマンホールは止水対策を行うことにより、外部からの流入を阻止することで、溢水浮力による影響を防止する設計である。</p>	<p>・燃料油貯油槽外部マンホール内の空間部に煙感知器（防爆型）、燃料油貯油槽内に熱感知器（防爆型）の異なる2種類の火災感知器を設置し火災を早期に発見する。</p> <p>・燃料油貯油槽タンク室内に漏えい検査管を設置し、定期的（週1回）に検査する。</p>	<p>【女川】                      ■設備名称の相違                      【女川】                      ■設計相違                      感知器の設置位置の相違。</p> <p>【女川】                      ■設備名称の相違                      【女川】                      ■設計の相違                      泊の燃料油貯油槽は、危険物関する規則第23条第1項第2号に基づき、漏えい検査管を設け、定期的に検査を実施することとしている。</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      泊の燃料油貯油槽は、危険物関する政令第13条第1項第2号に基づき、地下タンクとタンク室内の内側の間の空間を乾燥砂で敷き詰めていることから、強制換気はしていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																		
【対応資料なし】	<p>参考資料3</p> <p>女川原子力発電所 2号炉 緊急時対策建屋の火災防護対策の特徴について</p> <p>1. はじめに 女川原子力発電所2号炉の緊急時対策建屋について、重大事故等に対処するために必要な機能を有する構築物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、火災発生防止、火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じる。緊急時対策建屋の火災防護対策の主な特徴について以下に示す。</p> <p>2. 緊急時対策建屋の火災防護対策 2.1. 火災防護対象機器 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設として、常設重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備及び当該設備に使用しているケーブルを火災防護対象とする。火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を第1表に示す。</p> <div data-bbox="728 817 1326 1316" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内) (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">居住性の確保 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策所</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所遮断</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所非常用送風機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所非常用給排気装置</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所非常用給排気配管・弁 (配線)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所加圧設備 (配管・弁) (配線)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">電源の確保 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策所高圧母線 2F 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所経済タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所燃料移送系 配管・弁 (燃料送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用高圧母線 3F 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線」系配線 (配線)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「電源車給油口 (緊急時対策建屋)～緊急時対策所用高圧母線」系配線 (配線)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：以下の対策を実施する設計とする。                  ①火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策                  ②消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</p> </div>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考	61	居住性の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所	①		緊急時対策所遮断	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	緊急時対策所非常用送風機	①		緊急時対策所非常用給排気装置	①		緊急時対策所非常用給排気配管・弁 (配線)	①		緊急時対策所加圧設備 (配管・弁) (配線)	①		61	電源の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所高圧母線 2F 系	①		緊急時対策所経済タンク	①		緊急時対策所燃料移送系 配管・弁 (燃料送路)	①		緊急時対策所用高圧母線 3F 系	①		「ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線」系配線 (配線)	①		「電源車給油口 (緊急時対策建屋)～緊急時対策所用高圧母線」系配線 (配線)	①		<p>参考資料3</p> <p>泊発電所 3号炉 緊急時対策所の火災防護対策の特徴について</p> <p>1. はじめに 泊発電所3号炉の緊急時対策所について、重大事故等に対処するために必要な機能を有する構築物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、火災発生防止、火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じる。緊急時対策所の火災防護対策の主な特徴について以下に示す。</p> <p>2. 緊急時対策所の火災防護対策 2.1. 火災防護対象機器 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設として、常設重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備及び当該設備に使用しているケーブルを火災防護対象とする。火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を第1表に示す。</p> <div data-bbox="1415 817 1904 1449" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">居住性の確保 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策所</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所遮断扉等</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所非常用送風機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬性非常用排気装置 (ファン) (配線)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気供給装置配管・弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力計</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">電源の確保 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策所ケーブル送給機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所非常用配電盤 (配電)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯留槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油系統配管・弁 (燃料送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯留槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">62</td> <td rowspan="6">必要設備の確保</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料油貯留槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料油移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料油系統配管・弁 (燃料送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料油貯留槽 (燃料送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">62</td> <td rowspan="6">通信設備 (緊急時対策所)</td> <td>通信機設備 (消防用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信機設備 (FAX)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インターネット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (制御所・待機所用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>統合電子防犯ネットワークを用いた遠隔監視設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>監視機設備 (緊急用カメラ) (配電)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：許容限本体を示すため計器名を記載                  ①火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策                  ②消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</p> </div>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考	61	居住性の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所	①		緊急時対策所遮断扉等	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	緊急時対策所非常用送風機	①		可搬性非常用排気装置 (ファン) (配線)	①		空気供給装置配管・弁	①		圧力計	①		61	電源の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所ケーブル送給機	①		緊急時対策所非常用配電盤 (配電)	①		ディーゼル発電機燃料油貯留槽	①		ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①		ディーゼル発電機燃料油系統配管・弁 (燃料送路)	①		ディーゼル発電機燃料油貯留槽	①		62	必要設備の確保	ディーゼル発電機	①		ディーゼル発電機	①		燃料油貯留槽	①		燃料油移送ポンプ	①		燃料油系統配管・弁 (燃料送路)	①		燃料油貯留槽 (燃料送路)	①		62	通信設備 (緊急時対策所)	通信機設備 (消防用)	①		通信機設備 (FAX)	①		インターネット	①		テレビ会議システム (制御所・待機所用)	①		統合電子防犯ネットワークを用いた遠隔監視設備	①		監視機設備 (緊急用カメラ) (配電)	①		<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考																																																																																																																																	
61	居住性の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所遮断	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																	
		緊急時対策所非常用送風機	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所非常用給排気装置	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所非常用給排気配管・弁 (配線)	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所加圧設備 (配管・弁) (配線)	①																																																																																																																																		
61	電源の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所高圧母線 2F 系	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所経済タンク	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所燃料移送系 配管・弁 (燃料送路)	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所用高圧母線 3F 系	①																																																																																																																																		
		「ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線」系配線 (配線)	①																																																																																																																																		
		「電源車給油口 (緊急時対策建屋)～緊急時対策所用高圧母線」系配線 (配線)	①																																																																																																																																		
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考																																																																																																																																	
61	居住性の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所遮断扉等	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																	
		緊急時対策所非常用送風機	①																																																																																																																																		
		可搬性非常用排気装置 (ファン) (配線)	①																																																																																																																																		
		空気供給装置配管・弁	①																																																																																																																																		
		圧力計	①																																																																																																																																		
61	電源の確保 (緊急時対策所)	緊急時対策所ケーブル送給機	①																																																																																																																																		
		緊急時対策所非常用配電盤 (配電)	①																																																																																																																																		
		ディーゼル発電機燃料油貯留槽	①																																																																																																																																		
		ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①																																																																																																																																		
		ディーゼル発電機燃料油系統配管・弁 (燃料送路)	①																																																																																																																																		
		ディーゼル発電機燃料油貯留槽	①																																																																																																																																		
62	必要設備の確保	ディーゼル発電機	①																																																																																																																																		
		ディーゼル発電機	①																																																																																																																																		
		燃料油貯留槽	①																																																																																																																																		
		燃料油移送ポンプ	①																																																																																																																																		
		燃料油系統配管・弁 (燃料送路)	①																																																																																																																																		
		燃料油貯留槽 (燃料送路)	①																																																																																																																																		
62	通信設備 (緊急時対策所)	通信機設備 (消防用)	①																																																																																																																																		
		通信機設備 (FAX)	①																																																																																																																																		
		インターネット	①																																																																																																																																		
		テレビ会議システム (制御所・待機所用)	①																																																																																																																																		
		統合電子防犯ネットワークを用いた遠隔監視設備	①																																																																																																																																		
		監視機設備 (緊急用カメラ) (配電)	①																																																																																																																																		



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
	<p data-bbox="719 151 1171 167">前1頁：火災による損傷の防止(火災防護対策) (P.22)</p> <table border="1" data-bbox="719 167 1171 427"> <thead> <tr> <th>図説本文</th> <th>図説内容</th> <th>主要設備</th> <th>相違</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61</td> <td>必要な情報の把握</td> <td>緊急バックアップ制御システム (BPCS)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">通信連絡 (緊急時対策所)</td> <td>無線連絡設備 (固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線電話設備 (固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (伝送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (無線アンテナ) (伝送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (無線アンテナ) (伝送路)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1010 395 1160 427">注：以下の内容は図説本文に記述がない。              ①：図説本文に記載されている設備と一致する。              ②：図説本文に記載されていない設備と一致する。              ③：図説本文に記載されている設備と一致しない。</p> <p data-bbox="719 459 913 483">2.2. 火災区域の設定</p> <p data-bbox="719 491 1335 619">緊急時対策建屋について、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域を設定する。緊急時対策建屋の配置、火災区域設定例、緊急時対策所の断面についてそれぞれ第1, 2, 3図に示す。</p>  <p data-bbox="857 1031 1025 1046">第1図 緊急時対策建屋の配置</p>	図説本文	図説内容	主要設備	相違	備考	61	必要な情報の把握	緊急バックアップ制御システム (BPCS)	①		61	通信連絡 (緊急時対策所)	無線連絡設備 (固定型)	①		無線電話設備 (固定型)	①		緊急原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	①		無線連絡設備 (伝送路)	①		無線連絡設備 (無線アンテナ) (伝送路)	①		無線連絡設備 (無線アンテナ) (伝送路)	①		<p data-bbox="1350 459 1545 483">2.2. 火災区域の設定</p> <p data-bbox="1350 491 1975 619">緊急時対策所について、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域を設定する。緊急時対策所の配置、火災区域設定例、緊急時対策所の断面についてそれぞれ第1, 2, 3図に示す。</p>  <p data-bbox="1574 1038 1704 1054">第1図 緊急時対策所の配置</p>	<p data-bbox="1982 459 2136 515">【女川】 ■設備名称の相違</p>
図説本文	図説内容	主要設備	相違	備考																													
61	必要な情報の把握	緊急バックアップ制御システム (BPCS)	①																														
61	通信連絡 (緊急時対策所)	無線連絡設備 (固定型)	①																														
		無線電話設備 (固定型)	①																														
		緊急原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	①																														
		無線連絡設備 (伝送路)	①																														
		無線連絡設備 (無線アンテナ) (伝送路)	①																														
		無線連絡設備 (無線アンテナ) (伝送路)	①																														



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第2図 火災区域設定例</p>	<p>第2図 火災区域設定例</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>緊急時対策所の構造の相違</p>
	<p>第3図 緊急時対策所の断面</p>	<p>第3図 緊急時対策所の断面</p>	
	<p>2.3. 火災の発生防止対策</p> <p>緊急時対策建屋の火災発生防止対策の主な対策箇所として、以下について示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時対策所軽油タンク</li> <li>バッテリー室 (緊急時対策建屋)</li> <li>緊急対策室換気設備</li> </ul>	<p>2.3. 火災の発生防止対策</p> <p>緊急時対策所の火災発生防止対策の主な対策箇所として、以下について示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時対策所換気設備</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の同等設備は緊急時対策所用発電機 (屋外) に軽油を供給する可搬型タンクローリーである。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の同等設備は全交流動力電源喪失時の代替電源である代替非常用発電機等であり、バッテリーは使用していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>2.3.1. 緊急時対策所軽油タンクへの火災発生防止対策</p> <p>緊急時対策所軽油タンクは、堰を設置し、漏えいした燃料油が拡大することを防止する設計とする。</p> <p>緊急時対策所軽油タンクの火災により、重大事故等に対処する機能が損なわれないよう、緊急時対策所軽油タンクと重大事故等対処施設は、壁等の設置及び離隔による配置上の考慮を行う設計とする。</p> <p>緊急時対策所軽油タンクは、タンクの容量（約10m<sup>3</sup>×3基）に対して、電源車（緊急時対策所用）を7日間連続運転するために必要な量（約16.8m<sup>3</sup>）を考慮した容量を貯蔵する設計とする。</p> <p>2.3.2. バッテリー室（緊急時対策建屋）の水素への火災発生防止対策</p> <p>水素を内包する設備を設置するバッテリー室（緊急時対策建屋）は、非常用母線から給電される換気設備による機械換気を行うことにより水素濃度が燃焼限界濃度以下となるように設計する。（第2表）また、水素の漏えいを検知できるように水素濃度検出器を設置する設計とする。（第3表）バッテリー室（緊急時対策建屋）は、充電時において蓄電池から水素が発生するおそれがあることから、当該区域に可燃物を持ち込まないこととする。</p> <p>また、バッテリー室（緊急時対策建屋）の上部に水素濃度検出器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の1/4以下の濃度にて、中央制御室に警報を発報する設計とする。</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の同等設備は緊急時対策所用発電機（屋外）に軽油を供給する可搬型タンクローリーであり、軽油タンクはない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の同等設備は全交流動力電源喪失時の代替電源である代替非常用発電機等であり、緊急時対策所にバッテリーは設置していない。</p>									
	<p>第2表：水素を内包する設備を設置する火災区域の換気設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水素を内包する設備を設置する場所</th> <th>換気設備</th> <th>耐震クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バッテリー (A) 室 (緊急時対策建屋)</td> <td>常・非常用送風機</td> <td>C (Ss機能維持)</td> </tr> <tr> <td>バッテリー (B) 室 (緊急時対策建屋)</td> <td>常・非常用送風機</td> <td>C (Ss機能維持)</td> </tr> </tbody> </table>	水素を内包する設備を設置する場所	換気設備	耐震クラス	バッテリー (A) 室 (緊急時対策建屋)	常・非常用送風機	C (Ss機能維持)	バッテリー (B) 室 (緊急時対策建屋)	常・非常用送風機	C (Ss機能維持)		
水素を内包する設備を設置する場所	換気設備	耐震クラス										
バッテリー (A) 室 (緊急時対策建屋)	常・非常用送風機	C (Ss機能維持)										
バッテリー (B) 室 (緊急時対策建屋)	常・非常用送風機	C (Ss機能維持)										
	<p>第3表：水素濃度検出器の設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水素を内包する設備を設置する場所</th> <th>水素検出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バッテリー (A) 室 (緊急時対策建屋)</td> <td>水素濃度検知器を設置</td> </tr> <tr> <td>バッテリー (B) 室 (緊急時対策建屋)</td> <td>水素濃度検知器を設置</td> </tr> </tbody> </table>	水素を内包する設備を設置する場所	水素検出方法	バッテリー (A) 室 (緊急時対策建屋)	水素濃度検知器を設置	バッテリー (B) 室 (緊急時対策建屋)	水素濃度検知器を設置					
水素を内包する設備を設置する場所	水素検出方法											
バッテリー (A) 室 (緊急時対策建屋)	水素濃度検知器を設置											
バッテリー (B) 室 (緊急時対策建屋)	水素濃度検知器を設置											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.3.3. 緊急対策室の換気設備</p> <p>緊急対策室は、非常時には他エリアから隔離し、専用の非常用送風機により非常用フィルタを通じて外気を直接給気する設計としており、他エリアからの煙の影響を受けない設計とする。</p> <p>2.4. 火災の感知及び消火</p> <p>2.4.1. 感知設備選定の基本的な考え方</p> <p>重大事故等対処施設を設置する緊急時対策建屋の火災区域には、基本的に火災発生時に炎が生じる前の発煙段階から感知できる煙感知器を設置し、その他、蒸気及びガスの発生により煙感知器が誤作動する可能性のある火災区域には、熱感知器を設置する。</p> <p>さらに、「固有の信号を発する異なる種類の火災感知器」の設置要求を満足するため、既存の火災感知器に加えて熱感知器又は煙感知器を組み合わせて設置する。設置にあたっては、消防法に準じた設置条件で設置する。</p> <p>これらの組合せは、平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式とする。</p> <p>周囲の環境条件から、アナログ式の熱感知器又は煙感知器を設置することが適さない箇所の火災感知器等の例として以下を示す。なお、重大事故等対処施設を設置する火災区域のうち、建屋内に設置する火災感知器設備については作動した火災感知器を一つずつ特定できる機能を有する設計とする。</p>	<p>2.3.1. 緊急時対策所の換気設備</p> <p>緊急時対策所は、非常時には可搬型新設緊急時対策所空気浄化ファン及び可搬型新設緊急時対策所空気浄化フィルタユニットによる緊急時対策所への給気を停止し、手動ダンパにより隔離するとともに、空気供給装置により緊急時対策所を正圧化し、外気の流入を完全に遮断可能な設計としており、他エリアからの煙の影響を受けない設計とする。</p> <p>2.4. 火災の感知及び消火</p> <p>2.4.1. 感知設備選定の基本的な考え方</p> <p>重大事故等対処施設を設置する緊急時対策所の火災区域には、</p> <p>「固有の信号を発する異なる種類の火災感知器」の設置要求を満足するため、熱感知器と煙感知器を組み合わせて設置する。設置にあたっては、消防法に準じた設置条件で設置する。</p> <p>これらの組合せは、平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式とする。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>換気設備の構成及び非常時の対応の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の緊急時対策所は指揮所、待機所でそれぞれ1つの建屋であり、複数の部屋を持つ女川の緊急時対策建屋とは異なる。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は感知器の追設はせず、初めから2種類の感知器を設置している。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の緊急時対策所は、アナログ式の熱感知器及びアナログ式の煙感知器を設置することが適さない箇所がないため、当該の記載はない。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>○蓄電池室</p> <p>蓄電池室は、蓄電池充電中に少量の水素を発生することから、換気空調設備を設置しており、安定した室内環境を維持しているが、万が一の水素濃度の上昇を考慮し、防爆型煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。</p> <p>防爆型の煙感知器及び熱感知器は非アナログ式しか製造されていないが、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型煙感知器はアナログ式煙感知器と同様に、炎が生じる前の発煙段階から煙の早期感知が可能である。</p> <p>また、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型熱感知器については、蓄電池室は換気空調設備により安定した室内環境を維持していることから、通常の熱感知器と同様、周囲温度を考慮した作動温度を設定することによって、早期の火災感知及び誤作動の防止を図る。</p> <p>2.4.2. 消火設備選定の基本的な考え方</p> <p>重大事故等対処施設を設置する緊急時対策建屋の火災区域は、基本的に「煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となる火災区域」として設定し、自動消火設備（全域ガス消火設備）を設置し、消火活動が困難とならない火災区域については、消火器を設置する。</p> <p>①全域ガス消火設備</p> <p>消火活動が困難となる火災区域は、原則として全域ガス消火設備（ハロン 1301）を設置する。（火災源は電源盤、油内包機器、水素内包機器）消火活動が困難となる火災区域のうち、緊急時対策所の全域ガス消火設備の起動回路は以下の設計とする。</p>	<p>2.4.2. 消火設備選定の基本的な考え方</p> <p>重大事故等対処施設を設置する緊急時対策所は、「煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となる火災区域」として設定し、自動消火設備（全域ガス消火設備）を設置する。</p> <p>①全域ガス消火設備</p> <p>緊急時対策所は全域ガス消火設備（ハロン 1301）を設置する。（火災源は電源盤）緊急時対策所の全域ガス消火設備の起動回路は以下の設計とする。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の同等設備は全交流動力電源喪失時の代替電源である代替非常用発電機等であり、緊急時対策所に蓄電池は設置していない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の緊急時対策所は1つの火災区域のみであり、複数の部屋がある女川の緊急時対策建屋とは記載が異なる。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の緊急時対策所は1つの火災区域のみであり、複数の部屋がある女川の緊急時対策建屋とは記載が異なる。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>想定する火災源の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


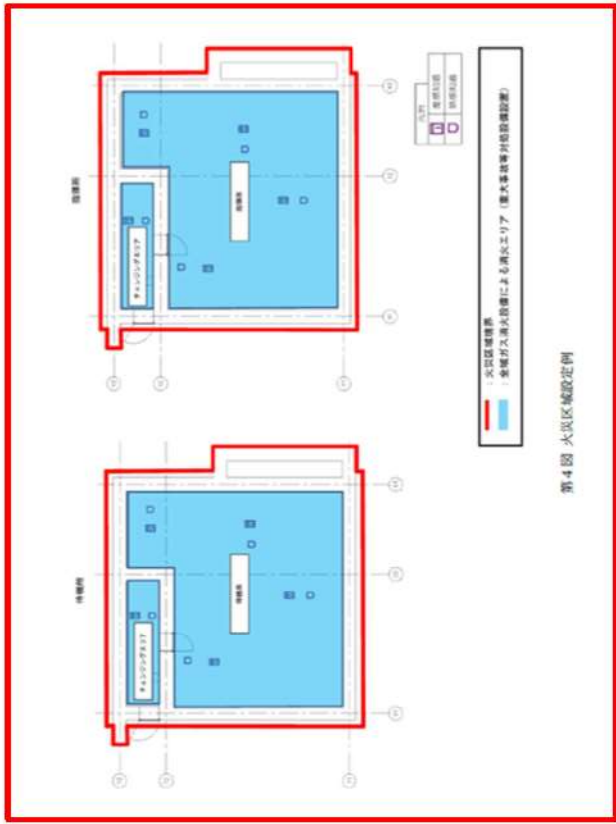
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・緊急時対策所（緊急対策室、SPDS 室）及び空調機械室は常時人がいない部屋となることから、全域ガス消火設備の起動回路は自動とする。</p> <p>・重大事故等が発生した場合は重大事故等対策要員が滞在することから、緊急時対策所（緊急対策室、SPDS 室）及び空調機械室の全域ガス消火設備の起動回路は手動とし、火災時には滞在する人員が消火器による消火を行う設計とする。</p> <p>②消火器                      消火活動が困難とならない以下の火災区域は消火器を設置する。                      a. 火災が発生したとしても煙が大気へ開放される屋外等の火災区域                       b. 設置される可燃物の状況等から、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満の可能性は低いと判断できる火災区域</p> <p>2.4.3. 火災感知器及び消火設備の部屋別設置状況                      緊急時対策建屋における火災感知器及び消火設備の部屋別設置状況について第4表に示す。また、緊急時対策建屋配置図について第4図に示す。</p>	<p>・緊急時対策所は常時人がいないことから、全域ガス消火設備の起動回路は自動とする。</p> <p>・重大事故等が発生した場合は重大事故等対策要員が滞在することから、緊急時対策所の全域ガス消火設備の起動回路は手動とし、火災時には滞在する人員が消火器による消火を行う設計とする。</p> <p>2.4.3. 火災感知器及び消火設備の設置状況                      緊急時対策所における火災感知器及び消火設備の部屋別設置状況について第2表に示す。また、緊急時対策建屋配置図について第4図に示す。</p>	<p>【女川】                      ■設備名称の相違</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      泊は緊急時対策所全域が自動起動の対象である。</p> <p>【女川】                      ■設備名称の相違</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      泊の緊急時対策所の火災区画は指揮所、待機所のみであり、消火困難箇所として全域ガス消火設備を設置することから、消火困難とならない区域はない。</p> <p>【女川】                      ■設計の相違                      泊の緊急時対策所は1つの火災区域のみであり、複数の部屋がある女川の緊急時対策建屋とは記載が異なる。</p> <p>【女川】                      ■設備名称の相違</p>





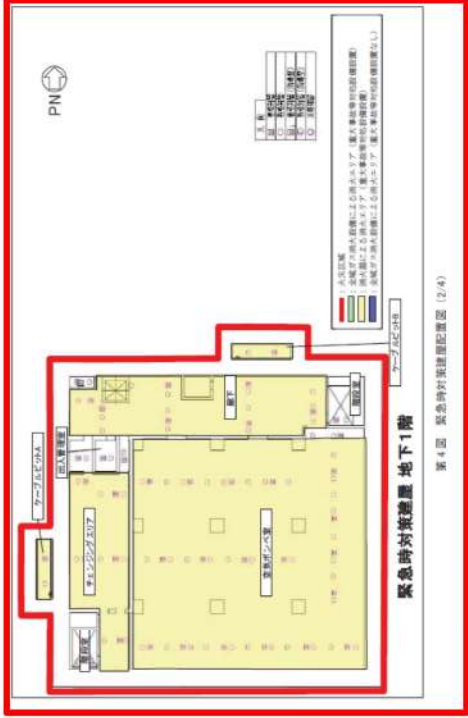


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>緊急時対策施設 地下2階</p> <p>第4図 緊急時対策施設配置図 (1/4)</p>	 <p>第4図 火災区域設定例</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料3 泊発電所3号炉緊急時対策所の火災防護対策の特徴について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>緊急時対策室 地下1階</p> <p>第41条 緊急時対策室配置図(2/4)</p>		

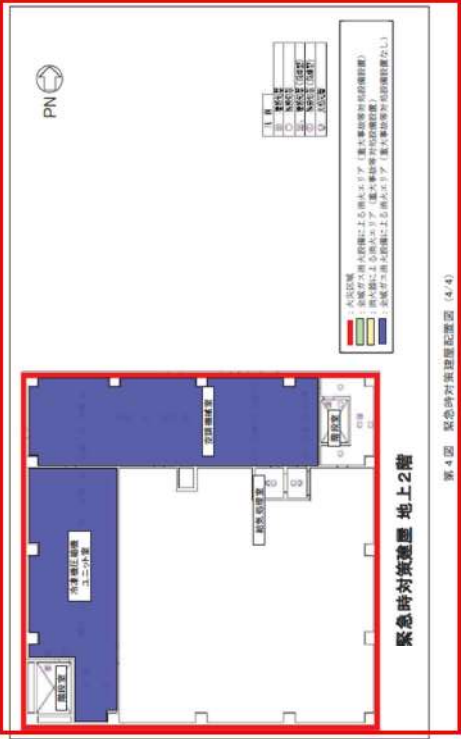
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>緊急時対策施設 地上1階</p> <p>第4図 緊急時対策施設配置図 (3/4)</p>		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料3 泊発電所3号炉緊急時対策所の火災防護対策の特徴について）

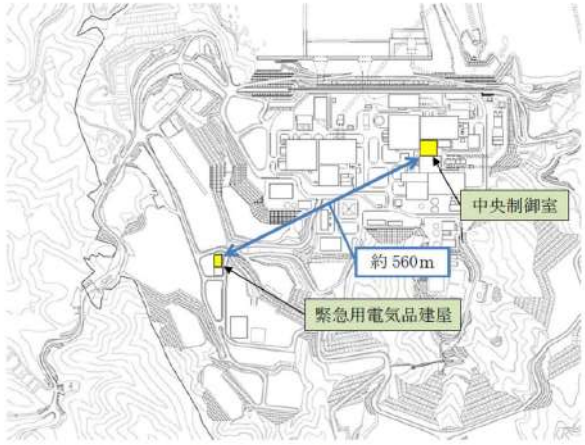
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>緊急時対策室 地上2階</p> <p>第4図 緊急時対策室配置図 (4/4)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

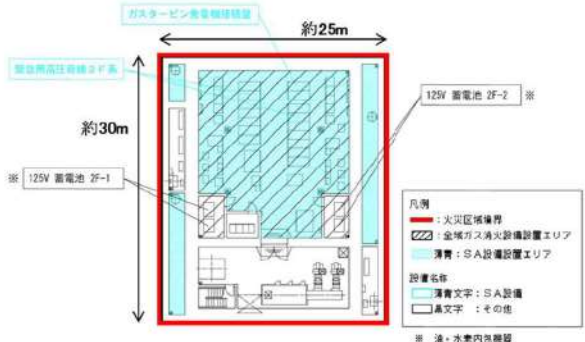
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
	<p style="text-align: center;">参考資料4</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉 緊急用電気品建屋の火災防護対策の特徴について</p> <p>1. はじめに                      女川原子力発電所2号炉の緊急用電気品建屋について、重大事故等に対処するために必要な機能を有する構築物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、火災発生防止、火災の感知及び消火のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じる。緊急用電気品建屋の火災防護対策の主な特徴について以下に示す。</p> <p>2. 緊急用電気品建屋の火災防護対策                      2.1. 火災防護対象機器                      火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設として、常設重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備及び当該設備に使用しているケーブルを火災防護対象とする。火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を第1表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表（建屋内及び建屋外）（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="734 858 1305 1257"> <thead> <tr> <th>関連全文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>注1</sup></th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">57</td> <td rowspan="5">常設代替交流電源設備による給電</td> <td>ガスタービン発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～非常用高圧母線20系及び非常用高圧母線20系電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">可搬型代替交流電源設備による給電</td> <td>ガスタービン発電設備～緊急用軟圧母線25系電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">可搬型代替直流電源設備による給電</td> <td>ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">代替所内電気設備による給電</td> <td>ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機接続器</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注1：以下の対策を基礎とする。                      ①火災防護に係る措置基準に基づき火災防護対策設備の取付又は設置基準に基き、火災防護対策</p>	関連全文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1</sup>	備考	57	常設代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電機	①		ガスタービン発電設備軽油タンク	①		ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	①		ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕	①		ガスタービン発電機～非常用高圧母線20系及び非常用高圧母線20系電路〔電路〕	①		57	可搬型代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電設備～緊急用軟圧母線25系電路〔電路〕	①		ガスタービン発電設備軽油タンク	①		57	可搬型代替直流電源設備による給電	ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕	①		ガスタービン発電設備軽油タンク	①		57	代替所内電気設備による給電	ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕	①		ガスタービン発電機接続器	①							<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は緊急用電気品建屋に相当する建屋はないため、本参考資料は作成していない。</p>
関連全文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1</sup>	備考																																																	
57	常設代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電機	①																																																		
		ガスタービン発電設備軽油タンク	①																																																		
		ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	①																																																		
		ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕	①																																																		
		ガスタービン発電機～非常用高圧母線20系及び非常用高圧母線20系電路〔電路〕	①																																																		
57	可搬型代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電設備～緊急用軟圧母線25系電路〔電路〕	①																																																		
		ガスタービン発電設備軽油タンク	①																																																		
57	可搬型代替直流電源設備による給電	ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕	①																																																		
		ガスタービン発電設備軽油タンク	①																																																		
57	代替所内電気設備による給電	ガスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料流路〕	①																																																		
		ガスタービン発電機接続器	①																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表（建屋内及び建屋外）（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統施設</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>57</td> <td>燃料補給設備</td> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁[燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>その他</td> <td>6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>モニタリングポストの代替交流電源からの給電</td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">電源の確保（緊急時対策所）</td> <td>ガスタービン発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁[燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機接続盤</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用高圧母線2F系 ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線「系電路」系電路[電路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>①：以下の対策を実施する設計とする。                  ②：当該設備に係る設置基準に基づく火災防護措置の確保又は機能維持等に基づく火災防護措置</small></p> <p>2.2. 火災区域の設定</p> <p>緊急用電気品建屋について、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域を設定する。緊急用電気品建屋の配置、火災区域設定例についてそれぞれ第1、2図に示す。</p> <p>なお、ガスタービン発電機は「危険物の規制に関する政令」において空地が要求されない設備であるが、同令の「屋外タンク貯蔵所」とみなし、同令第十一条第二項で要求される空地の幅を参考にして建屋外壁から3m以上の幅の保有空地を確保する。</p>  <p>第1図 緊急用電気品建屋の配置</p>	関連条文	系統施設	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考	57	燃料補給設備	ガスタービン発電設備軽油タンク ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁[燃料流路]	①		58	その他	6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧	①		60	モニタリングポストの代替交流電源からの給電	常設代替交流電源設備	①		61	電源の確保（緊急時対策所）	ガスタービン発電機	①		ガスタービン発電設備軽油タンク	①		ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	①		ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁[燃料流路]	①		ガスタービン発電機接続盤	①		緊急用高圧母線2F系 ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線「系電路」系電路[電路]	①			
関連条文	系統施設	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考																																							
57	燃料補給設備	ガスタービン発電設備軽油タンク ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁[燃料流路]	①																																								
58	その他	6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧	①																																								
60	モニタリングポストの代替交流電源からの給電	常設代替交流電源設備	①																																								
61	電源の確保（緊急時対策所）	ガスタービン発電機	①																																								
		ガスタービン発電設備軽油タンク	①																																								
		ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	①																																								
		ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁[燃料流路]	①																																								
		ガスタービン発電機接続盤	①																																								
		緊急用高圧母線2F系 ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線「系電路」系電路[電路]	①																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第2図 火災区域設定例</p> <p>2.3. 火災の発生防止対策</p> <p>緊急用電気品建屋の火災発生防止対策の主な対策箇所として、以下について示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスタービン発電設備</li> <li>・DC125V バッテリー室</li> </ul> <p>2.3.1. ガスタービン発電設備の火災発生防止対策</p> <p>ガスタービン発電機室は、側溝を設置し、漏洩した燃料油が拡大することを防止する設計とする。</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンクは屋外に設置されており、可燃性の蒸気が滞留することはない。</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンクは、タンクの容量（約330 m<sup>3</sup>）に対して、ガスタービン発電機を7日間連続運転するためにガスタービン発電設備軽油タンクとして必要な量（約254 m<sup>3</sup>）を考慮した容量を貯蔵する設計とする。</p> <p>2.3.2. DC125V バッテリー室の水素への火災発生防止対策</p> <p>水素を内包する設備を設置する DC125V バッテリー室は、常設代替交流電源設備から給電される換気設備による機械換気を行うことにより水素濃度が燃焼限界濃度以下となるように設計する。（第1表）また、水素の漏えいを検知できるように水素濃度検出器等を設置する設計とする。（第2表）</p>		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
	<p>DC125V バッテリー室は、充電時において蓄電池から水素が発生するおそれがあることから、当該区域に可燃物を持ち込まないこととする。また、DC125V バッテリー室の上部に水素濃度検出器を設置し、水素の燃焼限界濃度である4vol%の1/4以下の濃度にて、中央制御室に警報を発報する設計とする。</p> <p>第1表：水素を内包する設備を設置する火災区域の換気設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水素を内包する設備を設置する場所</th> <th>換気設備</th> <th>耐震クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DC125Vバッテリー（2F-1）室</td> <td>緊急用電気品建屋 送風機</td> <td>C (Ss機能維持)</td> </tr> <tr> <td>DC125Vバッテリー（2F-2）室</td> <td>緊急用電気品建屋 送風機</td> <td>C (Ss機能維持)</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2表：水素濃度検出器の設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水素を内包する設備を設置する場所</th> <th>水素検出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DC125Vバッテリー（2F-1）室</td> <td>水素濃度検知器を設置</td> </tr> <tr> <td>DC125Vバッテリー（2F-2）室</td> <td>水素濃度検知器を設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>2.4. 火災の感知及び消火</p> <p>2.4.1. 感知設備選定の基本的な考え方</p> <p>重大事故等対処施設を設置する緊急用電気品建屋の火災区域には、基本的に火災発生時に炎が生じる前の発煙段階から感知できる煙感知器を設置し、その他、蒸気及びガスの発生により煙感知器が誤作動する可能性のある火災区域には、熱感知器を設置する。</p> <p>さらに、「固有の信号を発する異なる種類の火災感知器」の設置要求を満足するため、既存の火災感知器に加えて熱感知器又は煙感知器を組み合わせて設置する。設置にあたっては、消防法に準じた設置条件で設置する。</p> <p>これらの組合せは、平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式とする。</p> <p>周囲の環境条件から、アナログ式の熱感知器又は煙感知器を設置することが適さない箇所の火災感知器等の例として以下に示す。なお、重大事故等対処施設を設置する火災区域のうち、建屋内に設置する火災感知器設備については作動した火災感知器を一つずつ特定できる機能を有する設計とする。</p>	水素を内包する設備を設置する場所	換気設備	耐震クラス	DC125Vバッテリー（2F-1）室	緊急用電気品建屋 送風機	C (Ss機能維持)	DC125Vバッテリー（2F-2）室	緊急用電気品建屋 送風機	C (Ss機能維持)	水素を内包する設備を設置する場所	水素検出方法	DC125Vバッテリー（2F-1）室	水素濃度検知器を設置	DC125Vバッテリー（2F-2）室	水素濃度検知器を設置		
水素を内包する設備を設置する場所	換気設備	耐震クラス																
DC125Vバッテリー（2F-1）室	緊急用電気品建屋 送風機	C (Ss機能維持)																
DC125Vバッテリー（2F-2）室	緊急用電気品建屋 送風機	C (Ss機能維持)																
水素を内包する設備を設置する場所	水素検出方法																	
DC125Vバッテリー（2F-1）室	水素濃度検知器を設置																	
DC125Vバッテリー（2F-2）室	水素濃度検知器を設置																	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>○蓄電池室</p> <p>蓄電池室は、蓄電池充電中に少量の水素を発生することから、換気空調設備を設置しており、安定した室内環境を維持しているが、万が一の水素濃度の上昇を考慮し、防爆型煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。</p> <p>防爆型の煙感知器及び熱感知器は非アナログ式しか製造されていないが、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型煙感知器はアナログ式煙感知器と同様に、炎が生じる前の発煙段階から煙の早期感知が可能である。</p> <p>また、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型熱感知器については、蓄電池室は換気空調設備により安定した室内環境を維持していることから、通常の熱感知器と同様、周囲温度を考慮した作動温度を設定することによって、早期の火災感知及び誤作動の防止を図る。</p> <p>2.4.2. 消火設備選定の基本的な考え方</p> <p>重大事故等対処施設を設置する緊急用電気品建屋の火災区域は、基本的に「煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となる火災区域」として設定し、自動消火設備（全域ガス消火設備）を設置し、消火活動が困難とならない火災区域については、消火器を設置する。</p> <p>①全域ガス消火設備</p> <p>消火活動が困難となる火災区域は、原則として全域ガス消火設備（ハロン1301）を設置する。（火災源は電源盤、水素内包機器）</p> <p>②消火器</p> <p>消火活動が困難とならない以下の火災区域は消火器を設置する。</p> <p>a. 火災が発生したとしても煙が大気に開放される屋外等の火災区域</p> <p>b. 設置される可燃物の状況等から、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満の可能性は低いと判断できる火災区域</p> <p>2.4.3. 火災感知器及び消火設備の部屋別設置状況</p> <p>緊急用電気品建屋における火災感知器及び消火設備の部屋別設置状況について第3表に示す。緊急用電気品建屋配置図について第3図に示す。</p>		

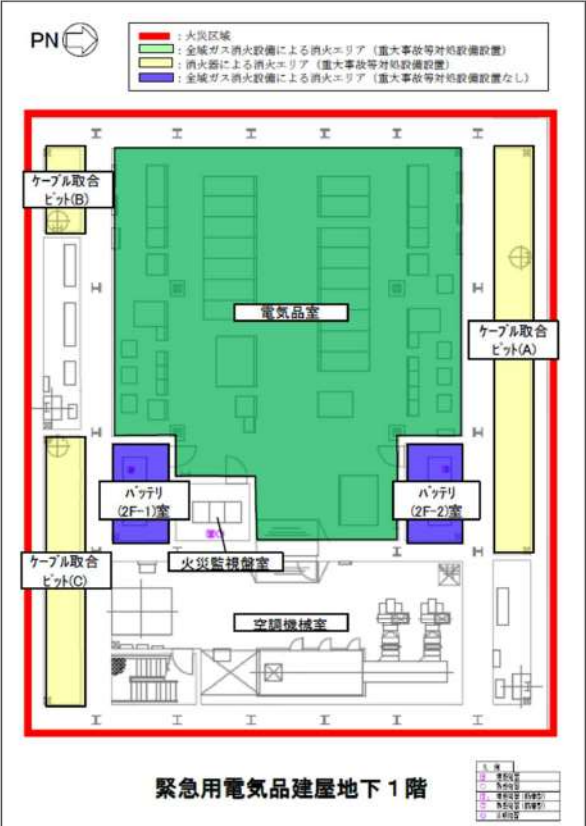
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無1）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉		相違理由
第3表 火災感知器及び消火設備の部屋別設置状況について											
部屋番号	部屋名称	火災防護措置が必要な機種の有無	火災感知器 (消防法要求の感知器を除く)	火災感知器の設置タイプ	消火設備	消火方法	消火設備の設置クラス	備考			
E-1-1	1号電機室	有	煙感知器	C (Sa) 機能感知器	全滅ガス消火設備	自動	C (Sa) 機能感知器				
E-1-2	1号空調機室	無	煙感知器	C	初期消火器	手動	設備（消火器）				
E-1-3	RC12F パワージ(GF-1) 室	無	煙感知器 熱感知器 熱感知器	C	全滅ガス消火設備	自動	で				
E-1-4	1号水災監視室	無	煙感知器	C	初期消火器	手動	設備（消火器）				
E-1-5	RC12F パワージ(GF-2) 室	無	煙感知器 熱感知器 熱感知器	C	全滅ガス消火設備	自動	で				
E-1-6	ケーブル集合ゼット (A)	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
E-1-7	ケーブル集合ゼット (B)	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
E-1-8	ケーブル集合ゼット (C)	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
E-1-9	機油室	無	煙感知器 熱感知器	C	初期消火器	手動	設備（消火器）				
E-1-10	ポンペラック室 (A)	無	煙感知器 熱感知器	C	初期消火器	手動	設備（消火器）				
E-1-11	ポンペラック室 (B)	無	煙感知器 熱感知器	C	初期消火器	手動	設備（消火器）				
E-1-12	ガスタービン発電機室	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	壁がコンクリート構造となっており、火災時の煙が壁に吸着されることがある。煙光害により火災活動が阻害とならない。			
E-1-13	圧入	無	—	—	初期消火器	手動	設備（消火器）	火災感知器が、可燃物感知器により可燃物を検出できない運用とする。また、コンクリートの壁で囲われていることから火災の影響は受けなかったため火災感知器を設置しない。			
E-1-14	圧入	無	—	—	初期消火器	手動	設備（消火器）	火災感知器が、可燃物感知器により可燃物を検出できない運用とする。また、コンクリートの壁で囲われていることから火災の影響は受けなかったため火災感知器を設置しない。			
部屋番号	部屋名称	火災防護措置が必要な機種の有無	火災感知器 (消防法要求の感知器を除く)	火災感知器の設置タイプ	消火設備	消火方法	消火設備の設置クラス	備考			
F-0-1	ガスタービン発電機軽油タンク (A)	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
F-0-2	ガスタービン発電機軽油タンク (B)	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
F-0-3	ガスタービン発電機軽油タンク (C)	有	煙感知器 熱感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備（消火器）	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
F-0-4	ガスタービン発電機燃料移送ポンプエリア	有	熱サメテ感知器 点感知器	C (Sa) 機能感知器	初期消火器 又は 移動式消火設備	手動	設備	煙が大気に放出されることから煙光害により火災活動が阻害にならない			
注1 防煙型感知器を示す。 注2 非アナログ式感知器を示す。											

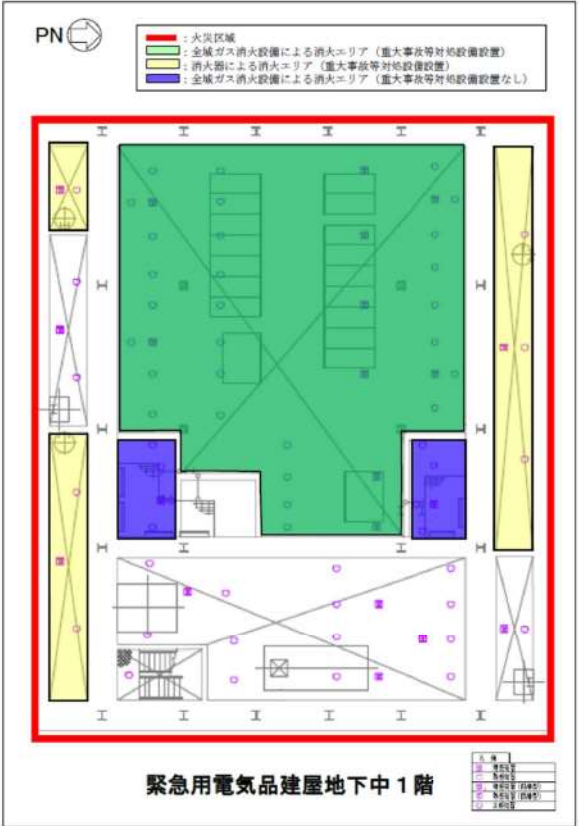
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>緊急用電気品建屋地下1階</p> <p>第3図 緊急用電気品建屋配置図 (1/3)</p>		

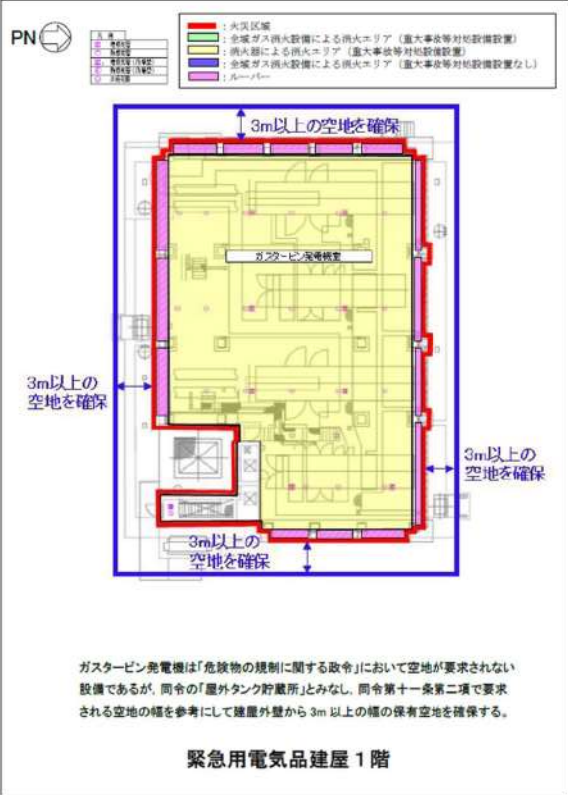
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>緊急用電気品建屋地下中1階</p> <p>第3図 緊急用電気品建屋配置図(2/3)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

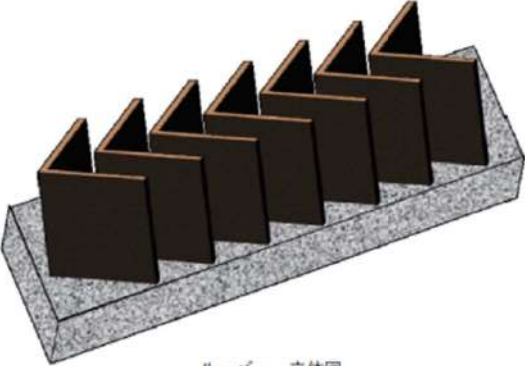
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>緊急用電気品建屋 1階</p> <p>第3図 緊急用電気品建屋配置図 (3/3)</p> <p>緊急用電気品建屋 北側立面図</p>		



赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="972 517 1120 539">ルーバー 立体図</p> <p data-bbox="864 619 1205 641">第4図 緊急用電気品建屋ルーバー概要図</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
【対応資料なし】	<p style="text-align: right;">参考資料 5</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉における 水密扉の止水機能に対する火災影響について</p> <p>1. 概要 水密扉については、溢水発生時に安全機能を有する機器を防護することを目的として設置されている。しかしながら、水密扉のパッキンが難燃性であることから、火災時には止水機能の低下のおそれがある。これに対して「火災防護に係る審査基準2.2.3」の(参考)では火災時に考慮する消火用水供給系統からの放水による溢水が想定されることが求められているため、火災発生時の状況と消火活動において放水される溢水に対して安全機能が確保されていることが必要となる。火災については単一火災と地震随伴火災が想定されることを踏まえ、水密扉が設置された箇所を整理し、安全機能への影響を評価する。</p> <p>2. 水密扉の設置箇所と火災発生時の影響について 水密扉については火災防護の観点からは、以下の火災区域又は火災区画の境界に設置される。                      ①固定式消火設備が設置された安全機能を有する火災区域又は火災区画                      ②可燃物量の評価により固定式消火設備の対象から除いた安全機能を有する火災区域又は火災区画                      ③安全機能を有しない火災区域又は火災区画(屋外を含む)</p>	<p style="text-align: right;">参考資料 4</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 水密扉の止水機能に対する火災影響について</p> <p>1. 概要 水密扉については、溢水発生時に安全機能を有する機器を防護することを目的として設置されている。しかしながら、水密扉のパッキンが難燃性であることから、火災時には止水機能の低下のおそれがある。これに対して「火災防護に係る審査基準2.2.3」の(参考)では火災時に考慮する消火用水供給系統からの放水による溢水が想定されることが求められているため、火災発生時の状況と消火活動において放水される溢水に対して安全機能が確保されていることが必要となる。火災については単一火災と地震随伴火災が想定されることを踏まえ、水密扉が設置された箇所を整理し、安全機能への影響を評価する。</p> <p>2. 水密扉の設置箇所と火災発生時の影響について 水密扉については火災防護の観点からは、以下の火災区域又は火災区画の境界に設置される。                      ①固定式消火設備が設置された安全機能を有する火災区域又は火災区画                      ②可燃物量の評価により固定式消火設備の対象から除いた安全機能を有する火災区域又は火災区画                      ③安全機能を有しない火災区域又は火災区画(屋外を含む)</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.1. 単一火災</p> <p>単一火災においては上記のいずれの区域からも火災の発生が想定される。対して、消火活動における消火水系統からの放水による溢水に関して、内部溢水影響評価ガイドでは、消火栓による消火活動が想定される場合について溢水を想定することとしている。①固定式消火設備を設置した火災区域又は火災区画の境界については、速やかに固定式消火設備により消火がなされ消火栓による消火活動は想定されない。</p> <p>また、②可燃物量の評価により固定式消火設備の対象から除いた安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界においては、可燃物量が少量であり、いずれも金属製管体や電線管に覆われ、大規模火災の発生や煙の大量発生が考えにくいことから、十分な量の消火器による消火活動を行う設計であるため、消火栓による消火活動は想定しない。</p> <p>よって、火災時においても消火水による溢水は想定されず、溢水防護への影響は生じない。</p> <p>これらに対して、</p> <p>③安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界については消火栓による消火活動が想定されることから、火災発生区域の水密扉を含めた止水機能が喪失した状態で消火活動に伴う放水による溢水と安全機能への影響の有無を評価した。</p> <p>評価の結果、水密扉からの消火水の溢水により安全機能へ影響を及ぼす区域はないことを確認している。</p> <p>よって、単一火災において消火活動時の消火水による溢水に対して水密扉の機能が要求されるものはない。</p>	<p>2.1. 単一火災</p> <p>単一火災においては上記のいずれの区域からも火災の発生が想定される。対して、消火活動における消火水系統からの放水による溢水に関して、内部溢水影響評価ガイドでは、消火栓による消火活動が想定される場合について溢水を想定することとしている。①固定式消火設備を設置した火災区域又は火災区画の境界については、速やかに固定式消火設備により消火がなされ消火栓による消火活動は想定されない。</p> <p>よって、火災時においても消火水による溢水は想定されず、溢水防護への影響は生じない。</p> <p>これに対し、②可燃物量の評価により固定式消火設備の対象から除いた安全機能を有する火災区域又は火災区画及び</p> <p>③安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界については消火栓による消火活動が想定されることから、火災発生区域の水密扉を含めた止水機能が喪失した状態で、消火活動に伴う放水による溢水と安全機能への影響の有無を評価した。</p> <p>評価の結果、水密扉からの消火水の溢水により安全機能へ影響を及ぼす区域はないことを確認している。</p> <p>よって、単一火災において消火活動時の消火水による溢水に対して水密扉の機能が要求されるものはない。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>安全機能を有する火災区域又は火災区画の消火栓使用想定との相違。泊は固定式消火設備を設置しない火災区域又は区画について消火器と消火栓を使用する設計であり、溢水評価を行い安全機能に影響がないことを評価している。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.2. 地震随伴火災</p> <p>地震随伴火災としては耐震 B、C クラス機器の破損による火災が想定される。</p> <p>出火源となる耐震 B、C クラス機器については安全機能を有する火災区域又は火災区画に設置されたもの他に安全機能を有していない火災区域又は火災区画に設置されたものを含めて、隣接する火災区域又は火災区画への温度影響を評価した上で安全機能を有する火災区域又は火災区画に対して影響を及ぼすものは耐震性を確保する設計とする。</p> <p>これにより地震随伴火災の発生と隣接区域への影響を防止するとともに安全機能を有する火災区域又は火災区画で、万一、耐震 B、C クラス機器の破損による火災が発生した場合であっても、固定式消火設備が設置された火災区域又は火災区画では速やかに消火がなされること、固定式消火設備の設置対象から除いた安全機能を有する火災区域又は火災区画に設置された耐震 B、C クラス機器は可燃物量が少なく、消火器により速やかな消火が可能であることから、地震随伴火災により①、②に示した安全機能を有する火災区域又は火災区画で水密扉の機能が喪失することはない。</p> <p>よって、水密扉の防護機能並びに安全機能に影響を及ぼす地震随伴火災は生じない。</p> <p>3. 消火設備の破損、誤動作又は誤操作について</p> <p>火災防護に係る審査基準 2.2.3 においては消火活動時の消火水の溢水の他に消火設備の破損、誤作動又は誤操作について内部溢水影響評価ガイドに沿って評価することが求められている。</p> <p>内部溢水影響評価ガイドにおいては、想定破損に対して他設備の健全性を仮定していること、また誤動作、誤操作については消火栓の元弁が手動弁であることから現場での意図した人為的な行為を除き、原因や状況が特定されない偶発的な事象であると考えられ、これらも想定破損と同様の考え方と考えられることから、水密扉によりこれらの溢水から安全機能を防護可能である。</p> <p>なお、消火設備の破損については地震による破損も考えられるが、2.2.に示すとおり、安全機能を有する火災区域に影響が考えられる耐震 B、C クラス機器については耐震性の確保により地震随伴火災の発生防止を図っていることから、水密扉の防護機能は保たれ、消火水配管の破損に伴う溢水によって安全機能への影響は生じない。</p>	<p>2.2. 地震随伴火災</p> <p>地震随伴火災としては耐震 B、C クラス機器の破損による火災が想定される。</p> <p>火災区域又は火災区画に設置される耐震 B、C クラス機器に地震による損傷に伴う火災が発生した場合においても、火災防護対象機器等の機能が維持される設計としており、安全機能を有する火災区域又は火災区画で、万一、耐震 B、C クラス機器の破損による火災が発生した場合であっても、①固定式消火設備を設置した火災区域又は火災区画の境界については、速やかに固定式消火設備により消火がなされ消火栓による消火活動は想定されない。よって、火災時においても消火水による溢水は想定されず、溢水防護への影響は生じない。</p> <p>それに対し、②可燃物量の評価により固定式消火設備の対象から除いた安全機能を有する火災区域又は火災区画及び③安全機能を有しない火災区域又は火災区画については消火栓による消火活動が想定されることから、火災発生区域又は区画境界の水密扉を含めた止水機能が喪失した状態で、消火活動に伴う放水による溢水と安全機能への影響の有無を評価した。</p> <p>評価の結果、水密扉からの消火水の溢水により安全機能へ影響を及ぼす火災区域又は火災区画はないことを確認している。</p> <p>よって、地震随伴火災において消火活動時の消火水による溢水に対して水密扉の機能が要求されるものはない。</p> <p>3. 消火設備の破損、誤動作又は誤操作について</p> <p>火災防護に係る審査基準 2.2.3 においては消火活動時の消火水の溢水の他に消火設備の破損、誤作動又は誤操作について内部溢水影響評価ガイドに沿って評価することが求められている。</p> <p>内部溢水影響評価ガイドにおいては、想定破損に対して他設備の健全性を仮定していること、また誤動作、誤操作については消火栓の元弁が手動弁であることから現場での意図した人為的な行為を除き、原因や状況が特定されない偶発的な事象であると考えられ、これらも想定破損と同様の考え方と考えられることから、水密扉によりこれらの溢水から安全機能を防護可能である。</p> <p>なお、消火設備の破損については地震による破損も考えられるが、消火水配管については耐震性の確保により地震による溢水の発生防止を図っていることから、消火水配管の溢水は想定されず、溢水防護への影響は生じない。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>耐震 B、C クラス機器に対して、女川は耐震性を確保して地震随伴火災が発生しない設計、泊は地震随伴火災が発生しても固定式消火設備により機能が維持されること、及び固定式消火設備を設置しない火災区域又は区画において火災随伴火災が発生した場合は、水密扉を含めた止水機能が喪失した状態で安全機能へ影響が無い設計としており、相違がある。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は消火水配管の耐震性確保により地震による破損は想定しない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
	<p>4. まとめ</p> <p>火災区域又は火災区画毎の境界の水密扉と各火災並びに溢水について、安全機能への影響の有無を以下の第1表に整理する。</p> <p>水密扉については単一火災並びに地震随伴火災による火災とその際の消火活動に対する溢水に対して、安全機能を損なうものではない。</p> <p>第1表：水密扉の設置状況と各火災並びに溢水に対する影響一覧</p> <table border="1" data-bbox="721 427 1321 746"> <thead> <tr> <th rowspan="2">水密扉の設置箇所</th> <th colspan="2">単一火災</th> <th rowspan="2">地震随伴火災</th> <th rowspan="2">消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響</th> </tr> <tr> <th>消火水の溢水想定</th> <th>水密扉の機能喪失による安全機能への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界</td> <td>有</td> <td>溢水が想定されないことから影響無し。</td> <td>低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保</td> <td>水密扉により防護</td> </tr> <tr> <td>安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界</td> <td>有</td> <td>溢水が想定されないことから影響無し。</td> <td>低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保</td> <td>水密扉により防護</td> </tr> </tbody> </table>	水密扉の設置箇所	単一火災		地震随伴火災	消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響	消火水の溢水想定	水密扉の機能喪失による安全機能への影響	安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護	安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護	<p>4. まとめ</p> <p>火災区域又は火災区画毎の境界の水密扉と各火災並びに溢水について、安全機能への影響の有無を以下の第1表に整理する。</p> <p>水密扉については単一火災並びに地震随伴火災による火災とその際の消火活動に対する溢水に対して、安全機能を損なうものではない。</p> <p>第1表 水密扉の設置状況と各火災並びに溢水に対する影響一覧</p> <table border="1" data-bbox="1352 434 1966 715"> <thead> <tr> <th rowspan="2">水密扉の設置箇所</th> <th colspan="2">単一火災</th> <th rowspan="2">地震随伴火災</th> <th rowspan="2">消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響</th> </tr> <tr> <th>消火水の溢水想定</th> <th>水密扉の機能喪失による安全機能への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界</td> <td>有</td> <td>溢水が想定されないことから影響無し。</td> <td>低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保</td> <td>水密扉により防護</td> </tr> <tr> <td>安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界</td> <td>有</td> <td>溢水が想定されないことから影響無し。</td> <td>低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保</td> <td>水密扉により防護</td> </tr> </tbody> </table>	水密扉の設置箇所	単一火災		地震随伴火災	消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響	消火水の溢水想定	水密扉の機能喪失による安全機能への影響	安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護	安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は固定式消火設備を設置しない火災区域又は区画は消火器と消火栓を使用する設計。また、地震随伴火災に対し消火活動を行う場合も消火水による溢水は安全機能へ影響を及ぼさない。</p>
水密扉の設置箇所	単一火災		地震随伴火災	消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響																																	
	消火水の溢水想定	水密扉の機能喪失による安全機能への影響																																			
安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護																																	
安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護																																	
水密扉の設置箇所	単一火災		地震随伴火災	消火設備の破損、誤動作又は誤操作による安全機能への影響																																	
	消火水の溢水想定	水密扉の機能喪失による安全機能への影響																																			
安全機能を有する火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護																																	
安全機能を有しない火災区域又は火災区画の境界	有	溢水が想定されないことから影響無し。	低耐震クラス機器の火災発生防止による機能確保	水密扉により防護																																	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無し2）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
	<p style="text-align: right;">参考資料 6</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉における 配管フランジパッキンの火災影響について</p> <p>1. 概要                      女川原子力発電所2号炉の火災防護対象機器の選定において不燃性材料である金属製の配管、タンク、手動弁、逆止弁等については火災によっても安全機能や重大事故等対処施設の機能に影響を及ぼさないものと整理している。しかしながら、配管フランジや弁ボンネットフランジについては、漏えい防止のため不燃性ではないパッキン類が取付けられていることから、燃焼試験により火災影響について評価を行った。</p> <p>2. 燃焼試験                      2.1. 試験体の選定                      プラント内で安全機能を有する系統及び重大事故等対処施設で使用されているパッキンについては高温・高圧で使用する黒鉛系パッキン並びに補機冷却系等の一部の低温配管フランジには黒鉛系パッキンに比べ耐熱性に劣るシートパッキン、海水系の配管フランジではゴムパッキンを使用している。よって、熱影響を考慮する必要があると考えられるシートパッキン及び、ゴムパッキンについて以下の代表品を用いて燃焼試験を実施する。試験にあたっては体積が小さく入熱による温度影響を受けやすい小径配管を模擬する。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">第1表：試験体とするパッキンの仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>名称</th> <th>サイズ</th> <th>使用温度</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="2"></td> <td>20A</td> <td>-100 ~ 183℃</td> <td>3.0t</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20A</td> <td>-30 ~ 120℃</td> <td>3.0t</td> </tr> </tbody> </table> </div>	No.	名称	サイズ	使用温度	厚さ	1		20A	-100 ~ 183℃	3.0t	2	20A	-30 ~ 120℃	3.0t		<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      パッキンについては、フランジ等の金属に覆われた狭隙部に設置されていることから、直接火炎に晒されることはなく、弁、配管等の近くには可燃物を置かないよう管理しているため、パッキンに対する燃焼試験は実施していない。                      （大飯同様）</p>
No.	名称	サイズ	使用温度	厚さ													
1		20A	-100 ~ 183℃	3.0t													
2		20A	-30 ~ 120℃	3.0t													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無し2）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>2.2. 試験方法・判定基準</p> <p>試験についてはフランジ部にパッキンを取付けた状態を模擬して、パッキンの直下からバーナーによる直接加熱を3時間実施し、加熱後、シート面の外観確認を行う。また、使用している系統の圧力を考慮し、10分間の耐圧試験により漏えいが無いことを確認する。試験条件を第2表に示す。</p> <p>また、加熱試験の概要を第1図、試験体の加熱前後の状況を第2図に示す。</p> <div data-bbox="721 466 1326 679" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第2表：試験条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 20%;">加熱時間</th> <th style="width: 35%;">耐圧試験圧力 (水圧)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3時間</td> <td style="text-align: center;">1.2MPa</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3時間</td> <td style="text-align: center;">0.8MPa</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="757 734 1303 1129" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第1図：加熱試験の概要</p> </div>	No.	名称	加熱時間	耐圧試験圧力 (水圧)	1		3時間	1.2MPa	2		3時間	0.8MPa		<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>パッキンについては、フランジ等の金属に覆われた狭隙部に設置されていることから、直接火炎に晒されることはなく、弁、配管等の近くには可燃物を置かないよう管理しているため、パッキンに対する燃焼試験は実施していない。</p> <p>(大飯同様)</p>
No.	名称	加熱時間	耐圧試験圧力 (水圧)												
1		3時間	1.2MPa												
2		3時間	0.8MPa												

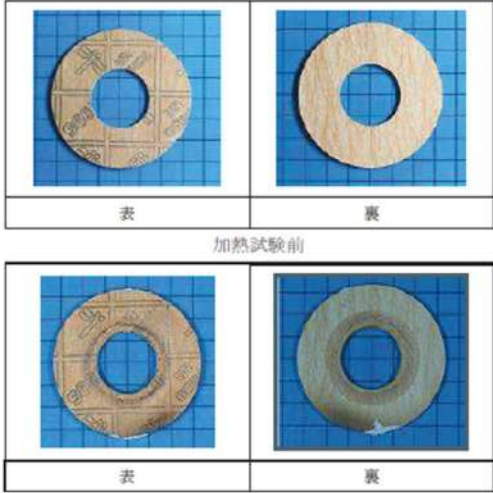
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無し2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
	<div data-bbox="721 159 1321 845" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">No.1 汎用非石棉ジョイントシート</td> <td style="width: 50%;">No.2 ゴム打ち抜きガスケット</td> </tr> <tr> <td>加熱中 </td> <td>加熱中 </td> </tr> <tr> <td>加熱後（下面） </td> <td>加熱後（下面） </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">第2図：試験体の加熱状況</p> </div> <p data-bbox="721 893 840 917">2.3. 試験結果</p> <p data-bbox="721 933 1142 957">2.3.1. 汎用非石棉ジョイントシートの試験結果</p> <p data-bbox="772 965 1153 989">各試験について試験結果を第3表に示す。</p> <div data-bbox="721 1037 1332 1197" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第3表：汎用非石棉ジョイントシート試験結果</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>試験体</th> <th>シート面外観確認</th> <th>耐圧試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>汎用非石棉ジョイントシート (内包流体：水)</td> <td>異常なし</td> <td>漏えいなし</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="721 1236 1332 1332">第3図に示すとおり、外観確認においてはシート面に変化は見られなかった。また、耐圧試験時にも漏えいしなかったことから健全性を維持できることを確認した。</p>	No.1 汎用非石棉ジョイントシート	No.2 ゴム打ち抜きガスケット	加熱中 	加熱中 	加熱後（下面） 	加熱後（下面） 	No.	試験体	シート面外観確認	耐圧試験	1	汎用非石棉ジョイントシート (内包流体：水)	異常なし	漏えいなし		<p data-bbox="1975 151 2049 175">【女川】</p> <p data-bbox="1975 183 2128 207">■記載方針の相違</p> <p data-bbox="1975 215 2172 582">パッキンについては、フランジ等の金属に覆われた狭隙部に設置されていることから、直接火炎に晒されることはなく、弁、配管等の近くには可燃物を置かないよう管理しているため、パッキンに対する燃焼試験は実施していない。 (大飯同様)</p>
No.1 汎用非石棉ジョイントシート	No.2 ゴム打ち抜きガスケット																
加熱中 	加熱中 																
加熱後（下面） 	加熱後（下面） 																
No.	試験体	シート面外観確認	耐圧試験														
1	汎用非石棉ジョイントシート (内包流体：水)	異常なし	漏えいなし														

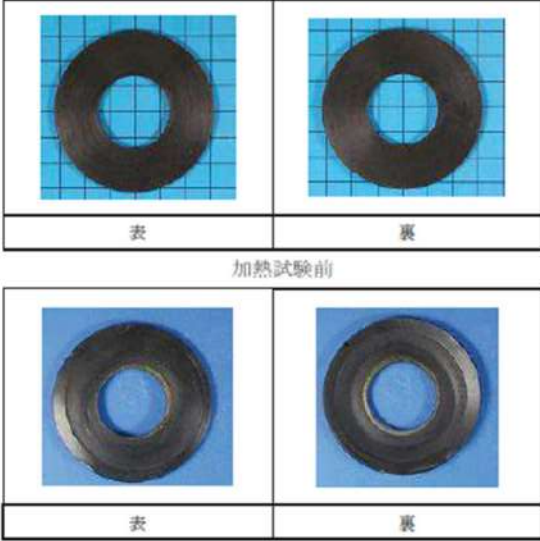
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無し2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	<div data-bbox="725 156 1332 786" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">  <p data-bbox="736 738 1301 759">第3図：加熱前後の試験体シート面（汎用非石棉ジョイントシート）</p> </div> <p data-bbox="716 834 1099 855">2.3.2. ゴム打ち抜きガスケットの試験結果</p> <p data-bbox="757 868 1193 888">各試験について試験結果を以下の第4表に示す。</p> <div data-bbox="730 932 1323 1066" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p data-bbox="864 954 1180 975">第4表：ゴム打ち抜きガスケット試験結果</p> <table border="1" data-bbox="752 975 1292 1043"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>試験体</th> <th>シート面外観確認</th> <th>耐圧試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>ゴム打ち抜きガスケット</td> <td>異常なし</td> <td>漏えいなし</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="741 1107 1335 1198">第4図に示すとおり、外観確認においてはシート面に変化は見られなかった。また、耐圧試験時にも漏えいしなかったことから健全性を維持できることを確認した。</p>	No.	試験体	シート面外観確認	耐圧試験	2	ゴム打ち抜きガスケット	異常なし	漏えいなし		<p data-bbox="1989 156 2047 177">【女川】</p> <p data-bbox="1989 188 2128 209">■記載方針の相違</p> <p data-bbox="1989 220 2172 584">パッキンについては、フランジ等の金属に覆われた狭隙部に設置されていることから、直接火炎に晒されることはなく、弁、配管等の近くには可燃物を置かないよう管理しているため、パッキンに対する燃焼試験は実施していない。                      （大飯同様）</p>
No.	試験体	シート面外観確認	耐圧試験								
2	ゴム打ち抜きガスケット	異常なし	漏えいなし								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 泊該当資料無し2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="728 151 1332 853" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">  <p data-bbox="739 790 1321 821">第4図：加熱前後の試験体シート面（ゴム打ち抜きガスケット）</p> </div> <p data-bbox="716 901 817 925">3. まとめ</p> <p data-bbox="716 933 1332 1093">以上の試験により、液体を内包する配管フランジに使用するパッキンについて 3 時間の直接加熱に対しても配管系からの放熱並びに内部流体による熱除去によって熱影響による機能喪失が生じないことを確認した。これらより高い耐熱性を有する黒鉛系パッキンについても熱影響に対して同等以上の性能を有するものである。</p>		<p data-bbox="1982 151 2049 175">【女川】</p> <p data-bbox="1982 183 2172 582">■記載方針の相違                  パッキンについては、フランジ等の金属に覆われた狭隙部に設置されていることから、直接火炎に晒されることはなく、弁、配管等の近くには可燃物を置かないよう管理しているため、パッキンに対する燃焼試験は実施していない。                  （大飯同様）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉 参考資料7	泊発電所3号炉 参考資料5	相違理由																																																																																																																																																									
【対応資料なし】	<p>女川原子力発電所 2号炉における 屋外保管エリアの資機材について</p> <div data-bbox="750 359 1288 957" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>第1表：保管エリア資機材 (可搬型重大事故等対処設備) 一覧表 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管エリア</th> <th>設備名</th> <th>配備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">第1保管エリア</td><td>大容量送水ポンプ (タイプI)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース (1組：300A、約1150m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>熱交換器ユニット</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース (1組：約70m) ・200A：約20m ・300A：約50m</td><td>1組</td></tr> <tr><td>可搬型窒素ガス供給装置</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース (1組：50A、約90m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>大容量送水ポンプ (タイプII)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>放水砲</td><td>1台</td></tr> <tr><td>消防火薬類集合装置</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース (1組：300A、約1450m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>シルトウェンズ</td><td>2組</td></tr> <tr><td>可搬型モニタリングポスト</td><td>2台</td></tr> <tr><td>小型船舶</td><td>1艘</td></tr> <tr><td>ブルドーザ</td><td>1台</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>1台</td></tr> <tr><td rowspan="10">第2保管エリア</td><td>電源車</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ケーブル (1組：20m)</td><td>2組</td></tr> <tr><td>大容量送水ポンプ (タイプI)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>注水用ヘッド</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース (1組：約2050m) ・300A：約1620m ・150A：約440m</td><td>1組</td></tr> <tr><td>ホース延長回収車</td><td>2台</td></tr> <tr><td>大容量送水ポンプ (タイプII)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース (1組：300A、約1600m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>タンクローリ</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型モニタリングポスト</td><td>6台</td></tr> <tr><td>代替気象観測設備</td><td>1台</td></tr> </tbody> </table> <p>*各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p> </div>	保管エリア	設備名	配備数	第1保管エリア	大容量送水ポンプ (タイプI)	1台	ホース (1組：300A、約1150m)	1組	熱交換器ユニット	1台	ホース (1組：約70m) ・200A：約20m ・300A：約50m	1組	可搬型窒素ガス供給装置	1台	ホース (1組：50A、約90m)	1組	大容量送水ポンプ (タイプII)	1台	放水砲	1台	消防火薬類集合装置	1台	ホース (1組：300A、約1450m)	1組	シルトウェンズ	2組	可搬型モニタリングポスト	2台	小型船舶	1艘	ブルドーザ	1台	バックホウ	1台	第2保管エリア	電源車	2台	ケーブル (1組：20m)	2組	大容量送水ポンプ (タイプI)	1台	注水用ヘッド	1台	ホース (1組：約2050m) ・300A：約1620m ・150A：約440m	1組	ホース延長回収車	2台	大容量送水ポンプ (タイプII)	1台	ホース (1組：300A、約1600m)	1組	タンクローリ	1台	可搬型モニタリングポスト	6台	代替気象観測設備	1台	<p>泊発電所 3号炉における 屋外保管エリアの資機材について</p> <div data-bbox="1411 359 1892 1197" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>第1表：保管エリア資機材 (可搬型重大事故等対処設備) 一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管エリア</th> <th>設備名</th> <th>配備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">51m倉庫・車庫エリア</td><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ホース150A (1組：約1800m)</td><td>2組</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>ホース長ごと1本</td></tr> <tr><td>可搬型大容量海水送水ポンプ車</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ホース300A (1組：約800m)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>放水砲</td><td>1台</td></tr> <tr><td>泡混合設備</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型スプレインズル</td><td>2台</td></tr> <tr><td>放射性物質吸着剤</td><td>1組</td></tr> <tr><td>可搬型代替電源車</td><td>1台</td></tr> <tr><td rowspan="5">1号炉西側31mエリア</td><td>ケーブル (1組：40m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>可搬型直流電源用発電機</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型タンクローリ</td><td>2台</td></tr> <tr><td>小型船舶</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホイールローダ</td><td>1台</td></tr> <tr><td rowspan="5">1.2号炉北側31mエリア</td><td>バックホウ</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型直流電源用発電機</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型大容量海水送水ポンプ車</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース300A (1組：約800m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>放水砲</td><td>1台</td></tr> <tr><td rowspan="10">2号炉東側31mエリア(a)</td><td>泡混合設備</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ホース150A (1組：約1800m)</td><td>2組</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>ホース長ごと1本</td></tr> <tr><td>可搬型代替電源車</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ケーブル (1組：40m)</td><td>2組</td></tr> <tr><td>可搬型直流電源用発電機</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型スプレインズル</td><td>2台</td></tr> <tr><td>緊急時対策用発電機</td><td>2台</td></tr> <tr><td rowspan="5">2号炉東側31mエリア(b)</td><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型直流電源用発電機</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型タンクローリ</td><td>2台</td></tr> <tr><td>小型船舶</td><td>1台</td></tr> <tr><td rowspan="5">緊急時対策用発電機</td><td>緊急時対策用発電機</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ホイールローダ</td><td>1台</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>1台</td></tr> <tr><td>緊急時対策用発電機</td><td>2台</td></tr> <tr><td rowspan="3">展望台行政管理道路橋西側60mエリア</td><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型代替電源車</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ケーブル (1組：40m)</td><td>1組</td></tr> <tr><td>緊急時対策用発電機</td><td>4台</td></tr> </tbody> </table> <p>*各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p> </div>	保管エリア	設備名	配備数	51m倉庫・車庫エリア	可搬型大型送水ポンプ車	2台	ホース150A (1組：約1800m)	2組	ホース延長・回収車 (送水車用)	ホース長ごと1本	可搬型大容量海水送水ポンプ車	2台	ホース300A (1組：約800m)	1台	放水砲	1台	泡混合設備	1台	可搬型スプレインズル	2台	放射性物質吸着剤	1組	可搬型代替電源車	1台	1号炉西側31mエリア	ケーブル (1組：40m)	1組	可搬型直流電源用発電機	1台	可搬型タンクローリ	2台	小型船舶	1台	ホイールローダ	1台	1.2号炉北側31mエリア	バックホウ	1台	可搬型直流電源用発電機	1台	可搬型大容量海水送水ポンプ車	1台	ホース300A (1組：約800m)	1組	放水砲	1台	2号炉東側31mエリア(a)	泡混合設備	1台	可搬型大型送水ポンプ車	2台	ホース150A (1組：約1800m)	2組	ホース延長・回収車 (送水車用)	ホース長ごと1本	可搬型代替電源車	2台	ケーブル (1組：40m)	2組	可搬型直流電源用発電機	1台	可搬型スプレインズル	2台	緊急時対策用発電機	2台	2号炉東側31mエリア(b)	可搬型大型送水ポンプ車	1台	ホース延長・回収車 (送水車用)	1台	可搬型直流電源用発電機	1台	可搬型タンクローリ	2台	小型船舶	1台	緊急時対策用発電機	緊急時対策用発電機	2台	ホイールローダ	1台	バックホウ	1台	可搬型大型送水ポンプ車	1台	緊急時対策用発電機	2台	展望台行政管理道路橋西側60mエリア	ホース延長・回収車 (送水車用)	1台	可搬型代替電源車	1台	ケーブル (1組：40m)	1組	緊急時対策用発電機	4台	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 屋外に配置する可搬型 SA設備の相違</p>
保管エリア	設備名	配備数																																																																																																																																																										
第1保管エリア	大容量送水ポンプ (タイプI)	1台																																																																																																																																																										
	ホース (1組：300A、約1150m)	1組																																																																																																																																																										
	熱交換器ユニット	1台																																																																																																																																																										
	ホース (1組：約70m) ・200A：約20m ・300A：約50m	1組																																																																																																																																																										
	可搬型窒素ガス供給装置	1台																																																																																																																																																										
	ホース (1組：50A、約90m)	1組																																																																																																																																																										
	大容量送水ポンプ (タイプII)	1台																																																																																																																																																										
	放水砲	1台																																																																																																																																																										
	消防火薬類集合装置	1台																																																																																																																																																										
	ホース (1組：300A、約1450m)	1組																																																																																																																																																										
	シルトウェンズ	2組																																																																																																																																																										
	可搬型モニタリングポスト	2台																																																																																																																																																										
	小型船舶	1艘																																																																																																																																																										
	ブルドーザ	1台																																																																																																																																																										
	バックホウ	1台																																																																																																																																																										
第2保管エリア	電源車	2台																																																																																																																																																										
	ケーブル (1組：20m)	2組																																																																																																																																																										
	大容量送水ポンプ (タイプI)	1台																																																																																																																																																										
	注水用ヘッド	1台																																																																																																																																																										
	ホース (1組：約2050m) ・300A：約1620m ・150A：約440m	1組																																																																																																																																																										
	ホース延長回収車	2台																																																																																																																																																										
	大容量送水ポンプ (タイプII)	1台																																																																																																																																																										
	ホース (1組：300A、約1600m)	1組																																																																																																																																																										
	タンクローリ	1台																																																																																																																																																										
	可搬型モニタリングポスト	6台																																																																																																																																																										
代替気象観測設備	1台																																																																																																																																																											
保管エリア	設備名	配備数																																																																																																																																																										
51m倉庫・車庫エリア	可搬型大型送水ポンプ車	2台																																																																																																																																																										
	ホース150A (1組：約1800m)	2組																																																																																																																																																										
	ホース延長・回収車 (送水車用)	ホース長ごと1本																																																																																																																																																										
	可搬型大容量海水送水ポンプ車	2台																																																																																																																																																										
	ホース300A (1組：約800m)	1台																																																																																																																																																										
	放水砲	1台																																																																																																																																																										
	泡混合設備	1台																																																																																																																																																										
	可搬型スプレインズル	2台																																																																																																																																																										
	放射性物質吸着剤	1組																																																																																																																																																										
	可搬型代替電源車	1台																																																																																																																																																										
1号炉西側31mエリア	ケーブル (1組：40m)	1組																																																																																																																																																										
	可搬型直流電源用発電機	1台																																																																																																																																																										
	可搬型タンクローリ	2台																																																																																																																																																										
	小型船舶	1台																																																																																																																																																										
	ホイールローダ	1台																																																																																																																																																										
1.2号炉北側31mエリア	バックホウ	1台																																																																																																																																																										
	可搬型直流電源用発電機	1台																																																																																																																																																										
	可搬型大容量海水送水ポンプ車	1台																																																																																																																																																										
	ホース300A (1組：約800m)	1組																																																																																																																																																										
	放水砲	1台																																																																																																																																																										
2号炉東側31mエリア(a)	泡混合設備	1台																																																																																																																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車	2台																																																																																																																																																										
	ホース150A (1組：約1800m)	2組																																																																																																																																																										
	ホース延長・回収車 (送水車用)	ホース長ごと1本																																																																																																																																																										
	可搬型代替電源車	2台																																																																																																																																																										
	ケーブル (1組：40m)	2組																																																																																																																																																										
	可搬型直流電源用発電機	1台																																																																																																																																																										
	可搬型スプレインズル	2台																																																																																																																																																										
	緊急時対策用発電機	2台																																																																																																																																																										
	2号炉東側31mエリア(b)	可搬型大型送水ポンプ車	1台																																																																																																																																																									
ホース延長・回収車 (送水車用)		1台																																																																																																																																																										
可搬型直流電源用発電機		1台																																																																																																																																																										
可搬型タンクローリ		2台																																																																																																																																																										
小型船舶		1台																																																																																																																																																										
緊急時対策用発電機	緊急時対策用発電機	2台																																																																																																																																																										
	ホイールローダ	1台																																																																																																																																																										
	バックホウ	1台																																																																																																																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車	1台																																																																																																																																																										
	緊急時対策用発電機	2台																																																																																																																																																										
展望台行政管理道路橋西側60mエリア	ホース延長・回収車 (送水車用)	1台																																																																																																																																																										
	可搬型代替電源車	1台																																																																																																																																																										
	ケーブル (1組：40m)	1組																																																																																																																																																										
緊急時対策用発電機	4台																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
	<p>第1表：保管エリア資機材(可搬型重大事故等対処設備)一覧表 (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管エリア</th> <th>設備名</th> <th>配備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第3保管エリア</td> <td>電源車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>ケーブル (1組:25m)</td> <td>2組</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>注水用ヘッド</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:約2000m ・300A:約1620m・150A:約440m)</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:300A,約1550m)</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>ホース延長回収車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>熱交換器ユニット</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:約70m ・200A:約20m・300A:約50m)</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">第4保管エリア</td> <td>電源車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ケーブル (1組:25m)</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>注水用ヘッド</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:約2000m ・300A:約1620m・150A:約440m)</td> <td>ホース長ごと1本</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:300A,約1550m)</td> <td>ホース長ごと1本</td> </tr> <tr> <td>ホース延長回収車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>熱交換器ユニット</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:約70m ・200A:約20m・300A:約50m)</td> <td>ホース長ごと1本</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素ガス供給装置</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:50A,約90m)</td> <td>ホース長ごと1本</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ (タイプB)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>放水箱</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>応用火薬剤混合装置</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:300A,約1450m)</td> <td>ホース長ごと1本</td> </tr> <tr> <td>ホース (1組:300A,約1600m)</td> <td>ホース長ごと1本</td> </tr> <tr> <td>シルトフェンス</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>小型船舶</td> <td>1艇</td> </tr> <tr> <td>代替気象観測設備</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>*各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p>	保管エリア	設備名	配備数	第3保管エリア	電源車	2台	ケーブル (1組:25m)	2組	大容量送水ポンプ (タイプ1)	2台	注水用ヘッド	1台	ホース (1組:約2000m ・300A:約1620m・150A:約440m)	1組	ホース (1組:300A,約1550m)	1組	ホース延長回収車	2台	熱交換器ユニット	1台	ホース (1組:約70m ・200A:約20m・300A:約50m)	1組	タンクローリ	1台	第4保管エリア	電源車	1台	ケーブル (1組:25m)	1組	大容量送水ポンプ (タイプ1)	1台	注水用ヘッド	1台	ホース (1組:約2000m ・300A:約1620m・150A:約440m)	ホース長ごと1本	ホース (1組:300A,約1550m)	ホース長ごと1本	ホース延長回収車	1台	熱交換器ユニット	1台	ホース (1組:約70m ・200A:約20m・300A:約50m)	ホース長ごと1本	可搬型窒素ガス供給装置	1台	ホース (1組:50A,約90m)	ホース長ごと1本	大容量送水ポンプ (タイプB)	1台	放水箱	1台	応用火薬剤混合装置	1台	ホース (1組:300A,約1450m)	ホース長ごと1本	ホース (1組:300A,約1600m)	ホース長ごと1本	シルトフェンス	1組	タンクローリ	1台	可搬型モニタリングポスト	2台	小型船舶	1艇	代替気象観測設備	1台	ブルドーザ	1台	バックホウ	1台	<p>第1図：可搬型重大事故等対処設備の保管エリア配置図</p>	<p>【女川】          ■設計の相違          屋外の可搬型SA設備の配備位置の相違</p>
保管エリア	設備名	配備数																																																																								
第3保管エリア	電源車	2台																																																																								
	ケーブル (1組:25m)	2組																																																																								
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	2台																																																																								
	注水用ヘッド	1台																																																																								
	ホース (1組:約2000m ・300A:約1620m・150A:約440m)	1組																																																																								
	ホース (1組:300A,約1550m)	1組																																																																								
	ホース延長回収車	2台																																																																								
	熱交換器ユニット	1台																																																																								
	ホース (1組:約70m ・200A:約20m・300A:約50m)	1組																																																																								
	タンクローリ	1台																																																																								
第4保管エリア	電源車	1台																																																																								
	ケーブル (1組:25m)	1組																																																																								
	大容量送水ポンプ (タイプ1)	1台																																																																								
	注水用ヘッド	1台																																																																								
	ホース (1組:約2000m ・300A:約1620m・150A:約440m)	ホース長ごと1本																																																																								
	ホース (1組:300A,約1550m)	ホース長ごと1本																																																																								
	ホース延長回収車	1台																																																																								
	熱交換器ユニット	1台																																																																								
	ホース (1組:約70m ・200A:約20m・300A:約50m)	ホース長ごと1本																																																																								
	可搬型窒素ガス供給装置	1台																																																																								
	ホース (1組:50A,約90m)	ホース長ごと1本																																																																								
	大容量送水ポンプ (タイプB)	1台																																																																								
	放水箱	1台																																																																								
	応用火薬剤混合装置	1台																																																																								
	ホース (1組:300A,約1450m)	ホース長ごと1本																																																																								
	ホース (1組:300A,約1600m)	ホース長ごと1本																																																																								
	シルトフェンス	1組																																																																								
	タンクローリ	1台																																																																								
	可搬型モニタリングポスト	2台																																																																								
	小型船舶	1艇																																																																								
代替気象観測設備	1台																																																																									
ブルドーザ	1台																																																																									
バックホウ	1台																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料6 代替非常用発電機の竜巻による火災の発生防止対策について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">参考資料6</p> <p>空冷式非常用発電装置の竜巻による火災の発生防止対策について</p> <p>1. 設計方針</p> <p>○設置許可基準規則第43条第2項第3号において、「常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。」と定められている。</p> <p>○設置許可基準規則第43条第3項第7号において、「重大事故防止設備のうち可搬型の場合は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。」と定められている。</p> <p>○設置許可基準規則第41条（火災による損傷の防止）において、「重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止すること」と定められている。</p>		<p style="text-align: right;">参考資料6</p> <p>代替非常用発電機の竜巻による火災の発生防止対策について</p> <p>1. 設計方針</p> <p>○設置許可基準規則第43条第2項第3号において、「常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。」と定められている。</p> <p>○設置許可基準規則第43条第3項第7号において、「重大事故防止設備のうち可搬型の場合は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。」と定められている。</p> <p>○設置許可基準規則第41条（火災による損傷の防止）において、「重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止すること」と定められている。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載の充実                      （大飯参照）</p> <p>【大飯】</p> <p>■設備の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料6 代替非常用発電機の竜巻による火災の発生防止対策について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ディーゼル発電機及び可搬型代替電源（電源車）と空冷式非常用発電装置は、同時にその機能が損なわれることがないよう、位置的分散を図っている。</p> <p>また、竜巻影響評価において、ディーゼル発電機は、竜巻防護施設として仮に竜巻が発生しても、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置することで安全機能が維持できることを確認しているため、空冷式非常用発電装置の機能維持のための竜巻防護は実施しないが、竜巻によってディーゼル発電機と同時に空冷式非常用発電装置の電源供給機能が損なわれるおそれはない。</p> <p>しかし、火災発生の可能性が最も大きい燃料サービスタンクが竜巻による飛来物で破損した場合を想定し、漏えい燃料の拡大を防止する堰の設置、制御盤（発火源）に漏えいした燃料が流入しないように、制御盤扉へのパッキン施工により、火災の発生防止対策を講じる設計とする。</p> <p>なお、竜巻影響評価における横滑り防止対策として、空冷式非常用発電装置の固縛を実施する設計とする。</p>		<p>ディーゼル発電機及び可搬型代替電源車と代替非常用発電機は、同時にその機能が損なわれることがないよう、位置的分散を図っている。</p> <p>また、竜巻影響評価において、ディーゼル発電機は、竜巻防護施設として仮に竜巻が発生しても、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置することで安全機能が維持できることを確認しているため、代替非常用発電機の機能維持のための竜巻防護は実施していないが、竜巻によってディーゼル発電機と同時に代替非常用発電機の電源供給機能が損なわれるおそれはない。</p> <p>しかし、火災発生の可能性が最も大きい燃料油サービスタンクが竜巻による飛来物で破損した場合を想定し、漏えい燃料の拡大を防止する堰の設置、制御盤（発火源）に漏えいした燃料が流入しないように、制御盤扉へのパッキン施工により、火災の発生防止対策を講じる設計とする。</p> <p>なお、竜巻影響評価における横滑り防止対策として、代替非常用発電機の固縛を実施する設計とする。</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載の充実 (大阪参照)</li> <li>【大阪】</li> <li>■設備名称の相違</li> <li>【大阪】</li> <li>■設備の相違</li> <li>【大阪】</li> <li>■記載表現の相違</li> </ul>
<p>2. 空冷式非常用発電装置</p> <p>空冷式非常用発電装置は、竜巻時に移動により竜巻防護施設を内包する建屋に衝突することを防止するために固縛する設計とする。また、竜巻によって、飛来物となる可能性のある潤滑油又は燃料油を保有する機器の衝突による火災発生防止として、固縛等による飛散防止対策を行う設計とする。</p> <p>鋼製材などの飛散物が燃料油を保有する空冷式非常用発電装置の燃料サービスタンクに衝突し、燃料サービスタンクから燃料が漏えいすることも想定し、漏えいした燃料の拡大を防止する堰を設置し、発火源となる可能性のある制御盤や発電機側の区画に、漏えいした燃料が拡大しない対策を講ずる。</p> <p>また、漏えいした燃料が制御盤に流入することを確実に防ぐため、制御盤扉にパッキンを施工する設計とする。</p>		<p>2. 代替非常用発電機</p> <p>代替非常用発電機は、竜巻時に移動により竜巻防護施設を内包する建屋に衝突することを防止するために固縛する設計とする。また、竜巻によって、飛来物となる可能性のある潤滑油又は燃料油を保有する機器の衝突による火災発生防止として、固縛等による飛散防止対策を行う設計とする。</p> <p>鋼製材等の飛散物が燃料油を保有する代替非常用発電機の燃料油サービスタンクに衝突し、燃料油サービスタンクから燃料が漏えいすることも想定し、漏えいした燃料の拡大を防止する堰を設置し、発火源となる可能性のある制御盤や発電機側の区画に、漏えいした燃料が拡大しない対策を講ずる。</p> <p>また、漏えいした燃料が制御盤に流入することを確実に防ぐため、制御盤扉にパッキンを施工する設計とする。</p>	<p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設備の相違</li> <li>■設備の相違</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料6 代替非常用発電機の竜巻による火災の発生防止対策について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
 <p>燃料油サービスタンク</p> <p>堰</p> <p>空冷式非常用発電装置用の燃料油サービスタンク</p>	<p>参考用</p> <table border="1" data-bbox="757 582 1310 1129"> <thead> <tr> <th>想定飛来物</th> <th>対策方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マンホール蓋</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>容易に飛散しないよう高さ方向への飛散防止対策を行う（マンホール蓋上面からの固定、マンホール蓋へのチェーン接続など）。</li> </ul>  <p>対策例</p> </td> </tr> <tr> <td>車両（重大事故等対処設備含む）</td> <td> <p>車両管理エリア（評価対象施設等から350mの範囲）内について下記の対策を実施する。</p> <p>&lt;飛散する車両&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーにより地面へ固縛する、または十分な重さのウェイトを取付ける。</li> <li>ウェイトの重量については、車両の自重+ウェイトの重量により空力パラメータが0.0026以下となる重量とする。</li> <li>停車車両については、竜巻襲来が予想される場合に速やかに車両退避エリア（評価対象施設等から350mの範囲外）に退避できる体制を取る旨マニュアルに反映することとしており固縛不要とする。</li> <li>業務車両以外の車両については、構内への入構を禁止する。</li> </ul> <p>&lt;飛散はしないが横滑りする車両&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーにより地面へ固縛する。</li> </ul>  <p>対策例</p> </td> </tr> </tbody> </table>	想定飛来物	対策方法	マンホール蓋	<ul style="list-style-type: none"> <li>容易に飛散しないよう高さ方向への飛散防止対策を行う（マンホール蓋上面からの固定、マンホール蓋へのチェーン接続など）。</li> </ul>  <p>対策例</p>	車両（重大事故等対処設備含む）	<p>車両管理エリア（評価対象施設等から350mの範囲）内について下記の対策を実施する。</p> <p>&lt;飛散する車両&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーにより地面へ固縛する、または十分な重さのウェイトを取付ける。</li> <li>ウェイトの重量については、車両の自重+ウェイトの重量により空力パラメータが0.0026以下となる重量とする。</li> <li>停車車両については、竜巻襲来が予想される場合に速やかに車両退避エリア（評価対象施設等から350mの範囲外）に退避できる体制を取る旨マニュアルに反映することとしており固縛不要とする。</li> <li>業務車両以外の車両については、構内への入構を禁止する。</li> </ul> <p>&lt;飛散はしないが横滑りする車両&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーにより地面へ固縛する。</li> </ul>  <p>対策例</p>	 <p>燃料油サービスタンク</p> <p>堰（防油堤）</p> <p>代替非常用発電機用の燃料油サービスタンク</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載の充実（大飯参照）</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>非常用発電機の相違</p>
想定飛来物	対策方法								
マンホール蓋	<ul style="list-style-type: none"> <li>容易に飛散しないよう高さ方向への飛散防止対策を行う（マンホール蓋上面からの固定、マンホール蓋へのチェーン接続など）。</li> </ul>  <p>対策例</p>								
車両（重大事故等対処設備含む）	<p>車両管理エリア（評価対象施設等から350mの範囲）内について下記の対策を実施する。</p> <p>&lt;飛散する車両&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーにより地面へ固縛する、または十分な重さのウェイトを取付ける。</li> <li>ウェイトの重量については、車両の自重+ウェイトの重量により空力パラメータが0.0026以下となる重量とする。</li> <li>停車車両については、竜巻襲来が予想される場合に速やかに車両退避エリア（評価対象施設等から350mの範囲外）に退避できる体制を取る旨マニュアルに反映することとしており固縛不要とする。</li> <li>業務車両以外の車両については、構内への入構を禁止する。</li> </ul> <p>&lt;飛散はしないが横滑りする車両&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーにより地面へ固縛する。</li> </ul>  <p>対策例</p>								
<p>3. 空冷式非常用発電装置の固縛対策（DB 竜巻まとめ資料より抜粋）</p> <p>空冷式非常用発電装置は、竜巻による飛散防止対策として、固縛対策を実施している。空冷式非常用発電装置の固縛対策の実施状況を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎による対策</li> </ul> <p>屋外設置のSA機器を鉄筋コンクリート製の基礎に係留することにより、浮上り及び横滑りを防止する。</p>  <p>連結材（玉掛けワイヤーロープ等） 連結補助材（ジャックル）</p> <p>固定材（鋼製治具、アンカー）</p> <p>SA設備材</p> <p>基礎（鉄筋コンクリート）</p> <p>空冷式非常用発電装置の固縛対策</p>	<p>3. 代替非常用発電機の固縛対策</p> <p>代替非常用発電機は、竜巻による飛散防止対策として、固縛対策を実施している。代替非常用発電機の固縛対策の実施状況を以下に示す。</p> <p>(1) 基礎による対策</p> <p>代替非常用発電機を鉄筋コンクリート製の基礎に係留することにより、浮上り及び横滑りを防止する。</p>  <p>代替非常用発電機の固縛対策</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設備の相違</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固縛方法については、竜巻まとめ資料の記載に則った対応であることを確認している。（参考として竜巻添付3.5別紙3の対策方法を記載。）</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>非常用発電機の相違</p>							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

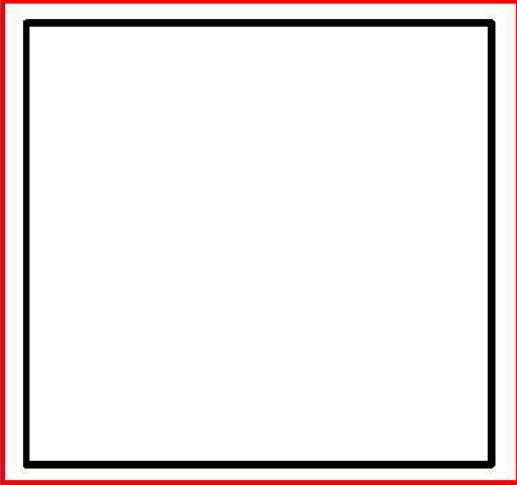


第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料6 代替非常用発電機の竜巻による火災の発生防止対策について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 172 647 486" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="91 663 409 687">4. 燃料油の漏えい、拡大防止対策</p> <p data-bbox="107 699 483 722">(a) 漏えい燃料の拡大を防止する堰の設置</p> <ul data-bbox="136 730 687 858" style="list-style-type: none"> <li>・漏えい燃料の拡大を防止し、発火源との接触を防ぐ油受けの堰を設置する。</li> <li>・燃料油サービスタングの保有量全量を貯留可能な設計とする。</li> </ul> <div data-bbox="100 898 669 1161" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="1355 172 1951 595" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1532 560 1742 584">施工イメージ（施工前）</p> <p data-bbox="1355 663 1673 687">4. 燃料油の漏えい、拡大防止対策</p> <p data-bbox="1370 699 1747 722">(a) 漏えい燃料の拡大を防止する堰の設置</p> <ul data-bbox="1400 730 1951 858" style="list-style-type: none"> <li>・漏えい燃料の拡大を防止し、発火源との接触を防ぐ油受けの堰を設置する。</li> <li>・燃料油サービスタングの保有量全量を貯留可能な設計とする。</li> </ul> <div data-bbox="1355 914 1973 1145" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1370 1161 1944 1185">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<div data-bbox="1989 153 2145 344" data-label="Text"> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載の充実 （大飯参照）</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違 非常用発電機の相違</li> </ul> </div> <div data-bbox="1989 903 2145 991" data-label="Text"> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違 非常用発電機の相違</li> </ul> </div>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-1 参考資料6 代替非常用発電機の竜巻による火災の発生防止対策について）

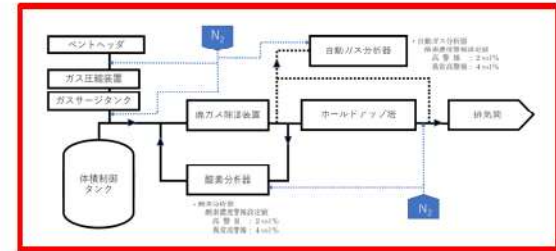
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1370 558 1944 587">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1989 151 2049 175">【女川】</p> <p data-bbox="1989 183 2094 247">■記載の充実 （大飯参照）</p> <p data-bbox="1989 255 2049 279">【大飯】</p> <p data-bbox="1989 287 2094 343">■設計の相違 制御盤の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">参考資料7</p> <p>泊発電所3号炉における気体廃棄物処理設備の防爆対策について</p> <p>1. はじめに</p> <p>発火性又は引火性物質である水素を内包する設備のうち気体廃棄物処理設備の防爆対策について示す。</p> <p>2. 対策内容</p> <p>気体廃棄物処理設備内で爆発性雰囲気を生成しないように以下の対策を実施する設計としている。</p> <p>(1) 酸素の混入防止</p> <p>水素を取り扱う設備では、酸素が機器・配管類から設備内へ混入することを防止するため次の対策を行う設計としている。</p> <p>a. 配管及び機器は溶接構造とし、弁類は無漏洩構造とする。また、設備内を正圧に維持する。</p> <p>b. 機器補修時の酸素の残留又は分析器を酸素ガスによる校正時の酸素混入等が考えられるため以下の対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気体廃棄物処理設備に接続される各機器については、接続ラインを隔離できる系統構成とし酸素の混入防止を図るとともに、窒素ガスパーズラインを設け、当該機器の補修時は窒素ガスによりパーズし機器内の酸素を除去できる系統構成とする。</li> <li>・自動ガス分析器及び酸素分析器の校正に用いた酸素ガスは、校正終了後に窒素ガスによりパーズし、分析器内の酸素を除去できる系統構成とする。</li> <li>・補修時に空気と接触した機器ドレンは気体廃棄物処理設備に接続されているタンクには排水しない。</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では、4vol%以上の水素を使用しているが、設備内の水素濃度に関係なく爆発性雰囲気を生成しない酸素濃度以下に酸素を管理していることから、本資料に示す。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(設計としては、大飯3・4号炉と同様である)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 酸素濃度管理</p> <p>水素濃度に関係なく爆発性雰囲気を生成しない酸素の上限濃度は5 vol%である。</p> <p>また、酸素濃度に関係なく爆発性雰囲気を生成しない水素の上限濃度は4 vol%である。</p> <p>このため、気体廃棄物処理設備内では酸素濃度を管理することとし、以下の設計としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の運転において水素濃度が4 vol%を超える可能性のある廃ガスラインは、除湿装置補修時の酸素混入の可能性も考慮し、除湿装置下流側に酸素分析器を多重設置し、連続的に設備内の酸素濃度を監視する設計とする。</li> <li>・自動ガス分析器を設置し、設備内の酸素濃度が5 vol%以下に維持されていることの確認が行える設計とする。</li> <li>・自動ガス分析器及び酸素分析器は、爆発性雰囲気を生成しない酸素の上限濃度5 vol%に余裕を見て2 vol%に「高警報」、4 vol%に「異常高警報」を設定し、異常高警報が発信した場合、廃ガスの通気を停止し、当該機器及びラインを窒素ガスにてバージする。</li> </ul> <p>以上のことから、泊発電所3号炉における気体廃棄物処理設備内において、爆発性雰囲気を形成しない設計としている。</p> <p>なお、泊発電所3号炉と同様に気体廃棄物処理設備を設置し酸素分析器を設置し、酸素濃度を管理することで、設備内の水素が可燃領域とならないように管理しているプラントとしては、大飯発電所3・4号炉、玄海発電所3・4号炉がある。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では、4 vol%以上の水素を使用しているが、設備内の水素濃度に関係なく爆発性雰囲気を生成しない酸素濃度以下に酸素を管理していることから、本資料に示す。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(設計としては、大飯3・4号炉と同様である)</p>





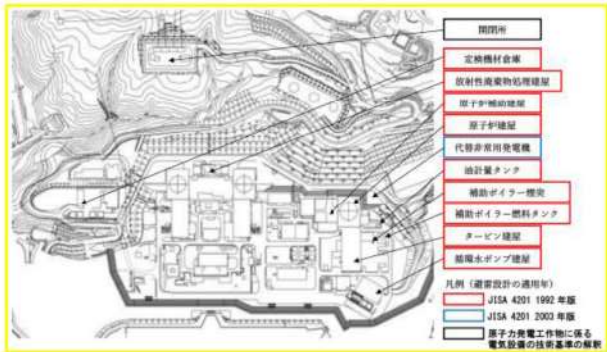
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
		<p style="text-align: right;">参考資料8</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における避雷設備の設置について (ヒアリングにおけるコメント回答)</p> <p>指摘事項</p> <table border="1" data-bbox="1355 367 1964 438"> <tr> <td>No.31 (221223-31)</td> <td>火災による 損傷の防止</td> <td>避雷針の適用JISについて建物ごとに違う適用年版を使用しているのか、同一の建物の中で適用年版を使い分けているものがあるのか、確認して説明すること。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1355 462 1964 534"> <tr> <td>No.54 (230113-20)</td> <td>火災による 損傷の防止</td> <td>高さ20mを超えない危険物貯蔵施設に設置している避雷針の扱いについて、先行の記載状況を踏まえて、高さ20mを超えるの記載の要否について説明すること。</td> </tr> </table> <p>A:</p> <p>(1) 泊発電所3号炉については、本申請範囲において、以下の原子炉施設に避雷設備を設置している。</p> <p>■建築基準法に基づくもの(先行(女川2,大飯3/4)の記載を踏まえた。)</p> <p>建築基準法第三十三条(避雷設備)「<u>高さ二十メートルをこえる建築物には、有効に避雷設備を設けなければならない。</u>」に基づき避雷設備を設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉建屋</li> <li>・原子炉補助建屋</li> <li>・タービン建屋</li> <li>・循環水ポンプ建屋</li> <li>・放射性廃棄物処理建屋</li> <li>・補助ボイラー煙突*</li> </ul> <p>※建築基準法第八十八条(工作物への準用)により、高さが6mを超える煙突は建築基準法第三十三条の規定を準用。</p>	No.31 (221223-31)	火災による 損傷の防止	避雷針の適用JISについて建物ごとに違う適用年版を使用しているのか、同一の建物の中で適用年版を使い分けているものがあるのか、確認して説明すること。	No.54 (230113-20)	火災による 損傷の防止	高さ20mを超えない危険物貯蔵施設に設置している避雷針の扱いについて、先行の記載状況を踏まえて、高さ20mを超えるの記載の要否について説明すること。	<p>【女川・大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>ヒアリング時のコメント回答として、泊の避雷針設置の法的根拠、設置箇所、JISの適合年版を整理した資料であり、大飯発電所3/4号炉及び女川原子力発電所2号炉においては、本資料はない。</p> <p>しかしながら、避雷設備の設置については、対象設備が異なるものの、設置の考え方は実質的な相違はない。</p> <p>(以降は、同様な相違理由のため着色せず)</p>
No.31 (221223-31)	火災による 損傷の防止	避雷針の適用JISについて建物ごとに違う適用年版を使用しているのか、同一の建物の中で適用年版を使い分けているものがあるのか、確認して説明すること。							
No.54 (230113-20)	火災による 損傷の防止	高さ20mを超えない危険物貯蔵施設に設置している避雷針の扱いについて、先行の記載状況を踏まえて、高さ20mを超えるの記載の要否について説明すること。							

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>■消防法に基づくもの (先行 (大飯3/4) の記載を踏まえた。)</p> <p>危険物の規制に関する政令 第十一条 (屋外タンク貯蔵所の基準) 第一項第十四号「指定数量の倍数が十以上の屋外タンク貯蔵所には、総務省令で定める避雷設備を設けること。」に基づき設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油計量タンク</li> <li>・補助ボイラー燃料タンク</li> </ul> <p>なお、外部事象 (落雷) を考慮し重大事故等対処設備である代替非常用発電機については、近傍に避雷針を設置することにより、また、緊急時対策所については、定検機材倉庫に避雷針を設置し、その雷保護範囲とすることにより落雷による火災発生を防止する設計としている。(先行 (女川2) 記載)</p> <p>また、避雷針ではないが、特別高圧開閉所については、以下に基づき架空地線・避雷器を設置している。</p> <p>■原子力発電工作物に係る電気設備に関する技術基準を定める命令 (電気設備に関する技術基準を定める省令) によるもの (先行 (大飯3/4) の記載を踏まえた。)</p> <p>第六条 (電線等の断線の防止) 「電線、支線、架空地線、弱電流電線等 (弱電流電線及び光ファイバケーブルをいう。以下同じ。) その他の電気設備の保安のために施設する線は、通常の使用状態において断線のおそれがないように施設しなければならない。」に基づき架空地線を設置。</p> <p>第三十三条 (高圧及び特別高圧の電路の避雷器等の施設) 「雷電圧による電路に施設する電気設備の損壊を防止できるよう、発電所の架空電線引込口及び引出口又はこれに近接する箇所には、避雷器の施設その他の適切な措置を講じなければならない。」に基づき避雷器を設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開閉所</li> </ul>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 「高さ20mを超える」の記載の要否について</p> <p>(1) のとおり避雷針の設置については、先行プラント(女川2、大飯3/4)において建築基準法に基づき高さ20mをこえる建築物に設置する以外に、建築基準法以外の法令に基づき設置している事例がある。しかしながら、先行申請記載においてはいずれも「建築基準法に基づき高さ20mをこえる建築物」との記載としていることから先行実績にならない、以下の記載と致します。</p> <p>『発電用原子炉施設内の構築物、系統及び機器は、落雷による火災発生を防止するため、地盤面から高さ20mを超える建築物には、建築基準法に基づき「JIS A4201 建築物等の避雷設備(避雷針)(1992年版)」又は「JIS A4201 建築物当の雷保護(2003年版)」に準拠した避雷設備の設置及び接地網の敷設を行う設計とする。』</p> <p>(3) 避雷針の適用JISについて建物ごとに違う適用年版について各建築物等の適合JISは以下のとおりであり、一つの建物に複数のJISの年版を適用している事例はございませんでした。また、先行(女川2)申請にならない、本文・補足説明の該当箇所に記載を反映いたしました。</p>  <p style="text-align: right;">以上</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-2 火災による損傷の防止を伴う重大事故等対処施設の分類について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>41-2 重大事故等対処施設への火災防護審査基準の適用（資料1）</p> <p style="text-align: center;">&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 重大事故等対処施設の分類に応じた火災防護対策</p> <p style="padding-left: 20px;">2.1 重大事故等対処施設</p> <p>添付資料1 重大事故等対処施設一覧表（屋内）</p> <p>添付資料2 重大事故等対処施設一覧表（屋外）</p>	<p>41-2 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設の分類について</p> <p style="text-align: center;">&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p style="padding-left: 20px;">2.1. 重大事故等対処施設</p> <p>添付資料1 女川原子力発電所2号炉 常設重大事故等対処施設一覧表（建屋内及び建屋外）</p>	<p>41-2 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設の分類について</p> <p style="text-align: center;">&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p style="padding-left: 20px;">2.1. 重大事故等対処施設</p> <p>添付資料1 泊発電所3号炉 常設重大事故等対処施設一覧表（建屋内及び建屋外）</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-2 火災による損傷の防止を伴う重大事故等対処施設の分類について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">重大事故等対処施設への火災防護審査基準の準用</p> <p>1. 概要            「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下、「設置許可基準」という。）第四十一条に基づき火災防護対策を実施する重大事故等対処施設の火災防護を実施するにあたって「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（以下、「火災防護審査基準」という）を準用する考え方を示す。</p>	<p style="text-align: right;">41-2</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設の分類について</p> <p>1. 概要            重大事故等対処施設は、一部、設計基準対象施設でもある施設があることから、本資料では、火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「設置許可基準規則」という。）第八条及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）に基づき実施する施設と、設置許可基準規則第四十一条に基づき実施する施設に分類する。            設置許可基準規則第八条及び第四十一条の要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（火災による損傷の防止）              第八条 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び消火を行う設備（以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。）並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>2 消火設備（安全施設に属するものに限る。）は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉を安全に停止させるための機能を損なわないものでなければならない。</p> </div> <p>（火災による損傷の防止）            第四十一条 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p>	<p style="text-align: right;">41-2</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設の分類について</p> <p>1. 概要            重大事故等対処施設は、一部、設計基準対象施設でもある施設があることから、本資料では、火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「設置許可基準規則」という。）第八条及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護に係る審査基準」という。）に基づき実施する施設と、設置許可基準規則第四十一条に基づき実施する施設に分類する。            設置許可基準規則第八条及び第四十一条の要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（火災による損傷の防止）              第八条 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び消火を行う設備（以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。）並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>2 消火設備（安全施設に属するものに限る。）は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉を安全に停止させるための機能を損なわないものでなければならない。</p> </div> <p>（火災による損傷の防止）            第四十一条 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p>	<p>【大飯】            ■記載方針の相違            （女川実績の反映）            【大飯】            ■記載方針の相違            （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】            ■記載内容の相違            女川実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 重大事故等対処施設の分類に応じた火災防護対策</p> <p>重大事故等対処施設のうち余熱除去ポンプ等の一部の施設については、設計基準対象施設でもある。</p> <p>重大事故等対処施設のうち設計基準対象施設でもある施設は、<b>規則基準第八条</b>に基づき火災による損傷の防止を行っていることから、ここでは、基準規則第四十一条に基づき火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設 (施設に使用しているケーブル含む) と<b>基準規則第八条</b>に基づき火災による損傷の防止を行う施設を分類する。</p>	<p>2. 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設として、常設重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備及び当該設備に使用しているケーブルを火災防護対象とする。</p> <p>重大事故等対処施設のうちの施設については、設計基準対象施設として火災防護に係る審査基準上の火災防護対象となる施設でもある。</p> <p>重大事故等対処施設のうち、設計基準対象施設として火災防護に係る審査基準上の火災防護対象となる施設は、審査基準に基づき火災による損傷の防止を行っていることから、ここでは、設置許可基準規則第四十一条に基づき火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設 (施設に使用しているケーブルを含む) と、火災防護に係る審査基準に基づき火災による損傷の防止を行う施設を分類する。</p>	<p>2. 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設として、常設重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備及び当該設備に使用しているケーブルを火災防護対象とする。</p> <p>重大事故等対処施設のうちの施設については、設計基準対象施設として火災防護に係る審査基準上の火災防護対象となる施設でもある。</p> <p>重大事故等対処施設のうち、設計基準対象施設として火災防護に係る審査基準上の火災防護対象となる施設は、審査基準に基づき火災による損傷の防止を行っていることから、ここでは、設置許可基準規則第四十一条に基づき火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設 (施設に使用しているケーブルを含む) と、火災防護に係る審査基準に基づき火災による損傷の防止を行う施設を分類する。</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p>
<p>2.1 重大事故等対処施設</p> <p>重大事故等対処施設を添付資料1、2に示す。これらの機器については、設置許可基準第四十三条にて選定された常設重大事故等対処設備と同一であり、四十三条の機器等の見直しは、適宜反映する。</p> <p>【下記、大飯41-1資料から抜粋】</p> <p>ただし、配管のパッキン類は、その機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難であるが、金属で覆われた狭隙部に設置し直接火災に晒されることはないことから不燃性材料又は難燃性材料ではない材料を使用する設計とする。</p> <p>なお、添付資料1、2は、重大事故等対処施設の設置場所に従って、以下のとおりに分ける。</p> <p>①重大事故等対処施設のうち、屋内に設置するものを添付資料1に示す。</p> <p>②重大事故等対処施設のうち、屋外に設置するものを添付資料2に示す。</p>	<p>2.1. 重大事故等対処施設</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を添付資料1に示す。重大事故等対処施設のうち、金属製の接続口、配管等やコンクリート製の構造物等は熱影響の小さい不燃性材料で構成されている。これらの不燃材で構成された機器については添付資料1に示すとおり、構成材の特性や火災による機能への影響等を踏まえた上で、適切に火災防護対策を行う設計とする。ただし、金属製の配管等においても一部で内部の液体の漏えいを防止するため不燃性でないパッキン類が装着されている。<b>パッキン類についてはフランジ取付状態を模擬した耐火試験において接液したシート面に大幅な温度上昇が生じず、機能に影響しないことを確認している。(8条-別添1-資料1-参考4)</b></p> <p>なお、添付資料1に示す火災防護対象機器等は、補足説明資料の「共-1 重大事故等対処設備の設備分離及び選定について」より抽出しており、重大事故等対処設備の主要設備及び一部の付帯設備を記載しているが、これら以外の付帯設備も火災防護対象とする。</p>	<p>2.1. 重大事故等対処施設</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設を添付資料1に示す。重大事故等対処施設のうち、金属製の接続口、配管等やコンクリート製の構造物等は熱影響の小さい不燃性材料で構成されている。これらの不燃材で構成された機器については添付資料1に示すとおり、構成材の特性や火災による機能への影響等を踏まえた上で、適切に火災防護対策を行う設計とする。ただし、金属製の配管等においても一部で内部の液体の漏えいを防止するため不燃性でないパッキン類が装着されている。<b>配管のパッキン類は、その機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難であるが、金属で覆われた狭隙部に設置し直接火災に晒されることはないことから不燃性材料又は難燃性材料ではない材料を使用する設計とする。</b></p> <p>なお、添付資料1に示す火災防護対象機器等は、補足説明資料の「共-1 重大事故等対処設備の設備分離及び選定について」より抽出しており、重大事故等対処設備の主要設備及び一部の付帯設備を記載しているが、これら以外の付帯設備も火災防護対象とする。</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【女川】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      女川は配管フランジパッキン部が直接火災によって熱せられることを想定し、試験にて影響がない事を確認し、記載している。泊については、弁・配管等のフランジ周囲に火元となる可燃物を置かない管理を行うため、パッキンが直接火災に晒されることはないため、試験を実施していない。(大飯と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>今後重大事故等対処施設の対象が追加となった場合は、他の重大事故等対処施設と同様の火災防護対策を実施することとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>四十一条のみで火災の損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p>重大事故等対処施設でもあり、設計基準対象施設でもある施設</p> </div> <p>八条に基づき火災の損傷を防止する施設</p> <p><input type="checkbox"/> 重大事故等対処施設</p>	<p>今後重大事故等対処施設の対象が追加となった場合は、他の重大事故等対処施設と同様の火災防護対策を実施することとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>設置許可基準規則第四十一条のみで火災の損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p>重大事故等対処施設でもあり、火災防護に係る審査基準上の火災防護対象でもある施設</p> </div> <p>火災防護に係る審査基準に基づき火災の損傷を防止する施設</p> <p><input type="checkbox"/> 重大事故等対処施設</p>	<p>今後重大事故等対処施設の対象が追加となった場合は、他の重大事故等対処施設と同様の火災防護対策を実施することとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>設置許可基準規則第四十一条のみで火災の損傷の防止を行う重大事故等対処施設</p> <p>重大事故等対処施設でもあり、火災防護に係る審査基準上の火災防護対象でもある施設</p> </div> <p>火災防護に係る審査基準に基づき火災の損傷を防止する施設</p> <p><input type="checkbox"/> 重大事故等対処施設</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉 添付資料1 重大事故等対処施設一覧表 (屋内)	女川原子力発電所2号炉 添付資料1 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外)	泊発電所3号炉 添付資料1 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外)	相違理由																																																																																																																																										
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表 (屋内)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">重大事故等対処施設</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材高温側温度 (広域)</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度 (広域)</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>AM用格納容器圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ATWS 緩和設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>充てんポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>S P D S表示装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化フィルタユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄電池 (安全防護用)</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>衛星電話 (固定)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	重大事故等対処施設	備考	1次冷却材圧力	基準規則第八条対象	1次冷却材高温側温度 (広域)	基準規則第八条対象	1次冷却材低温側温度 (広域)	基準規則第八条対象	AM用格納容器圧力		ATWS 緩和設備		格納容器スプレイポンプ		格納容器スプレイ冷却器		格納容器スプレイ積算流量		余熱除去ポンプ	基準規則第八条対象	余熱除去冷却器	基準規則第八条対象	充てんポンプ	基準規則第八条対象	高圧注入ポンプ	基準規則第八条対象	S P D S表示装置		アニュラス空気浄化ファン		アニュラス空気浄化フィルタユニット		蓄電池 (安全防護用)	基準規則第八条対象	衛星電話 (固定)		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外)</p> <p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (1/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 20%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注)</sup></th> <th style="width: 30%;">備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">44</td> <td rowspan="4">代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動機構</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災により電磁弁が機能喪失するとスクラム動作すること、万一誤作動、不動作した場合であっても電源を切ることでスクラム動作が可能であることから系統機能に影響を及ぼすものではない</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災により電磁弁が機能喪失するとスクラム動作すること、万一誤作動、不動作した場合であっても電源を切ることでスクラム動作が可能であることから系統機能に影響を及ぼすものではない</td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>原子炉再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替原子炉再循環ポンプトリップ機能)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">44</td> <td rowspan="3">ほう酸水注入</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>出力急上昇の防止</td> <td>ATWS 緩和設備 (自動減圧系作動阻止機能)</td> <td>①</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)：以下の対策を実施する設計とする。                  ①火災防護に係る審査基準に基づき火災防護対策                  ②消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</p> </div>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張	44	代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	①		制御棒	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	制御棒駆動機構	②	不燃材で構成されているため、火災により電磁弁が機能喪失するとスクラム動作すること、万一誤作動、不動作した場合であっても電源を切ることでスクラム動作が可能であることから系統機能に影響を及ぼすものではない	制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット	②	不燃材で構成されているため、火災により電磁弁が機能喪失するとスクラム動作すること、万一誤作動、不動作した場合であっても電源を切ることでスクラム動作が可能であることから系統機能に影響を及ぼすものではない	44	原子炉再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制	ATWS 緩和設備 (代替原子炉再循環ポンプトリップ機能)	①		44	ほう酸水注入	ほう酸水注入系ポンプ	①		ほう酸水注入系貯蔵タンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	ほう酸水注入系 配管・弁 [流路]	①		44	出力急上昇の防止	ATWS 緩和設備 (自動減圧系作動阻止機能)	①	その他の設備に記載	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外)</p> <p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (1/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 25%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注)</sup></th> <th style="width: 40%;">備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">44</td> <td rowspan="2">手動による原子炉緊急停止</td> <td>原子炉トリップスイッチ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒クラスタ</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">44</td> <td rowspan="10">原子炉出力抑制 (自動)</td> <td>原子炉トリップ遮断器</td> <td>②</td> <td>火災により機能喪失した場合には、制御棒が自重により落下することから火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>共通要因故障対策電 (自動制御盤) (ATWS 緩和設備)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁</td> <td>②</td> <td>当該弁は通常開、機能要求時閉である。電流区分の異なる駆動源にて二重化されており、火災影響を受け機能喪失した場合はフェイルセーフ設計であるため、火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気安全弁</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器安全弁</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">44</td> <td rowspan="4">主蒸気管 [流路]</td> <td>主蒸気管 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (1次冷却材ポンプ、原子炉容器、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注)：以下の対策を実施する設計とする。                  ①火災防護に係る審査基準に基づき火災防護対策                  ②消防法又は建築基準法に基づく火災防護対策</p> </div>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張	44	手動による原子炉緊急停止	原子炉トリップスイッチ	①		制御棒クラスタ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	44	原子炉出力抑制 (自動)	原子炉トリップ遮断器	②	火災により機能喪失した場合には、制御棒が自重により落下することから火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。	共通要因故障対策電 (自動制御盤) (ATWS 緩和設備)	①		主蒸気隔離弁	②	当該弁は通常開、機能要求時閉である。電流区分の異なる駆動源にて二重化されており、火災影響を受け機能喪失した場合はフェイルセーフ設計であるため、火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。	電動補助給水ポンプ	①		タービン動補助給水ポンプ	①		補助給水ピット [水源]	—	56条に記載	主蒸気逃がし弁	①		主蒸気安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	加圧器逃がし弁	①		加圧器安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	蒸気発生器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	44	主蒸気管 [流路]	主蒸気管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		1次冷却設備 [流路] (1次冷却材ポンプ、原子炉容器、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設備名称の相違</li> <li>【大飯】</li> <li>■記載方針の相違</li> <li>(女川実績の反映：着色せず)</li> <li>【女川・大飯】</li> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
重大事故等対処施設	備考																																																																																																																																												
1次冷却材圧力	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
1次冷却材高温側温度 (広域)	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
1次冷却材低温側温度 (広域)	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
AM用格納容器圧力																																																																																																																																													
ATWS 緩和設備																																																																																																																																													
格納容器スプレイポンプ																																																																																																																																													
格納容器スプレイ冷却器																																																																																																																																													
格納容器スプレイ積算流量																																																																																																																																													
余熱除去ポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
余熱除去冷却器	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
充てんポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
高圧注入ポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
S P D S表示装置																																																																																																																																													
アニュラス空気浄化ファン																																																																																																																																													
アニュラス空気浄化フィルタユニット																																																																																																																																													
蓄電池 (安全防護用)	基準規則第八条対象																																																																																																																																												
衛星電話 (固定)																																																																																																																																													
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																																									
44	代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	①																																																																																																																																										
		制御棒	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																									
		制御棒駆動機構	②	不燃材で構成されているため、火災により電磁弁が機能喪失するとスクラム動作すること、万一誤作動、不動作した場合であっても電源を切ることでスクラム動作が可能であることから系統機能に影響を及ぼすものではない																																																																																																																																									
		制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット	②	不燃材で構成されているため、火災により電磁弁が機能喪失するとスクラム動作すること、万一誤作動、不動作した場合であっても電源を切ることでスクラム動作が可能であることから系統機能に影響を及ぼすものではない																																																																																																																																									
44	原子炉再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制	ATWS 緩和設備 (代替原子炉再循環ポンプトリップ機能)	①																																																																																																																																										
44	ほう酸水注入	ほう酸水注入系ポンプ	①																																																																																																																																										
		ほう酸水注入系貯蔵タンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																									
		ほう酸水注入系 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																										
44	出力急上昇の防止	ATWS 緩和設備 (自動減圧系作動阻止機能)	①	その他の設備に記載																																																																																																																																									
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																																									
44	手動による原子炉緊急停止	原子炉トリップスイッチ	①																																																																																																																																										
		制御棒クラスタ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																									
44	原子炉出力抑制 (自動)	原子炉トリップ遮断器	②	火災により機能喪失した場合には、制御棒が自重により落下することから火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																																																									
		共通要因故障対策電 (自動制御盤) (ATWS 緩和設備)	①																																																																																																																																										
		主蒸気隔離弁	②	当該弁は通常開、機能要求時閉である。電流区分の異なる駆動源にて二重化されており、火災影響を受け機能喪失した場合はフェイルセーフ設計であるため、火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																																																									
		電動補助給水ポンプ	①																																																																																																																																										
		タービン動補助給水ポンプ	①																																																																																																																																										
		補助給水ピット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																									
		主蒸気逃がし弁	①																																																																																																																																										
		主蒸気安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																									
		加圧器逃がし弁	①																																																																																																																																										
		加圧器安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																									
蒸気発生器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																											
44	主蒸気管 [流路]	主蒸気管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																									
		主蒸気設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																										
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																										
		1次冷却設備 [流路] (1次冷却材ポンプ、原子炉容器、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																		
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表(屋内)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>重大事故等対処施設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加圧器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力(広域)</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ再循環サンプ側</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入口格納容器隔離弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時衛星通報システム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入ライン補給弁</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処施設	備考	加圧器		加圧器水位	基準規則第八条対象	加圧器逃がし弁	基準規則第八条対象	格納容器圧力(広域)	基準規則第八条対象	格納容器再循環サンプ水位(広域)		格納容器再循環サンプ水位(狭域)		格納容器再循環ユニット		格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)		格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)		格納容器内温度		格納容器スプレィポンプ再循環サンプ側		入口格納容器隔離弁		緊急時衛星通報システム		緊急ほう酸注入ライン補給弁	基準規則第八条対象	原子炉格納容器水位		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (2/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準参照</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">45</td> <td rowspan="10">高圧代管注水系による原子炉の冷却</td> <td>高圧代管注水系ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代管注水系(蒸気系)配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管・弁[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系(蒸気系)配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代管注水系(注水系)配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給水系配管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレィ系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系弁[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系配管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>復水給水系配管・弁・スレージヤ[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">45</td> <td rowspan="10">原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却</td> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系(蒸気系)配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管・弁[流路]</td> <td>②</td> <td>② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系(注水系)配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>補給水系配管[流路]</td> <td>②</td> <td>② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレィ系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系配管[流路]</td> <td>②</td> <td>② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>復水給水系配管・弁・スレージヤ[流路]</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">45</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準参照	45	高圧代管注水系による原子炉の冷却	高圧代管注水系ポンプ	①		高圧代管注水系(蒸気系)配管・弁[流路]	①		主蒸気系配管・弁[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	原子炉隔離時冷却系(蒸気系)配管・弁[流路]	①		高圧代管注水系(注水系)配管・弁[流路]	①		補給水系配管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	高圧中心スプレィ系配管・弁[流路]	①		燃料プール補給水系弁[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	原子炉冷却材浄化系配管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	復水給水系配管・弁・スレージヤ[流路]	①		45	原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却	原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	復水貯蔵タンク[水源]	—	56条に記載	原子炉隔離時冷却系ポンプ	①	②	原子炉隔離時冷却系(蒸気系)配管・弁[流路]	①	②	主蒸気系配管・弁[流路]	②	② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	原子炉隔離時冷却系(注水系)配管・弁[流路]	①	②	補給水系配管[流路]	②	② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	高圧中心スプレィ系配管・弁[流路]	①	②	原子炉冷却材浄化系配管[流路]	②	② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	復水給水系配管・弁・スレージヤ[流路]	①	②	45	原子炉圧力容器[注水先]	原子炉圧力容器	—	その他の設備に記載	復水貯蔵タンク[水源]	—	56条に記載	<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (2/51)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準参照</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">44</td> <td rowspan="10">原子炉出力抑制(手動)</td> <td>主蒸気隔離弁</td> <td>②</td> <td>当該弁は通常開、機能要求時閉である。電源区分の異なる駆動源にて二重化されており、火災影響を受け機能喪失した場合はフェイルセーフ設計であるため、火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気安全弁</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器安全弁</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">44</td> <td rowspan="10">ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン)</td> <td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備[流路]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸フィルタ[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">44</td> <td rowspan="10">ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン)</td> <td>再生熱交換器[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ[流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸フィルタ[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準参照	44	原子炉出力抑制(手動)	主蒸気隔離弁	②	当該弁は通常開、機能要求時閉である。電源区分の異なる駆動源にて二重化されており、火災影響を受け機能喪失した場合はフェイルセーフ設計であるため、火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。	電動補助給水ポンプ	①		タービン動補助給水ポンプ	①		補助給水ビット[水源]	—	56条に記載	主蒸気逃がし弁	①		主蒸気安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	加圧器逃がし弁	①		加圧器安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	蒸気発生器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	44	ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン)	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①		補助給水設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備[流路]	—	その他の設備に記載	1次冷却設備(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	ほう酸タンク[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	ほう酸ポンプ	①		緊急ほう酸注入弁[流路]	①		充てんポンプ	①		ほう酸フィルタ[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	44	ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン)	再生熱交換器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	化学体積制御設備 配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ[流路])	—	48条に記載	1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	ほう酸タンク[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	ほう酸ポンプ	①		緊急ほう酸注入弁[流路]	①		充てんポンプ	①		ほう酸フィルタ[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
重大事故等対処施設	備考																																																																																																																																																																																																																				
加圧器																																																																																																																																																																																																																					
加圧器水位	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																				
加圧器逃がし弁	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																				
格納容器圧力(広域)	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																				
格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																																																																																																																																																					
格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																																																																																																																																					
格納容器再循環ユニット																																																																																																																																																																																																																					
格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																																																																																																																																					
格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																																																																																																																																																																					
格納容器内温度																																																																																																																																																																																																																					
格納容器スプレィポンプ再循環サンプ側																																																																																																																																																																																																																					
入口格納容器隔離弁																																																																																																																																																																																																																					
緊急時衛星通報システム																																																																																																																																																																																																																					
緊急ほう酸注入ライン補給弁	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器水位																																																																																																																																																																																																																					
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準参照																																																																																																																																																																																																																	
45	高圧代管注水系による原子炉の冷却	高圧代管注水系ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		高圧代管注水系(蒸気系)配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		主蒸気系配管・弁[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉隔離時冷却系(蒸気系)配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		高圧代管注水系(注水系)配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		補給水系配管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		高圧中心スプレィ系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		燃料プール補給水系弁[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉冷却材浄化系配管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		復水給水系配管・弁・スレージヤ[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
45	原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却	原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		復水貯蔵タンク[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉隔離時冷却系ポンプ	①	②																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉隔離時冷却系(蒸気系)配管・弁[流路]	①	②																																																																																																																																																																																																																	
		主蒸気系配管・弁[流路]	②	② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉隔離時冷却系(注水系)配管・弁[流路]	①	②																																																																																																																																																																																																																	
		補給水系配管[流路]	②	② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		高圧中心スプレィ系配管・弁[流路]	①	②																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉冷却材浄化系配管[流路]	②	② 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		復水給水系配管・弁・スレージヤ[流路]	①	②																																																																																																																																																																																																																	
45	原子炉圧力容器[注水先]	原子炉圧力容器	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		復水貯蔵タンク[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																																	
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準参照																																																																																																																																																																																																																	
44	原子炉出力抑制(手動)	主蒸気隔離弁	②	当該弁は通常開、機能要求時閉である。電源区分の異なる駆動源にて二重化されており、火災影響を受け機能喪失した場合はフェイルセーフ設計であるため、火災によって系統機能に影響を及ぼすものではない。																																																																																																																																																																																																																	
		電動補助給水ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		タービン動補助給水ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		補助給水ビット[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																																	
		主蒸気逃がし弁	①																																																																																																																																																																																																																		
		主蒸気安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		加圧器逃がし弁	①																																																																																																																																																																																																																		
		加圧器安全弁	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		蒸気発生器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
44	ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン)	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		1次冷却設備[流路]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		1次冷却設備(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		ほう酸タンク[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		ほう酸ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		緊急ほう酸注入弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		充てんポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		ほう酸フィルタ[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
44	ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン)	再生熱交換器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		化学体積制御設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ[流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																																	
		1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																	
		ほう酸タンク[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	
		ほう酸ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		緊急ほう酸注入弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																		
		充てんポンプ	①																																																																																																																																																																																																																		
		ほう酸フィルタ[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																																	

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																				
<p>大阪発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表 (屋内)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重大事故等対処施設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器水素燃焼装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>号機間電力融通恒設ケーブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>主蒸気圧力</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処施設	備考	原子炉格納容器水素燃焼装置		原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置		原子炉下部キャビティ水位		原子炉補機冷却水サージタンク	基準規則第八条対象	原子炉補機冷却水サージタンク水位	基準規則第八条対象	原子炉補機冷却水ポンプ	基準規則第八条対象	原子炉補機冷却水冷却器	基準規則第八条対象	高圧注入流量	基準規則第八条対象	号機間電力融通恒設ケーブル		恒設代替低圧注水ポンプ		恒設代替低圧注水積算流量		格納容器再循環サンプ		格納容器再循環サンプスクリーン		主蒸気逃がし弁	基準規則第八条対象	主蒸気圧力	基準規則第八条対象	主蒸気隔離弁	基準規則第八条対象	<p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (3/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>注1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">45</td> <td rowspan="4">高圧炉心スプレイ系による原子炉の冷却</td> <td>高圧炉心スプレイ系ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパージヤ (流路)</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補給水系配管 (流路)</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">45</td> <td rowspan="2">ほう酸水注入系による濃縮調整</td> <td>濃水貯蔵タンク [水側]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>サブプレッジョンチェンバ [水側]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">主蒸気逃がし安全弁</td> <td>主蒸気逃がし安全弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">原子炉減圧の自動化 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ</td> <td>主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系 配管・クレンチャ [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>原子炉減圧の自動化 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ</td> <td>代替自動減圧回路 (代替自動減圧機能)</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>可搬型代替直流電源設備による主蒸気逃がし安全弁機能回復</td> <td>ATWS 緩和設備 (自動減圧作動停止機能)</td> <td>—</td> <td>44条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">高圧蒸発ガス供給系 (非常用) による作動装置確保 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ</td> <td>代替高圧蒸発ガス供給系</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>高圧蒸発ガス供給系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>代替高圧蒸発ガス供給系による原子炉減圧 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ</td> <td>代替高圧蒸発ガス供給系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>インターフェイスシステム LOCA 隔離弁</td> <td>HPCS 注入隔離弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>46</td> <td>ブローアウトパネル</td> <td>原子炉建屋ブローアウトパネル</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1)</sup>	備考 ※設計基準相違	45	高圧炉心スプレイ系による原子炉の冷却	高圧炉心スプレイ系ポンプ	①	※	高圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパージヤ (流路)	①	※	補給水系配管 (流路)	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉圧力容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	45	ほう酸水注入系による濃縮調整	濃水貯蔵タンク [水側]	—	56条に記載	サブプレッジョンチェンバ [水側]	—	56条に記載	46	主蒸気逃がし安全弁	主蒸気逃がし安全弁	①	※	主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	46	原子炉減圧の自動化 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気系 配管・クレンチャ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	46	原子炉減圧の自動化 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	代替自動減圧回路 (代替自動減圧機能)	①	※	46	可搬型代替直流電源設備による主蒸気逃がし安全弁機能回復	ATWS 緩和設備 (自動減圧作動停止機能)	—	44条に記載	46	高圧蒸発ガス供給系 (非常用) による作動装置確保 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	代替高圧蒸発ガス供給系	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	高圧蒸発ガス供給系 配管・弁 [流路]	①	※	46	代替高圧蒸発ガス供給系による原子炉減圧 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	代替高圧蒸発ガス供給系 配管・弁 [流路]	①	※	46	インターフェイスシステム LOCA 隔離弁	HPCS 注入隔離弁	①	※	46	ブローアウトパネル	原子炉建屋ブローアウトパネル	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	<p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (4/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>注1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">45</td> <td rowspan="10">ほう酸水注入 (燃料取扱用海水ピット→充てんライン)</td> <td>燃料取扱用海水ピット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>充てんポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td colspan="5">第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (5/51)</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">45</td> <td rowspan="15">1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)</td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用海水ピット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>蓄圧タンク</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>蓄圧タンク出口弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入タンク [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1)</sup>	備考 ※設計基準相違	45	ほう酸水注入 (燃料取扱用海水ピット→充てんライン)	燃料取扱用海水ピット [水源]	—	56条に記載	充てんポンプ	①	※	再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	化学体積制御設備 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (5/51)					45	1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	①	※	加圧器逃がし弁	①	※	燃料取扱用海水ピット [水源]	—	56条に記載	蓄圧タンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	蓄圧タンク出口弁	①	※	余熱除去ポンプ	①	※	余熱除去冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	ほう酸水注入タンク [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	高圧注入系 配管・弁 [流路]	①	※	余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大阪】  <b>■設計の相違</b>          炉型による設備構成及び設計の相違</p>
重大事故等対処施設	備考																																																																																																																																																																																																						
原子炉格納容器水素燃焼装置																																																																																																																																																																																																							
原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置																																																																																																																																																																																																							
原子炉下部キャビティ水位																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水サージタンク	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
原子炉補機冷却水サージタンク水位	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
原子炉補機冷却水冷却器	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
高圧注入流量	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
号機間電力融通恒設ケーブル																																																																																																																																																																																																							
恒設代替低圧注水ポンプ																																																																																																																																																																																																							
恒設代替低圧注水積算流量																																																																																																																																																																																																							
格納容器再循環サンプ																																																																																																																																																																																																							
格納容器再循環サンプスクリーン																																																																																																																																																																																																							
主蒸気逃がし弁	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
主蒸気圧力	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
主蒸気隔離弁	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																						
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1)</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																																																			
45	高圧炉心スプレイ系による原子炉の冷却	高圧炉心スプレイ系ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																			
		高圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパージヤ (流路)	①	※																																																																																																																																																																																																			
		補給水系配管 (流路)	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																			
45	ほう酸水注入系による濃縮調整	濃水貯蔵タンク [水側]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																			
		サブプレッジョンチェンバ [水側]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																			
46	主蒸気逃がし安全弁	主蒸気逃がし安全弁	①	※																																																																																																																																																																																																			
		主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
46	原子炉減圧の自動化 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
		主蒸気系 配管・クレンチャ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
46	原子炉減圧の自動化 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	代替自動減圧回路 (代替自動減圧機能)	①	※																																																																																																																																																																																																			
46	可搬型代替直流電源設備による主蒸気逃がし安全弁機能回復	ATWS 緩和設備 (自動減圧作動停止機能)	—	44条に記載																																																																																																																																																																																																			
46	高圧蒸発ガス供給系 (非常用) による作動装置確保 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	代替高圧蒸発ガス供給系	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
		高圧蒸発ガス供給系 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																																																																																			
46	代替高圧蒸発ガス供給系による原子炉減圧 ※主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機能) のみ	代替高圧蒸発ガス供給系 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																																																																																			
46	インターフェイスシステム LOCA 隔離弁	HPCS 注入隔離弁	①	※																																																																																																																																																																																																			
46	ブローアウトパネル	原子炉建屋ブローアウトパネル	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1)</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																																																			
45	ほう酸水注入 (燃料取扱用海水ピット→充てんライン)	燃料取扱用海水ピット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																			
		充てんポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																			
		再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																																																																																			
		化学体積制御設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																																																																																			
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																			
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																			
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																			
		第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (5/51)																																																																																																																																																																																																					
		45	1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																	
加圧器逃がし弁	①			※																																																																																																																																																																																																			
燃料取扱用海水ピット [水源]	—			56条に記載																																																																																																																																																																																																			
蓄圧タンク	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
蓄圧タンク出口弁	①			※																																																																																																																																																																																																			
余熱除去ポンプ	①			※																																																																																																																																																																																																			
余熱除去冷却器	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
格納容器再循環サンプ	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
格納容器再循環サンプスクリーン	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
ほう酸水注入タンク [流路]	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																			
非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①			※																																																																																																																																																																																																			
高圧注入系 配管・弁 [流路]	①			※																																																																																																																																																																																																			
余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①			※																																																																																																																																																																																																			
原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—			48条に記載																																																																																																																																																																																																			
1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—			その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																					



赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																									
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表(屋内)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">重大事故等対処施設</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力領域中性子束</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(広域)</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度(AM用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットエリア監視カメラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位(AM用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合装置温度監視装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄圧タンク</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄圧タンク出口弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調ファン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調ユニット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処施設	備考	出力領域中性子束	基準規則第八条対象	中間領域中性子束		中性子源領域中性子束	基準規則第八条対象	蒸気発生器		蒸気発生器水位(広域)	基準規則第八条対象	蒸気発生器水位(狭域)	基準規則第八条対象	使用済燃料ピット温度(AM用)		使用済燃料ピットエリア監視カメラ		使用済燃料ピット水位(AM用)		静的触媒式水素再結合装置		静的触媒式水素再結合装置温度監視装置		タービン動補助給水ポンプ	基準規則第八条対象	代替所内電気設備分電盤		蓄圧タンク		蓄圧タンク出口弁		中央制御室空調ファン		中央制御室空調ユニット		<p style="text-align: center;">第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (4/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策①</th> <th style="width: 40%;">備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉の冷却</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給水系 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系配管・弁[流路]</td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉の冷却</td> <td>復水貯蔵タンク[水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給水系配管[流路]</td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系配管・弁・スパージョ[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却</td> <td>復水貯蔵タンク[水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>補給水系 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>脱気貯水槽 (No.1) [水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>脱気貯水槽 (No.2) [水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">残留熱除去系(低圧注水モード)による低圧注水</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器・配管・弁・ストレーナ[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションタンク[水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	47	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉の冷却	復水移送ポンプ	①		補給水系 配管・弁[流路]	①		高圧炉心スプレイ系配管・弁[流路]	①		燃料プール補給水系[流路]	①		残留熱除去系配管・弁[流路]	②		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	47	低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉の冷却	復水貯蔵タンク[水源]	—	58条に記載	直流駆動低圧注水系ポンプ	①		補給水系配管[流路]	②		高圧炉心スプレイ系配管・弁・スパージョ[流路]	①		燃料プール補給水系[流路]	①		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	47	低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却	復水貯蔵タンク[水源]	—	58条に記載	補給水系 配管・弁[流路]	①		残留熱除去系 配管・弁[流路]	①		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	脱気貯水槽 (No.1) [水源]	—	58条に記載	脱気貯水槽 (No.2) [水源]	—	58条に記載	47	残留熱除去系(低圧注水モード)による低圧注水	残留熱除去系ポンプ	①	※	残留熱除去系熱交換器・配管・弁・ストレーナ[流路]	①	※	原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	サブプレッションタンク[水源]	—	58条に記載	<p style="text-align: center;">第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (6/71)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策①</th> <th style="width: 40%;">備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">45</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側からの除熱(タービン直結補助給水ポンプの機能回復)</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>④</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット[水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器[注水先]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>タービン直結補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁</td> <td>④</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>④</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>④</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">45</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側からの除熱(電動補助給水ポンプの機能回復)</td> <td>補助給水ピット[水源]</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器[注水先]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td> <td>④</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(広域)</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">45</td> <td rowspan="5">監視及び制御に用いる設備</td> <td>加圧器水位</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(広域)</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	45	蒸気発生器2次側からの除熱(タービン直結補助給水ポンプの機能回復)	タービン動補助給水ポンプ	①	※	主蒸気逃がし弁	④	※	補助給水ピット[水源]	—	58条に記載	蒸気発生器[注水先]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	タービン直結補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁	④	※	主蒸気管[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※	電動補助給水ポンプ	④	※	主蒸気逃がし弁	④	※	45	蒸気発生器2次側からの除熱(電動補助給水ポンプの機能回復)	補助給水ピット[水源]	—	58条に記載	蒸気発生器[注水先]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	主蒸気管[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	主蒸気設備 配管・弁[流路]	④	※	加圧器水位	—	58条に記載	蒸気発生器水位(広域)	—	58条に記載	蒸気発生器水位(狭域)	—	58条に記載	補助給水設備	—	58条に記載	補助給水ピット水位	—	58条に記載	45	監視及び制御に用いる設備	加圧器水位	—	58条に記載	蒸気発生器水位(広域)	—	58条に記載	蒸気発生器水位(狭域)	—	58条に記載	補助給水設備	—	58条に記載	補助給水ピット水位	—	58条に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
重大事故等対処施設	備考																																																																																																																																																																																																											
出力領域中性子束	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																											
中間領域中性子束																																																																																																																																																																																																												
中性子源領域中性子束	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																											
蒸気発生器																																																																																																																																																																																																												
蒸気発生器水位(広域)	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																											
蒸気発生器水位(狭域)	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																											
使用済燃料ピット温度(AM用)																																																																																																																																																																																																												
使用済燃料ピットエリア監視カメラ																																																																																																																																																																																																												
使用済燃料ピット水位(AM用)																																																																																																																																																																																																												
静的触媒式水素再結合装置																																																																																																																																																																																																												
静的触媒式水素再結合装置温度監視装置																																																																																																																																																																																																												
タービン動補助給水ポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																											
代替所内電気設備分電盤																																																																																																																																																																																																												
蓄圧タンク																																																																																																																																																																																																												
蓄圧タンク出口弁																																																																																																																																																																																																												
中央制御室空調ファン																																																																																																																																																																																																												
中央制御室空調ユニット																																																																																																																																																																																																												
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																																																																																								
47	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉の冷却	復水移送ポンプ	①																																																																																																																																																																																																									
		補給水系 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		高圧炉心スプレイ系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		燃料プール補給水系[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		残留熱除去系配管・弁[流路]	②																																																																																																																																																																																																									
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
47	低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉の冷却	復水貯蔵タンク[水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		直流駆動低圧注水系ポンプ	①																																																																																																																																																																																																									
		補給水系配管[流路]	②																																																																																																																																																																																																									
		高圧炉心スプレイ系配管・弁・スパージョ[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		燃料プール補給水系[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
47	低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却	復水貯蔵タンク[水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		補給水系 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		残留熱除去系 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																									
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
		脱気貯水槽 (No.1) [水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		脱気貯水槽 (No.2) [水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
47	残留熱除去系(低圧注水モード)による低圧注水	残留熱除去系ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																								
		残留熱除去系熱交換器・配管・弁・ストレーナ[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																								
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
		サブプレッションタンク[水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																																																																																								
45	蒸気発生器2次側からの除熱(タービン直結補助給水ポンプの機能回復)	タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気逃がし弁	④	※																																																																																																																																																																																																								
		補助給水ピット[水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器[注水先]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																								
		タービン直結補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁	④	※																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気管[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																								
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																								
		電動補助給水ポンプ	④	※																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気逃がし弁	④	※																																																																																																																																																																																																								
45	蒸気発生器2次側からの除熱(電動補助給水ポンプの機能回復)	補助給水ピット[水源]	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器[注水先]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気管[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																																																																																																								
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気設備 配管・弁[流路]	④	※																																																																																																																																																																																																								
		加圧器水位	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水位(広域)	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水位(狭域)	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		補助給水設備	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		補助給水ピット水位	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
45	監視及び制御に用いる設備	加圧器水位	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水位(広域)	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器水位(狭域)	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		補助給水設備	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								
		補助給水ピット水位	—	58条に記載																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表 (屋内)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重大事故等対処施設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>ほう酸フィルタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補助給水流量</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>余熱除去流量</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ入口弁</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環フィルタユニット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処施設	備考	電動補助給水ポンプ	基準規則第八条対象	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備		燃料取替用水ピット	基準規則第八条対象	燃料取替用水ピット水位	基準規則第八条対象	ほう酸タンク	基準規則第八条対象	ほう酸タンク水位	基準規則第八条対象	ほう酸ポンプ	基準規則第八条対象	ほう酸フィルタ		蒸気発生器補助給水流量	基準規則第八条対象	余熱除去流量	基準規則第八条対象	ディーゼル発電機	基準規則第八条対象	原子炉水位		余熱除去ポンプ入口弁	基準規則第八条対象	中央制御室循環ファン		中央制御室非常用循環ファン	基準規則第八条対象	中央制御室非常用循環フィルタユニット		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (5/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による原子炉停止時冷却</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環系 配管・弁・ジュートポンプ〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 熱交換器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) ※水源は海を使用</td> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) ※水源は海を使用</td> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">非常用取水設備</td> <td>貯留罐</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> <tr> <td>取水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>※ ※に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>1)</sup>	備考 ※設計基準記載	47	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による原子炉停止時冷却	残留熱除去系ポンプ	①	※	残留熱除去系 配管・弁〔流路〕	①	※	原子炉再循環系 配管・弁・ジュートポンプ〔流路〕	①	※	残留熱除去系 熱交換器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	47	原子炉圧力容器〔注水先〕	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	47	原子炉圧力容器〔注水先〕	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	47	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) ※水源は海を使用	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	47	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) ※水源は海を使用	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載	47	非常用取水設備	貯留罐	—	※ ※に記載	取水口	—	※ ※に記載	取水路	—	※ ※に記載	取水ポンプ室	—	※ ※に記載	<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (7/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">46</td> <td rowspan="16">1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)</td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器遮り弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット〔水源〕</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>蓄圧タンク</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>蓄圧タンク出口弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>ほう酸注入タンク〔流路〕</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧注入系 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>※ その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>1)</sup>	備考 ※設計基準記載	46	1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	①		加圧器遮り弁	①		燃料取替用水ピット〔水源〕	—	56条に記載	蓄圧タンク	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	蓄圧タンク出口弁	①		余熱除去ポンプ	①		余熱除去冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプ	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	ほう酸注入タンク〔流路〕	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		高圧注入系 配管・弁〔流路〕	①		余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	※ その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
重大事故等対処施設	備考																																																																																																																																																																																				
電動補助給水ポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備																																																																																																																																																																																					
燃料取替用水ピット	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
燃料取替用水ピット水位	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
ほう酸タンク	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
ほう酸タンク水位	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
ほう酸ポンプ	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
ほう酸フィルタ																																																																																																																																																																																					
蒸気発生器補助給水流量	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
余熱除去流量	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
ディーゼル発電機	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
原子炉水位																																																																																																																																																																																					
余熱除去ポンプ入口弁	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
中央制御室循環ファン																																																																																																																																																																																					
中央制御室非常用循環ファン	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																				
中央制御室非常用循環フィルタユニット																																																																																																																																																																																					
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>1)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																	
47	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による原子炉停止時冷却	残留熱除去系ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																	
		残留熱除去系 配管・弁〔流路〕	①	※																																																																																																																																																																																	
		原子炉再循環系 配管・弁・ジュートポンプ〔流路〕	①	※																																																																																																																																																																																	
		残留熱除去系 熱交換器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																	
47	原子炉圧力容器〔注水先〕	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
47	原子炉圧力容器〔注水先〕	原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉圧力容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
47	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) ※水源は海を使用	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
47	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) ※水源は海を使用	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク〔流路〕	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
47	非常用取水設備	貯留罐	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		取水口	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		取水路	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
		取水ポンプ室	—	※ ※に記載																																																																																																																																																																																	
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>1)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																	
46	1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	①																																																																																																																																																																																		
		加圧器遮り弁	①																																																																																																																																																																																		
		燃料取替用水ピット〔水源〕	—	56条に記載																																																																																																																																																																																	
		蓄圧タンク	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																	
		蓄圧タンク出口弁	①																																																																																																																																																																																		
		余熱除去ポンプ	①																																																																																																																																																																																		
		余熱除去冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																	
		格納容器再循環サンプ	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																	
		格納容器再循環サンプスクリーン	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																	
		ほう酸注入タンク〔流路〕	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																	
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																		
		高圧注入系 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																		
		余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																		
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載																																																																																																																																																																																	
		1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	
		原子炉容器〔注水先〕	—	※ その他の設備に記載																																																																																																																																																																																	

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																
<p>大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表(屋内)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重大事故等対処施設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全パラメータ表示システム(SPDS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ伝送システム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ起動弁</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備変圧器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気安全弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器安全弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒クラスタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップ遮断器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>復水ピット水位</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>アンユラス水素濃度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処施設	備考	安全パラメータ表示システム(SPDS)		安全パラメータ伝送システム		タービン動補助給水ポンプ起動弁	基準規則第八条対象	代替所内電気設備変圧器		原子炉トリップスイッチ		主蒸気安全弁		加圧器安全弁		制御棒クラスタ		原子炉トリップ遮断器		再生熱交換器	基準規則第八条対象	1次冷却材ポンプ		使用済燃料ピット	基準規則第八条対象	復水ピット	基準規則第八条対象	復水ピット水位	基準規則第八条対象	アンユラス水素濃度		<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(6/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準抵減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による機内貯留炉心の冷却</td> <td>低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)</td> <td>—</td> <td>低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉の冷却に効果</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)による機内貯留炉心の冷却</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)</td> <td>—</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却に効果</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>代替循環冷却系による機内貯留炉心の冷却</td> <td>代替循環冷却系</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">48</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器冷却水系による放射熱除去 ※水質は適正に維持</td> <td>原子炉格納容器冷却水系配管・弁・サージタンク[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>放水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>放水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>原子炉格納容器調気系配管・弁[流路] 非常用ガス処理系配管・弁[流路]</td> <td>① ①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">48</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>排気筒[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[排出系]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置出口開圧力開放板</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">48</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>原子炉格納容器調気系配管・弁[流路]</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器フィルタベント系配管・弁[流路]</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[排出系]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>放水貯水槽(No.1)[水源]</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>放水貯水槽(No.2)[水源]</td> <td>—</td> <td>①条に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準抵減	47	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による機内貯留炉心の冷却	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)	—	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉の冷却に効果	47	低圧代替注水系(可搬型)による機内貯留炉心の冷却	低圧代替注水系(可搬型)	—	低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却に効果	47	代替循環冷却系による機内貯留炉心の冷却	代替循環冷却系	—	①条に記載	48	原子炉格納容器冷却水系による放射熱除去 ※水質は適正に維持	原子炉格納容器冷却水系配管・弁・サージタンク[流路]	①		残留熱除去系熱交換器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	貯留槽	—	その他の設備に記載	放水口	—	その他の設備に記載	放水路	—	その他の設備に記載	48	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	原子炉格納容器調気系配管・弁[流路] 非常用ガス処理系配管・弁[流路]	① ①		48	原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	排気筒[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	遠隔手動弁操作設備	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[排出系]	—	その他の設備に記載	フィルタ設置	—	①条に記載	フィルタ設置出口開圧力開放板	—	①条に記載	48	原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	原子炉格納容器調気系配管・弁[流路]	—	①条に記載	原子炉格納容器フィルタベント系配管・弁[流路]	—	①条に記載	遠隔手動弁操作設備	—	①条に記載	原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[排出系]	—	その他の設備に記載	放水貯水槽(No.1)[水源]	—	①条に記載			放水貯水槽(No.2)[水源]	—	①条に記載	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(8/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準抵減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">46</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側からの除熱(タービン動補助給水ポンプの機能回復)</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器[注水先]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">46</td> <td rowspan="4">蒸気発生器2次側からの除熱(タービン動補助給水ポンプの機能回復)</td> <td>蒸気発生器[注水先]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">46</td> <td rowspan="10">第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(9/51)</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器[注水先]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁の機能回復</td> <td>加圧器逃がし弁空気供給配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧</td> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">1次冷却系統の減圧(S-G伝熱管破損発生時、T-S-LOCA発生時)</td> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="1">46</td> <td rowspan="1">余熱除去系統の隔離(T-S-LOCA発生時)</td> <td>余熱除去ポンプ入口弁</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準抵減	46	蒸気発生器2次側からの除熱(タービン動補助給水ポンプの機能回復)	電動補助給水ポンプ	①	※	タービン動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ピット[水源]	—	56条に記載	主蒸気逃がし弁	①	※	蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁	①	※	補助給水ピット[水源]	—	56条に記載	46	蒸気発生器2次側からの除熱(タービン動補助給水ポンプの機能回復)	蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気逃がし弁	①	※	主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	46	第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(9/51)	電動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ピット[水源]	—	56条に記載	蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気逃がし弁	①	※	主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※	加圧器逃がし弁の機能回復	加圧器逃がし弁空気供給配管・弁[流路]	①	※	加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧	加圧器逃がし弁	①	※	46	1次冷却系統の減圧(S-G伝熱管破損発生時、T-S-LOCA発生時)	主蒸気逃がし弁	①		加圧器逃がし弁	①		46	余熱除去系統の隔離(T-S-LOCA発生時)	余熱除去ポンプ入口弁	①		<p>【女川・大飯】          ■設計の相違          炉型による設備構成及び設計の相違</p>
重大事故等対処施設	備考																																																																																																																																																																																																																		
安全パラメータ表示システム(SPDS)																																																																																																																																																																																																																			
安全パラメータ伝送システム																																																																																																																																																																																																																			
タービン動補助給水ポンプ起動弁	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																		
代替所内電気設備変圧器																																																																																																																																																																																																																			
原子炉トリップスイッチ																																																																																																																																																																																																																			
主蒸気安全弁																																																																																																																																																																																																																			
加圧器安全弁																																																																																																																																																																																																																			
制御棒クラスタ																																																																																																																																																																																																																			
原子炉トリップ遮断器																																																																																																																																																																																																																			
再生熱交換器	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																		
1次冷却材ポンプ																																																																																																																																																																																																																			
使用済燃料ピット	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																		
復水ピット	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																		
復水ピット水位	基準規則第八条対象																																																																																																																																																																																																																		
アンユラス水素濃度																																																																																																																																																																																																																			
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準抵減																																																																																																																																																																																																															
47	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による機内貯留炉心の冷却	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)	—	低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉の冷却に効果																																																																																																																																																																																																															
47	低圧代替注水系(可搬型)による機内貯留炉心の冷却	低圧代替注水系(可搬型)	—	低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却に効果																																																																																																																																																																																																															
47	代替循環冷却系による機内貯留炉心の冷却	代替循環冷却系	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
48	原子炉格納容器冷却水系による放射熱除去 ※水質は適正に維持	原子炉格納容器冷却水系配管・弁・サージタンク[流路]	①																																																																																																																																																																																																																
		残留熱除去系熱交換器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		貯留槽	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																															
		放水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																															
		放水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																															
48	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	原子炉格納容器調気系配管・弁[流路] 非常用ガス処理系配管・弁[流路]	① ①																																																																																																																																																																																																																
48	原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	排気筒[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		遠隔手動弁操作設備	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[排出系]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																															
		フィルタ設置	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
		フィルタ設置出口開圧力開放板	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
48	原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	原子炉格納容器調気系配管・弁[流路]	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
		原子炉格納容器フィルタベント系配管・弁[流路]	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
		遠隔手動弁操作設備	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
		原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[排出系]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																															
		放水貯水槽(No.1)[水源]	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
		放水貯水槽(No.2)[水源]	—	①条に記載																																																																																																																																																																																																															
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準抵減																																																																																																																																																																																																															
46	蒸気発生器2次側からの除熱(タービン動補助給水ポンプの機能回復)	電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																															
		タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																															
		補助給水ピット[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気逃がし弁	①	※																																																																																																																																																																																																															
		蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																															
		タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁	①	※																																																																																																																																																																																																															
		補助給水ピット[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																															
46	蒸気発生器2次側からの除熱(タービン動補助給水ポンプの機能回復)	蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気逃がし弁	①	※																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																															
46	第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(9/51)	電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																															
		補助給水ピット[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																															
		蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気逃がし弁	①	※																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																															
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																															
		主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																															
		加圧器逃がし弁の機能回復	加圧器逃がし弁空気供給配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																														
		加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧	加圧器逃がし弁	①	※																																																																																																																																																																																																														
		46	1次冷却系統の減圧(S-G伝熱管破損発生時、T-S-LOCA発生時)	主蒸気逃がし弁	①																																																																																																																																																																																																														
加圧器逃がし弁	①																																																																																																																																																																																																																		
46	余熱除去系統の隔離(T-S-LOCA発生時)	余熱除去ポンプ入口弁	①																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																			
	<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (7/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準比準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による原子炉停止時冷却系</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)</td> <td>—</td> <td>47条に記載</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>—</td> <td>49条に記載</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) によるサブプレッションチェンバプール水の冷却</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード)</td> <td>—</td> <td>49条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">48</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水を含む。) ※水源は海を使用</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレートナ・サージタンク [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">48</td> <td rowspan="4">高圧炉心スプレイ補機冷却水系 (高圧炉心スプレイ補機冷却海水を含む。) ※水源は海を使用</td> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却海水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系 (高圧炉心スプレイ補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレートナ・サージタンク [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">48</td> <td rowspan="4">非常用取水設備</td> <td>貯留罐</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準比準	48	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による原子炉停止時冷却系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	—	47条に記載	48	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	—	49条に記載	48	残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) によるサブプレッションチェンバプール水の冷却	残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード)	—	49条に記載	48	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水を含む。) ※水源は海を使用	原子炉補機冷却水ポンプ	①	※	原子炉補機冷却海水ポンプ	①	※	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレートナ・サージタンク [流路]	①	※	原子炉補機冷却水系熱交換器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	48	高圧炉心スプレイ補機冷却水系 (高圧炉心スプレイ補機冷却海水を含む。) ※水源は海を使用	高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプ	①	※	高圧炉心スプレイ補機冷却海水ポンプ	①	※	高圧炉心スプレイ補機冷却水系 (高圧炉心スプレイ補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレートナ・サージタンク [流路]	①	※	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	48	非常用取水設備	貯留罐	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	取水ポンプ室	—	その他の設備に記載	<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (10/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準比準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用海水ヒット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却設備 配管・弁 [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>垂てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用海水ヒット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">炉心注水 (垂てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>再生熱交換器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレートナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>垂てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用海水ヒット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準比準	47	代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレイポンプ	①		燃料取扱用海水ヒット [水源]	—	56条に記載	B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却設備 配管・弁 [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	垂てんポンプ	①		燃料取扱用海水ヒット [水源]	—	56条に記載	47	炉心注水 (垂てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		化学体積制御設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレートナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	垂てんポンプ	①		燃料取扱用海水ヒット [水源]	—	56条に記載	再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準比準																																																																																																																																		
48	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による原子炉停止時冷却系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	—	47条に記載																																																																																																																																		
48	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	—	49条に記載																																																																																																																																		
48	残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード) によるサブプレッションチェンバプール水の冷却	残留熱除去系 (サブプレッションプール冷却モード)	—	49条に記載																																																																																																																																		
48	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水を含む。) ※水源は海を使用	原子炉補機冷却水ポンプ	①	※																																																																																																																																		
		原子炉補機冷却海水ポンプ	①	※																																																																																																																																		
		原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレートナ・サージタンク [流路]	①	※																																																																																																																																		
		原子炉補機冷却水系熱交換器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																		
48	高圧炉心スプレイ補機冷却水系 (高圧炉心スプレイ補機冷却海水を含む。) ※水源は海を使用	高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプ	①	※																																																																																																																																		
		高圧炉心スプレイ補機冷却海水ポンプ	①	※																																																																																																																																		
		高圧炉心スプレイ補機冷却水系 (高圧炉心スプレイ補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレートナ・サージタンク [流路]	①	※																																																																																																																																		
		高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																		
48	非常用取水設備	貯留罐	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		取水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準比準																																																																																																																																		
47	代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																			
		燃料取扱用海水ヒット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																		
		B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																		
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																			
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																			
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却設備 配管・弁 [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																		
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		垂てんポンプ	①																																																																																																																																			
		燃料取扱用海水ヒット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																		
47	炉心注水 (垂てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																		
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																			
		化学体積制御設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																			
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレートナ [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																		
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																		
		垂てんポンプ	①																																																																																																																																			
		燃料取扱用海水ヒット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																		
		再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																		
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																			



赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																													
	<p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (8/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">49</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (常設) による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給水系配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">40</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>スプレイ管 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スプレイ管 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">49</td> <td rowspan="5">残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレート [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>スプレイ管 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 熱交換器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>サブプレッショントラップ [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (9/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">49</td> <td rowspan="5">残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) によるサブプレッショントラップパワール水の冷却</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレート [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 熱交換器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>サブプレッショントラップ [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">49</td> <td rowspan="5">原子炉補機代替冷却水系による冷却は廃止</td> <td>原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク [流路]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器 [流路]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>貯留罐</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">49</td> <td rowspan="5">原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・取水路・サージタンク [流路]</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・取水路・サージタンク [流路]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>貯留罐</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">非常用取水設備</td> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記載	49	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (常設) による原子炉格納容器内の冷却	復水移送ポンプ	①		補給水系配管・弁 [流路]	①		高圧炉心スプレイ系配管・弁 [流路]	①		燃料プール補給水系 [流路]	①		残留熱除去系配管・弁 [流路]	①		40	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) による原子炉格納容器内の冷却	スプレイ管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水 [注水先]	—	その他の設備に記載	復水貯蔵タンク [水源]	—	56条に記載	残留熱除去系 配管・弁 [流路]	①		スプレイ管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	49	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却	残留熱除去系 配管・弁・ストレート [流路]	①	※	スプレイ管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	残留熱除去系 熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	サブプレッショントラップ [水源]	—	56条に記載	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記載	49	残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) によるサブプレッショントラップパワール水の冷却	残留熱除去系ポンプ	①	※	残留熱除去系 配管・弁・ストレート [流路]	①	※	残留熱除去系 熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	サブプレッショントラップ [水源]	—	56条に記載	49	原子炉補機代替冷却水系による冷却は廃止	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク [流路]	—	56条に記載	残留熱除去系熱交換器 [流路]	—	56条に記載	貯留罐	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	49	原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・取水路・サージタンク [流路]	原子炉補機冷却水ポンプ	—	56条に記載	原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・取水路・サージタンク [流路]	—	56条に記載	貯留罐	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	49	非常用取水設備	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	取水ポンプ室	—	その他の設備に記載	<p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (11/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替炉心注水 (B-1格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>B-1格納容器スプレイ冷却器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレート [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">47</td> <td rowspan="5">代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット [水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">47</td> <td rowspan="5">代替炉心注水 (大型送水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">47</td> <td rowspan="5">非常用取水設備</td> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記載	47	代替炉心注水 (B-1格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-1格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ピット [水源]	—	56条に記載	B-1格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレート [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	47	代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ピット [水源]	—	56条に記載	補助給水ピット [水源]	—	56条に記載	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		47	代替炉心注水 (大型送水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		47	非常用取水設備	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載	補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																												
49	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (常設) による原子炉格納容器内の冷却	復水移送ポンプ	①																																																																																																																																																																																																													
		補給水系配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		高圧炉心スプレイ系配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		燃料プール補給水系 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		残留熱除去系配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
40	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (可搬型) による原子炉格納容器内の冷却	スプレイ管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																												
		原子炉補機冷却水 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		復水貯蔵タンク [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
		残留熱除去系 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		スプレイ管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																												
49	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却	残留熱除去系 配管・弁・ストレート [流路]	①	※																																																																																																																																																																																																												
		スプレイ管 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																												
		残留熱除去系 熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																												
		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		サブプレッショントラップ [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																												
49	残留熱除去系 (サブプレッショントラップ冷却モード) によるサブプレッショントラップパワール水の冷却	残留熱除去系ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																												
		残留熱除去系 配管・弁・ストレート [流路]	①	※																																																																																																																																																																																																												
		残留熱除去系 熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																												
		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		サブプレッショントラップ [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
49	原子炉補機代替冷却水系による冷却は廃止	原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク [流路]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
		残留熱除去系熱交換器 [流路]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
		貯留罐	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
49	原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・取水路・サージタンク [流路]	原子炉補機冷却水ポンプ	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
		原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・取水路・サージタンク [流路]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
		貯留罐	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
49	非常用取水設備	取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		取水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																												
47	代替炉心注水 (B-1格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-1格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																																																																													
		燃料取替用水ピット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																												
		B-1格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																												
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレート [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																												
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		47	代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																																																																											
				燃料取替用水ピット [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																										
補助給水ピット [水源]	—			56条に記載																																																																																																																																																																																																												
非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																															
補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																															
47	代替炉心注水 (大型送水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
47	非常用取水設備	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																												
		補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													
		原子炉格納容器スプレイ設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																													

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																														
	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(10/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">50</td> <td rowspan="14">代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系配管・弁・ストレーナ<sup>(2)</sup>[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給水系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スプレー管<sup>(2)</sup>[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>サブセッションタンク<sup>(2)</sup>[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク<sup>(2)</sup>[流路]</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む。)配管・弁・海水系ストレーナ<sup>(2)</sup>・サージタンク<sup>(2)</sup>[流路]</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>貯留罐</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>放水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>放水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(11/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">50</td> <td rowspan="7">原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>フィルタ装置</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口側圧力開放器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器フィルタベント系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器減圧装置配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[吐出元]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>海水貯水槽(No.1)[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">51</td> <td rowspan="4">原子炉格納容器下部注水系(新設)(海水移送ポンプ)による原子炉格納容器下部への注水</td> <td>海水移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補給水系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレー系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系弁[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>海水貯蔵タンク[水源]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違	50	代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	代替循環冷却ポンプ	①		残留熱除去系熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	残留熱除去系配管・弁・ストレーナ <sup>(2)</sup> [流路]	①		補給水系配管・弁[流路]	①		スプレー管 <sup>(2)</sup> [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載	原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載	サブセッションタンク <sup>(2)</sup> [水源]	—	56条に記載	原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク <sup>(2)</sup> [流路]	—	48条に記載	原子炉補機冷却水ポンプ	—	48条に記載	原子炉補機冷却水ポンプ	—	48条に記載	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む。)配管・弁・海水系ストレーナ <sup>(2)</sup> ・サージタンク <sup>(2)</sup> [流路]	—	48条に記載	原子炉補機冷却水系熱交換器	—	48条に記載	貯留罐	—	その他の設備に記載	放水口	—	その他の設備に記載	放水路	—	その他の設備に記載	海水ポンプ室	—	その他の設備に記載	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違	50	原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	フィルタ装置	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	フィルタ装置出口側圧力開放器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器フィルタベント系配管・弁[流路]	①		原子炉格納容器減圧装置配管・弁[流路]	①		遠隔手動弁操作設備	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[吐出元]	—	その他の設備に記載	海水貯水槽(No.1)[水源]	—	56条に記載	51	原子炉格納容器下部注水系(新設)(海水移送ポンプ)による原子炉格納容器下部への注水	海水移送ポンプ	①		補給水系配管・弁[流路]	①		高圧炉心スプレー系配管・弁[流路]	①		燃料プール補給水系弁[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載	海水貯蔵タンク[水源]	—	56条に記載	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(13/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">再循環運転(高圧注入ポンプ)(1次冷却材喪失事故が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン[流路]</td> <td>②</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ほう酸注入タンク[流路]</td> <td>②</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧再循環系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備配管・弁・ストレーナ[流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(14/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">47</td> <td rowspan="8">代替再循環運転(DI-格納容器スプレーポンプ)(1次冷却材喪失事故が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>B-格納容器スプレーポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-格納容器再循環サンプ[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレー冷却器[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>D-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレー設備及び余熱除去設備配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備配管・弁・ストレーナ[流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違	47	再循環運転(高圧注入ポンプ)(1次冷却材喪失事故が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	高圧注入ポンプ	①	※	格納容器再循環サンプ[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②	※	安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①	※	ほう酸注入タンク[流路]	②	※	高圧再循環系配管・弁[流路]	①	※	原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備配管・弁・ストレーナ[流路])	—	48条に記載	1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違	47	代替再循環運転(DI-格納容器スプレーポンプ)(1次冷却材喪失事故が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレーポンプ	①		B-格納容器再循環サンプ[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	B-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	B-格納容器スプレー冷却器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	D-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①		原子炉格納容器スプレー設備及び余熱除去設備配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備配管・弁・ストレーナ[流路])	—	48条に記載	1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川】          ■設計の相違          炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																													
50	代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	代替循環冷却ポンプ	①																																																																																																																																																																														
		残留熱除去系熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		残留熱除去系配管・弁・ストレーナ <sup>(2)</sup> [流路]	①																																																																																																																																																																														
		補給水系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		スプレー管 <sup>(2)</sup> [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		原子炉圧力容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
		サブセッションタンク <sup>(2)</sup> [水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク <sup>(2)</sup> [流路]	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却水ポンプ	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却水ポンプ	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む。)配管・弁・海水系ストレーナ <sup>(2)</sup> ・サージタンク <sup>(2)</sup> [流路]	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却水系熱交換器	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		貯留罐	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
放水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																															
放水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																															
海水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																															
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																													
50	原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	フィルタ装置	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		フィルタ装置出口側圧力開放器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		原子炉格納容器フィルタベント系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		原子炉格納容器減圧装置配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		遠隔手動弁操作設備	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		原子炉格納容器(真空破壊装置を含む。)[吐出元]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
		海水貯水槽(No.1)[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																													
51	原子炉格納容器下部注水系(新設)(海水移送ポンプ)による原子炉格納容器下部への注水	海水移送ポンプ	①																																																																																																																																																																														
		補給水系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		高圧炉心スプレー系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		燃料プール補給水系弁[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																															
海水貯蔵タンク[水源]	—	56条に記載																																																																																																																																																																															
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																													
47	再循環運転(高圧注入ポンプ)(1次冷却材喪失事故が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																																																																																													
		格納容器再循環サンプ[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②	※																																																																																																																																																																													
		安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																													
		ほう酸注入タンク[流路]	②	※																																																																																																																																																																													
		高圧再循環系配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備配管・弁・ストレーナ[流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
		原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																											
47	代替再循環運転(DI-格納容器スプレーポンプ)(1次冷却材喪失事故が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレーポンプ	①																																																																																																																																																																														
		B-格納容器再循環サンプ[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		B-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		B-格納容器スプレー冷却器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																													
		D-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		原子炉格納容器スプレー設備及び余熱除去設備配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																														
		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備配管・弁・ストレーナ[流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																																													
		1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																													
原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																															





赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																							
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (14/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">51</td> <td rowspan="14">代替循環冷却系による原子炉格納容器下部への注水</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>—</td> <td>50条に記載</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器</td> <td>—</td> <td>50条に記載</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系配管・弁・ストレーナ<sup>②</sup>[流路]</td> <td>—</td> <td>50条に記載</td> </tr> <tr> <td>スプレイ管 [流路]</td> <td>—</td> <td>50条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>サブレンションチェンバ<sup>③</sup>[水取]</td> <td>—</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク<sup>④</sup>[流路]</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク<sup>④</sup>[流路]</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>貯留庫</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">51</td> <td rowspan="3">降熱炉心の落下遅延・防止</td> <td>高圧代替注水系</td> <td>—</td> <td>45条に記載</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>—</td> <td>44条に記載</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系 (常設) (濃水移送ポンプ)</td> <td>—</td> <td>47条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">52</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素爆発防止</td> <td>代替循環冷却系</td> <td>—</td> <td>50条に記載</td> </tr> <tr> <td>(原子炉格納容器減気系)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">52</td> <td rowspan="2">可搬型窒素ガス供給装置による原子炉格納容器内の不活性化</td> <td>原子炉格納容器減気系 配管・弁<sup>⑤</sup>[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準相違	51	代替循環冷却系による原子炉格納容器下部への注水	代替循環冷却ポンプ	—	50条に記載	残留熱除去系熱交換器	—	50条に記載	残留熱除去系配管・弁・ストレーナ <sup>②</sup> [流路]	—	50条に記載	スプレイ管 [流路]	—	50条に記載	原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載	サブレンションチェンバ <sup>③</sup> [水取]	—	56条に記載	原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク <sup>④</sup> [流路]	—	48条に記載	原子炉補機冷却水ポンプ	—	48条に記載	原子炉補機冷却海水ポンプ	—	48条に記載	原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク <sup>④</sup> [流路]	—	48条に記載	原子炉補機冷却水系熱交換器	—	48条に記載	貯留庫	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	海水ポンプ室	—	その他の設備に記載	51	降熱炉心の落下遅延・防止	高圧代替注水系	—	45条に記載	ほう酸水注入系	—	44条に記載	低圧代替注水系 (常設) (濃水移送ポンプ)	—	47条に記載	52	原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素爆発防止	代替循環冷却系	—	50条に記載	(原子炉格納容器減気系)	①		52	可搬型窒素ガス供給装置による原子炉格納容器内の不活性化	原子炉格納容器減気系 配管・弁 <sup>⑤</sup> [流路]	①		原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (17/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット [水取]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット [水取]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水取]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ単) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準相違	47	代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレイポンプ	①		燃料取扱用水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取扱用水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ単) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (18/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット [水取]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水取]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ単) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準相違	47	代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取扱用水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ単) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	<p>【女川】          ■設計の相違          炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																																																						
51	代替循環冷却系による原子炉格納容器下部への注水	代替循環冷却ポンプ	—	50条に記載																																																																																																																																																																																																						
		残留熱除去系熱交換器	—	50条に記載																																																																																																																																																																																																						
		残留熱除去系配管・弁・ストレーナ <sup>②</sup> [流路]	—	50条に記載																																																																																																																																																																																																						
		スプレイ管 [流路]	—	50条に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		サブレンションチェンバ <sup>③</sup> [水取]	—	56条に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク <sup>④</sup> [流路]	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉補機冷却水ポンプ	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉補機冷却海水ポンプ	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉補機冷却水 (原子炉補機冷却海水を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク <sup>④</sup> [流路]	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉補機冷却水系熱交換器	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																						
		貯留庫	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
海水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
51	降熱炉心の落下遅延・防止	高圧代替注水系	—	45条に記載																																																																																																																																																																																																						
		ほう酸水注入系	—	44条に記載																																																																																																																																																																																																						
		低圧代替注水系 (常設) (濃水移送ポンプ)	—	47条に記載																																																																																																																																																																																																						
52	原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素爆発防止	代替循環冷却系	—	50条に記載																																																																																																																																																																																																						
		(原子炉格納容器減気系)	①																																																																																																																																																																																																							
52	可搬型窒素ガス供給装置による原子炉格納容器内の不活性化	原子炉格納容器減気系 配管・弁 <sup>⑤</sup> [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		原子炉格納容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																																																						
47	代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																																																																							
		燃料取扱用水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
		B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																						
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																																																																						
		燃料取扱用水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
補助給水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																									
補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																									
原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																									
1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																									
原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																									
代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ単) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																							
原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準相違																																																																																																																																																																																																						
47	代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																																																																							
		燃料取扱用水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
		補助給水ビット [水取]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																						
		補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																																																																							
代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ単) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																							
原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								



赤字:設備,運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現,設備名称の相違(実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
大阪発電所3/4号炉	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(16/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">54</td> <td rowspan="4">燃料プールのスプレイ</td> <td>燃料プール冷却浄化系配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール(サイフォン防止機能含む。)[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>換水貯水槽 (No.1) [水源]</td> <td>—</td> <td>6条に記載</td> </tr> <tr> <td>換水貯水槽 (No.2) [水源]</td> <td>—</td> <td>6条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">54</td> <td rowspan="4">燃料プールのスプレイ(可搬型)による使用済燃料プールへのスプレイ</td> <td>使用済燃料プール(サイフォン防止機能含む。)[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>換水貯水槽 (No.1) [水源]</td> <td>—</td> <td>6条に記載</td> </tr> <tr> <td>換水貯水槽 (No.2) [水源]</td> <td>—</td> <td>6条に記載</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">54</td> <td rowspan="4">使用済燃料プールの監視</td> <td>使用済燃料プール水位/温度(ゴイドメス式)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">54</td> <td rowspan="10">重大事故等時における使用済燃料プールの保熱</td> <td>燃料プール冷却浄化系 熱交換器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系 配管・弁・スキマサージスタック・ディフューザ[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール[注水先]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水取込管・弁・サージスタック[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(17/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">55</td> <td rowspan="4">大気への放射性物質の拡散抑制 ※水圏は海を使用</td> <td>貯留槽</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">55</td> <td rowspan="4">航空機大気への汚染火</td> <td>貯留槽</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">56</td> <td rowspan="4">重大事故等収束のための水圏※水圏としては海も使用可能</td> <td>換水貯水タンク</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>サプレッションチェンバ</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>換水貯水槽 (No.1)</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>換水貯水槽 (No.2)</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">56</td> <td rowspan="4">水の供給</td> <td>補給水系 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	54	燃料プールのスプレイ	燃料プール冷却浄化系配管・弁[流路]	①		使用済燃料プール(サイフォン防止機能含む。)[注水先]	—	その他の設備に記載	換水貯水槽 (No.1) [水源]	—	6条に記載	換水貯水槽 (No.2) [水源]	—	6条に記載	54	燃料プールのスプレイ(可搬型)による使用済燃料プールへのスプレイ	使用済燃料プール(サイフォン防止機能含む。)[注水先]	—	その他の設備に記載	換水貯水槽 (No.1) [水源]	—	6条に記載	換水貯水槽 (No.2) [水源]	—	6条に記載	使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)	①		54	使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度(ゴイドメス式)	①		使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)	①		使用済燃料プール監視カメラ	①		燃料プール冷却浄化系ポンプ	①		54	重大事故等時における使用済燃料プールの保熱	燃料プール冷却浄化系 熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	燃料プール冷却浄化系 配管・弁・スキマサージスタック・ディフューザ[流路]	①		使用済燃料プール[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水取込管・弁・サージスタック[流路]	①		燃料プール冷却浄化系熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	貯留槽	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	取水ポンプ室	—	その他の設備に記載									関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	55	大気への放射性物質の拡散抑制 ※水圏は海を使用	貯留槽	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	海水ポンプ室	—	その他の設備に記載	55	航空機大気への汚染火	貯留槽	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載	海水ポンプ室	—	その他の設備に記載	56	重大事故等収束のための水圏※水圏としては海も使用可能	換水貯水タンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	サプレッションチェンバ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	換水貯水槽 (No.1)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	換水貯水槽 (No.2)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	56	水の供給	補給水系 配管・弁[流路]	①		貯留槽	—	その他の設備に記載	取水口	—	その他の設備に記載	取水路	—	その他の設備に記載									<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(19/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替中心注水(代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替中心注水(可搬型大型送水ポンプ車:海水)</td> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>A-1格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替再循環運転(A-1高圧注入ポンプ(海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>A-1格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>A-1格納容器再循環サンプスクリーン [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>ほう酸注入タンク [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>高圧再循環系 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>A-1格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(20/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">代替中心注水(充てんポンプ(自己冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替再循環運転(A-1高圧注入ポンプ(海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>化学体積制御設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>A-1高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-1格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>A-1格納容器再循環サンプスクリーン [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>ほう酸注入タンク [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>高圧再循環系 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	47	代替中心注水(代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]	①		補助給水設備 配管・弁[流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁[流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]	①		47	代替中心注水(可搬型大型送水ポンプ車:海水)	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]	①		化学体積制御設備 配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	47	代替再循環運転(A-1高圧注入ポンプ(海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	A-1格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	ほう酸注入タンク [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	高圧再循環系 配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	47	代替中心注水(充てんポンプ(自己冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	B-充てんポンプ	①		燃料取替用水ビット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]	①		47	代替再循環運転(A-1高圧注入ポンプ(海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	化学体積制御設備 配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	A-1高圧注入ポンプ	①		A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	A-1格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	ほう酸注入タンク [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	高圧再循環系 配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
54	燃料プールのスプレイ	燃料プール冷却浄化系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		使用済燃料プール(サイフォン防止機能含む。)[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		換水貯水槽 (No.1) [水源]	—	6条に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		換水貯水槽 (No.2) [水源]	—	6条に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
54	燃料プールのスプレイ(可搬型)による使用済燃料プールへのスプレイ	使用済燃料プール(サイフォン防止機能含む。)[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		換水貯水槽 (No.1) [水源]	—	6条に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		換水貯水槽 (No.2) [水源]	—	6条に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
54	使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度(ゴイドメス式)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		使用済燃料プール監視カメラ	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		燃料プール冷却浄化系ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
54	重大事故等時における使用済燃料プールの保熱	燃料プール冷却浄化系 熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		燃料プール冷却浄化系 配管・弁・スキマサージスタック・ディフューザ[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		使用済燃料プール[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉補機冷却水取込管・弁・サージスタック[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		燃料プール冷却浄化系熱交換器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		貯留槽	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
55	大気への放射性物質の拡散抑制 ※水圏は海を使用	貯留槽	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		海水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
55	航空機大気への汚染火	貯留槽	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		海水ポンプ室	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
56	重大事故等収束のための水圏※水圏としては海も使用可能	換水貯水タンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		サプレッションチェンバ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		換水貯水槽 (No.1)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		換水貯水槽 (No.2)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
56	水の供給	補給水系 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		貯留槽	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水口	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		取水路	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
47	代替中心注水(代替格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		燃料取替用水ビット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		補助給水ビット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
47	代替中心注水(可搬型大型送水ポンプ車:海水)	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		化学体積制御設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
47	代替再循環運転(A-1高圧注入ポンプ(海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A-1格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		ほう酸注入タンク [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		高圧再循環系 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
47	代替中心注水(充てんポンプ(自己冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	B-充てんポンプ	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		燃料取替用水ビット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		再生熱交換器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
47	代替再循環運転(A-1高圧注入ポンプ(海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機能喪失時)	化学体積制御設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A-1高圧注入ポンプ	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		A-1格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		A-1格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		ほう酸注入タンク [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		高圧再循環系 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																									
	<p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (18/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">非常代替交流電源設備による給電</td> <td>ガスタービン発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備駆動タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2D系電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">可搬型代替交流電源設備による給電</td> <td>ガスタービン発電設備駆動タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電路車線口 (原子炉建屋)～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電路車線口 (原子炉建屋)～緊急用低圧母線 2D系電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (19/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">所内常設蓄電池式交流電源設備による給電</td> <td>125V 蓄電池 2A</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2B</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2A</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2B</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2A 及び CF 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A-1 電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2B 及び CF 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び CF 125V 直流主母線盤 2B-1 電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">57</td> <td rowspan="4">常設代替交流電源設備による給電</td> <td>125V 代替蓄電池</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250V 蓄電池</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 代替蓄電池～125V 直流主母線盤 2A-1 及び CF 125V 直流主母線盤 2B-1 電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250V 蓄電池～250V 直流主母線盤電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張	57	非常代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電機	①		ガスタービン発電設備駆動タンク	①		駆動タンク	①		ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	①		ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①		非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①		高圧伊心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①		ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕	①		ガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2D系電路〔電路〕	①		駆動タンク	①		57	可搬型代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電設備駆動タンク	①		非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①		高圧伊心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①		ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①		電路車線口 (原子炉建屋)～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕	①		電路車線口 (原子炉建屋)～緊急用低圧母線 2D系電路〔電路〕	①		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張	57	所内常設蓄電池式交流電源設備による給電	125V 蓄電池 2A	①		125V 蓄電池 2B	①		125V 充電器 2A	①		125V 充電器 2B	①		125V 蓄電池 2A 及び CF 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A-1 電路〔電路〕	①		125V 蓄電池 2B 及び CF 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び CF 125V 直流主母線盤 2B-1 電路〔電路〕	①		57	常設代替交流電源設備による給電	125V 代替蓄電池	①		250V 蓄電池	①		125V 代替蓄電池～125V 直流主母線盤 2A-1 及び CF 125V 直流主母線盤 2B-1 電路〔電路〕	①		250V 蓄電池～250V 直流主母線盤電路〔電路〕	①		<p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (21/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合)</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ピット〔水函〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィ冷却器〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用伊心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレートナ〔流路〕)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ピット〔水函〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット〔水函〕 (格納容器水張り)</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用伊心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合)</td> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表: 常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (22/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット〔水函〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器〔注水先〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電路) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>補助給水ピット〔水函〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器〔注水先〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張	47	格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合)	格納容器スプレィポンプ	①		燃料取扱用水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器スプレィ冷却器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用伊心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレートナ〔流路〕)	—	48条に記載	代替格納容器スプレィポンプ	①		燃料取扱用水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ピット〔水函〕 (格納容器水張り)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用伊心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		47	代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合)	補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張	47	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、フロントライン系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※	タービン動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気逃がし弁	①	※	蒸気発生器〔注水先〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①	※	主蒸気設備 配管・弁〔流路〕	①	※	電動補助給水ポンプ	①	※	タービン動補助給水ポンプ	①	※	47	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電路) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、サポート系機能喪失時)	補助給水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気逃がし弁	①	※	蒸気発生器〔注水先〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①	※	主蒸気設備 配管・弁〔流路〕	①	※	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																																																																																																								
57	非常代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電機	①																																																																																																																																																																																																									
		ガスタービン発電設備駆動タンク	①																																																																																																																																																																																																									
		駆動タンク	①																																																																																																																																																																																																									
		ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	①																																																																																																																																																																																																									
		ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		高圧伊心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		ガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2D系電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		駆動タンク	①																																																																																																																																																																																																									
57	可搬型代替交流電源設備による給電	ガスタービン発電設備駆動タンク	①																																																																																																																																																																																																									
		非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		高圧伊心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		電路車線口 (原子炉建屋)～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		電路車線口 (原子炉建屋)～緊急用低圧母線 2D系電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																																																																																																						
		57	所内常設蓄電池式交流電源設備による給電	125V 蓄電池 2A	①																																																																																																																																																																																																							
				125V 蓄電池 2B	①																																																																																																																																																																																																							
				125V 充電器 2A	①																																																																																																																																																																																																							
125V 充電器 2B	①																																																																																																																																																																																																											
125V 蓄電池 2A 及び CF 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A-1 電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																											
125V 蓄電池 2B 及び CF 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び CF 125V 直流主母線盤 2B-1 電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																											
57	常設代替交流電源設備による給電			125V 代替蓄電池	①																																																																																																																																																																																																							
				250V 蓄電池	①																																																																																																																																																																																																							
				125V 代替蓄電池～125V 直流主母線盤 2A-1 及び CF 125V 直流主母線盤 2B-1 電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																							
				250V 蓄電池～250V 直流主母線盤電路〔電路〕	①																																																																																																																																																																																																							
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																																																																																																								
47	格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合)	格納容器スプレィポンプ	①																																																																																																																																																																																																									
		燃料取扱用水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		格納容器スプレィ冷却器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		非常用伊心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレートナ〔流路〕)	—	48条に記載																																																																																																																																																																																																								
		代替格納容器スプレィポンプ	①																																																																																																																																																																																																									
		燃料取扱用水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		補助給水ピット〔水函〕 (格納容器水張り)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		非常用伊心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
47	代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合)	補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																									
		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																								
		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																																																																																																						
		47	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、フロントライン系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																						
				タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																						
				補助給水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
				主蒸気逃がし弁	①	※																																																																																																																																																																																																						
				蒸気発生器〔注水先〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
				主蒸気管〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																						
補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①			※																																																																																																																																																																																																								
主蒸気設備 配管・弁〔流路〕	①			※																																																																																																																																																																																																								
電動補助給水ポンプ	①			※																																																																																																																																																																																																								
タービン動補助給水ポンプ	①			※																																																																																																																																																																																																								
47	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電路) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、サポート系機能喪失時)	補助給水ピット〔水函〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気逃がし弁	①	※																																																																																																																																																																																																								
		蒸気発生器〔注水先〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気管〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																								
		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①	※																																																																																																																																																																																																								
		主蒸気設備 配管・弁〔流路〕	①	※																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (20/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>甲</sup></th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">57</td> <td rowspan="14">可搬型代替直流電源設備による給電</td> <td>125V 代替蓄電池</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250V 蓄電池</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 代替充電器</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250V 充電器</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレッド系ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 代替蓄電池及び125V 代替充電器～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電絡〔電絡〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250V 蓄電池及び250V 充電器～250V 直流主母線盤〔電絡〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源室接続口 (原子炉建屋)～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電絡〔電絡〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源室接続口 (原子炉建屋)～250V 直流主母線盤〔電絡〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (21/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>甲</sup></th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">57</td> <td rowspan="8">代替所内電気設備による給電</td> <td>ガスタービン発電機接続盤</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用高圧母線 2F 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用高圧母線 2G 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用動力変圧器 2G 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用低圧母線 2G 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用交流電源切替盤 2G 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用交流電源切替盤 2C 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急用交流電源切替盤 2D 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 2C 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 2D 系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様	57	可搬型代替直流電源設備による給電	125V 代替蓄電池	①		250V 蓄電池	①		125V 代替充電器	①		250V 充電器	①		軽油タンク	①		ガスタービン発電機軽油タンク	①		非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	①		高圧伊心スプレッド系ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	①		ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	①		125V 代替蓄電池及び125V 代替充電器～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電絡〔電絡〕	①		250V 蓄電池及び250V 充電器～250V 直流主母線盤〔電絡〕	①		電源室接続口 (原子炉建屋)～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電絡〔電絡〕	①		電源室接続口 (原子炉建屋)～250V 直流主母線盤〔電絡〕	①		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様	57	代替所内電気設備による給電	ガスタービン発電機接続盤	①		緊急用高圧母線 2F 系	①		緊急用高圧母線 2G 系	①		緊急用動力変圧器 2G 系	①		緊急用低圧母線 2G 系	①		緊急用交流電源切替盤 2G 系	①		緊急用交流電源切替盤 2C 系	①		緊急用交流電源切替盤 2D 系	①		非常用高圧母線 2C 系	①		非常用高圧母線 2D 系	①		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (23/31)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>甲</sup></th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">炉心注水 (充てんポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビッド〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビッド〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">炉心注水 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>ほう酸注入タンク〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様	47	炉心注水 (充てんポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	充てんポンプ	①		燃料取扱用水ビッド〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	再生熱交換器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	高圧注入ポンプ	①	※	燃料取扱用水ビッド〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	47	炉心注水 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	ほう酸注入タンク〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①	※	高圧注入系 配管・弁〔流路〕	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																											
57	可搬型代替直流電源設備による給電	125V 代替蓄電池	①																																																																																																																																												
		250V 蓄電池	①																																																																																																																																												
		125V 代替充電器	①																																																																																																																																												
		250V 充電器	①																																																																																																																																												
		軽油タンク	①																																																																																																																																												
		ガスタービン発電機軽油タンク	①																																																																																																																																												
		非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																												
		高圧伊心スプレッド系ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																												
		ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	①																																																																																																																																												
		125V 代替蓄電池及び125V 代替充電器～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電絡〔電絡〕	①																																																																																																																																												
		250V 蓄電池及び250V 充電器～250V 直流主母線盤〔電絡〕	①																																																																																																																																												
		電源室接続口 (原子炉建屋)～125V 直流主母線盤 2A-1 及び125V 直流主母線盤 2B-1 電絡〔電絡〕	①																																																																																																																																												
		電源室接続口 (原子炉建屋)～250V 直流主母線盤〔電絡〕	①																																																																																																																																												
		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																									
57	代替所内電気設備による給電	ガスタービン発電機接続盤	①																																																																																																																																												
		緊急用高圧母線 2F 系	①																																																																																																																																												
		緊急用高圧母線 2G 系	①																																																																																																																																												
		緊急用動力変圧器 2G 系	①																																																																																																																																												
		緊急用低圧母線 2G 系	①																																																																																																																																												
		緊急用交流電源切替盤 2G 系	①																																																																																																																																												
		緊急用交流電源切替盤 2C 系	①																																																																																																																																												
		緊急用交流電源切替盤 2D 系	①																																																																																																																																												
非常用高圧母線 2C 系	①																																																																																																																																														
非常用高圧母線 2D 系	①																																																																																																																																														
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																											
47	炉心注水 (充てんポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	充てんポンプ	①																																																																																																																																												
		燃料取扱用水ビッド〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																											
		再生熱交換器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																											
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																												
		化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																												
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載																																																																																																																																											
		1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																											
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																											
		高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																																																											
		燃料取扱用水ビッド〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																											
47	炉心注水 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	ほう酸注入タンク〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																											
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①	※																																																																																																																																											
		高圧注入系 配管・弁〔流路〕	①	※																																																																																																																																											
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載																																																																																																																																											
		1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																											
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																											



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																				
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (22/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料タンク</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送系 配管・弁 [燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機へ非常用高圧母線 DC系及び非常用高圧母線 2D系電路 [電路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレイスディーゼル発電機</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料タンク</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレイスディーゼル発電機へ非常用高圧母線 2H系電路 [電路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (23/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備</td> <td>125V 蓄電池 2A</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2B</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2A</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2B</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 [電路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 [電路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2H</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2H</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H～125V 直流主母線盤 2H 電路 [電路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">燃料補給設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記述	57	非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機	①	※	非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	①	※	軽油タンク	①	※	非常用ディーゼル発電機燃料タンク	①	※	非常用ディーゼル発電機燃料移送系 配管・弁 [燃料流路]	①		非常用ディーゼル発電機へ非常用高圧母線 DC系及び非常用高圧母線 2D系電路 [電路]	①	※	高圧伊心スプレイスディーゼル発電機	①	※	高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送ポンプ	①	※	高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料タンク	①	※	高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①	※	高圧伊心スプレイスディーゼル発電機へ非常用高圧母線 2H系電路 [電路]	①	※	ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①		ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記述	57	非常用交流電源設備	125V 蓄電池 2A	①		125V 蓄電池 2B	①		125V 充電器 2A	①		125V 充電器 2B	①		125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 [電路]	①		125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 [電路]	①		125V 蓄電池 2H	①		125V 充電器 2H	①		125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H～125V 直流主母線盤 2H 電路 [電路]	①		軽油タンク	①		57	燃料補給設備	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①		高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (24/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替伊心注水 (B-格納容器スプレイポンプ)</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用伊心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子伊格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子伊格納冷却設備 (原子伊格納冷却ポンプ、原子伊格納冷却海水ポンプ、原子伊格納冷却水サージタンク、原子伊格納冷却水冷却器並びに原子伊格納冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子伊格納冷却海水設備 配管・弁・ストレナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子伊格納 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">代替伊心注水 (代替格納容器スプレイポンプ)</td> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用伊心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子伊格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子伊格納 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記述	47	代替伊心注水 (B-格納容器スプレイポンプ)	B-格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用伊心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		原子伊格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		原子伊格納冷却設備 (原子伊格納冷却ポンプ、原子伊格納冷却海水ポンプ、原子伊格納冷却水サージタンク、原子伊格納冷却水冷却器並びに原子伊格納冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子伊格納冷却海水設備 配管・弁・ストレナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子伊格納 [注水先]	—	その他の設備に記載	代替格納容器スプレイポンプ	①		47	代替伊心注水 (代替格納容器スプレイポンプ)	燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用伊心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子伊格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子伊格納 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記述																																																																																																																																																			
57	非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機	①	※																																																																																																																																																			
		非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	①	※																																																																																																																																																			
		軽油タンク	①	※																																																																																																																																																			
		非常用ディーゼル発電機燃料タンク	①	※																																																																																																																																																			
		非常用ディーゼル発電機燃料移送系 配管・弁 [燃料流路]	①																																																																																																																																																				
		非常用ディーゼル発電機へ非常用高圧母線 DC系及び非常用高圧母線 2D系電路 [電路]	①	※																																																																																																																																																			
		高圧伊心スプレイスディーゼル発電機	①	※																																																																																																																																																			
		高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送ポンプ	①	※																																																																																																																																																			
		高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料タンク	①	※																																																																																																																																																			
		高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①	※																																																																																																																																																			
高圧伊心スプレイスディーゼル発電機へ非常用高圧母線 2H系電路 [電路]	①	※																																																																																																																																																					
ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①																																																																																																																																																						
ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①																																																																																																																																																						
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記述																																																																																																																																																			
57	非常用交流電源設備	125V 蓄電池 2A	①																																																																																																																																																				
		125V 蓄電池 2B	①																																																																																																																																																				
		125V 充電器 2A	①																																																																																																																																																				
		125V 充電器 2B	①																																																																																																																																																				
		125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 [電路]	①																																																																																																																																																				
		125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 [電路]	①																																																																																																																																																				
		125V 蓄電池 2H	①																																																																																																																																																				
		125V 充電器 2H	①																																																																																																																																																				
		125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H～125V 直流主母線盤 2H 電路 [電路]	①																																																																																																																																																				
		軽油タンク	①																																																																																																																																																				
57	燃料補給設備	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①																																																																																																																																																				
		高圧伊心スプレイスディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	①																																																																																																																																																				
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記述																																																																																																																																																			
47	代替伊心注水 (B-格納容器スプレイポンプ)	B-格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																				
		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																			
		B-格納容器スプレイ冷却器 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																			
		非常用伊心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																				
		原子伊格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																				
		原子伊格納冷却設備 (原子伊格納冷却ポンプ、原子伊格納冷却海水ポンプ、原子伊格納冷却水サージタンク、原子伊格納冷却水冷却器並びに原子伊格納冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子伊格納冷却海水設備 配管・弁・ストレナ [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																			
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																			
		原子伊格納 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																			
		代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																				
		47	代替伊心注水 (代替格納容器スプレイポンプ)	燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																	
補助給水ビット [水源]	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																			
非常用伊心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																						
補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																						
原子伊格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																																						
1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—			その他の設備に記載																																																																																																																																																			
原子伊格納 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																					



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																	
	<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (24/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>甲</sup></th> <th>備考 全設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">58</td> <td rowspan="10">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>高圧代替注水系ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン低圧流量)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン低圧流量)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遠隔駆動低圧注水ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">58</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器への注水量</td> <td>残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン低圧流量)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン低圧流量)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレィ流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 全設計基準仕様	58	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	①		58	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	①		原子炉圧力 (SA)	①		58	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域)	①		原子炉水位 (SA 広帯域)	①		原子炉水位 (SA 燃料域)	①		58	原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水系ポンプ出口流量	①		原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	①	※	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	①	※	残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン低圧流量)	①		残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン低圧流量)	①		遠隔駆動低圧注水ポンプ出口流量	①		代替循環冷却ポンプ出口流量	①		低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	①	※	残留熱除去系ポンプ出口流量	①	※	原子炉格納容器下部注水流量	①		58	原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン低圧流量)	①		残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン低圧流量)	①		原子炉格納容器代替スプレィ流量	①		代替循環冷却ポンプ出口流量	①					<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (25/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>甲</sup></th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ取) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">再循環運転 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ほう酸注入タンク [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>高圧再循環系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ, 原子炉補機冷却海水ポンプ, 原子炉補機冷却水サージタンク, 原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様	47	代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ取) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレィ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	47	再循環運転 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	高圧注入ポンプ	①	※	格納容器再循環サンプ [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 [流路]	①	※	ほう酸注入タンク [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	高圧再循環系 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ, 原子炉補機冷却海水ポンプ, 原子炉補機冷却水サージタンク, 原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 全設計基準仕様																																																																																																																																
58	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	①																																																																																																																																	
58	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	①																																																																																																																																	
		原子炉圧力 (SA)	①																																																																																																																																	
58	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域)	①																																																																																																																																	
		原子炉水位 (SA 広帯域)	①																																																																																																																																	
		原子炉水位 (SA 燃料域)	①																																																																																																																																	
58	原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水系ポンプ出口流量	①																																																																																																																																	
		原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	①	※																																																																																																																																
		高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	①	※																																																																																																																																
		残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン低圧流量)	①																																																																																																																																	
		残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン低圧流量)	①																																																																																																																																	
		遠隔駆動低圧注水ポンプ出口流量	①																																																																																																																																	
		代替循環冷却ポンプ出口流量	①																																																																																																																																	
		低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	①	※																																																																																																																																
		残留熱除去系ポンプ出口流量	①	※																																																																																																																																
		原子炉格納容器下部注水流量	①																																																																																																																																	
58	原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン低圧流量)	①																																																																																																																																	
		残留熱除去系低圧ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン低圧流量)	①																																																																																																																																	
		原子炉格納容器代替スプレィ流量	①																																																																																																																																	
		代替循環冷却ポンプ出口流量	①																																																																																																																																	
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>甲</sup>	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																
47	代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ取) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																	
		原子炉格納容器スプレィ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																																																	
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																
47	再循環運転 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	非常用取水設備 [流路] (貯留槽, 取水口, 取水路, 取水ビットスクリーン室, 取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																
		高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																																																
		格納容器再循環サンプ [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																
		格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																
		安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 [流路]	①	※																																																																																																																																
		ほう酸注入タンク [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																
		高圧再循環系 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ, 原子炉補機冷却海水ポンプ, 原子炉補機冷却水サージタンク, 原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器, 1次冷却材ポンプ, 加圧器, 1次冷却材管, 加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																								
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (25/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウェル温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブレーションプール水温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>圧力抑制室圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度(S/O)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度(S/O)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線モニタ</td> <td>格納容器内管内気放射線モニタ(S/O)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内管内気放射線モニタ(S/O)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">本臨界の維持又は監視</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)</td> <td>サブレーションプール水温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">58</td> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保(原子炉格納容器フィルタベント系)</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力(広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力(広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位(広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記号	58	原子炉格納容器内の温度	ドライウェル温度	①		圧力抑制室内空気温度	①		サブレーションプール水温度	①		58	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	①		ドライウェル圧力	①		58	原子炉格納容器内の圧力	圧力抑制室圧力	①		圧力抑制室水位	①		58	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器下部水位	①		ドライウェル水位	①		58	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(S/O)	①		格納容器内水素濃度(S/O)	①		58	原子炉格納容器内の放射線モニタ	格納容器内管内気放射線モニタ(S/O)	①		格納容器内管内気放射線モニタ(S/O)	①		58	本臨界の維持又は監視	起動領域モニタ	①		平均出力領域モニタ	①		58	最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)	サブレーションプール水温度	①		残留熱除去系熱交換器入口温度	①		58	最終ヒートシンクの確保(原子炉格納容器フィルタベント系)	代替循環冷却ポンプ出口流量	①		フィルタ装置入口圧力(広帯域)	①		フィルタ装置出口圧力(広帯域)	①		フィルタ装置水位(広帯域)	①		フィルタ装置水温度	①		フィルタ装置出口放射線モニタ	①		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (26/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替再循環運転(B-格納容器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-格納容器再循環サンプ[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]</td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイ冷却器[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>B-安全注入ポンプ再循環リシンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレージナ[流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器[注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">蒸気発生器2次側からの除熱(補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット[水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器[注水先]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管[流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記号	47	代替再循環運転(B-格納容器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレイポンプ	①		B-格納容器再循環サンプ[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	B-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②		B-格納容器スプレイ冷却器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	B-安全注入ポンプ再循環リシンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]	①		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレージナ[流路])	—	48条に記載	1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載	電動補助給水ポンプ	①	※	47	蒸気発生器2次側からの除熱(補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	タービン動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ピット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気逃がし弁	①	※	蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記号																																																																																																																																																							
58	原子炉格納容器内の温度	ドライウェル温度	①																																																																																																																																																								
		圧力抑制室内空気温度	①																																																																																																																																																								
		サブレーションプール水温度	①																																																																																																																																																								
58	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	①																																																																																																																																																								
		ドライウェル圧力	①																																																																																																																																																								
58	原子炉格納容器内の圧力	圧力抑制室圧力	①																																																																																																																																																								
		圧力抑制室水位	①																																																																																																																																																								
58	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器下部水位	①																																																																																																																																																								
		ドライウェル水位	①																																																																																																																																																								
58	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(S/O)	①																																																																																																																																																								
		格納容器内水素濃度(S/O)	①																																																																																																																																																								
58	原子炉格納容器内の放射線モニタ	格納容器内管内気放射線モニタ(S/O)	①																																																																																																																																																								
		格納容器内管内気放射線モニタ(S/O)	①																																																																																																																																																								
58	本臨界の維持又は監視	起動領域モニタ	①																																																																																																																																																								
		平均出力領域モニタ	①																																																																																																																																																								
58	最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)	サブレーションプール水温度	①																																																																																																																																																								
		残留熱除去系熱交換器入口温度	①																																																																																																																																																								
58	最終ヒートシンクの確保(原子炉格納容器フィルタベント系)	代替循環冷却ポンプ出口流量	①																																																																																																																																																								
		フィルタ装置入口圧力(広帯域)	①																																																																																																																																																								
		フィルタ装置出口圧力(広帯域)	①																																																																																																																																																								
		フィルタ装置水位(広帯域)	①																																																																																																																																																								
		フィルタ装置水温度	①																																																																																																																																																								
		フィルタ装置出口放射線モニタ	①																																																																																																																																																								
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記号																																																																																																																																																							
47	代替再循環運転(B-格納容器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	B-格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																																								
		B-格納容器再循環サンプ[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																							
		B-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②																																																																																																																																																								
		B-格納容器スプレイ冷却器[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																							
		B-安全注入ポンプ再循環リシンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①																																																																																																																																																								
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																								
		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレージナ[流路])	—	48条に記載																																																																																																																																																							
		1次冷却設備[流路](蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																							
		原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																							
		電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																							
47	蒸気発生器2次側からの除熱(補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)	タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																							
		補助給水ピット[水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																							
		主蒸気逃がし弁	①	※																																																																																																																																																							
		蒸気発生器[注水先]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																							
		主蒸気管[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																							
		補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																							
主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																			
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (26/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58</td> <td>最終ヒートシンクの確保(耐圧強化ベント系)</td> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保(残留熱除去系)</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">58</td> <td rowspan="5">格納容器バイパスの監視(原子炉圧力容器内の状態)</td> <td>原子炉水位(広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(燃料罐)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(SA広帯域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(SA燃料罐)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)</td> <td>原子炉圧力(SA)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)</td> <td>ドライウェル圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">原子炉建屋内の水量濃度</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内水量濃度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">使用済燃料プールの監視</td> <td>使用済燃料プール水位/温度(ヒートセーフ式)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度(ゼロドパルス式)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上層空間放射線モニタ(累積量、低線量)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">発電所内の通信連絡</td> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全パワーマークアップシステム(SPAS)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (27/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">58</td> <td rowspan="15">その他</td> <td>高圧蒸気ガス供給系 ADS 入口圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替高圧蒸気ガス供給系蒸気ガス供給止め弁入口圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-2F-1 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-2F-2 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-2H 母線電圧</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 交流主母線 2A 電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 交流主母線 2B 電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 交流主母線 2A-1 電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125V 交流主母線 2B-1 電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250V 交流主母線電圧</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPC3125V 交流主母線電圧</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	58	最終ヒートシンクの確保(耐圧強化ベント系)	耐圧強化ベント系放射線モニタ	①		58	最終ヒートシンクの確保(残留熱除去系)	残留熱除去系ポンプ出口流量	①	※	残留熱除去系熱交換器入口流量	①	※	残留熱除去系熱交換器出口流量	①		58	格納容器バイパスの監視(原子炉圧力容器内の状態)	原子炉水位(広帯域)	①		原子炉水位(燃料罐)	①		原子炉水位(SA広帯域)	①		原子炉水位(SA燃料罐)	①		原子炉圧力	①		58	格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	原子炉圧力(SA)	①		ドライウェル温度	①		58	格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	ドライウェル圧力	①		高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①	※	58	格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①	※	残留熱除去系ポンプ出口圧力	①	※	58	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	①		58	原子炉建屋内の水量濃度	圧力抑制室水位	①		原子炉建屋内水量濃度	①		58	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内雰囲気酸素濃度	①		58	使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度(ヒートセーフ式)	①		使用済燃料プール水位/温度(ゼロドパルス式)	①		使用済燃料プール上層空間放射線モニタ(累積量、低線量)	①		58	発電所内の通信連絡	使用済燃料プール監視カメラ	①		安全パワーマークアップシステム(SPAS)	①		関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	58	その他	高圧蒸気ガス供給系 ADS 入口圧力	①		代替高圧蒸気ガス供給系蒸気ガス供給止め弁入口圧力	①		6-2F-1 母線電圧	①		6-2F-2 母線電圧	①		6-2C 母線電圧	①		6-2D 母線電圧	①		6-2H 母線電圧	①	※	4-2C 母線電圧	①		4-2D 母線電圧	①		125V 交流主母線 2A 電圧	①		125V 交流主母線 2B 電圧	①		125V 交流主母線 2A-1 電圧	①		125V 交流主母線 2B-1 電圧	①		250V 交流主母線電圧	①		RPC3125V 交流主母線電圧	①	※	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外) (27/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)(代替電源)(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>56条に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">47</td> <td rowspan="3">代替炉心注水(可動型大型送水ポンプ車)(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備〔流路〕(貯留庫、取水口、取水路、取水ピットスクリーン等、取水ピットポンプ等)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">47</td> <td rowspan="5">代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却))(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">47</td> <td rowspan="3">代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却))(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)</td> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	47	代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)(代替電源)(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ピット〔水源〕	②	56条に記載	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①		1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①		47	代替炉心注水(可動型大型送水ポンプ車)(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	非常用取水設備〔流路〕(貯留庫、取水口、取水路、取水ピットスクリーン等、取水ピットポンプ等)	—	その他の設備に記載	47	代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却))(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	B-充てんポンプ	①		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	再生熱交換器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕	①		47	代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却))(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕	①		1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炉型による設備構成及び設計の相違</li> </ul>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																		
58	最終ヒートシンクの確保(耐圧強化ベント系)	耐圧強化ベント系放射線モニタ	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	最終ヒートシンクの確保(残留熱除去系)	残留熱除去系ポンプ出口流量	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
		残留熱除去系熱交換器入口流量	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
		残留熱除去系熱交換器出口流量	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	格納容器バイパスの監視(原子炉圧力容器内の状態)	原子炉水位(広帯域)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉水位(燃料罐)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉水位(SA広帯域)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉水位(SA燃料罐)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉圧力	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	原子炉圧力(SA)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		ドライウェル温度	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	ドライウェル圧力	①																																																																																																																																																																																																																																			
		高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
58	格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
		残留熱除去系ポンプ出口圧力	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
58	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	原子炉建屋内の水量濃度	圧力抑制室水位	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉建屋内水量濃度	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内雰囲気酸素濃度	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度(ヒートセーフ式)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		使用済燃料プール水位/温度(ゼロドパルス式)	①																																																																																																																																																																																																																																			
		使用済燃料プール上層空間放射線モニタ(累積量、低線量)	①																																																																																																																																																																																																																																			
58	発電所内の通信連絡	使用済燃料プール監視カメラ	①																																																																																																																																																																																																																																			
		安全パワーマークアップシステム(SPAS)	①																																																																																																																																																																																																																																			
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																		
58	その他	高圧蒸気ガス供給系 ADS 入口圧力	①																																																																																																																																																																																																																																			
		代替高圧蒸気ガス供給系蒸気ガス供給止め弁入口圧力	①																																																																																																																																																																																																																																			
		6-2F-1 母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		6-2F-2 母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		6-2C 母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		6-2D 母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		6-2H 母線電圧	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
		4-2C 母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		4-2D 母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		125V 交流主母線 2A 電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		125V 交流主母線 2B 電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		125V 交流主母線 2A-1 電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		125V 交流主母線 2B-1 電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		250V 交流主母線電圧	①																																																																																																																																																																																																																																			
		RPC3125V 交流主母線電圧	①	※																																																																																																																																																																																																																																		
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																																																																																																																		
47	代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)(代替電源)(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																		
		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																		
		補助給水ピット〔水源〕	②	56条に記載																																																																																																																																																																																																																																		
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
		1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		
		補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
47	代替炉心注水(可動型大型送水ポンプ車)(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		
		非常用取水設備〔流路〕(貯留庫、取水口、取水路、取水ピットスクリーン等、取水ピットポンプ等)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		
47	代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却))(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	B-充てんポンプ	①																																																																																																																																																																																																																																			
		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																		
		再生熱交換器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																																																		
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
		化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
47	代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却))(運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																																																																																																																																																																			
		1次冷却設備〔流路〕(蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																																																		

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																		
	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(28/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">59</td><td rowspan="14">居住性の確保</td><td>中央制御室</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>中央制御室遮蔽</td><td>②</td><td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>中央制御室送風機</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>中央制御室排風機</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>中央制御室再循環送風機</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>中央制御室再循環フィルタ装置</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>中央制御室換気空調システム・ダンパ[送風]</td><td>②</td><td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>中央制御室待避所</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>中央制御室待避所遮蔽</td><td>②</td><td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>中央制御室待避所加圧設備(配管・弁)[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>遮圧計</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>無線連絡設備(固定型)</td><td>—</td><td>62条に記載</td></tr> <tr><td>衛星電話設備(固定型)</td><td>—</td><td>62条に記載</td></tr> <tr><td>無線連絡設備(屋外アンテナ)[伝送路]</td><td>—</td><td>62条に記載</td></tr> <tr><td>衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]</td><td>—</td><td>62条に記載</td></tr> <tr><td>有線(建屋内)[伝送路]</td><td>—</td><td>62条に記載</td></tr> <tr><td>データ表示装置(待避所)</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="7">59</td><td rowspan="7">液ばく量の低減</td><td>非常用ガス処理系排風機</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>非常用ガス処理系空気乾燥装置[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>非常用ガス処理系フィルタ装置[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>非常用ガス処理系配管・弁[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>排気機[流路]</td><td>②</td><td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>原子炉建屋原子炉棟[流路]</td><td>—</td><td>その他の設備に記載</td></tr> <tr><td>原子炉建屋ブローアウト/キル防止装置</td><td>①</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(29/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>60</td><td>モニタリングポストの代替装置</td><td>データ処理装置[伝送路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td>気象観測設備の代替測定</td><td>データ処理装置[伝送路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td>放射線量の測定</td><td>データ処理装置[伝送路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td>モニタリングポストの代替交流電源からの給電</td><td>常設代替交流電源設備</td><td>—</td><td>57条に記載</td></tr> <tr><td rowspan="6">61</td><td rowspan="6">居住性の確保(緊急時対策所)</td><td>緊急時対策所</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>緊急時対策所遮蔽</td><td>②</td><td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>緊急時対策所非常用送風機</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>緊急時対策所非常用フィルタ装置</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>緊急時対策所非常用給排気配管・弁[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>緊急時対策所加圧設備(配管・弁)[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>遮圧計</td><td>①</td><td></td></tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	59	居住性の確保	中央制御室	①		中央制御室遮蔽	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	中央制御室送風機	①		中央制御室排風機	①		中央制御室再循環送風機	①		中央制御室再循環フィルタ装置	①		中央制御室換気空調システム・ダンパ[送風]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	中央制御室待避所	①		中央制御室待避所遮蔽	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	中央制御室待避所加圧設備(配管・弁)[流路]	①		遮圧計	①		無線連絡設備(固定型)	—	62条に記載	衛星電話設備(固定型)	—	62条に記載	無線連絡設備(屋外アンテナ)[伝送路]	—	62条に記載	衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]	—	62条に記載	有線(建屋内)[伝送路]	—	62条に記載	データ表示装置(待避所)	①		59	液ばく量の低減	非常用ガス処理系排風機	①		非常用ガス処理系空気乾燥装置[流路]	①		非常用ガス処理系フィルタ装置[流路]	①		非常用ガス処理系配管・弁[流路]	①		排気機[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉建屋原子炉棟[流路]	—	その他の設備に記載	原子炉建屋ブローアウト/キル防止装置	①		関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	60	モニタリングポストの代替装置	データ処理装置[伝送路]	①		60	気象観測設備の代替測定	データ処理装置[伝送路]	①		60	放射線量の測定	データ処理装置[伝送路]	①		60	モニタリングポストの代替交流電源からの給電	常設代替交流電源設備	—	57条に記載	61	居住性の確保(緊急時対策所)	緊急時対策所	①		緊急時対策所遮蔽	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	緊急時対策所非常用送風機	①		緊急時対策所非常用フィルタ装置	①		緊急時対策所非常用給排気配管・弁[流路]	①		緊急時対策所加圧設備(配管・弁)[流路]	①				遮圧計	①		<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(28/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">47</td><td rowspan="14">代替再循環運転(A-高圧注入ポンプ(海水冷却)) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)</td><td>A-高圧注入ポンプ</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>A-格納容器再循環サンプ[水源]</td><td>②</td><td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>A-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]</td><td>②</td><td>※</td></tr> <tr><td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>ほう酸注入タンク[流路]</td><td>②</td><td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>高圧再循環系 配管・弁[流路]</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>原子炉補助冷却水設備 配管・弁[流路]</td><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>1次冷却設備[流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td><td>—</td><td>その他の設備に記載</td></tr> <tr><td>原子炉容器[注水先]</td><td>—</td><td>その他の設備に記載</td></tr> <tr><td>非常用取水設備[流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)</td><td>—</td><td>その他の設備に記載</td></tr> <tr><td rowspan="7">47</td><td rowspan="7">蒸気発生器2次側からの除熱(補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)</td><td>電動補助給水ポンプ</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>タービン動補助給水ポンプ</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>補助給水ビット[水源]</td><td>②</td><td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>主蒸気速がし弁</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>蒸気発生器[注水先]</td><td>②</td><td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>主蒸気管[流路]</td><td>②</td><td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td></tr> <tr><td>補助給水設備 配管・弁[流路]</td><td>①</td><td>※</td></tr> <tr><td>主蒸気設備 配管・弁[流路]</td><td>①</td><td>※</td></tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	47	代替再循環運転(A-高圧注入ポンプ(海水冷却)) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	A-高圧注入ポンプ	①	※	A-格納容器再循環サンプ[水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	A-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②	※	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①	※	ほう酸注入タンク[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	高圧再循環系 配管・弁[流路]	①	※	原子炉補助冷却水設備 配管・弁[流路]	①		1次冷却設備[流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載	非常用取水設備[流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	47	蒸気発生器2次側からの除熱(補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※	タービン動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ビット[水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気速がし弁	①	※	蒸気発生器[注水先]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁[流路]	①	※	主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違          炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																																																																																	
59	居住性の確保	中央制御室	①																																																																																																																																																																																																		
		中央制御室遮蔽	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		中央制御室送風機	①																																																																																																																																																																																																		
		中央制御室排風機	①																																																																																																																																																																																																		
		中央制御室再循環送風機	①																																																																																																																																																																																																		
		中央制御室再循環フィルタ装置	①																																																																																																																																																																																																		
		中央制御室換気空調システム・ダンパ[送風]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		中央制御室待避所	①																																																																																																																																																																																																		
		中央制御室待避所遮蔽	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		中央制御室待避所加圧設備(配管・弁)[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		遮圧計	①																																																																																																																																																																																																		
		無線連絡設備(固定型)	—	62条に記載																																																																																																																																																																																																	
		衛星電話設備(固定型)	—	62条に記載																																																																																																																																																																																																	
		無線連絡設備(屋外アンテナ)[伝送路]	—	62条に記載																																																																																																																																																																																																	
衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]	—	62条に記載																																																																																																																																																																																																			
有線(建屋内)[伝送路]	—	62条に記載																																																																																																																																																																																																			
データ表示装置(待避所)	①																																																																																																																																																																																																				
59	液ばく量の低減	非常用ガス処理系排風機	①																																																																																																																																																																																																		
		非常用ガス処理系空気乾燥装置[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		非常用ガス処理系フィルタ装置[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		非常用ガス処理系配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		排気機[流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		原子炉建屋原子炉棟[流路]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																	
		原子炉建屋ブローアウト/キル防止装置	①																																																																																																																																																																																																		
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																																																																																	
60	モニタリングポストの代替装置	データ処理装置[伝送路]	①																																																																																																																																																																																																		
60	気象観測設備の代替測定	データ処理装置[伝送路]	①																																																																																																																																																																																																		
60	放射線量の測定	データ処理装置[伝送路]	①																																																																																																																																																																																																		
60	モニタリングポストの代替交流電源からの給電	常設代替交流電源設備	—	57条に記載																																																																																																																																																																																																	
61	居住性の確保(緊急時対策所)	緊急時対策所	①																																																																																																																																																																																																		
		緊急時対策所遮蔽	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		緊急時対策所非常用送風機	①																																																																																																																																																																																																		
		緊急時対策所非常用フィルタ装置	①																																																																																																																																																																																																		
		緊急時対策所非常用給排気配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		緊急時対策所加圧設備(配管・弁)[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		遮圧計	①																																																																																																																																																																																																		
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																																																																																	
47	代替再循環運転(A-高圧注入ポンプ(海水冷却)) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	A-高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																																	
		A-格納容器再循環サンプ[水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		A-格納容器再循環サンプスクリーン[流路]	②	※																																																																																																																																																																																																	
		A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																	
		ほう酸注入タンク[流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
		高圧再循環系 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																	
		原子炉補助冷却水設備 配管・弁[流路]	①																																																																																																																																																																																																		
		1次冷却設備[流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																	
		原子炉容器[注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																	
		非常用取水設備[流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																																																																																	
		47	蒸気発生器2次側からの除熱(補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																															
				タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																																																																																																															
				補助給水ビット[水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																															
				主蒸気速がし弁	①	※																																																																																																																																																																																															
蒸気発生器[注水先]	②			※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
主蒸気管[流路]	②			※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																																																																																	
補助給水設備 配管・弁[流路]	①			※																																																																																																																																																																																																	
主蒸気設備 配管・弁[流路]	①	※																																																																																																																																																																																																			



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																				
	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (30/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">61</td> <td rowspan="14">電源の確保 (緊急時対策所)</td> <td>ガスタービン発電機</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機保護継電器</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>巻線タンク</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料移送ポンプ</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料供給]</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料供給]</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレッドポンプ</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機保護継電器</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用巻線タンク</td> <td>—</td> <td>87条に記載</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用巻線タンク</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用燃料移送系配管・弁 [燃料供給]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用高圧母線系</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～緊急時対策用高圧母線系電線 [電線]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源系統開口 (緊急時対策用)～緊急時対策用高圧母線系電線 [電線]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">61</td> <td rowspan="14">通信連絡 (緊急時対策所)</td> <td>無線連絡設備 (固定型)</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (固定型)</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>結合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 [伝送線]</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (屋外アンテナ) [伝送線]</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送線]</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 [伝送線]</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>有線 (建屋内) [伝送線]</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準根拠	61	電源の確保 (緊急時対策所)	ガスタービン発電機	—	87条に記載	ガスタービン発電機保護継電器	—	87条に記載	巻線タンク	—	87条に記載	ガスタービン発電機燃料移送ポンプ	—	87条に記載	ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料供給]	—	87条に記載	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料供給]	—	87条に記載	高圧炉心スプレッドポンプ	—	87条に記載	ガスタービン発電機保護継電器	—	87条に記載	緊急時対策用巻線タンク	—	87条に記載	緊急時対策用巻線タンク	①		緊急時対策用燃料移送系配管・弁 [燃料供給]	①		緊急時対策用高圧母線系	①		ガスタービン発電機～緊急時対策用高圧母線系電線 [電線]	①		電源系統開口 (緊急時対策用)～緊急時対策用高圧母線系電線 [電線]	①		61	通信連絡 (緊急時対策所)	無線連絡設備 (固定型)	—	62条に記載	衛星電話設備 (固定型)	—	62条に記載	結合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	—	62条に記載	無線連絡設備 [伝送線]	—	62条に記載	無線連絡設備 (屋外アンテナ) [伝送線]	—	62条に記載	衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送線]	—	62条に記載	衛星電話設備 [伝送線]	—	62条に記載	有線 (建屋内) [伝送線]	—	62条に記載	<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (29/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">47</td> <td rowspan="14">炉心注水 (高圧注入ポンプ)</td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット [水源]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>ほう酸注入タンク [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット [水源]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器 [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">47</td> <td rowspan="14">炉心注水 (余熱除去ポンプ)</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準根拠	47	炉心注水 (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	①	※	燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	ほう酸注入タンク [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	高圧注入系 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	余熱除去ポンプ	①	※	燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	余熱除去冷却器 [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①	※	47	炉心注水 (余熱除去ポンプ)	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準根拠																																																																																																																																			
61	電源の確保 (緊急時対策所)	ガスタービン発電機	—	87条に記載																																																																																																																																			
		ガスタービン発電機保護継電器	—	87条に記載																																																																																																																																			
		巻線タンク	—	87条に記載																																																																																																																																			
		ガスタービン発電機燃料移送ポンプ	—	87条に記載																																																																																																																																			
		ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁 [燃料供給]	—	87条に記載																																																																																																																																			
		非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁 [燃料供給]	—	87条に記載																																																																																																																																			
		高圧炉心スプレッドポンプ	—	87条に記載																																																																																																																																			
		ガスタービン発電機保護継電器	—	87条に記載																																																																																																																																			
		緊急時対策用巻線タンク	—	87条に記載																																																																																																																																			
		緊急時対策用巻線タンク	①																																																																																																																																				
		緊急時対策用燃料移送系配管・弁 [燃料供給]	①																																																																																																																																				
		緊急時対策用高圧母線系	①																																																																																																																																				
		ガスタービン発電機～緊急時対策用高圧母線系電線 [電線]	①																																																																																																																																				
		電源系統開口 (緊急時対策用)～緊急時対策用高圧母線系電線 [電線]	①																																																																																																																																				
61	通信連絡 (緊急時対策所)	無線連絡設備 (固定型)	—	62条に記載																																																																																																																																			
		衛星電話設備 (固定型)	—	62条に記載																																																																																																																																			
		結合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	—	62条に記載																																																																																																																																			
		無線連絡設備 [伝送線]	—	62条に記載																																																																																																																																			
		無線連絡設備 (屋外アンテナ) [伝送線]	—	62条に記載																																																																																																																																			
		衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送線]	—	62条に記載																																																																																																																																			
		衛星電話設備 [伝送線]	—	62条に記載																																																																																																																																			
		有線 (建屋内) [伝送線]	—	62条に記載																																																																																																																																			
		関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準根拠																																																																																																																																	
		47	炉心注水 (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																																																	
				燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																	
				ほう酸注入タンク [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																	
				非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																	
				高圧注入系 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																																																	
原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—			48条に記載																																																																																																																																			
1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—			その他の設備に記載																																																																																																																																			
原子炉容器 [注水先]	—			その他の設備に記載																																																																																																																																			
余熱除去ポンプ	①			※																																																																																																																																			
燃料取替用水ピット [水源]	②			※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																			
余熱除去冷却器 [流路]	②			※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																																																			
非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①			※																																																																																																																																			
余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①			※																																																																																																																																			
47	炉心注水 (余熱除去ポンプ)			原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載																																																																																																																																	
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																			
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																																																																			

赤字:設備,運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現,設備名称の相違(実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																													
	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(31/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">62</td> <td rowspan="10">発電所内の通信連絡</td> <td>無線連絡設備(固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全パワースタタ表示システム(SPBS)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備(屋外アンテナ)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(屋外アンテナ)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡装置【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線(建屋内)(機内通信設備,無線連絡設備(固定型),衛星電話設備(固定型)に係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線(建屋内)(安全パワースタタ表示システム(SPBS)に係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>統合原子力防及ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">62</td> <td rowspan="10">発電所外の通信連絡</td> <td>データ伝送設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(屋外アンテナ)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星連絡装置【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線(建屋内)(衛星電話設備(固定型)に係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線(建屋内)(統合原子力防及ネットワークを用いた通信連絡設備,データ伝送設備に係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(32/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">重大事故等時に対処するための遮断,注水先,注水先,排出元等</td> <td rowspan="4">その他の設備</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常用取水設備</td> <td rowspan="4">非常用取水設備</td> <td>貯留罐</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>取水ポンプ室</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準記載	62	発電所内の通信連絡	無線連絡設備(固定型)	①		衛星電話設備(固定型)	①		安全パワースタタ表示システム(SPBS)	①		無線連絡設備(屋外アンテナ)【伝送路】	①		衛星電話設備(屋外アンテナ)【伝送路】	①		無線連絡装置【伝送路】	①		有線(建屋内)(機内通信設備,無線連絡設備(固定型),衛星電話設備(固定型)に係るもの)【伝送路】	①		有線(建屋内)(安全パワースタタ表示システム(SPBS)に係るもの)【伝送路】	①		衛星電話設備(固定型)	①		統合原子力防及ネットワークを用いた通信連絡設備	①		62	発電所外の通信連絡	データ伝送設備	①		衛星電話設備(屋外アンテナ)【伝送路】	①		衛星連絡装置【伝送路】	①		有線(建屋内)(衛星電話設備(固定型)に係るもの)【伝送路】	①		有線(建屋内)(統合原子力防及ネットワークを用いた通信連絡設備,データ伝送設備に係るもの)【伝送路】	①		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準記載	重大事故等時に対処するための遮断,注水先,注水先,排出元等	その他の設備	原子炉圧力容器	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	原子炉格納容器	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	使用済燃料プール	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	原子炉建屋原子炉棟	①		非常用取水設備	非常用取水設備	貯留罐	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	取水口	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	取水路	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	取水ポンプ室	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	<p>第1表:常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(30/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">炉心注水(充てんポンプ) (密閉炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止,交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)</td> <td>充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ピット【水源】</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器【流路】</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁【流路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ,原子炉補機冷却水サージタンク,原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備【流路】(蒸気発生器,1次冷却材ポンプ,加圧器,1次冷却材管,加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器【注水先】</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>B-1格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-1格納容器スプレイ冷却器【流路】</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">代替炉心注水(B-1格納容器スプレイポンプ) (密閉炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止,交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)</td> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁【流路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ,原子炉補機冷却水サージタンク,原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備【流路】(蒸気発生器,1次冷却材ポンプ,加圧器,1次冷却材管,加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器【注水先】</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準記載	47	炉心注水(充てんポンプ) (密閉炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止,交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	充てんポンプ	①		燃料取扱用水ピット【水源】	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	再生熱交換器【流路】	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	①		化学体積制御設備 配管・弁【流路】	①		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ,原子炉補機冷却水サージタンク,原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	—	48条に記載	1次冷却設備【流路】(蒸気発生器,1次冷却材ポンプ,加圧器,1次冷却材管,加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器【注水先】	—	その他の設備に記載	B-1格納容器スプレイポンプ	①		B-1格納容器スプレイ冷却器【流路】	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない	47	代替炉心注水(B-1格納容器スプレイポンプ) (密閉炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止,交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁【流路】	①		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ,原子炉補機冷却水サージタンク,原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	—	48条に記載	1次冷却設備【流路】(蒸気発生器,1次冷却材ポンプ,加圧器,1次冷却材管,加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器【注水先】	—	その他の設備に記載	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																												
62	発電所内の通信連絡	無線連絡設備(固定型)	①																																																																																																																																													
		衛星電話設備(固定型)	①																																																																																																																																													
		安全パワースタタ表示システム(SPBS)	①																																																																																																																																													
		無線連絡設備(屋外アンテナ)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		衛星電話設備(屋外アンテナ)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		無線連絡装置【伝送路】	①																																																																																																																																													
		有線(建屋内)(機内通信設備,無線連絡設備(固定型),衛星電話設備(固定型)に係るもの)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		有線(建屋内)(安全パワースタタ表示システム(SPBS)に係るもの)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		衛星電話設備(固定型)	①																																																																																																																																													
		統合原子力防及ネットワークを用いた通信連絡設備	①																																																																																																																																													
62	発電所外の通信連絡	データ伝送設備	①																																																																																																																																													
		衛星電話設備(屋外アンテナ)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		衛星連絡装置【伝送路】	①																																																																																																																																													
		有線(建屋内)(衛星電話設備(固定型)に係るもの)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		有線(建屋内)(統合原子力防及ネットワークを用いた通信連絡設備,データ伝送設備に係るもの)【伝送路】	①																																																																																																																																													
		関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																										
		重大事故等時に対処するための遮断,注水先,注水先,排出元等	その他の設備	原子炉圧力容器	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																										
				原子炉格納容器	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																										
				使用済燃料プール	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																										
				原子炉建屋原子炉棟	①																																																																																																																																											
非常用取水設備	非常用取水設備	貯留罐	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
		取水口	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
		取水路	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
		取水ポンプ室	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																																																																																												
47	炉心注水(充てんポンプ) (密閉炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止,交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	充てんポンプ	①																																																																																																																																													
		燃料取扱用水ピット【水源】	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
		再生熱交換器【流路】	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
		非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	①																																																																																																																																													
		化学体積制御設備 配管・弁【流路】	①																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ,原子炉補機冷却水サージタンク,原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	—	48条に記載																																																																																																																																												
		1次冷却設備【流路】(蒸気発生器,1次冷却材ポンプ,加圧器,1次冷却材管,加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																												
		原子炉容器【注水先】	—	その他の設備に記載																																																																																																																																												
		B-1格納容器スプレイポンプ	①																																																																																																																																													
		B-1格納容器スプレイ冷却器【流路】	②	不燃材で構成されているため,火災によって影響を受けない																																																																																																																																												
47	代替炉心注水(B-1格納容器スプレイポンプ) (密閉炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止,交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	①																																																																																																																																													
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁【流路】	①																																																																																																																																													
		原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水ポンプ,原子炉補機冷却水サージタンク,原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	—	48条に記載																																																																																																																																												
		1次冷却設備【流路】(蒸気発生器,1次冷却材ポンプ,加圧器,1次冷却材管,加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																																																																																																												
		原子炉容器【注水先】	—	その他の設備に記載																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(31/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準批准</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、交流流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却)) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)</td> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>B-充てんポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>再生熱交換器〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">代替炉心注水(自己冷却) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)</td> <td>化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準批准	47	代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、交流流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取扱用水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①		47	代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却)) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	B-充てんポンプ	①		燃料取扱用水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	再生熱交換器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		47	代替炉心注水(自己冷却) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)	化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕	①		1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準批准																																																										
47	代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、交流流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																											
		燃料取扱用水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		補助給水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
47	代替炉心注水(充てんポンプ(自己冷却)) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																										
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																										
		B-充てんポンプ	①																																																											
		燃料取扱用水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		再生熱交換器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
47	代替炉心注水(自己冷却) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)	化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
		1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																										
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																										
		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(32/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準批准</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)(代替電源) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">余熱除去設備</td> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>余熱除去設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">余熱除去設備</td> <td>1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準批准	47	代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)(代替電源) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取扱用水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①		47	余熱除去設備	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	余熱除去ポンプ	①	※	余熱除去冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載	47	余熱除去設備	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載							
		関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準批准																																																								
47	代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)(代替電源) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、全交流流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																											
		燃料取扱用水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		補助給水ビット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①																																																											
47	余熱除去設備	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																										
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																										
		余熱除去ポンプ	①	※																																																										
		余熱除去冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																										
		余熱除去設備 配管・弁〔流路〕	①	※																																																										
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載																																																										
47	余熱除去設備	1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																																										
		原子炉容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (33/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連 条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">低圧圧水系 低圧時再循環</td> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット [水源]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン [流路]</td> <td>②</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>余熱除去設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却器水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁 [流路] 及び原子炉補機冷却 海水設備 配管・弁・ストレー ナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連 条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準拡張	47	低圧圧水系 低圧時再循環	余熱除去ポンプ	①	※	余熱除去冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない	燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプ [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	※	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却器水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁 [流路] 及び原子炉補機冷却 海水設備 配管・弁・ストレー ナ [流路])	—	48条に記載	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管)	—	その他の設備に記載	原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及 び設計の相違</p>
関連 条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準拡張																																				
47	低圧圧水系 低圧時再循環	余熱除去ポンプ	①	※																																				
		余熱除去冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない																																				
		燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない																																				
		格納容器再循環サンプ [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、 火災によって影響を受けない																																				
		格納容器再循環サンプスクリーン [流路]	②	※																																				
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※																																				
		余熱除去設備 配管・弁 [流路]	①	※																																				
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却器水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁 [流路] 及び原子炉補機冷却 海水設備 配管・弁・ストレー ナ [流路])	—	48条に記載																																				
		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管)	—	その他の設備に記載																																				
		原子炉容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (34/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策①</th> <th style="width: 40%;">備考 ※設計基準参照</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">48</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (フロントライン系機能喪失時)</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>※</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気過し弁</td> <td>①</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 [注水先]</td> <td>②</td> <td>※</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管 [流路]</td> <td>②</td> <td>※</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">48</td> <td rowspan="4">格納容器内自然対流冷却 (C/V再循環ユニット：海水) (フロントライン系機能喪失時)</td> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置</td> <td>—</td> <td>※8条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビッドスクリーン室、取水ビッドポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">48</td> <td rowspan="3">代替補機冷却 (A-S1P (海水冷却)) (フロントライン系機能喪失時)</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビッドスクリーン室、取水ビッドポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">48</td> <td rowspan="7">蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (サボート系機能喪失時)</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>※</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気過し弁</td> <td>①</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 [注水先]</td> <td>②</td> <td>※</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管 [流路]</td> <td>②</td> <td>※</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準参照	48	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (フロントライン系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※	タービン動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ビッド [水源]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気過し弁	①	※		蒸気発生器 [注水先]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管 [流路]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁 [流路]	①	※		主蒸気設備 配管・弁 [流路]	①	※		C、D-格納容器再循環ユニット	①			48	格納容器内自然対流冷却 (C/V再循環ユニット：海水) (フロントライン系機能喪失時)	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型温度計測装置	—	※8条に記載	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビッドスクリーン室、取水ビッドポンプ室)	—	その他の設備に記載	48	代替補機冷却 (A-S1P (海水冷却)) (フロントライン系機能喪失時)	A-高圧注入ポンプ	①	※	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビッドスクリーン室、取水ビッドポンプ室)	—	その他の設備に記載	48	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (サボート系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※	タービン動補助給水ポンプ	①	※	補助給水ビッド [水源]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気過し弁	①	※		蒸気発生器 [注水先]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	主蒸気管 [流路]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水設備 配管・弁 [流路]	①	※		主蒸気設備 配管・弁 [流路]	①	※		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準参照																																																																																																	
48	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (フロントライン系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																	
		タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																	
		補助給水ビッド [水源]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																
		主蒸気過し弁	①	※																																																																																																	
		蒸気発生器 [注水先]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																
		主蒸気管 [流路]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																	
		主蒸気設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																	
		C、D-格納容器再循環ユニット	①																																																																																																		
		48	格納容器内自然対流冷却 (C/V再循環ユニット：海水) (フロントライン系機能喪失時)	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																
可搬型温度計測装置	—			※8条に記載																																																																																																	
原子炉格納容器	—			その他の設備に記載																																																																																																	
非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビッドスクリーン室、取水ビッドポンプ室)	—			その他の設備に記載																																																																																																	
48	代替補機冷却 (A-S1P (海水冷却)) (フロントライン系機能喪失時)	A-高圧注入ポンプ	①	※																																																																																																	
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																																		
		非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビッドスクリーン室、取水ビッドポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																																	
48	蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (サボート系機能喪失時)	電動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																	
		タービン動補助給水ポンプ	①	※																																																																																																	
		補助給水ビッド [水源]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																
		主蒸気過し弁	①	※																																																																																																	
		蒸気発生器 [注水先]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																
		主蒸気管 [流路]	②	※	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																																
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																	
主蒸気設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (35/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 20%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策①</th> <th style="width: 30%;">備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">48</td> <td rowspan="4">格納容器内自然対流冷却 (海水) (サポート系機能喪失時)</td> <td>C、D-格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型風度計測装置</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">48</td> <td rowspan="3">代替補機冷却 (高圧注入ポンプ (海水冷却) (作時留断)) (サポート系機能喪失時)</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留堰、取水口、取水路、取水ビットスタクリン管、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">48</td> <td rowspan="5">原子炉補機冷却設備</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留堰、取水口、取水路、取水ビットスタクリン管、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁・サージタンク [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉補機冷却水冷却器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	48	格納容器内自然対流冷却 (海水) (サポート系機能喪失時)	C、D-格納容器再循環ユニット	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型風度計測装置	—	58条に記載	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	48	代替補機冷却 (高圧注入ポンプ (海水冷却) (作時留断)) (サポート系機能喪失時)	非常用取水設備 [流路] (貯留堰、取水口、取水路、取水ビットスタクリン管、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	A-高圧注入ポンプ	①	※	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		48	原子炉補機冷却設備	非常用取水設備 [流路] (貯留堰、取水口、取水路、取水ビットスタクリン管、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	原子炉補機冷却水ポンプ	①	※	原子炉補機冷却海水ポンプ	①	※	原子炉補機冷却水設備 配管・弁・サージタンク [流路]	①	※	原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路]	①	※			原子炉補機冷却水冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																			
48	格納容器内自然対流冷却 (海水) (サポート系機能喪失時)	C、D-格納容器再循環ユニット	①																																																				
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																				
		可搬型風度計測装置	—	58条に記載																																																			
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																			
48	代替補機冷却 (高圧注入ポンプ (海水冷却) (作時留断)) (サポート系機能喪失時)	非常用取水設備 [流路] (貯留堰、取水口、取水路、取水ビットスタクリン管、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																			
		A-高圧注入ポンプ	①	※																																																			
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																				
48	原子炉補機冷却設備	非常用取水設備 [流路] (貯留堰、取水口、取水路、取水ビットスタクリン管、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																			
		原子炉補機冷却水ポンプ	①	※																																																			
		原子炉補機冷却海水ポンプ	①	※																																																			
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁・サージタンク [流路]	①	※																																																			
		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路]	①	※																																																			
		原子炉補機冷却水冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																									
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (36/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①)</th> <th>備考 ※設計基準参照</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">49</td> <td rowspan="12">格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>C、D-格納容器内循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスタクリーン室、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">49</td> <td rowspan="6">代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">49</td> <td rowspan="6">代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (炉心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①)	備考 ※設計基準参照	49	格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)	C、D-格納容器内循環ユニット	①		C、D-原子炉補機冷却水ポンプ	①		C、D-原子炉補機冷却水冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水サージタンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ	①		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型温度計測装置	—	58条に記載	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスタクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①		49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (炉心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)	代替格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①)	備考 ※設計基準参照																																																																																								
49	格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)	C、D-格納容器内循環ユニット	①																																																																																									
		C、D-原子炉補機冷却水ポンプ	①																																																																																									
		C、D-原子炉補機冷却水冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		原子炉補機冷却水サージタンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ	①																																																																																									
		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
		可搬型温度計測装置	—	58条に記載																																																																																								
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																																								
		非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスタクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																								
49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																									
		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (炉心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)	代替格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																								
		代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																									
		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																								
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																									
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																											
原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (37/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策①</th> <th>備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">49</td> <td rowspan="4">格納容器内自然対流冷却 (海水) (甲心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)</td> <td>C、D-格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">49</td> <td rowspan="10">格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>C、D-格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">49</td> <td rowspan="6">代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載	49	格納容器内自然対流冷却 (海水) (甲心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)	C、D-格納容器再循環ユニット	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型温度計測装置	—	58条に記載	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	49	格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)	C、D-格納容器再循環ユニット	①		C、D-原子炉補機冷却水ポンプ	①		C、D-原子炉補機冷却水冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水サージタンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ	①		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型温度計測装置	—	58条に記載	49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①				原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準記載																																																																											
49	格納容器内自然対流冷却 (海水) (甲心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)	C、D-格納容器再循環ユニット	①																																																																												
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																												
		可搬型温度計測装置	—	58条に記載																																																																											
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																											
49	格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)	C、D-格納容器再循環ユニット	①																																																																												
		C、D-原子炉補機冷却水ポンプ	①																																																																												
		C、D-原子炉補機冷却水冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		原子炉補機冷却水サージタンク	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ	①																																																																												
		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																												
		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																												
		可搬型温度計測装置	—	58条に記載																																																																											
49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																											
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																												
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																												
		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①																																																																												
		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																											



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (38/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注)</sup></th> <th style="width: 35%;">備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">49</td> <td rowspan="6">代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">49</td> <td rowspan="4">格納容器内自然対流冷却 (海水) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)</td> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>C、D—格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型流量計設置</td> <td>—</td> <td>38条に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1344 667 1975 1201"> <p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (39/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注)</sup></th> <th style="width: 35%;">備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">49</td> <td rowspan="10">格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循環</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却給水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> <td data-bbox="1975 140 2190 1201"> <p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p> </td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張	49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①		49	格納容器内自然対流冷却 (海水) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	C、D—格納容器再循環ユニット	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型流量計設置	—	38条に記載								<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (39/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注)</sup></th> <th style="width: 35%;">備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">49</td> <td rowspan="10">格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循環</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却給水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張	49	格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循環	格納容器スプレイポンプ	①	※	格納容器スプレイ冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①	※	燃料取替用水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却給水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載						<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																					
49	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																																						
		燃料取替用水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																					
		補助給水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																					
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																						
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																						
		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																						
49	格納容器内自然対流冷却 (海水) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																					
		C、D—格納容器再循環ユニット	①																																																																																						
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																						
		可搬型流量計設置	—	38条に記載																																																																																					
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (39/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注)</sup></th> <th style="width: 35%;">備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">49</td> <td rowspan="10">格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循環</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビッド [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却給水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張	49	格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循環	格納容器スプレイポンプ	①	※	格納容器スプレイ冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①	※	燃料取替用水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器再循環サンプスクリーン	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却給水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載						<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>																																															
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																					
49	格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循環	格納容器スプレイポンプ	①	※																																																																																					
		格納容器スプレイ冷却器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																					
		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																					
		燃料取替用水ビッド [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																					
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																																					
		格納容器再循環サンプ [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																					
		格納容器再循環サンプスクリーン	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																					
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却給水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載																																																																																					
		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (40/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機種</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準参照</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">50</td> <td rowspan="10">格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット [水源]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィ冷却器 [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>C、D-格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水冷却器</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">50</td> <td rowspan="10">格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ [流路]</td> <td>②</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機種	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準参照	50	格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	格納容器スプレィポンプ	①	※	燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器スプレィ冷却器 [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路]	①	※	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	C、D-格納容器再循環ユニット	①		C、D-原子炉補機冷却水ポンプ	①		C、D-原子炉補機冷却水冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	50	格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	原子炉補機冷却水サージタンク	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ	①		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	C、D-原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型温度計測装置	—	58条に記載	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機種	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準参照																																																																	
50	格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	格納容器スプレィポンプ	①	※																																																																	
		燃料取替用水ピット [水源]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																	
		格納容器スプレィ冷却器 [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																	
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																	
		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路]	①	※																																																																	
		原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	—	48条に記載																																																																	
		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																	
		C、D-格納容器再循環ユニット	①																																																																		
		C、D-原子炉補機冷却水ポンプ	①																																																																		
		C、D-原子炉補機冷却水冷却器	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																	
50	格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	原子炉補機冷却水サージタンク	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																	
		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ	①																																																																		
		C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																	
		C、D-原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ [流路]	②	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																	
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																		
		原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																		
		可搬型温度計測装置	—	58条に記載																																																																	
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																	
		非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (41/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 35%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策①)</th> <th style="width: 35%;">備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">50</td> <td rowspan="6">代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">50</td> <td rowspan="4">格納容器内自然対流冷却 (海水) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)</td> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>C、D—格納容器再循環ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置</td> <td>—</td> <td>58条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">50</td> <td rowspan="6">代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット [水源]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">50</td> <td rowspan="4">代替格納容器スプレイ (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)</td> <td>補助給水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①)	備考 ※設計基準仕様	50	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①		50	格納容器内自然対流冷却 (海水) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	C、D—格納容器再循環ユニット	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		可搬型温度計測装置	—	58条に記載	50	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	代替格納容器スプレイポンプ	①		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①		50	代替格納容器スプレイ (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	補助給水設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①)	備考 ※設計基準仕様																																																																								
50	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)	代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																									
		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																								
		補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																								
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
		補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
50	格納容器内自然対流冷却 (海水) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																								
		C、D—格納容器再循環ユニット	①																																																																									
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
		可搬型温度計測装置	—	58条に記載																																																																								
50	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																								
		非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																								
		代替格納容器スプレイポンプ	①																																																																									
		燃料取替用水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																								
		補助給水ビット [水源]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																								
		非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
50	代替格納容器スプレイ (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)	補助給水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
		原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路]	①																																																																									
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																								
		原子炉格納容器 [注水先]	—	その他の設備に記載																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
		<p>1表：常設重大事故等対処施設一覧表（建屋内及び建屋外）(42/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>注</sup></th> <th>備考 ※設計基準別添</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">51</td> <td rowspan="10">格納容器スプレィ（格納容器スプレィポンプ） （交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合）</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィ冷却器〔流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水リージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレータ〔流路〕）</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">51</td> <td rowspan="10">代替格納容器スプレィ（代替格納容器スプレィポンプ） （交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合）</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">51</td> <td rowspan="10">代替格納容器スプレィ（代替格納容器スプレィポンプ）（代替電源） （全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時）</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット〔水源〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器〔注水先〕</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注</sup>	備考 ※設計基準別添	51	格納容器スプレィ（格納容器スプレィポンプ） （交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合）	格納容器スプレィポンプ	①		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	格納容器スプレィ冷却器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水リージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレータ〔流路〕）	—	48条に記載	原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	代替格納容器スプレィポンプ	①		51	代替格納容器スプレィ（代替格納容器スプレィポンプ） （交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合）	代替格納容器スプレィポンプ	①		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	代替格納容器スプレィポンプ	①		51	代替格納容器スプレィ（代替格納容器スプレィポンプ）（代替電源） （全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時）	代替格納容器スプレィポンプ	①		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	補助給水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注</sup>	備考 ※設計基準別添																																																																															
51	格納容器スプレィ（格納容器スプレィポンプ） （交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合）	格納容器スプレィポンプ	①																																																																																
		燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																															
		格納容器スプレィ冷却器〔流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																															
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																
		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																
		原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水リージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレータ〔流路〕）	—	48条に記載																																																																															
		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																															
		代替格納容器スプレィポンプ	①																																																																																
		51	代替格納容器スプレィ（代替格納容器スプレィポンプ） （交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合）	代替格納容器スプレィポンプ	①																																																																														
				燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																													
補助給水ピット〔水源〕	②			不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																															
非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																		
補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																		
原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																		
原子炉格納容器〔注水先〕	—			その他の設備に記載																																																																															
代替格納容器スプレィポンプ	①																																																																																		
51	代替格納容器スプレィ（代替格納容器スプレィポンプ）（代替電源） （全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時）			代替格納容器スプレィポンプ	①																																																																														
				燃料取替用水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																													
		補助給水ピット〔水源〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																															
		非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																
		補助給水設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																
		原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁〔流路〕	①																																																																																
		原子炉格納容器〔注水先〕	—	その他の設備に記載																																																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																					
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (43/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">関連条文</th> <th style="width: 25%;">系統機能</th> <th style="width: 35%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>注1</sup></th> <th style="width: 25%;">備考 ※設計基準記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">51</td> <td rowspan="5">溶解炉心の落下遅延・防止</td> <td>炉心注水 (高圧注入ポンプ)</td> <td>—</td> <td>47 条に記載</td> </tr> <tr> <td>炉心注水 (余熱除去ポンプ)</td> <td>—</td> <td>47 条に記載</td> </tr> <tr> <td>炉心注水 (充てんポンプ)</td> <td>—</td> <td>47 条に記載</td> </tr> <tr> <td>代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ)</td> <td>—</td> <td>47 条に記載</td> </tr> <tr> <td>代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ)</td> <td>—</td> <td>47 条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">52</td> <td rowspan="3">水素濃度低減 (原子炉格納容器内水素処理装置)</td> <td>原子炉格納容器内水素処理装置</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">52</td> <td rowspan="3">水素濃度低減 (格納容器水素イグナイタ)</td> <td>格納容器水素イグナイタ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度監視装置</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">52</td> <td rowspan="4">水素濃度監視</td> <td>格納容器雰囲気ガス試料採取設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器雰囲気ガス試料採取設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">53</td> <td rowspan="3">アニュラス空気浄化設備による水素排出 (交流動力電源及び直流電源が健全である場合)</td> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化フィルタユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排気筒 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">53</td> <td rowspan="3">アニュラス空気浄化設備による水素排出 (全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合)</td> <td>アニュラス空気浄化設備 ※ A・弁・ダンパ [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-アニュラス空気浄化ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排気筒 [流路]</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない</td> </tr> <tr> <td>53</td> <td>水素濃度監視</td> <td>試料採取設備 配管・弁 [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1</sup>	備考 ※設計基準記号	51	溶解炉心の落下遅延・防止	炉心注水 (高圧注入ポンプ)	—	47 条に記載	炉心注水 (余熱除去ポンプ)	—	47 条に記載	炉心注水 (充てんポンプ)	—	47 条に記載	代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ)	—	47 条に記載	代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ)	—	47 条に記載	52	水素濃度低減 (原子炉格納容器内水素処理装置)	原子炉格納容器内水素処理装置	①		原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置	①		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	52	水素濃度低減 (格納容器水素イグナイタ)	格納容器水素イグナイタ	①		格納容器水素イグナイタ温度監視装置	①		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載	52	水素濃度監視	格納容器雰囲気ガス試料採取設備	①		格納容器雰囲気ガス試料採取設備 配管・弁 [流路]	①		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①		非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載	53	アニュラス空気浄化設備による水素排出 (交流動力電源及び直流電源が健全である場合)	アニュラス空気浄化ファン	①		アニュラス空気浄化フィルタユニット	①		排気筒 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	53	アニュラス空気浄化設備による水素排出 (全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合)	アニュラス空気浄化設備 ※ A・弁・ダンパ [流路]	①		B-アニュラス空気浄化ファン	①		排気筒 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない	53	水素濃度監視	試料採取設備 配管・弁 [流路]	①		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注1</sup>	備考 ※設計基準記号																																																																																				
51	溶解炉心の落下遅延・防止	炉心注水 (高圧注入ポンプ)	—	47 条に記載																																																																																				
		炉心注水 (余熱除去ポンプ)	—	47 条に記載																																																																																				
		炉心注水 (充てんポンプ)	—	47 条に記載																																																																																				
		代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ)	—	47 条に記載																																																																																				
		代替炉心注水 (代替格納容器スプレイポンプ)	—	47 条に記載																																																																																				
52	水素濃度低減 (原子炉格納容器内水素処理装置)	原子炉格納容器内水素処理装置	①																																																																																					
		原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置	①																																																																																					
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																																				
52	水素濃度低減 (格納容器水素イグナイタ)	格納容器水素イグナイタ	①																																																																																					
		格納容器水素イグナイタ温度監視装置	①																																																																																					
		原子炉格納容器	—	その他の設備に記載																																																																																				
52	水素濃度監視	格納容器雰囲気ガス試料採取設備	①																																																																																					
		格納容器雰囲気ガス試料採取設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																					
		原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																					
		非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																																																				
53	アニュラス空気浄化設備による水素排出 (交流動力電源及び直流電源が健全である場合)	アニュラス空気浄化ファン	①																																																																																					
		アニュラス空気浄化フィルタユニット	①																																																																																					
		排気筒 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																				
53	アニュラス空気浄化設備による水素排出 (全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合)	アニュラス空気浄化設備 ※ A・弁・ダンパ [流路]	①																																																																																					
		B-アニュラス空気浄化ファン	①																																																																																					
		排気筒 [流路]	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない																																																																																				
53	水素濃度監視	試料採取設備 配管・弁 [流路]	①																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (44/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>注)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54</td> <td>使用済燃料ピットへの注水</td> <td>使用済燃料ピット (サイフォン防止機能を含む。) [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>② —</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>使用済燃料ピットへのスプレイ</td> <td>使用済燃料ピット [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>② —</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>使用済燃料ピットの監視</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>① ① ①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>大気への放射抑制 (炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損時)</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>大気への放射抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷時)</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>大気への放射抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷時)</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>航空機燃料火災への泡消火</td> <td>非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>—</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>56</td> <td>重大事故等収束のための水溜 ※水溜としては溜も使用可能</td> <td>燃料取替用水ピット 補助給水ピット 代替給水ピット 2次蒸気純水タンク ろ過水タンク 蒸水罐 ほう酸タンク</td> <td>② ② ② ② ② ② —</td> <td>※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 44条に記載</td> </tr> <tr> <td>56</td> <td>水の供給</td> <td>燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)</td> <td>① ① —</td> <td>その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張	54	使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット (サイフォン防止機能を含む。) [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	② —	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 その他の設備に記載	54	使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピット [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	② —	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 その他の設備に記載	54	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	① ① ①		55	大気への放射抑制 (炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損時)	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載	55	大気への放射抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷時)	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載	55	大気への放射抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷時)	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載	55	航空機燃料火災への泡消火	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載	56	重大事故等収束のための水溜 ※水溜としては溜も使用可能	燃料取替用水ピット 補助給水ピット 代替給水ピット 2次蒸気純水タンク ろ過水タンク 蒸水罐 ほう酸タンク	② ② ② ② ② ② —	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 44条に記載	56	水の供給	燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	① ① —	その他の設備に記載	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>注)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																	
54	使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット (サイフォン防止機能を含む。) [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	② —	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 その他の設備に記載																																																	
54	使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピット [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	② —	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 その他の設備に記載																																																	
54	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	① ① ①																																																		
55	大気への放射抑制 (炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損時)	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																	
55	大気への放射抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷時)	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																	
55	大気への放射抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷時)	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																	
55	航空機燃料火災への泡消火	非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	—	その他の設備に記載																																																	
56	重大事故等収束のための水溜 ※水溜としては溜も使用可能	燃料取替用水ピット 補助給水ピット 代替給水ピット 2次蒸気純水タンク ろ過水タンク 蒸水罐 ほう酸タンク	② ② ② ② ② ② —	※ 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。 44条に記載																																																	
56	水の供給	燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐, 取水口, 取水路, 取水ピットスクリーン室, 取水ピットポンプ室)	① ① —	その他の設備に記載																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(45/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">関連条文</th> <th style="width: 20%;">系統機能</th> <th style="width: 30%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策①</th> <th style="width: 30%;">備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">57</td> <td rowspan="4">常設代替交流電源設備による給電</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">57</td> <td rowspan="4">可搬型代替交流電源設備による給電</td> <td>代替非常用発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">57</td> <td rowspan="5">所内常設蓄電池式直流電源設備による給電</td> <td>可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄電池(非常用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後備蓄電池</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄電池(非常用)(A-蓄電池)～A-直流母線電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄電池(非常用)(B-蓄電池)～B-直流母線電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">57</td> <td rowspan="4">可搬型代替直流電源設備による給電</td> <td>後備蓄電池～B-直流母線電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型直流電源接続盤～可搬型直流変換器電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後備蓄電池接続盤～A-直流母線電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>後備蓄電池接続盤～B-直流母線電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様	57	常設代替交流電源設備による給電	代替非常用発電機	①		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①		ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	57	可搬型代替交流電源設備による給電	代替非常用発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕	①		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①		ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	57	所内常設蓄電池式直流電源設備による給電	可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕	①		蓄電池(非常用)	①		後備蓄電池	①		蓄電池(非常用)(A-蓄電池)～A-直流母線電路〔電路〕	①		蓄電池(非常用)(B-蓄電池)～B-直流母線電路〔電路〕	①		57	可搬型代替直流電源設備による給電	後備蓄電池～B-直流母線電路〔電路〕	①		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①		可搬型直流電源接続盤～可搬型直流変換器電路〔電路〕	①		後備蓄電池接続盤～A-直流母線電路〔電路〕	①						後備蓄電池接続盤～B-直流母線電路〔電路〕	①		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策①	備考 ※設計基準仕様																																																																						
57	常設代替交流電源設備による給電	代替非常用発電機	①																																																																							
		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①																																																																							
		ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①																																																																							
		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																						
57	可搬型代替交流電源設備による給電	代替非常用発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕	①																																																																							
		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①																																																																							
		ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①																																																																							
		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																						
57	所内常設蓄電池式直流電源設備による給電	可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕	①																																																																							
		蓄電池(非常用)	①																																																																							
		後備蓄電池	①																																																																							
		蓄電池(非常用)(A-蓄電池)～A-直流母線電路〔電路〕	①																																																																							
		蓄電池(非常用)(B-蓄電池)～B-直流母線電路〔電路〕	①																																																																							
57	可搬型代替直流電源設備による給電	後備蓄電池～B-直流母線電路〔電路〕	①																																																																							
		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①																																																																							
		可搬型直流電源接続盤～可搬型直流変換器電路〔電路〕	①																																																																							
		後備蓄電池接続盤～A-直流母線電路〔電路〕	①																																																																							
				後備蓄電池接続盤～B-直流母線電路〔電路〕	①																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表(建屋内及び建屋外)(46/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">関連条文</th> <th style="width: 15%;">系統機能</th> <th style="width: 40%;">主要設備</th> <th style="width: 10%;">対策<sup>①</sup></th> <th style="width: 30%;">備考 ※設計基準記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">代替所内電気設備による給電</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備変圧器</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備分電盤</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧系統</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替非常用発電機～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器回路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可換型代替電源接続盤～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可換型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器回路〔電路〕</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">57</td> <td rowspan="4">燃料補給設備</td> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">57</td> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油サービスタンク</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水設備(原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)</td> <td>—</td> <td>48条に記載</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度(広域-高温側)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">温度計測(原子炉容器内の温度)</td> <td>1次冷却材温度(広域-低温側)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力(広域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準記載	57	代替所内電気設備による給電	代替非常用発電機	①		代替所内電気設備変圧器	①		代替所内電気設備分電盤	①		代替格納容器スプレイポンプ変圧系統	①		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①		代替非常用発電機～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕	①		代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器回路〔電路〕	①		可換型代替電源接続盤～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕	①		可換型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器回路〔電路〕	①		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①		57	燃料補給設備	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	ディーゼル発電機	①	※	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①		57	非常用交流電源設備	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①	※	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①	※	ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	ディーゼル発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕	①	※	原子炉補機冷却海水設備(原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載	1次冷却材温度(広域-高温側)	①		58	温度計測(原子炉容器内の温度)	1次冷却材温度(広域-低温側)	①		1次冷却材圧力(広域)	①		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準記載																																																																														
57	代替所内電気設備による給電	代替非常用発電機	①																																																																															
		代替所内電気設備変圧器	①																																																																															
		代替所内電気設備分電盤	①																																																																															
		代替格納容器スプレイポンプ変圧系統	①																																																																															
		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①																																																																															
		代替非常用発電機～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕	①																																																																															
		代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器回路〔電路〕	①																																																																															
		可換型代替電源接続盤～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕	①																																																																															
		可換型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器回路〔電路〕	①																																																																															
		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①																																																																															
57	燃料補給設備	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①																																																																															
		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																														
		ディーゼル発電機	①	※																																																																														
		ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①																																																																															
57	非常用交流電源設備	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	①	※																																																																														
		ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①	※																																																																														
		ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																														
		ディーゼル発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路〔電路〕	①	※																																																																														
		原子炉補機冷却海水設備(原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	—	48条に記載																																																																														
		1次冷却材温度(広域-高温側)	①																																																																															
58	温度計測(原子炉容器内の温度)	1次冷却材温度(広域-低温側)	①																																																																															
		1次冷却材圧力(広域)	①																																																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																									
		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (47/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連 英文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①</sup></th> <th>備考 ※設計基準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">水位計測 (原子炉容器内の水位)</td> <td>加圧器水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">58</td> <td rowspan="4">注水量計測 (原子炉容器への注水量)</td> <td>高压注入流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">58</td> <td rowspan="4">注水量計測 (原子炉格納容器への注水量)</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高压注入流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>温度計測 (原子炉格納容器内の温度)</td> <td>格納容器内温度</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">圧力計測 (原子炉格納容器内の圧力)</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">水位計測 (原子炉格納容器内の水位)</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">線量計測 (原子炉格納容器内の放射線量率)</td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">出力計測 (未臨界の維持又は監視)</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力領域中性子束</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">水位計測 (最終ヒートシンクの確保)</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中性子領域中性子束</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">注水量計測 (最終ヒートシンクの確保)</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サ、ジタンク水位</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>圧力計測 (最終ヒートシンクの確保)</td> <td>補助給水流量</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">水位計測 (格納容器バイパスの監視)</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">圧力計測 (格納容器バイパスの監視)</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">水位計測 (水部の確保)</td> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">圧力計測 (水部の確保)</td> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table>	関連 英文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準仕様	58	水位計測 (原子炉容器内の水位)	加圧器水位	①		原子炉容器水位	①		58	注水量計測 (原子炉容器への注水量)	高压注入流量	①	※	低圧注入流量	①	※	代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	①		B-格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①		58	注水量計測 (原子炉格納容器への注水量)	代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	①		B-格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①		高压注入流量	①	※	低圧注入流量	①	※	58	温度計測 (原子炉格納容器内の温度)	格納容器内温度	①		58	圧力計測 (原子炉格納容器内の圧力)	原子炉格納容器圧力	①		格納容器圧力 (AM用)	①		58	水位計測 (原子炉格納容器内の水位)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	①		格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	①		格納容器水位	①		58	線量計測 (原子炉格納容器内の放射線量率)	原子炉下部キャビティ水位	①		格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	①		58	出力計測 (未臨界の維持又は監視)	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	①		出力領域中性子束	①		58	水位計測 (最終ヒートシンクの確保)	中間領域中性子束	①		中性子領域中性子束	①		蒸気発生器水位 (狭域)	①	※	58	注水量計測 (最終ヒートシンクの確保)	蒸気発生器水位 (広域)	①	※	原子炉補機冷却水サ、ジタンク水位	①	※	58	圧力計測 (最終ヒートシンクの確保)	補助給水流量	①	※	58	水位計測 (格納容器バイパスの監視)	原子炉格納容器圧力	①		主蒸気ライン圧力	①	※	58	圧力計測 (格納容器バイパスの監視)	蒸気発生器水位 (狭域)	①		主蒸気ライン圧力	①		58	水位計測 (水部の確保)	1次冷却材圧力 (広域)	①		燃料取替用水ピット水位	①		58	圧力計測 (水部の確保)	ほう酸タンク水位	①		補助給水ピット水位	①	※	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連 英文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①</sup>	備考 ※設計基準仕様																																																																																																																																								
58	水位計測 (原子炉容器内の水位)	加圧器水位	①																																																																																																																																									
		原子炉容器水位	①																																																																																																																																									
58	注水量計測 (原子炉容器への注水量)	高压注入流量	①	※																																																																																																																																								
		低圧注入流量	①	※																																																																																																																																								
		代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	①																																																																																																																																									
		B-格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①																																																																																																																																									
58	注水量計測 (原子炉格納容器への注水量)	代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	①																																																																																																																																									
		B-格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①																																																																																																																																									
		高压注入流量	①	※																																																																																																																																								
		低圧注入流量	①	※																																																																																																																																								
58	温度計測 (原子炉格納容器内の温度)	格納容器内温度	①																																																																																																																																									
58	圧力計測 (原子炉格納容器内の圧力)	原子炉格納容器圧力	①																																																																																																																																									
		格納容器圧力 (AM用)	①																																																																																																																																									
58	水位計測 (原子炉格納容器内の水位)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	①																																																																																																																																									
		格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	①																																																																																																																																									
		格納容器水位	①																																																																																																																																									
58	線量計測 (原子炉格納容器内の放射線量率)	原子炉下部キャビティ水位	①																																																																																																																																									
		格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	①																																																																																																																																									
58	出力計測 (未臨界の維持又は監視)	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	①																																																																																																																																									
		出力領域中性子束	①																																																																																																																																									
58	水位計測 (最終ヒートシンクの確保)	中間領域中性子束	①																																																																																																																																									
		中性子領域中性子束	①																																																																																																																																									
		蒸気発生器水位 (狭域)	①	※																																																																																																																																								
58	注水量計測 (最終ヒートシンクの確保)	蒸気発生器水位 (広域)	①	※																																																																																																																																								
		原子炉補機冷却水サ、ジタンク水位	①	※																																																																																																																																								
58	圧力計測 (最終ヒートシンクの確保)	補助給水流量	①	※																																																																																																																																								
58	水位計測 (格納容器バイパスの監視)	原子炉格納容器圧力	①																																																																																																																																									
		主蒸気ライン圧力	①	※																																																																																																																																								
58	圧力計測 (格納容器バイパスの監視)	蒸気発生器水位 (狭域)	①																																																																																																																																									
		主蒸気ライン圧力	①																																																																																																																																									
58	水位計測 (水部の確保)	1次冷却材圧力 (広域)	①																																																																																																																																									
		燃料取替用水ピット水位	①																																																																																																																																									
58	圧力計測 (水部の確保)	ほう酸タンク水位	①																																																																																																																																									
		補助給水ピット水位	①	※																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																								
		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (48/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58</td> <td>水位計測 (使用済燃料ピットの監視)</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>温度計測 (使用済燃料ピットの監視)</td> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>状態監視 (使用済燃料ピットの監視)</td> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>パラメータ記録</td> <td>データ収集計算機 データ表示端末</td> <td>① ①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B-A、B母線電圧</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A、B-直流コントロールセンタ母線電圧</td> <td>①</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>その他</td> <td>A-高圧注入ポンプ及び拍冷却器補機冷却水流量 (AM用) A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> <td>① ① ① ①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室遠へい</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室給気ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室循環ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室非常用循環フィルタユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室給気ユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中央制御室空調装置ダクト・ダンプ [流路]</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>アニュラス空気浄化フィルタユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>59</td> <td>放射性物質の濃度低減 (交流動力電源及び直流電源が健全である場合)</td> <td>アニュラス空気浄化設備 ②上・弁・ダンパ [流路]</td> <td>① ②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>排気筒 [流路]</td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>アニュラス空気浄化フィルタユニット</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>59</td> <td>放射性物質の濃度低減 (交流動力電源又は直流電源が喪失した場合)</td> <td>アニュラス空気浄化設備 ②上・弁・ダンパ [流路]</td> <td>① ②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>排気筒 [流路]</td> <td>②</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>1)</sup>	備考 ※設計基準拡張	58	水位計測 (使用済燃料ピットの監視)	使用済燃料ピット水位 (AM用)	①		58	温度計測 (使用済燃料ピットの監視)	使用済燃料ピット温度 (AM用)	①		58	状態監視 (使用済燃料ピットの監視)	使用済燃料ピット監視カメラ	①		58	パラメータ記録	データ収集計算機 データ表示端末	① ①				B-A、B母線電圧	①	※			A、B-直流コントロールセンタ母線電圧	①	※	58	その他	A-高圧注入ポンプ及び拍冷却器補機冷却水流量 (AM用) A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	① ① ① ①				中央制御室	①				中央制御室遠へい	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。			中央制御室非常用循環ファン	①				中央制御室給気ファン	①				中央制御室循環ファン	①				中央制御室非常用循環フィルタユニット	①				中央制御室給気ユニット	①				中央制御室空調装置ダクト・ダンプ [流路]	①				アニュラス空気浄化ファン	①				アニュラス空気浄化フィルタユニット	①		59	放射性物質の濃度低減 (交流動力電源及び直流電源が健全である場合)	アニュラス空気浄化設備 ②上・弁・ダンパ [流路]	① ②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。			排気筒 [流路]	②				アニュラス空気浄化ファン	①				アニュラス空気浄化フィルタユニット	①		59	放射性物質の濃度低減 (交流動力電源又は直流電源が喪失した場合)	アニュラス空気浄化設備 ②上・弁・ダンパ [流路]	① ②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。			排気筒 [流路]	②		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>1)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																																																							
58	水位計測 (使用済燃料ピットの監視)	使用済燃料ピット水位 (AM用)	①																																																																																																																								
58	温度計測 (使用済燃料ピットの監視)	使用済燃料ピット温度 (AM用)	①																																																																																																																								
58	状態監視 (使用済燃料ピットの監視)	使用済燃料ピット監視カメラ	①																																																																																																																								
58	パラメータ記録	データ収集計算機 データ表示端末	① ①																																																																																																																								
		B-A、B母線電圧	①	※																																																																																																																							
		A、B-直流コントロールセンタ母線電圧	①	※																																																																																																																							
58	その他	A-高圧注入ポンプ及び拍冷却器補機冷却水流量 (AM用) A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	① ① ① ①																																																																																																																								
		中央制御室	①																																																																																																																								
		中央制御室遠へい	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																							
		中央制御室非常用循環ファン	①																																																																																																																								
		中央制御室給気ファン	①																																																																																																																								
		中央制御室循環ファン	①																																																																																																																								
		中央制御室非常用循環フィルタユニット	①																																																																																																																								
		中央制御室給気ユニット	①																																																																																																																								
		中央制御室空調装置ダクト・ダンプ [流路]	①																																																																																																																								
		アニュラス空気浄化ファン	①																																																																																																																								
		アニュラス空気浄化フィルタユニット	①																																																																																																																								
59	放射性物質の濃度低減 (交流動力電源及び直流電源が健全である場合)	アニュラス空気浄化設備 ②上・弁・ダンパ [流路]	① ②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																							
		排気筒 [流路]	②																																																																																																																								
		アニュラス空気浄化ファン	①																																																																																																																								
		アニュラス空気浄化フィルタユニット	①																																																																																																																								
59	放射性物質の濃度低減 (交流動力電源又は直流電源が喪失した場合)	アニュラス空気浄化設備 ②上・弁・ダンパ [流路]	① ②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																																																							
		排気筒 [流路]	②																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (49/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">61</td> <td rowspan="4">居住性の確保</td> <td>緊急時対策所</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所指揮所並へい</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所待機所並へい</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>可燃型空気浄化装置配管・ダンプ【北設】【送路】</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">必要な情報の把握</td> <td>空気供給装置配管・弁【南設】 【送路】</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>データ収集計算機</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">電源の確保 (緊急時対策所)</td> <td>ERSS 伝送サーバ</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>データ表示端末</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td rowspan="6">通信連絡 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策所ケーブル接続盤～緊急時対策所分電盤【電路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (固定型)</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (FAX)</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (固定型)</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>インターフォン</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (指揮所・待機所間)</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">62</td> <td rowspan="10">発電所内の通信連絡</td> <td>統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>—</td> <td>62条に記載</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (FAX)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (屋外アンテナ)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (屋外アンテナ)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線 (建屋内) (携帯型通話装置、衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インターフォン</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (指揮所・待機所間)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>データ収集計算機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>データ表示端末</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線 (建屋内) (ERSSに係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張	61	居住性の確保	緊急時対策所	①		緊急時対策所指揮所並へい	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	緊急時対策所待機所並へい	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	可燃型空気浄化装置配管・ダンプ【北設】【送路】	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	61	必要な情報の把握	空気供給装置配管・弁【南設】 【送路】	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	データ収集計算機	—	62条に記載	61	電源の確保 (緊急時対策所)	ERSS 伝送サーバ	—	62条に記載	データ表示端末	—	62条に記載	61	通信連絡 (緊急時対策所)	緊急時対策所ケーブル接続盤～緊急時対策所分電盤【電路】	①		衛星電話設備 (固定型)	—	62条に記載	衛星電話設備 (FAX)	—	62条に記載	無線連絡設備 (固定型)	—	62条に記載	インターフォン	—	62条に記載	テレビ会議システム (指揮所・待機所間)	—	62条に記載	62	発電所内の通信連絡	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	—	62条に記載	衛星電話設備 (固定型)	①		衛星電話設備 (FAX)	①		無線連絡設備 (固定型)	①		無線連絡設備 (屋外アンテナ)【伝送路】	①		衛星電話設備 (屋外アンテナ)【伝送路】	①		有線 (建屋内) (携帯型通話装置、衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの)【伝送路】	①		インターフォン	①		テレビ会議システム (指揮所・待機所間)	①		データ収集計算機	①		データ表示端末	①		有線 (建屋内) (ERSSに係るもの)【伝送路】	①		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																												
61	居住性の確保	緊急時対策所	①																																																																																													
		緊急時対策所指揮所並へい	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																												
		緊急時対策所待機所並へい	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																												
		可燃型空気浄化装置配管・ダンプ【北設】【送路】	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																												
61	必要な情報の把握	空気供給装置配管・弁【南設】 【送路】	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																																												
		データ収集計算機	—	62条に記載																																																																																												
61	電源の確保 (緊急時対策所)	ERSS 伝送サーバ	—	62条に記載																																																																																												
		データ表示端末	—	62条に記載																																																																																												
61	通信連絡 (緊急時対策所)	緊急時対策所ケーブル接続盤～緊急時対策所分電盤【電路】	①																																																																																													
		衛星電話設備 (固定型)	—	62条に記載																																																																																												
		衛星電話設備 (FAX)	—	62条に記載																																																																																												
		無線連絡設備 (固定型)	—	62条に記載																																																																																												
		インターフォン	—	62条に記載																																																																																												
		テレビ会議システム (指揮所・待機所間)	—	62条に記載																																																																																												
62	発電所内の通信連絡	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	—	62条に記載																																																																																												
		衛星電話設備 (固定型)	①																																																																																													
		衛星電話設備 (FAX)	①																																																																																													
		無線連絡設備 (固定型)	①																																																																																													
		無線連絡設備 (屋外アンテナ)【伝送路】	①																																																																																													
		衛星電話設備 (屋外アンテナ)【伝送路】	①																																																																																													
		有線 (建屋内) (携帯型通話装置、衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの)【伝送路】	①																																																																																													
		インターフォン	①																																																																																													
		テレビ会議システム (指揮所・待機所間)	①																																																																																													
		データ収集計算機	①																																																																																													
データ表示端末	①																																																																																															
有線 (建屋内) (ERSSに係るもの)【伝送路】	①																																																																																															
		<p>第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (50/51)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>①)</sup></th> <th>備考 ※設計基準拡張</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">62</td> <td rowspan="7">発電所外の通信連絡</td> <td>衛星電話設備 (固定型)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (FAX)</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>データ収集計算機</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ERSS 伝送サーバ</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (屋外アンテナ)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線 (建屋内) (衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有線 (建屋内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、ERSSに係るもの)【伝送路】</td> <td>①</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張	62	発電所外の通信連絡	衛星電話設備 (固定型)	①		衛星電話設備 (FAX)	①		統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	①		データ収集計算機	①		ERSS 伝送サーバ	①		衛星電話設備 (屋外アンテナ)【伝送路】	①		有線 (建屋内) (衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの)【伝送路】	①		有線 (建屋内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、ERSSに係るもの)【伝送路】	①		<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>炉型による設備構成及び設計の相違</p>																																																														
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>①)</sup>	備考 ※設計基準拡張																																																																																												
62	発電所外の通信連絡	衛星電話設備 (固定型)	①																																																																																													
		衛星電話設備 (FAX)	①																																																																																													
		統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	①																																																																																													
		データ収集計算機	①																																																																																													
		ERSS 伝送サーバ	①																																																																																													
		衛星電話設備 (屋外アンテナ)【伝送路】	①																																																																																													
		有線 (建屋内) (衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの)【伝送路】	①																																																																																													
有線 (建屋内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、ERSSに係るもの)【伝送路】	①																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設一覧表 (屋外)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">添付資料2 大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表 (屋外)</th> </tr> <tr> <th style="width: 70%;">重大事故等対処施設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水ポンプ</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>空冷式非常用発電装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料油貯蔵タンク</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> <tr> <td>海水ストレーナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重油タンク</td> <td>基準規則第八条対象</td> </tr> </tbody> </table>	添付資料2 大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表 (屋外)		重大事故等対処施設	備考	海水ポンプ	基準規則第八条対象	空冷式非常用発電装置		燃料油貯蔵タンク	基準規則第八条対象	海水ストレーナ		海水ポンプ室		重油タンク	基準規則第八条対象		<p style="text-align: center;">第1表：常設重大事故等対処施設一覧表 (建屋内及び建屋外) (51/51)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>対策<sup>(1)</sup></th> <th>備考 ※設計基準記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">その他 の設備</td> <td rowspan="6">1次冷却設備</td> <td>蒸気発生器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>1次冷却ポンプ</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器 (炉心支持構造物を含む)</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>加圧器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>1次冷却配管</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>加圧器サージ管</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用消燃料的設備</td> <td rowspan="2">使用消燃料的設備</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>使用消燃料ピット</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">非常取水設備</td> <td rowspan="5">非常取水設備</td> <td>貯留罐</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>取水ピットスクリーン室</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>取水ピットポンプ室</td> <td>②</td> <td>不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記号	その他 の設備	1次冷却設備	蒸気発生器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	1次冷却ポンプ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	原子炉容器 (炉心支持構造物を含む)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	加圧器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	1次冷却配管	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	加圧器サージ管	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	使用消燃料的設備	使用消燃料的設備	原子炉格納容器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	使用消燃料ピット	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	非常取水設備	非常取水設備	貯留罐	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	取水口	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	取水路	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	取水ピットスクリーン室	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	取水ピットポンプ室	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。	<p>【女川・大飯】  <span style="color: red;">■</span>設計の相違                      炉型による設備構成及び設計の相違</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p>
添付資料2 大飯発電所3/4号炉 重大事故等対処施設一覧表 (屋外)																																																																					
重大事故等対処施設	備考																																																																				
海水ポンプ	基準規則第八条対象																																																																				
空冷式非常用発電装置																																																																					
燃料油貯蔵タンク	基準規則第八条対象																																																																				
海水ストレーナ																																																																					
海水ポンプ室																																																																					
重油タンク	基準規則第八条対象																																																																				
関連条文	系統機能	主要設備	対策 <sup>(1)</sup>	備考 ※設計基準記号																																																																	
その他 の設備	1次冷却設備	蒸気発生器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		1次冷却ポンプ	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		原子炉容器 (炉心支持構造物を含む)	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		加圧器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		1次冷却配管	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		加圧器サージ管	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
使用消燃料的設備	使用消燃料的設備	原子炉格納容器	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		使用消燃料ピット	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
非常取水設備	非常取水設備	貯留罐	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		取水口	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		取水路	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		取水ピットスクリーン室	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	
		取水ピットポンプ室	②	不燃材で構成されているため、火災によって影響を受けない。																																																																	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>41-3 火災区域、火災区画の設定（資料2）</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 火災区域（区画）の設定要領</p> <p>（1）火災区域又は火災区画の設定</p> <p>添付資料3 重大事故等対処施設一覧表及び火災区域・区画図</p> <p>添付資料2 火災荷重の算出方法について</p> <p>添付資料1 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」及び「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（抜粋）</p>	<p>41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 重大事故等対処施設における火災区域又は火災区画の設定</p> <p>2.1. 火災区域</p> <p>2.2. 火災区画</p> <p>2.3. 火災区域又は火災区画の設定要領</p> <p>2.4. 火災区域又は火災区画の設定並びに重大事故等対処施設の配置</p> <p>添付資料1 女川原子力発電所2号炉 重大事故等対処施設の配置図</p>	<p>41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 重大事故等対処施設における火災区域又は火災区画の設定</p> <p>2.1. 火災区域</p> <p>2.2. 火災区画</p> <p>2.3. 火災区域又は火災区画の設定要領</p> <p>2.4. 火災区域又は火災区画の設定並びに重大事故等対処施設の配置</p> <p>添付資料1 泊発電所3号炉 重大事故等対処施設の配置図</p> <p>添付資料2 火災荷重の算出方法について</p> <p>添付資料3 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」及び「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（抜粋）</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載充実（大飯参照）</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p>
<p>火災区域、火災区画の設定</p>	<p>41-3</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について</p>	<p>41-3</p> <p>火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 概要</p> <p>火災防護対策を講じるために、重大事故等対処施設が設置されるエリアに対して火災区域、火災区画 (以下、「火災区域 (区画)」という。) の設定を行う。</p>	<p>1. 概要</p> <p>分類された重大事故等対処施設に対し、火災区域又は火災区画を設定する。</p> <p>設置許可基準規則第八条及び第四十一条の要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(火災による損傷の防止)</p> <p>第八条 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備 (以下「火災感知設備」という。) 及び消火を行う設備 (以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。) 並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>2 消火設備 (安全施設に属するものに限る。) は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉を安全に停止させるための機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>(火災による損傷の防止)</p> <p>第四十一条 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p> </div>	<p>1. 概要</p> <p>分類された重大事故等対処施設に対し、火災区域又は火災区画を設定する。</p> <p>設置許可基準規則第八条及び第四十一条の要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(火災による損傷の防止)</p> <p>第八条 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備 (以下「火災感知設備」という。) 及び消火を行う設備 (以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。) 並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>2 消火設備 (安全施設に属するものに限る。) は、破損、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉を安全に停止させるための機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>(火災による損傷の防止)</p> <p>第四十一条 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>
<p>2. 火災区域 (区画) の設定要領</p> <p>添付資料3に示す火災区域 (区画) は、建屋の壁の設置状況、重大事故等対処施設の設置箇所、設計基準事故対処設備との位置関係、耐火壁の能力等を勘案し、以下のように設定したものである。</p>	<p>2. 重大事故等対処施設における火災区域又は火災区画の設定</p> <p>重大事故等対処施設の火災防護対策を講じるために、原子炉建屋、制御建屋、緊急時対策建屋、緊急用電気品建屋と、屋外の常設重大事故等対処施設を設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域又は火災区画を設定する。</p>	<p>2. 重大事故等対処施設における火災区域又は火災区画の設定</p> <p>重大事故等対処施設の火災防護対策を講じるために、原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋、緊急時対策所と、屋外の常設重大事故等対処施設を設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域又は火災区画を設定する。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違 設定する火災区域の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず)</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止(補足説明資料41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について)

赤字:設備,運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現,設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 火災区域又は火災区画の設定</p> <p>a. 屋内</p> <p>原子炉格納容器、原子炉周辺建屋、制御建屋、廃棄物処理建屋、緊急時対策所等の屋内は、耐火壁により囲まれ、他の区域と分離されている重大事故等対処施設を設置している区域を、火災区域に設定する。</p> <p>また、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置等を考慮し、火災区域を必要に応じて分割して火災区画を設定する。これらの火災区域又は火災区画は、基準規則第八条にて設定した火災区域及び火災区画を適用することを基本とする。</p> <p>b. 屋外</p> <p>屋外は、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設を設置する区域を、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域に設定する。</p> <p>屋外の火災区域の設定にあたっては、火災区域外からの延焼防止を考慮して火災区域の境界付近に可燃物を置かない管理を実施する設計とする。</p> <p>これらの火災区域は、基準規則第八条にて設定した火災区域を適用することを基本とする。</p>	<p>2.1. 火災区域</p> <p>建屋の火災区域は、耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域であり、下記により設定する。</p> <p>①建屋ごとに、耐火壁(床、壁、天井、扉等耐火構造物の一部であって、必要な耐火能力を有するもの)により囲われた区域を火災区域として設定する。</p> <p>②重大事故等対処施設と設計基準事故対象設備の配置も考慮して、火災区域を設定する。</p> <p>③屋外の火災区域については、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」において「ただし、屋外に設置される設備に対しては、附属設備を含めて火災区域とみなす。」と記載されていることを踏まえ、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設を設置する区域を重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して火災区域として設定する。</p> <p>2.2. 火災区画</p> <p>「火災区域」を細分化したものであって、耐火能力を有する隔壁等(以下、「隔壁等」という。)、離隔距離、固定式消火設備等により分離された火災防護上の区画であり、全周囲を耐火壁で囲まれている必要は必ずしもなく、隔壁や扉の配置状況を目安に火災防護の観点から設定する。</p> <p>また、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮し、分割して設定する。</p> <p>2.3. 火災区域又は火災区画の設定要領</p> <p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の設定にあたっては、重大事故等対処施設の設置箇所、建屋の間取り、機器やケーブル等の配置、耐火壁の能力等を総合的に勘案し設定しており、具体的な設定要領を以下に示す。</p>	<p>2.1. 火災区域</p> <p>建屋の火災区域は、耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域であり、下記により設定する。</p> <p>①建屋ごとに、耐火壁(床、壁、天井、扉等耐火構造物の一部であって、必要な耐火能力を有するもの)により囲われた区域を火災区域として設定する。</p> <p>②重大事故等対処施設と設計基準事故対象設備の配置も考慮して、火災区域を設定する。</p> <p>③屋外の火災区域については、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」において「ただし、屋外に設置される設備に対しては、附属設備を含めて火災区域とみなす。」と記載されていることを踏まえ、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設を設置する区域を重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して火災区域として設定する。</p> <p>2.2. 火災区画</p> <p>「火災区域」を細分化したものであって、耐火能力を有する隔壁等(以下、「隔壁等」という。)、離隔距離、固定式消火設備等により分離された火災防護上の区画であり、全周囲を耐火壁で囲まれている必要は必ずしもなく、隔壁や扉の配置状況を目安に火災防護の観点から設定する。</p> <p>また、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮し、分割して設定する。</p> <p>2.3. 火災区域又は火災区画の設定要領</p> <p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の設定にあたっては、重大事故等対処施設の設置箇所、建屋の間取り、機器やケーブル等の配置、耐火壁の能力等を総合的に勘案し設定しており、具体的な設定要領を以下に示す。</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について）

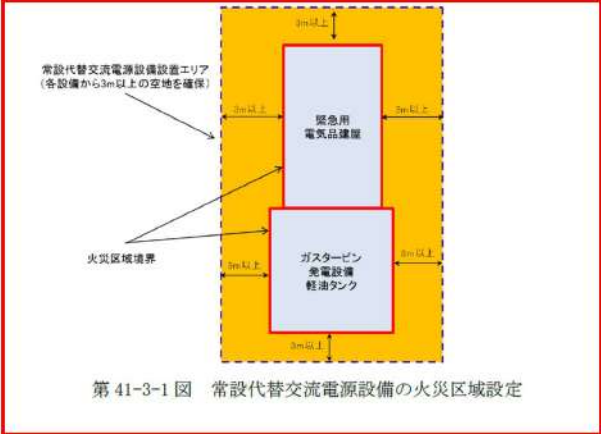
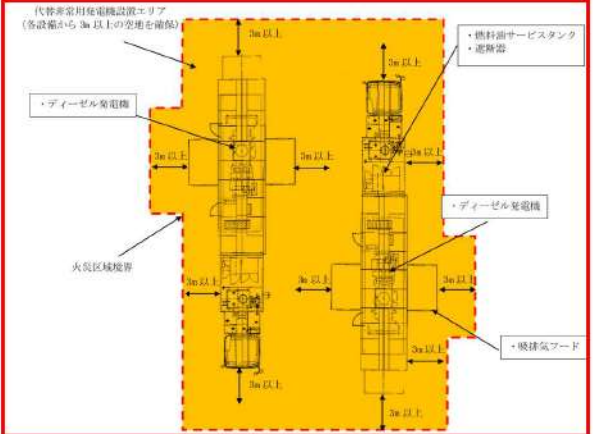
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) 火災区域の設定</p> <p>補足説明資料41-2で分類された、火災防護対策に係る審査基準に基づく火災防護対策が必要な機器及び当該機器に接続されるケーブル等が設置されている建屋及び屋外の区域について、以下のとおり火災区域を設定する。</p> <p>なお、原子炉建屋、<b>制御建屋</b>の火災区域は、設置許可基準規則第八条に基づき設定した火災区域を適用する。</p> <p>①重大事故等対処施設が設置されている建屋について、火災区域として設定する。</p> <p>②建屋内で重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域を設定する。</p>	<p>(1) 火災区域の設定</p> <p>補足説明資料41-2で分類された、火災防護対策に係る審査基準に基づく火災防護対策が必要な機器及び当該機器に接続されるケーブル等が設置されている建屋及び屋外の区域について、以下のとおり火災区域を設定する。</p> <p>なお、原子炉建屋、<b>原子炉補助建屋</b>、<b>ディーゼル発電機建屋</b>、<b>循環水ポンプ建屋</b>、<b>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</b>の火災区域は、設置許可基準規則第八条に基づき設定した火災区域を適用する。</p> <p>①重大事故等対処施設が設置されている建屋について、火災区域として設定する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 設定する火災区域の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 設定する火災区域の設定の相違。泊では建屋内に火災区域を個別に設定する設計ではなく、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離するよう設定している。その上で、火災区域内を火災区画に細分化している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③屋外の常設重大事故等対処設備を設置するエリアについて、附属設備を含めて火災区域を設定する。</p> <p>④常設代替交流電源設備設置エリアについては、附属設備を含めて火災区域を設定する。なお、常設代替交流電源設備を構成する主要機器であるガスタービン発電機及び地下タンクは「危険物の規制に関する政令」において空地が要求されない設備であるが、同令の「屋外タンク貯蔵所」とみなし、同令第十一条第二項で要求される空地の幅を参考にして、地上面は附属設備を含め3m以上の幅を確保した範囲とする。(第41-3-1図)</p> <p>また、ガスタービン発電機間においては同令における空地の要求がないことから、設備として発電機間の火災影響並びに消火活動への影響を考慮し、適切に空地を設ける設計とする。(補足説明資料57-9)</p>	<p>②屋外の常設重大事故等対処設備を設置するエリアについて、附属設備を含めて火災区域を設定する。</p> <p>③代替非常用発電機設置エリアについては、附属設備を含めて火災区域を設定する。なお、代替非常用発電機は「危険物の規制に関する政令」において「一般取扱所」に該当するため、同令第九条第一項で要求される空地の幅から、地上面は附属設備を含め3m以上の幅を確保した範囲とする。(第41-3-1図)</p>	<p>【女川】  <span style="color:blue">■</span>記載方針の相違</p> <p>【大飯】  <span style="color:blue">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】  <span style="color:red">■</span>設備の相違                      泊ではディーゼル駆動の代替非常用発電機を屋外に設置している。当該設備は一般取扱所に該当し、タンク容量に応じた保有空地を設定している。</p> <p>【大飯】  <span style="color:blue">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】  <span style="color:red">■</span>設備の相違                      泊では代替非常用発電機が2台並んで配置しているが、一般取扱所に応じた空地を設定している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	 <p>第41-3-1図 常設代替交流電源設備の火災区域設定</p> <p>上記④に示す危険物の規制に関する政令の該当条文を以下に示す。</p> <div data-bbox="712 694 1160 1104"> <p>危険物の規制に関する政令                      (屋外タンク貯蔵所の基準)</p> <p>第十一条第二項 屋外貯蔵タンク (危険物を移送するための配管その他これに準ずる工作物を除く。)の周囲に、次の表に掲げる区分に応じそれぞれ同表に定める幅の空地进行を保有すること。ただし、二以上の屋外タンク貯蔵所を隣接して設置するときは、総務省令で定めるところにより、その空地の幅を減ずることができる。</p> <table border="1" data-bbox="723 1045 1149 1093"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>空地の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定数量の倍数が五百以下の屋外タンク貯蔵所</td> <td>三メートル以上</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区分	空地の幅	指定数量の倍数が五百以下の屋外タンク貯蔵所	三メートル以上	 <p>第41-3-1図 常設代替非常用発電機の火災区域設定</p> <p>上記③に示す危険物の規制に関する政令の該当条文を以下に示す。</p> <div data-bbox="1344 694 1792 1104"> <p>危険物の規制に関する政令                      (製造所の基準)</p> <p>第九条第一項二号 危険物を取り扱う建築物その他の工作物 (危険物を移送するための配管その他これに準ずる工作物を除く。)の周囲に、次の表に掲げる区分に応じそれぞれ同表に定める幅の空地进行を保有すること。ただし、総務省令で定めるところにより、防火上有効な隔壁を設けたときは、この限りでない。</p> <table border="1" data-bbox="1355 1045 1780 1093"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>空地の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定数量の倍数が十以下の製造所</td> <td>三メートル以上</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区分	空地の幅	指定数量の倍数が十以下の製造所	三メートル以上	<p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊は代替非常用発電機に対して設定する保有空地 3m を考慮し、保有空地の外周にて火災区域を設定している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■記載内容の相違</p> <p>泊では代替非常用発電機は一般取扱所になるため、参照とする「危険物の規制に関する政令」の条文が異なっている。</p>
区分	空地の幅										
指定数量の倍数が五百以下の屋外タンク貯蔵所	三メートル以上										
区分	空地の幅										
指定数量の倍数が十以下の製造所	三メートル以上										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>屋外の火災区域の設定に当たっては、火災区域外への延焼防止を考慮して火災区域内の境界付近に可燃物を置かない管理を実施するとともに、敷地内植生からの隔離等を講じる範囲を火災区域として設定する。また、火災区域外の境界付近において可燃物を置かない管理を実施するとともに、周辺施設又は植生との隔離、周辺の植生区域の除草等の管理を実施する。</p> <p>(2) 火災区画の設定</p> <p>(1) で設定した火災区域について、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮し、分割して設定する。なお、原子炉建屋、<b>制御建屋</b>の火災区域は設置許可基準規則第八条に基づき設定した火災区域及び区画を適用する。</p> <p>以下に、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮した火災区画の設定について示す。</p> <p>具体的には、重大事故等対処施設と重大事故等対処施設の機能を代替する設計基準事故対処設備が設置される火災区画において発生した火災により同時に機能を喪失することがないように配置上の考慮を行い<b>別々の火災区画となるように区画する</b>。具体例を以下に示す。(第41-3-2 図)</p> <p>ただし、フロントライン系の機器についての考え方であり、サポート系にまでの適用はしない。</p>	<p>屋外の火災区域の設定に当たっては、火災区域外への延焼防止を考慮して火災区域内の境界付近に可燃物を置かない管理を実施するとともに、敷地内植生からの隔離等を講じる範囲を火災区域として設定する。また、火災区域外の境界付近において可燃物を置かない管理を実施するとともに、周辺施設又は植生との隔離、周辺の植生区域の除草等の管理を実施する。</p> <p>(2) 火災区画の設定</p> <p>(1) で設定した火災区域について、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮し、分割して設定する。なお、原子炉建屋、<b>原子炉補助建屋</b>、<b>ディーゼル発電機建屋</b>、<b>循環水ポンプ建屋</b>の火災区域は設置許可基準規則第八条に基づき設定した火災区域及び区画を適用する。</p> <p>以下に、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮した火災区画の設定について示す。</p> <p>具体的には、重大事故等対処施設と重大事故等対処施設の機能を代替する設計基準事故対処設備が設置される火災区画において発生した火災により同時に機能を喪失することがないように配置上の考慮を行う。具体例を以下に示す。(第41-3-2 図)</p> <p>ただし、フロントライン系の機器についての考え方であり、サポート系にまでの適用はしない。</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】  <span style="color: red;">■</span>設備の相違</p> <p>(次ページ備忘参照)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】  <span style="color: red;">■</span>設備の相違                      泊では重大事故等対処施設とその機能を代替する設計基準事故対処設備が別々の火災区画になるように区画化してはならず、別の火災区画になるように考慮して配置している。</p> <p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域又は火災区画の設定について）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. HPAC タービンポンプ室（R-3-28）は原子炉建屋地下2階にあり、重大事故等対処施設である高圧代替注水系ポンプ（HPAC ポンプ）を設置する。高圧代替注水系ポンプの機能を代替する設計基準事故対象設備は、原子炉隔離時冷却系ポンプ（RCIC ポンプ）及び高圧炉心スプレイ系ポンプ（HPCS ポンプ）であり、RCIC タービンポンプ室（R-1-14）及びHPCS ポンプ室（R-1-5）は HPAC タービンポンプ室と異なる火災区画に設置されている。従って、HPAC タービンポンプ室あるいは RCIC タービンポンプ室、HPCS ポンプ室のどこかの火災区画で火災が発生し、当該火災区画に設置される設備の機能が喪失しても、同一の機能を有する高圧代替注水系ポンプと原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプが同時に機能喪失することなく高圧注水系の機能が確保されるように配置上の考慮を行い設定する。</p>  <p>第41-3-2図 設計基準事故対処設備と重大事故等対処施設の火災区画設定例</p>	<p>a. 原子炉建屋 10.3～33.1m 通路部（R/B 3-08-1）は原子炉建屋1階にあり、重大事故等対処施設である代替格納容器スプレイポンプを設置する。代替格納容器スプレイポンプの機能を代替する設計基準事故対象設備は、余熱除去ポンプ及び高圧注入ポンプであり、AトレンはA-余熱除去ポンプ室及びA-高圧注入ポンプ室（A/B 1-03）であり、BトレンはB-余熱除去ポンプ室及びB-高圧注入ポンプ室（A/B 1-04）と異なる火災区画に設置されている。従って、原子炉建屋 10.3～33.1m 通路部、A-余熱除去ポンプ室及びA-高圧注入ポンプ室、あるいはB-余熱除去ポンプ室及びB-高圧注入ポンプ室のどこかの火災区画で火災が発生し、当該火災区画に設置される設備の機能が喪失しても、同一の機能を有する代替格納容器スプレイポンプと余熱除去ポンプ、高圧注入ポンプが同時に機能喪失することなく炉心注水系の機能が確保されるように配置上の考慮を行い設定する。</p>  <p>第41-3-2図 設計基準事故対処設備と重大事故等対処施設の火災区画設定例</p>	<p>【女川】  <b>■設備の相違</b>                      泊での具体例として炉心注水系を記載している。</p> <p>【大飯】  <b>■記載内容の相違</b>                      （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】  <b>■記載内容の相違</b>                      （女川実績の反映）</p> <p>【女川】  <b>■設備の相違</b>                      泊での具体例として炉心注水系を記載している。</p> <p>【大飯】  <b>■記載内容の相違</b>                      （女川実績の反映）</p>
	<p>(3) 火災区域又は火災区画の再設定                      火災区域又は火災区画への機器等の新設等、必要な場合は火災区域又は火災区画の再設定を行う。</p>	<p>(3) 火災区域又は火災区画の再設定                      火災区域又は火災区画への機器等の新設等、必要な場合は火災区域又は火災区画の再設定を行う。</p>	<p>【大飯】  <b>■記載内容の相違</b>                      （女川実績の反映）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.4. 火災区域又は火災区画の設定並びに重大事故等対処施設の配置</p> <p>「2.3. 火災区域又は火災区画の設定要領」に従って設定した火災区域又は火災区画及び重大事故等対処施設の配置を添付資料1に示す。</p> <p>以上から、重大事故等対処施設について、火災防護対策を設置許可基準規則第八条に基づき実施する施設と、第四十一条に基づき実施する施設とに分類した上で、火災区域を設定している。よって、設置許可基準規則第四十一条への適合のために必要な重大事故等対処施設の抽出並びに火災区域又は火災区画の設定がなされているものとする。</p>  <p>第41-3-3図 重大事故等対処施設の配置図</p>	<p>2.4. 火災区域又は火災区画の設定並びに重大事故等対処施設の配置</p> <p>「2.3. 火災区域又は火災区画の設定要領」に従って設定した火災区域又は火災区画及び重大事故等対処施設の配置を添付資料1に示す。</p> <p>以上から、重大事故等対処施設について、火災防護対策を設置許可基準規則第八条に基づき実施する施設と、第四十一条に基づき実施する施設とに分類した上で、火災区域を設定している。よって、設置許可基準規則第四十一条への適合のために必要な重大事故等対処施設の抽出並びに火災区域又は火災区画の設定がなされているものとする。</p>  <p>第41-3-3図 重大事故等対処施設の配置図</p>	<p>【大飯】  <span style="color: green;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】  <span style="color: green;">■</span>記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】  <span style="color: red;">■</span>設備の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>添付資料3</p> <p>重大事故等対処施設一覽表及び火災区域・区画図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>添付資料1</p> <p>女川原子力発電所 2号炉</p> <p>重大事故等対処施設の配置図</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1</p> <p>泊発電所 3号炉</p> <p>重大事故等対処施設の配置図</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>一覽表については資料41-2の添付資料にて記載している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>一覽表については資料41-2の添付資料にて記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>火災区域・区画一覽表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)</p>																																																																								
<p>重大事故等対処施設一覽表</p> <p>添付資料3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区域</th> <th>火災区域(区画)</th> <th>設備名称</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯区域</td><td>8号1-3</td><td>ディーゼル発電機</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号1-4</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号1-5</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号1-6</td><td>ディーゼル発電機</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号1-7</td><td>タービン駆動機給水ポンプ室</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-1</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-2</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-3</td><td>発電機補助給水ポンプ室</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-4</td><td>発電機補助給水ポンプ室</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-6</td><td>定圧ポンプ室</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-7</td><td>定圧ポンプ室</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-9</td><td>はう撃ポンプ・はう撃ポンプ室</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-10</td><td>はう撃ポンプ</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号2-11</td><td>燃料調整用ポンプ</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号3-3</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号3-5</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> <tr><td>大飯区域</td><td>8号3-7</td><td>保安監視装置</td><td>基準別記 第八号炉設置</td></tr> </tbody> </table>	火災区域	火災区域(区画)	設備名称	備考	大飯区域	8号1-3	ディーゼル発電機	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号1-4	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号1-5	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号1-6	ディーゼル発電機	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号1-7	タービン駆動機給水ポンプ室	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-1	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-2	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-3	発電機補助給水ポンプ室	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-4	発電機補助給水ポンプ室	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-6	定圧ポンプ室	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-7	定圧ポンプ室	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-9	はう撃ポンプ・はう撃ポンプ室	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-10	はう撃ポンプ	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号2-11	燃料調整用ポンプ	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号3-3	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号3-5	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置	大飯区域	8号3-7	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置		<p>火災防衛対象機器</p> <p>【T.P. 10.3m】</p> <p>A-格納容器再循環サンプリング水位 (紫域) ※DB兼SA設備              B-格納容器再循環サンプリング水位 (紫域) (V) ※DB兼SA設備              A-格納容器再循環サンプリング水位 (黄域) (III) ※DB兼SA設備              B-格納容器再循環サンプリング水位 (黄域) (IV) ※DB兼SA設備              A-ループ1次冷却材流量 (I)              A-ループ1次冷却材流量 (II)              A-ループ1次冷却材流量 (III)              A-ループ1次冷却材流量 (IV)              B-ループ1次冷却材流量 (I)              B-ループ1次冷却材流量 (II)              B-ループ1次冷却材流量 (III)              B-ループ1次冷却材流量 (IV)              C-ループ1次冷却材流量 (I)              C-ループ1次冷却材流量 (II)              C-ループ1次冷却材流量 (III)              C-ループ1次冷却材流量 (IV)              A-余熱除去ポンプ入口 CV 内隔離弁              B-余熱除去ポンプ入口 CV 内隔離弁              (SA) 格納容器水素イグナイター温度監視装置              (SA) 格納容器水素イグナイター温度監視装置</p> <p>原子炉格納容器</p> <p>1 CV 3-01</p>	
火災区域	火災区域(区画)	設備名称	備考																																																																								
大飯区域	8号1-3	ディーゼル発電機	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号1-4	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号1-5	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号1-6	ディーゼル発電機	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号1-7	タービン駆動機給水ポンプ室	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-1	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-2	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-3	発電機補助給水ポンプ室	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-4	発電機補助給水ポンプ室	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-6	定圧ポンプ室	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-7	定圧ポンプ室	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-9	はう撃ポンプ・はう撃ポンプ室	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-10	はう撃ポンプ	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号2-11	燃料調整用ポンプ	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号3-3	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号3-5	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								
大飯区域	8号3-7	保安監視装置	基準別記 第八号炉設置																																																																								







赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
区分	番号	名称	設備名称	備考	区分	番号	名称	設備名称	備考	区分	番号	名称	設備名称	備考	
大飯区域	C3-3-2	燃焼ダクトリフトア-2	中島製燃焼炉用燃焼ファン	基準報告 第八号検査記録						分類					<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>一覧表については資料41-2の添付資料にて記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)</p>
大飯区域	C3-3-3	中島製燃焼炉用燃焼ファンユニット(2号機)	中島製燃焼炉用燃焼ファンユニット							火災防護対象機器					
大飯区域	A79-1	緊急時燃焼炉	緊急時燃焼炉システム シフトシフト装置 燃焼炉ダクトリフトア-2に接続する燃焼炉							C-ループ1次冷却材低温側温度 (狭域) (IV) A-ループ1次冷却材低温側温度 (広域) (II) ※DB兼SA設備 B-ループ1次冷却材低温側温度 (広域) (II) ※DB兼SA設備 C-ループ1次冷却材低温側温度 (広域) (II) ※DB兼SA設備 【T.P. 24.8m】 加圧器圧力 (I) 加圧器圧力 (II) 加圧器圧力 (III) 加圧器圧力 (IV) A-蒸気発生器水位 (狭域) (I) ※DB兼SA設備 A-蒸気発生器水位 (狭域) (II) ※DB兼SA設備 A-蒸気発生器水位 (狭域) (III) A-蒸気発生器水位 (狭域) (IV) B-蒸気発生器水位 (狭域) (I) ※DB兼SA設備 B-蒸気発生器水位 (狭域) (II) ※DB兼SA設備 B-蒸気発生器水位 (狭域) (III) B-蒸気発生器水位 (狭域) (IV) C-蒸気発生器水位 (狭域) (I) ※DB兼SA設備 C-蒸気発生器水位 (狭域) (II) ※DB兼SA設備 C-蒸気発生器水位 (狭域) (III) C-蒸気発生器水位 (狭域) (IV) 中性子減速液中中性子束 (NB) ※DB兼SA設備					
大飯区域	燃焼1-1	燃焼ファン室	燃焼ファン室	基準報告 第八号検査記録						区域・区画名称					
大飯区域	燃焼1-3	3号A-DG燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	基準報告 第八号検査記録						区域・区画番号					
大飯区域	燃焼1-4	3号B-DG燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	基準報告 第八号検査記録						No.					
大飯区域	燃焼1-5	燃焼ファン室A	燃焼ファン室	基準報告 第八号検査記録											
大飯区域	燃焼1-6	燃焼ファン室B	燃焼ファン室	基準報告 第八号検査記録											
大飯区域	燃焼1-7	4号A-DG燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	基準報告 第八号検査記録											
大飯区域	燃焼1-8	4号B-DG燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	基準報告 第八号検査記録											
大飯区域	燃焼1-9	燃焼ファン室A	燃焼ファン室	基準報告 第八号検査記録											
大飯区域	燃焼1-10	燃焼ファン室B	燃焼ファン室	基準報告 第八号検査記録											
大飯区域	燃焼1-11	3号B型炉内式炉内用発電装置	炉内式炉内用発電装置												
大飯区域	燃焼1-12	3号C型炉内式炉内用発電装置	炉内式炉内用発電装置												
大飯区域	燃焼1-13	3号D型炉内式炉内用発電装置	炉内式炉内用発電装置												
大飯区域	燃焼1-14	3号E型炉内式炉内用発電装置	炉内式炉内用発電装置												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																																																																																																																			
<p>重大事故等対処施設一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>大 飯 電 所 ( 記 載 )</th> <th>設 備 名 称</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大飯1号機</td> <td>8号125</td> <td>6号ディーゼル発電機室</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯2号機</td> <td rowspan="4">8号126</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯3号機</td> <td rowspan="4">8号127</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大飯4号機</td> <td rowspan="2">8号128</td> <td>6号ディーゼル発電機室</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大飯5号機</td> <td rowspan="2">8号129</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯6号機</td> <td rowspan="4">8号130</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯7号機</td> <td rowspan="4">8号131</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯8号機</td> <td rowspan="4">8号132</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯9号機</td> <td rowspan="4">8号133</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯10号機</td> <td rowspan="4">8号134</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯11号機</td> <td rowspan="4">8号135</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯12号機</td> <td rowspan="4">8号136</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯13号機</td> <td rowspan="4">8号137</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大飯14号機</td> <td rowspan="4">8号138</td> <td>6号保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> <tr> <td>保安設備室</td> <td>保安設備</td> <td>基準相違 無人非特設設備</td> </tr> </tbody> </table>				区分	大 飯 電 所 ( 記 載 )	設 備 名 称	備 考	大飯1号機	8号125	6号ディーゼル発電機室	ディーゼル発電機	基準相違 無人非特設設備	大飯2号機	8号126	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯3号機	8号127	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯4号機	8号128	6号ディーゼル発電機室	ディーゼル発電機	基準相違 無人非特設設備	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯5号機	8号129	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯6号機	8号130	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯7号機	8号131	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯8号機	8号132	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯9号機	8号133	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯10号機	8号134	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯11号機	8号135	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯12号機	8号136	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯13号機	8号137	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	大飯14号機	8号138	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備	保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備					<p>火災防護対象機器</p> <p>中性子漏洩用中性子束 (NS2) ※DB兼SA設備                  A-蓄圧タンク出口弁※DB兼SA設備                  B-蓄圧タンク出口弁※DB兼SA設備                  C-蓄圧タンク出口弁※DB兼SA設備                  (SA) 格納容器水素イグナイター                  (SA) 格納容器水素イグナイター温度監視装置</p> <p>[T.P.40.3m]                  A-加圧器速し弁※DB兼SA設備                  B-加圧器速し弁※DB兼SA設備                  A-加圧器速し弁元弁                  B-加圧器速し弁元弁                  A-格納容器内温度 (Ⅱ) ※DB兼SA設備                  B-格納容器内温度 (Ⅳ) ※DB兼SA設備                  A-格納容器高圧レンジエリアモニタ (高圧レンジ) (Ⅲ) ※DB兼SA設備                  B-格納容器高圧レンジエリアモニタ (高圧レンジ) (Ⅳ) ※DB兼SA設備                  A-格納容器高圧レンジエリアモニタ (低圧レンジ) (Ⅲ) ※DB兼SA設備                  B-格納容器高圧レンジエリアモニタ (低圧レンジ) (Ⅳ) ※DB兼SA設備                  (SA) C-格納容器再循環ユニット</p>				<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                  (女川実績の反映)</p> <p>一覧表については資料41-2の添付資料にて記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                  火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)</p>
区分	大 飯 電 所 ( 記 載 )	設 備 名 称	備 考																																																																																																																																																																																												
大飯1号機	8号125	6号ディーゼル発電機室	ディーゼル発電機	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯2号機	8号126	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯3号機	8号127	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯4号機	8号128	6号ディーゼル発電機室	ディーゼル発電機	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯5号機	8号129	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯6号機	8号130	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯7号機	8号131	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯8号機	8号132	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯9号機	8号133	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯10号機	8号134	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯11号機	8号135	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯12号機	8号136	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯13号機	8号137	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
大飯14号機	8号138	6号保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
		保安設備室	保安設備	基準相違 無人非特設設備																																																																																																																																																																																											
No.				No.				No.																																																																																																																																																																																							
区域・区画番号				区域・区画番号				区域・区画番号																																																																																																																																																																																							
区域・区画名称				区域・区画名称				区域・区画名称																																																																																																																																																																																							
分類				分類				分類																																																																																																																																																																																							







赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類		
15	AB 2-04	放射線管理エリア	B-冷却除去ポンプミニフロー弁	その他		
16	AB 2-05-1	高、低レベル放射化学室	B-高圧注入ポンプ燃料取扱器用ホビット側入口弁 (SA) B-余熱除去ポンプ入口弁	その他		
17	AB 2-05-2	放射線測定室	—	その他		
18	AB 3-01-1	原子炉補助建屋10.3m 通路室	充てんポンプ入口燃料取扱器用ホビット側入口弁 A 充てんポンプ入口燃料取扱器用ホビット側入口弁 B (SA) 緊急ほうげん弁	A トレン		
19	AB 3-01-2	ほうげん回収装置室	—	その他		
20	AB 3-01-3	配管エリア	—	その他		
21	AB 3-03	A-充てんポンプ室	A-充てんポンプ※DB 兼 SA 設備	A トレン		
22	AB 3-04	B-充てんポンプ室	B-充てんポンプ※DB 兼 SA 設備	A トレン		
23	AB 3-05	C-充てんポンプ室	C-充てんポンプ※DB 兼 SA 設備	B トレン		
24	AB 3-07-1	常用系インバータ室及び通路	(SA) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算装置	SA		
25	AB 3-07-2	常用系蓄電池室	—	その他		
26	AB 3-08	A-安全補機制御室	A-補助建屋直流分電盤 A1-原子炉コントロールセンター A2-原子炉コントロールセンター フレノイド分電盤 A1 フレノイド分電盤 A2 A1-バウコーンコントロールセンター A2-バウコーンコントロールセンター	A トレン		【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	分類			
27	A/B-3-09	B-安全補機間器室	火災防護寄集機器 A-直流コントロールセンター兼DB兼SA設備 A-直流コントロールセンター母線電圧差DB兼SA設備 6-3A 母線電圧差DB兼SA設備 A-6.6kVメタクワラ差DB兼SA設備 A-充電器盤 A-計装用インバータ C-計装用インバータ A-計装用交流電源切替器盤 A1-計装用交流分電盤 A2-計装用交流分電盤 C-計装用交流電源切替器盤 C1-計装用交流分電盤 C2-計装用交流分電盤 B-補助建屋直流分電盤 B1-原子炉コントロールセンター B2-原子炉コントロールセンター ソレノイド分電盤トレン B1 ソレノイド分電盤トレン B2 B1-バワ-コントロールセンター B2-バワ-コントロールセンター B-直流コントロールセンター兼DB兼SA設備 B-直流コントロールセンター母線電圧差DB兼SA設備 6-3B 母線電圧差DB兼SA設備	Bトレン		【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類		
28	AB 3-10	A:安全系蓄電池室	B-6.6kV マタクラ※DB 兼 SA 設備	A トレン		【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)
29	AB 3-11	B:安全系蓄電池室	B-充電器室	B トレン		
30	AB 3-12	後備蓄電池(2)室	B-計装用インバータ	SA		
31	AB 3-13	後備蓄電池(1)室	D-計装用インバータ	SA		
32	AB 4-01-1	原子炉補助建屋 17.8m 通廊部(管理区域)	B-計装用交流電源切替器室	A トレン		
33	AB 4-01-2	フィルタバルブ室及び各フィルタ室	B-計装用交流分電盤	その他		
34	AB 4-01-3	代動所内電気設備変圧器室	B1-計装用交流分電盤	SA		
35	AB 4-01-4	濃縮原液タンク室、濃縮原液ポンプ室、濃縮廃液タンクバルブ室、各配管搭室及び唯屋塔バルブ室	B2-計装用交流分電盤	その他		
36	AB 4-01-5	体積制御タンク室及び体積制御タン	D1-計装用交流分電盤	その他		
			D2-計装用交流分電盤	その他		
			A-蓄電池※DB 兼 SA 設備	その他		
			B-蓄電池※DB 兼 SA 設備	その他		
			(SA) A:後備蓄電池	その他		
			(SA) B:後備蓄電池	その他		
			A:ほう酸タンク水位(1) ※DB 兼 SA 設備	その他		
			B:ほう酸タンク水位(II) ※DB 兼 SA 設備	その他		
			(SA) 代動所内電気設備分電盤	その他		
			(SA) 代動所内電気設備変圧器室	その他		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類		
		クハルプ室		その他		
37	AB 4-01-6	安全系補機ハルプ室		その他		
38	AB 4-01-7	ほう酸注入タンク室	ほう酸注入タンク入口弁 A ほう酸注入タンク入口弁 B	A トレン		
39	AB 4-01-8	洗浄廃水濃縮処理タンク室		その他		
40	AB 4-02-1	A:ほう酸ポンプ室	A:ほう酸ポンプ	A トレン		
41	AB 4-02-2	B:ほう酸ポンプ室	B:ほう酸ポンプ	B トレン		
42	AB 4-04-1	原子炉補助建屋 17.8m 通路部(非管理区域)		その他		
43	AB 4-04-2	1次系補機操作室、プロセス計算機室、常用系計装機室及び1次系補機計算機室		その他		
44	AB 4-04-3	プロセス計装機室	(SA) データ収集計算機 (SA) ERSS 伝送サーバ	SA		
45	AB 4-04-4	常用系計装機室		その他		
46	AB 4-05	中央制御室	運転コントロール (SA) 中央制御室 (SA) 原子炉トリップスイッチ (SA) 衛星電話設備 (指定型) (SA) 無線連絡設備 (固定型)	A トレン		
47	AB 4-06	運転員控室		その他		
48	AB 4-07	A-安全系計装機室	原子炉安全保護盤 (チェンネルⅠ) 原子炉安全保護盤 (チェンネルⅢ)	A トレン		

【女川・大飯】  
 ■記載方針の相違  
 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区画・区画番号	区画・区画名称	火災防護対象機器	分類		
49	A/B 4-08	B-安全系計装盤室	安全系現用制御監視盤 (トレン A グループ1) 安全系現用制御監視盤 (トレン A グループ2) 安全系現用制御監視盤 (トレン A グループ3) 工学的安全施設動作動盤 (トレン A) 安全系マルチプロセッサ (トレン A) 安全系 FDP プロセッサ (トレン A) (運転用) 原子炉安全保護盤 (チャンネルⅡ) 原子炉安全保護盤 (チャンネルⅣ) 安全系現用制御監視盤 (トレン B グループ1) 安全系現用制御監視盤 (トレン B グループ2) 安全系現用制御監視盤 (トレン B グループ3) 工学的安全施設動作動盤 (トレン B) 安全系マルチプロセッサ (トレン B) 安全系 FDP プロセッサ (トレン B) (運転用) (SA) 共通要因故障予警盤 (自動制御盤) (ATWS 緩和設備)	B トレン		
50	A/B 4-09	会議室、PA室及び倉庫	—	その他		
51	A/B 4-10	資料室	—	その他		
52	A/B 4-11	フロアケーブリングダクト	—	その他		
53	A/B 5-01	原子炉補助建屋 24.8m 通路部	(SA) 代替格納容器スプレイボンプ変圧調整盤	SA		
54	A/B 5-02	中央制御室非常用電源フィロタユニット室	(SA) 中央制御室非常用電源フィロタユニット	SA		
55	A/B 5-03	試料採取室排気フィロタユニット室	—	その他		
56	A/B 5-04-1	非管理区域空調機器室及び外気取入	(SA) A-中央制御室排気ファン	SA		

【女川・大飯】  
 ■記載方針の相違  
 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している (記載の充実化：着色せず)

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	機器	分類		
		ガタリ	火災防護対象機器			
57	MB 5-04-2	原子炉補助建屋外気取入ガタリ室	(SA) A・中央制御室給気ユニット	その他		【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化:着色せず)
58	MB 6-01	トラックアクセスエリア	(SA) A・中央制御室給気ユニット	その他		
59	MB 6-03	ドラム缶搬出入ロエリア及び組立タングラム	(SA) A・中央制御室非常用循環ファン	その他		
60	MB 6-04	1次系中性化ノーダタンク室	(SA) B・中央制御室給気ファン	その他		
61	MB 7-01	原子炉補助建屋40.3m 廊下部	(SA) B・中央制御室給気ユニット	その他		
62	MB-AG	AG 階段室	(SA) B・中央制御室給気ファン	その他		
63	MB-C	原子炉補助建屋Cエレベータ	(SA) B・中央制御室非常用循環ファン	その他		
64	MB-D	A-A 階段室		その他		
65	MB-G	G ドラム缶リフト		その他		
66	MB-I	A-F 階段室		その他		
67	MB-J	A-D 階段室		その他		
68	MB-R	R タクトスペース		その他		
69	MB-T	T タクトスペース		その他		
70	MB-U	A-E 階段室		その他		
71	MB-V	V タクトスペース		その他		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-3 添付資料3 泊発電所3号炉 重大事故等対処施設の配置図)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防壁空気機器	分類		【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を 追記しているため、記載 が相違している(記載の 充実化：着色せず)
72	R/B 2-01	A系原子炉補機冷却水ポンプ室	A・原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備 B・原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備 (SA) 原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備 (SA) 原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備	Aトレン		
73	R/B 2-02	B系原子炉補機冷却水ポンプ室	C・原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備 D・原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備 (SA) 原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備 (SA) 原子炉補機冷却水ポンプ室DB兼SA設備	Bトレン		
74	R/B 2-03	CCW 配管スペース、弁補修エリア及び倉庫	A・安全注入ポンプ再循環サンプ個人入口 CV 外側隔離弁兼DB兼SA設備 A・余熱除去ポンプ再循環サンプ個人入口弁 B・安全注入ポンプ再循環サンプ個人入口 CV 外側隔離弁兼DB兼SA設備 B・余熱除去ポンプ再循環サンプ個人入口弁	Aトレン		
75	R/B 3-01	A・制御用空気圧縮装置室	A・制御用空気圧縮機 A・制御用空気圧縮装置 A・制御用空気Cヘッド供給弁 B・制御用空気Cヘッド供給弁	Aトレン		
76	R/B 3-02	B・制御用空気圧縮装置室	A・制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁 B・制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁 B・制御用空気圧縮機 B・制御用空気圧縮装置	Bトレン		
77	R/B 3-03-1	タービン動機補助水ポンプ室	タービン動機補助水ポンプ室DB兼SA設備	Aトレン		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区画・区画番号	区画・区画名称	区画・区画名称	分類		
			火災防護対象機器			
			タービン駆動補助給水ポンプ計器室 タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B B-補助給水ポンプ出口流量調節弁			
78	R/B 3-03-2	タービン駆動補助給水ポンプ室給気ファン室、配管エリア及びブローダウンタンク室		—	その他	
79	R/B 3-04	A-電動補助給水ポンプ室	A-電動補助給水ポンプ室	A-電動補助給水ポンプ※DB兼SA設備 A-補助給水ポンプ出口流量調節弁	Aトレン	
80	R/B 3-05	B-電動補助給水ポンプ室	B-電動補助給水ポンプ室	B-電動補助給水ポンプ※DB兼SA設備 C-補助給水ポンプ出口流量調節弁	Bトレン	
81	R/B 3-06	A-中央制御室外原子炉停止盤室	A-中央制御室外原子炉停止盤室	A-中央制御室外原子炉停止盤	Aトレン	
82	R/B 3-07	B-中央制御室外原子炉停止盤室	B-中央制御室外原子炉停止盤室	B-中央制御室外原子炉停止盤	Bトレン	
83	R/B 3-08-1	原子炉建屋 10.3~33.1m 通路部		A-補助給水ライン流量 (I) ※DB兼SA設備 B-補助給水ライン流量 (III) ※DB兼SA設備 C-補助給水ライン流量 (IV) ※DB兼SA設備 タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気トレンA 補助給水ポンプ出口流量調節弁駆動蒸気トレンB タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気トレンB 補助給水ピット水位 (I) ※DB兼SA設備 補助給水ピット水位 (II) ※DB兼SA設備 A-主蒸気ライン圧力 (I)	Bトレン	【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している (記載の充実化：着色せず)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類		
84	R/B 3-08-2	二酸化炭素ボンベ保管室	A・主蒸気ライン圧力 (II)	その他		【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している (記載の充実化：着色せず)
85	R/B 3-08-3	1次冷却材ポンプ母機計測装置	A・主蒸気ライン圧力 (III) ※DB 兼 SA 設備 A・主蒸気ライン圧力 (IV) ※DB 兼 SA 設備 B・主蒸気ライン圧力 (I)	その他		
86	R/B 3-08-4	タービン動補給水ポンプ起動盤トレン A 及び補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレン A 室	B・主蒸気ライン圧力 (II) B・主蒸気ライン圧力 (III) ※DB 兼 SA 設備 B・主蒸気ライン圧力 (IV) ※DB 兼 SA 設備 C・主蒸気ライン圧力 (I) C・主蒸気ライン圧力 (II) C・主蒸気ライン圧力 (III) ※DB 兼 SA 設備 C・主蒸気ライン圧力 (IV) ※DB 兼 SA 設備 (SA) 代替格納容器スプレイポンプ	A トレン	タービン動補給水ポンプ起動盤トレン A 補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレン A	
87	R/B 3-09-1	原子炉建屋北面 10.3m 通路部		その他		
88	R/B 3-09-2	倉庫		その他		
89	R/B 3-09-3	使用済燃料ピットポンプ高さ仕様用 済燃料ピット冷却器室		その他		
90	R/B 3-09-4	倉庫		その他		
91	R/B 3-10	A・ディーゼル発電機制御盤室		A トレン	A・ディーゼル発電機制御盤	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	区域・区画名称	分類	火災防護対象機器	
92	R/B 3-11	B-ディーゼル発電機制御室	B-ディーゼル発電機制御室	Bトレン	A-ディーゼル発電機コントロールセンター B-ディーゼル発電機制御盤	
93	R/B 3-14-1	B-清水タンク室	B-清水タンク室	その他	—	
94	R/B 3-14-2	A-清水タンク室	A-清水タンク室	その他	—	
95	R/B 4-01	原子炉トリップリレー制御室	原子炉トリップリレー制御室	その他	—	
96	R/B 4-02-1	原子炉建屋 17.8m 通路部及びアニュラス空気浄化ファン室	原子炉建屋 17.8m 通路部及びアニュラス空気浄化ファン室	Aトレン	A-制御用空気 CV 外側隔離弁 B-制御用空気 CV 外側隔離弁 A-制御用空気ヘッダ圧力 (III) B-制御用空気ヘッダ圧力 (IV) 格納容器圧力 (III) ※DB 兼 SA 設備 格納容器圧力 (IV) ※DB 兼 SA 設備 充てんライン CV 外側隔離弁 ほう酸注入タンク出口 CV 外側隔離弁 A ほう酸注入タンク出口 CV 外側隔離弁 B 余熱除去 A ライン CV 外側隔離弁 余熱除去 B ライン CV 外側隔離弁 (SA) A-アニュラス空気浄化ファン (SA) B-アニュラス空気浄化ファン	
97	R/B 4-02-2	非再生冷却器室及びサブプル冷却器室	非再生冷却器室及びサブプル冷却器室	その他	—	
98	R/B 4-02-3	使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫	使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫	SA	(SA) 使用済燃料ピット監視カメラ	【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している (記載の充実化：着色せず)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類		
			A・主蒸気速し弁元弁 B・主蒸気速し弁元弁 C・主蒸気速し弁元弁 A・補助給水四階弁 B・補助給水四階弁 C・補助給水四階弁 タービン補助給水ポンプ駆動蒸気B 主蒸気ライン元弁 タービン補助給水ポンプ駆動蒸気C 主蒸気ライン元弁			
112	R/B 6-02	原子炉建屋 33.1m 通路部	—	その他		
113	R/B 7-01	格納容器排気設備設置エリア	—	その他		
114	R/B 7-02	アニュラス空気浄化フィルタユニット室	(SA) A:アニュラス空気浄化フィルタユニット (SA) B:アニュラス空気浄化フィルタユニット	SA		
115	R/B 7-03	倉庫	—	その他		
116	R/B 7-04	原子炉建屋 40.3m 通路部	—	その他		
117	R/B 8-01	原子炉建屋 43.6m 通路部	—	その他		
118	R/B 8-02	原子炉補機給排水サージタンク室	原子炉補機給排水サージタンク水位 (III) ※DB 兼 SA 設備 原子炉補機給排水サージタンク水位 (IV) ※DB 兼 SA 設備 (SA) 原子炉補機給排水サージタンク	A トレン		
119	R/B B	原子炉建屋 Bエレベータ	—	その他		
120	R/B C	R-E 階段室	—	その他		
121	R/B F	R-A 階段室	—	その他		
122	R/B G	原子炉建屋 Gエレベータ	—	その他		
123	R/B M	R-B 階段室	—	その他		

【女川・大飯】  
 ■記載方針の相違  
 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している (記載の充実化：着色せず)



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-3 添付資料3 泊発電所3号炉 重大事故等対処施設の配置図)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉			相違理由				
		No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類	その他	その他	
		124	R/B-R	R-D 階段室	—				【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)
		125	R/B-S	R-C 階段室	—				

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																				
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ディーゼル発電機建屋</th> <th colspan="2">火災防護対象機器</th> <th>分類</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>区域・区画番号</th> <th>区域・区画名称</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>DG/B 2-01</td> <td>A-ディーゼル発電機室</td> <td>                     A-ディーゼル発電機密DB兼SA設備                      A-ディーゼル機関                      A-動弁注油ポンプ                      A-潤水ポンプ                      A-潤滑油ポンプ                      A-燃料油循環ポンプ                      A-機関A列開始動電磁弁、A-機関B列開始動電磁弁                      A-機関停止第1電磁弁、A-機関停止第2電磁弁                      A-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ※DB兼SA設備                      A-燃料油クービスタタンク油面制御弁                 </td> <td>Aトレン</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>DG/B 2-02</td> <td>B-ディーゼル発電機室</td> <td>                     B-ディーゼル発電機密DB兼SA設備                      B-ディーゼル機関                      B-動弁注油ポンプ                      B-潤水ポンプ                      B-潤滑油ポンプ                      B-燃料油循環ポンプ                      B-機関A列開始動電磁弁、B-機関B列開始動電磁弁                      B-機関停止第1電磁弁、B-機関停止第2電磁弁                      B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ※DB兼SA設備                      B-燃料油クービスタタンク油面制御弁                 </td> <td>Bトレン</td> </tr> </tbody> </table>		ディーゼル発電機建屋		火災防護対象機器		分類	No.	区域・区画番号	区域・区画名称			1	DG/B 2-01	A-ディーゼル発電機室	A-ディーゼル発電機密DB兼SA設備 A-ディーゼル機関 A-動弁注油ポンプ A-潤水ポンプ A-潤滑油ポンプ A-燃料油循環ポンプ A-機関A列開始動電磁弁、A-機関B列開始動電磁弁 A-機関停止第1電磁弁、A-機関停止第2電磁弁 A-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ※DB兼SA設備 A-燃料油クービスタタンク油面制御弁	Aトレン	2	DG/B 2-02	B-ディーゼル発電機室	B-ディーゼル発電機密DB兼SA設備 B-ディーゼル機関 B-動弁注油ポンプ B-潤水ポンプ B-潤滑油ポンプ B-燃料油循環ポンプ B-機関A列開始動電磁弁、B-機関B列開始動電磁弁 B-機関停止第1電磁弁、B-機関停止第2電磁弁 B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ※DB兼SA設備 B-燃料油クービスタタンク油面制御弁	Bトレン	<p>【女川・大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している(記載の充実化：着色せず)</p>
ディーゼル発電機建屋		火災防護対象機器		分類																						
No.	区域・区画番号	区域・区画名称																								
1	DG/B 2-01	A-ディーゼル発電機室	A-ディーゼル発電機密DB兼SA設備 A-ディーゼル機関 A-動弁注油ポンプ A-潤水ポンプ A-潤滑油ポンプ A-燃料油循環ポンプ A-機関A列開始動電磁弁、A-機関B列開始動電磁弁 A-機関停止第1電磁弁、A-機関停止第2電磁弁 A-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ※DB兼SA設備 A-燃料油クービスタタンク油面制御弁	Aトレン																						
2	DG/B 2-02	B-ディーゼル発電機室	B-ディーゼル発電機密DB兼SA設備 B-ディーゼル機関 B-動弁注油ポンプ B-潤水ポンプ B-潤滑油ポンプ B-燃料油循環ポンプ B-機関A列開始動電磁弁、B-機関B列開始動電磁弁 B-機関停止第1電磁弁、B-機関停止第2電磁弁 B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ※DB兼SA設備 B-燃料油クービスタタンク油面制御弁	Bトレン																						

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

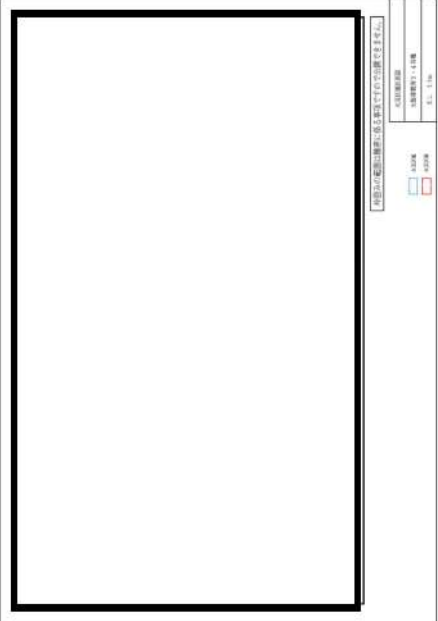


大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																													
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">循環水ポンプ建屋</th> <th>区域・区画名称</th> <th>火災防衛対象機器</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.</td> <td>区域・区画番号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>CWP/B 1-01</td> <td>A 系原子炉補機冷却海水ポンプエリア</td> <td>A・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 B・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備</td> <td>A トレン</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>CWP/B 1-02-1</td> <td>海水管ダクトエリア</td> <td>—</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>CWP/B 1-02-2</td> <td>B 系原子炉補機冷却海水ポンプエリア</td> <td>C・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 D・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 A・原子炉補機冷却海水供給母管圧力計 B・原子炉補機冷却海水供給母管圧力計</td> <td>B トレン</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>CWP/B 1-02-3</td> <td>循環水ポンプ建屋ハロゲンガスC3ポン ペ庫</td> <td>—</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>CWP/B 1-02-4</td> <td>循環水ポンプ建屋ハロゲン自動消火設 備制御設置</td> <td>—</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>CWP/B 1-03</td> <td>循環水ポンプエリア</td> <td>—</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>CWP/B 1-04</td> <td>操作エリア</td> <td>—</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>		循環水ポンプ建屋		区域・区画名称	火災防衛対象機器	分類	No.	区域・区画番号				1	CWP/B 1-01	A 系原子炉補機冷却海水ポンプエリア	A・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 B・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備	A トレン	2	CWP/B 1-02-1	海水管ダクトエリア	—	その他	3	CWP/B 1-02-2	B 系原子炉補機冷却海水ポンプエリア	C・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 D・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 A・原子炉補機冷却海水供給母管圧力計 B・原子炉補機冷却海水供給母管圧力計	B トレン	4	CWP/B 1-02-3	循環水ポンプ建屋ハロゲンガスC3ポン ペ庫	—	その他	5	CWP/B 1-02-4	循環水ポンプ建屋ハロゲン自動消火設 備制御設置	—	その他	6	CWP/B 1-03	循環水ポンプエリア	—	その他	7	CWP/B 1-04	操作エリア	—	その他	<p>【女川・大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>火災区域・区画一覧表を                  追記しているため、記載                  が相違している(記載の                  充実化：着色せず)</p>
循環水ポンプ建屋		区域・区画名称	火災防衛対象機器	分類																																															
No.	区域・区画番号																																																		
1	CWP/B 1-01	A 系原子炉補機冷却海水ポンプエリア	A・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 B・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備	A トレン																																															
2	CWP/B 1-02-1	海水管ダクトエリア	—	その他																																															
3	CWP/B 1-02-2	B 系原子炉補機冷却海水ポンプエリア	C・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 D・原子炉補機冷却海水ポンプ※DB兼SA設備 A・原子炉補機冷却海水供給母管圧力計 B・原子炉補機冷却海水供給母管圧力計	B トレン																																															
4	CWP/B 1-02-3	循環水ポンプ建屋ハロゲンガスC3ポン ペ庫	—	その他																																															
5	CWP/B 1-02-4	循環水ポンプ建屋ハロゲン自動消火設 備制御設置	—	その他																																															
6	CWP/B 1-03	循環水ポンプエリア	—	その他																																															
7	CWP/B 1-04	操作エリア	—	その他																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉			相違理由
				火災防護対象機器			
No.	区域・区画番号	区域・区画名称	火災防護対象機器	分類			
1	O/B 1-01	A1,A2-燃料油貯油槽	A1-燃料油貯油槽 A2-燃料油貯油槽	A トレン			
2	O/B 1-02	B1,B2-燃料油貯油槽	B1-燃料油貯油槽 B2-燃料油貯油槽	B トレン			
3	O/B 1-03	緊急時対策所 (指揮所)	(SA) 緊急時対策所 (指揮所) (SA) 衛星電話設備 (固定型) (SA) 衛星電話設備 (FAX) (SA) 無線連絡設備 (固定型) (SA) 統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (SA) テレビ会議システム (指揮所・待機所間) (SA) インターフォン (SA) データ表示端末	SA			
4	O/B 1-04	緊急時対策所 (待機所)	(SA) 緊急時対策所 (待機所) (SA) テレビ会議システム (指揮所・待機所間) (SA) インターフォン	SA			
5	O/B 1-05	代替非常用発電機エリア	(SA) 代替非常用発電機	SA			
				【女川・大飯】 ■記載方針の相違 火災区域・区画一覧表を追記しているため、記載が相違している (記載の充実化：着色せず)			

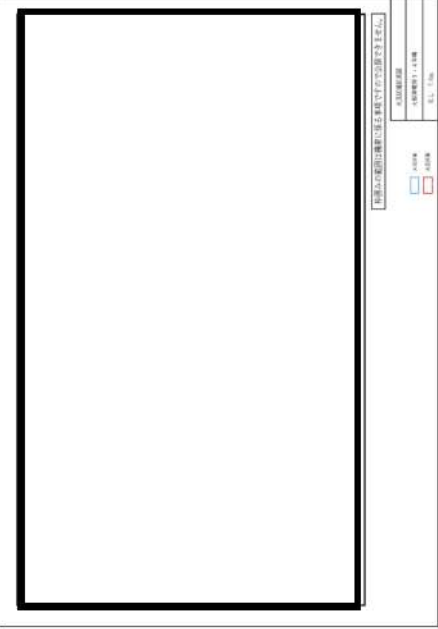
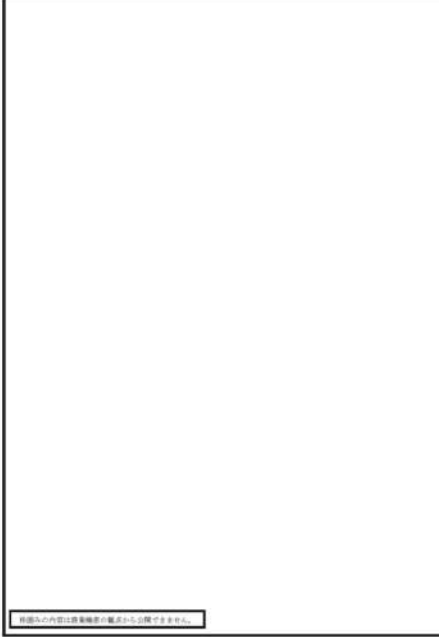



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

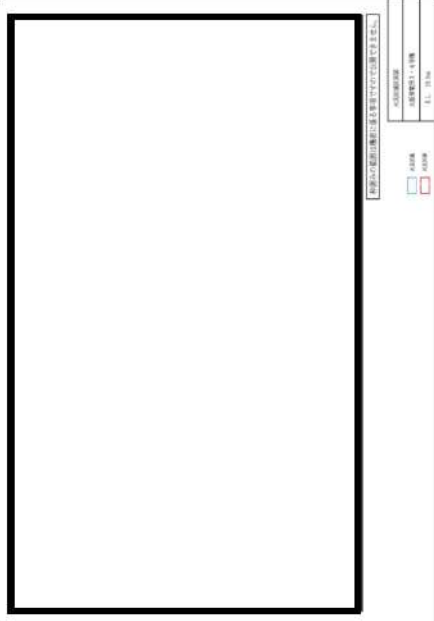
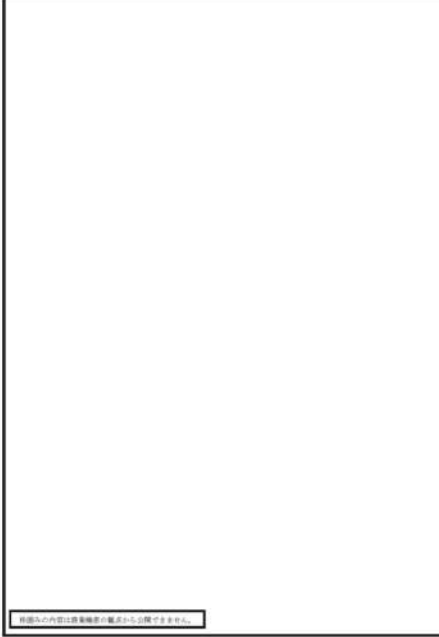

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

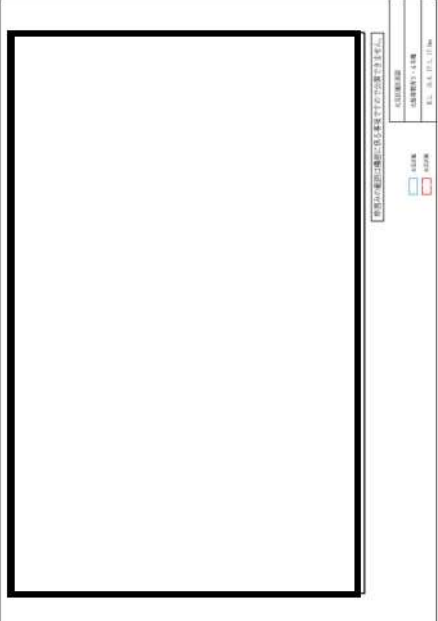
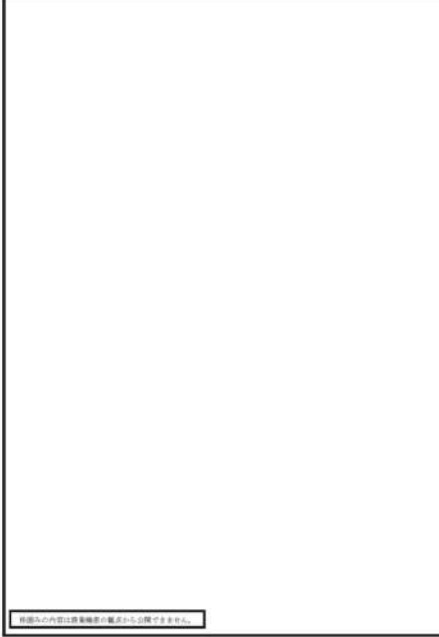

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図中の白抜き部分は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図中の白抜き部分は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図中の白抜き部分は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

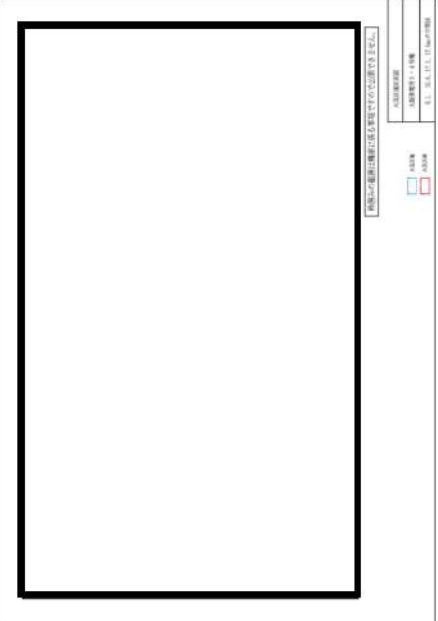
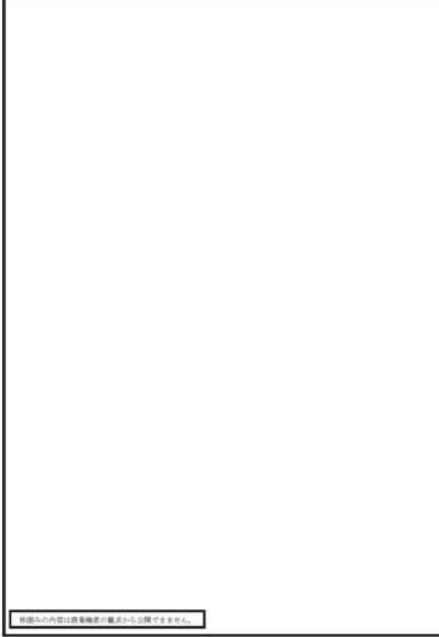

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

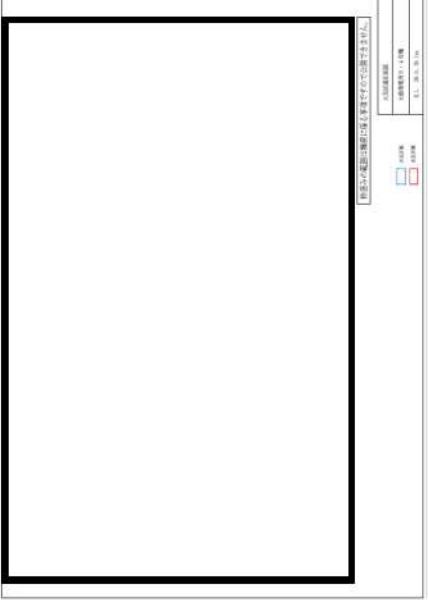
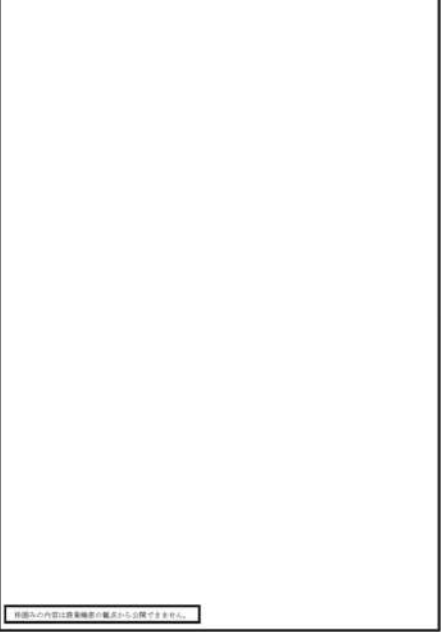

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

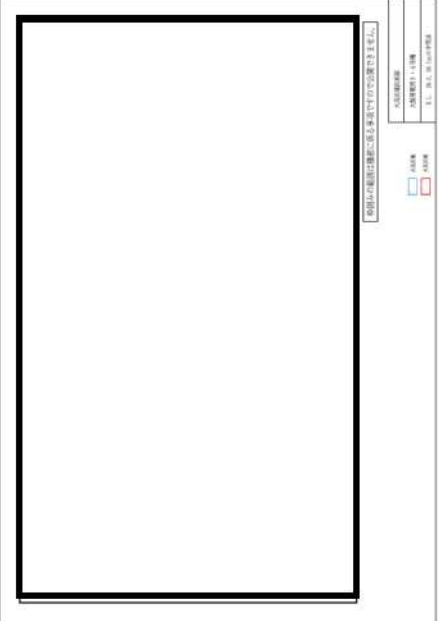
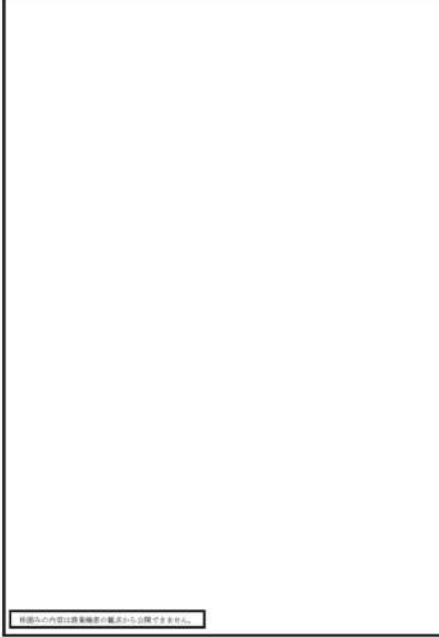

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

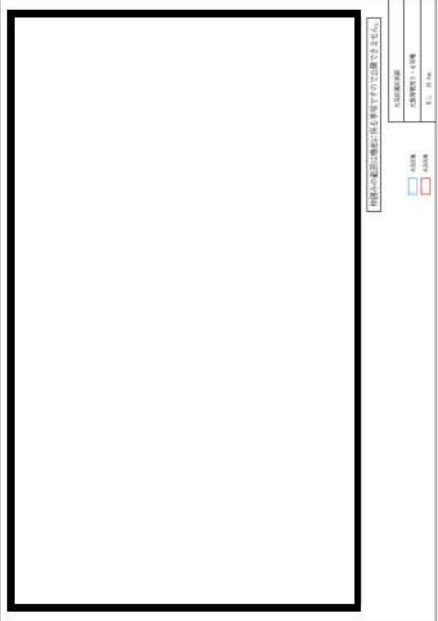
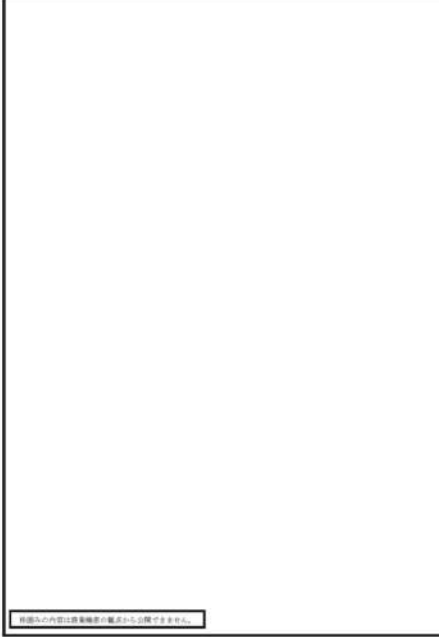

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

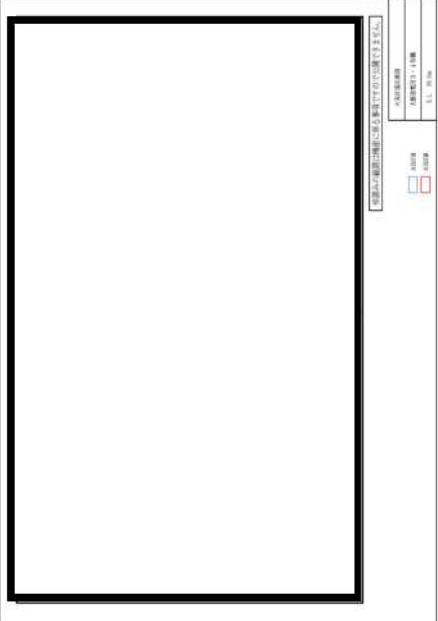
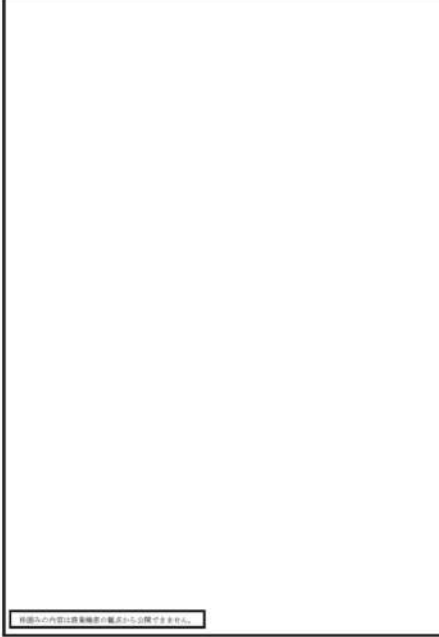

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

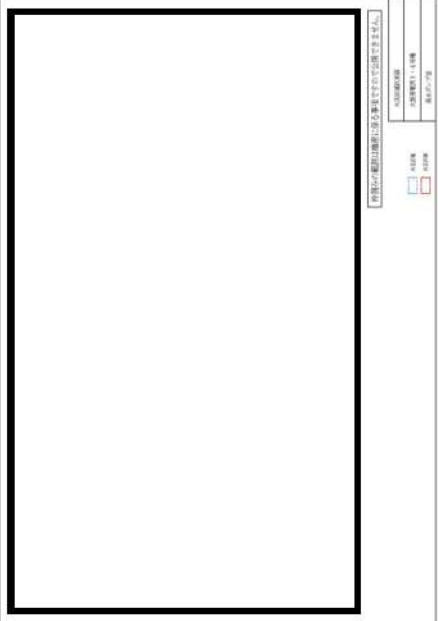
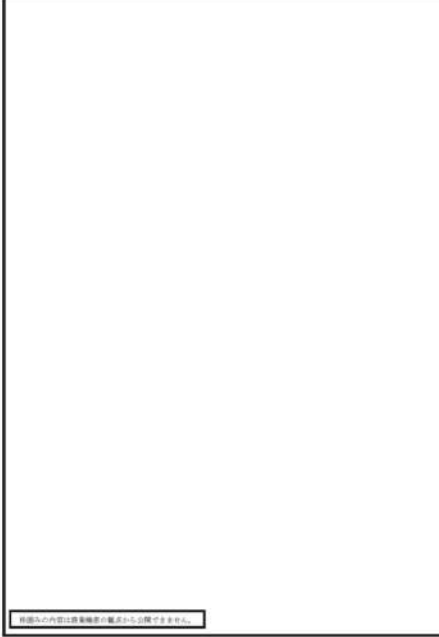

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>



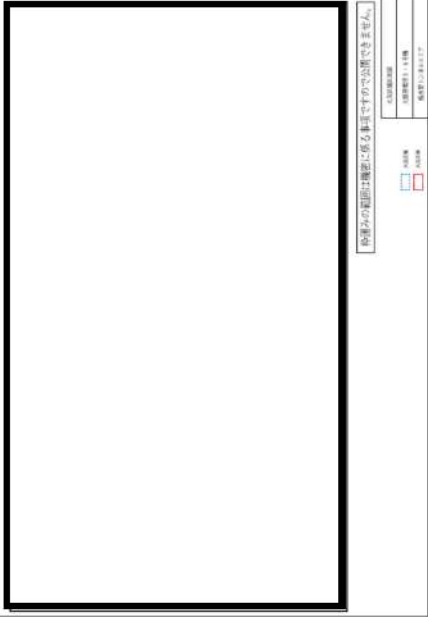
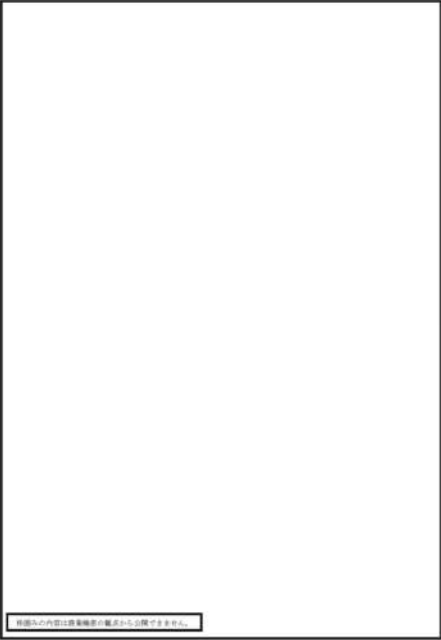
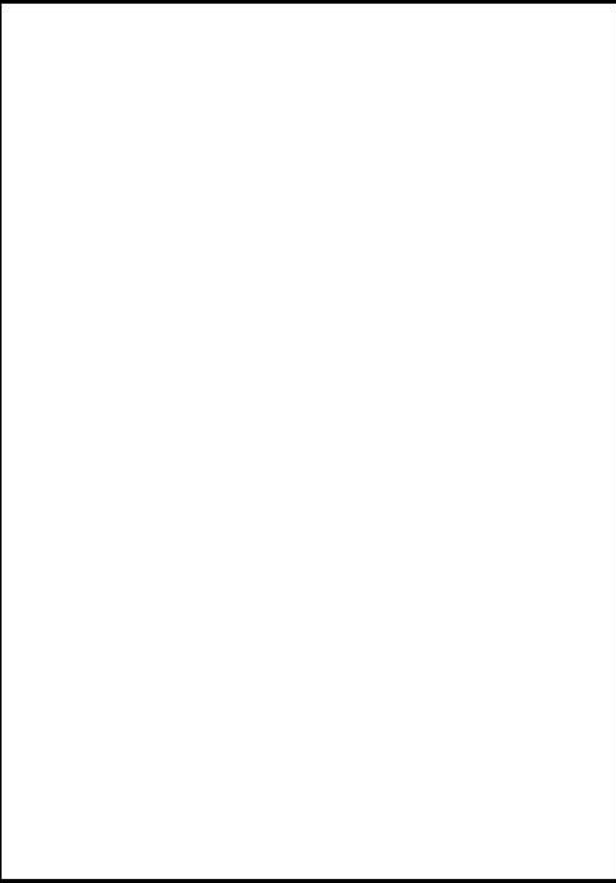
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図中の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図中の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図中の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

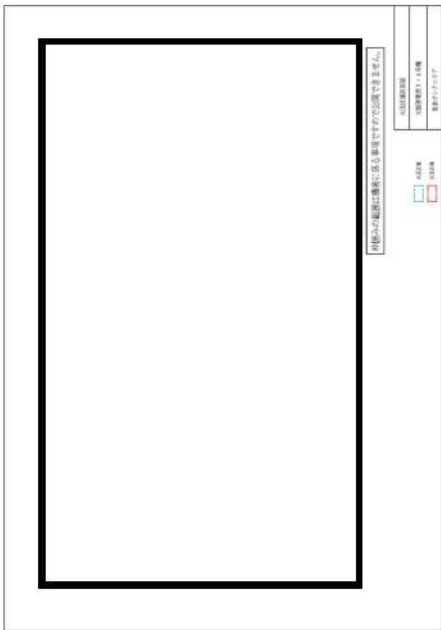
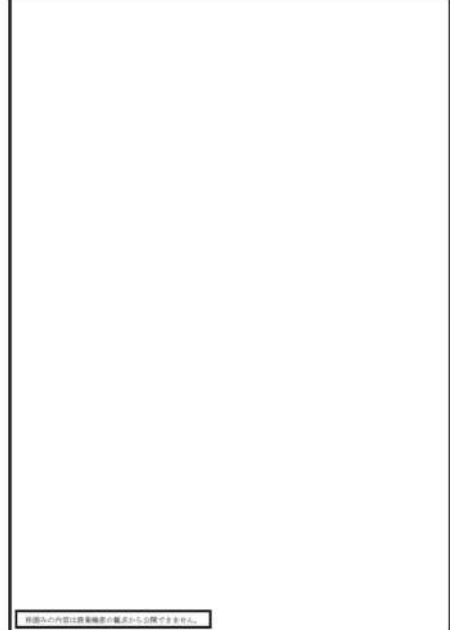

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図中の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図中の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図中の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

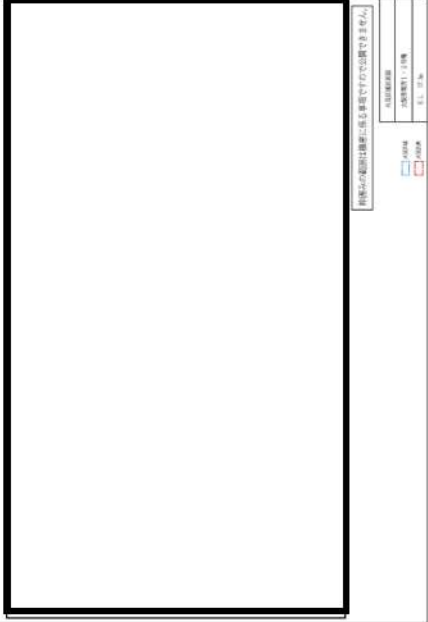

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>

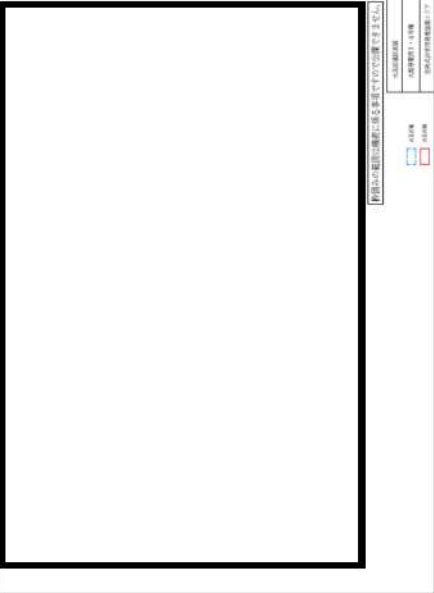
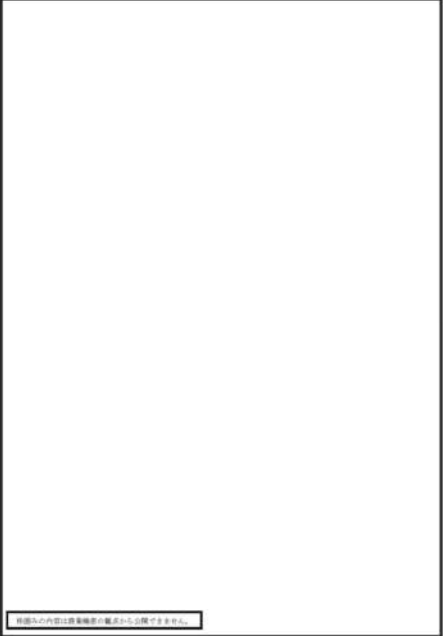
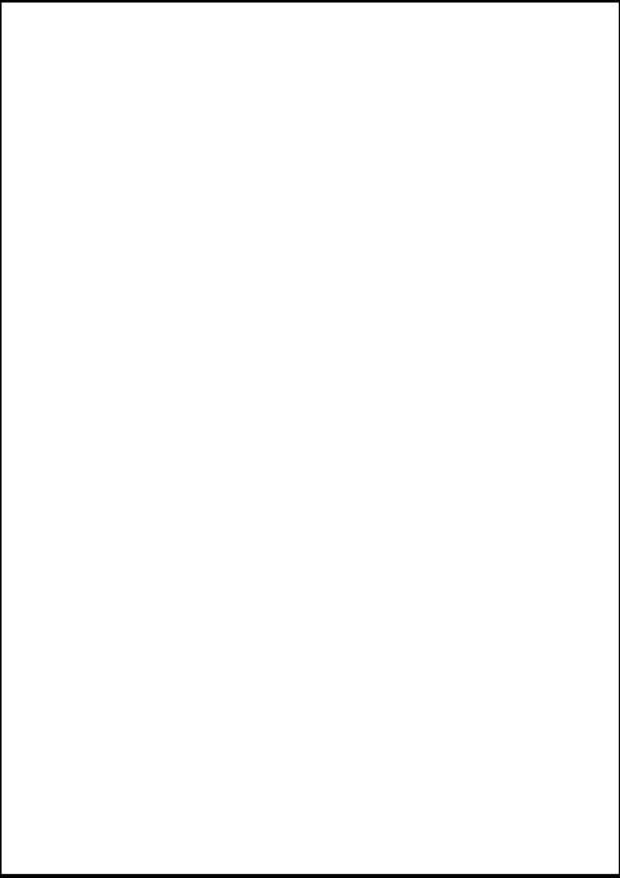
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

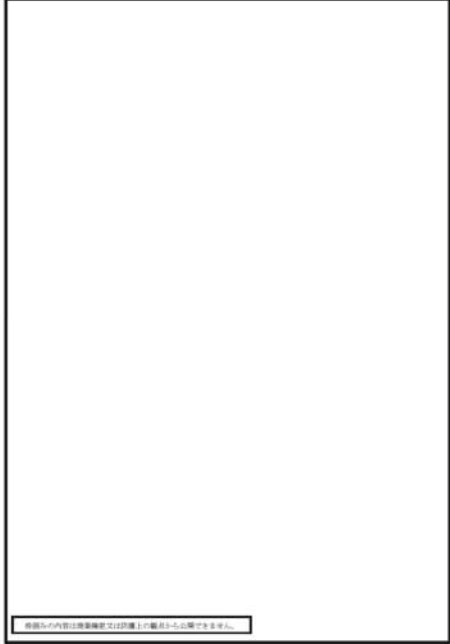

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  設備構成及び機器配置の相違。</p>



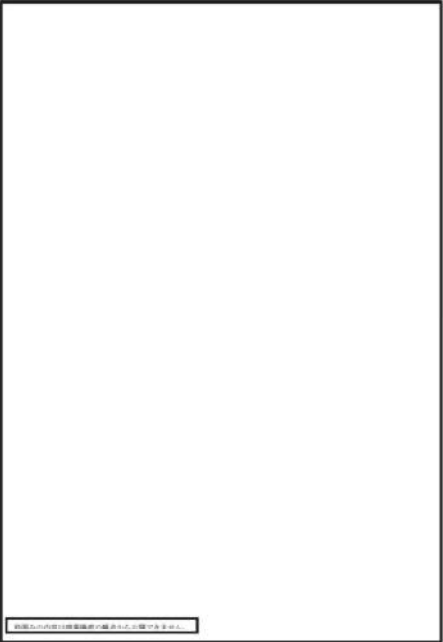
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密機密の観点から公開できません。</p>	 <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

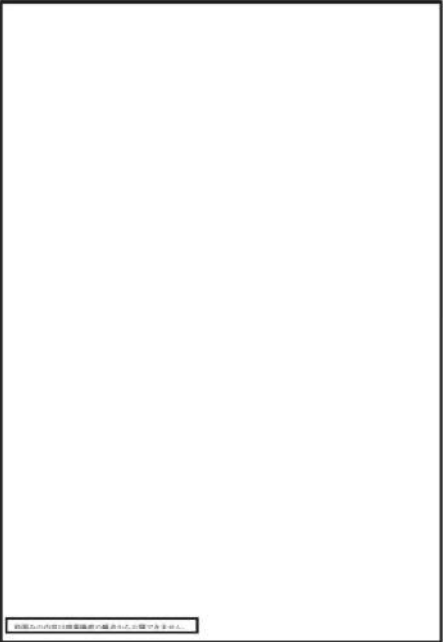
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="719 783 958 802">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1350 1125 1912 1150">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1973 156 2085 177">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1973 188 2085 209">■設計の相違</p> <p data-bbox="1973 220 2159 277">設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

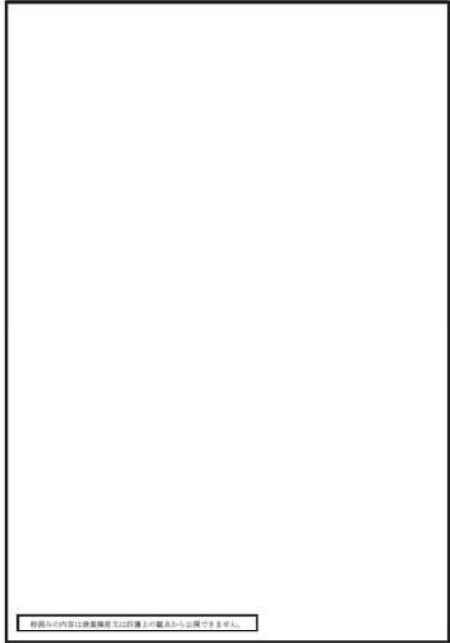
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

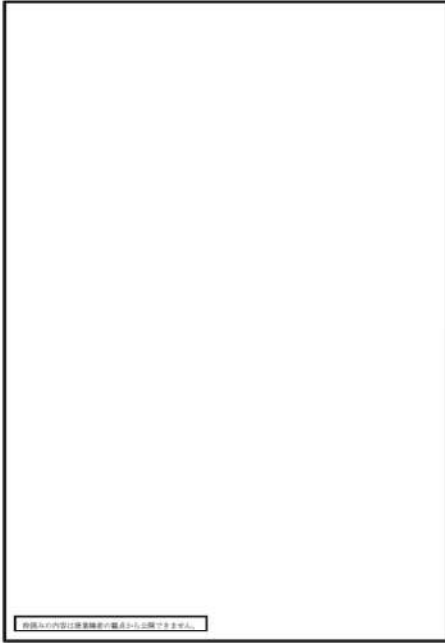
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>



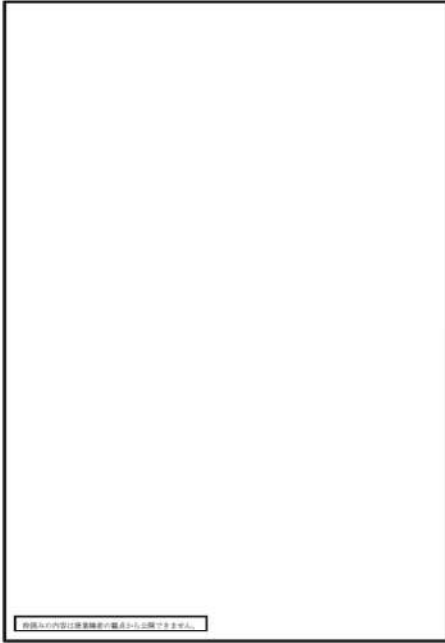
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="725 783 965 799">※図中の内容は標準規格又は設備上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1977 156 2085 177">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1977 188 2085 209">■設計の相違</p> <p data-bbox="1977 220 2159 277">設備構成及び機器配置の相違。</p>

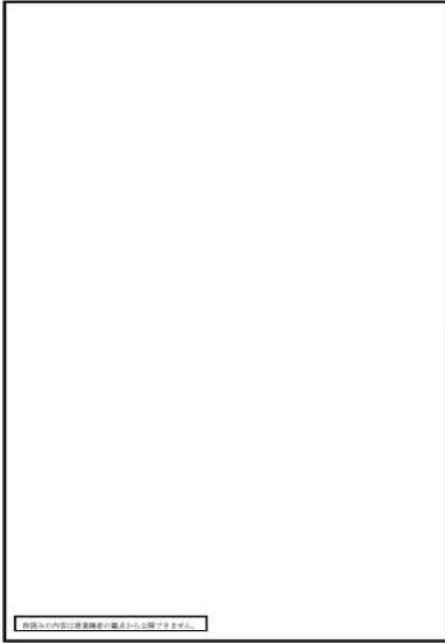
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="723 783 913 799">図面内の内容は最新機種の機長に準拠しております。</p>		<p data-bbox="1975 156 2085 177">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1975 188 2085 209">■設計の相違</p> <p data-bbox="1975 220 2157 277">設備構成及び機器配置の相違。</p>

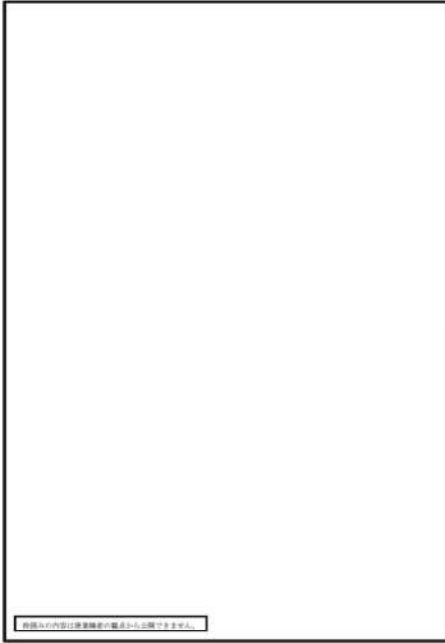
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

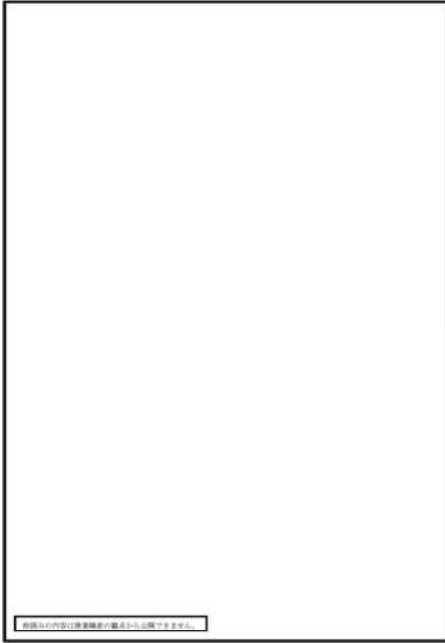
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

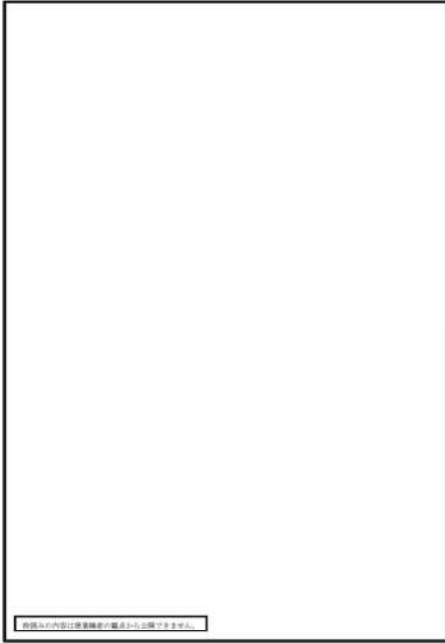
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>



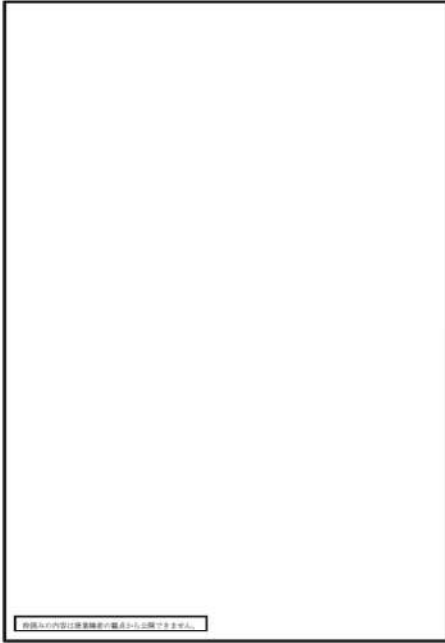
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

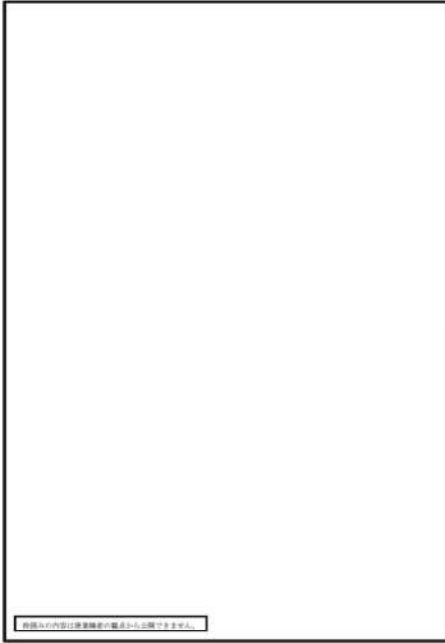
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

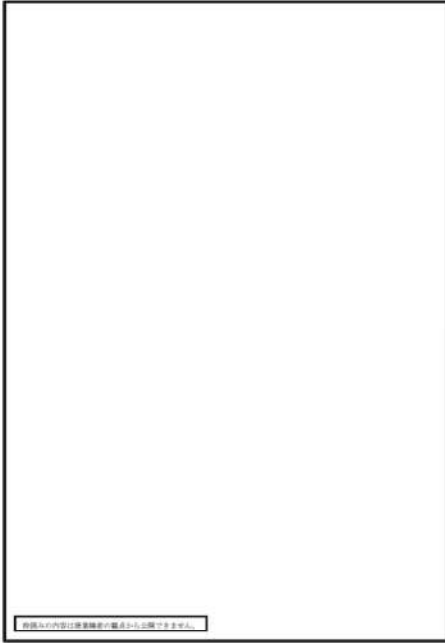
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

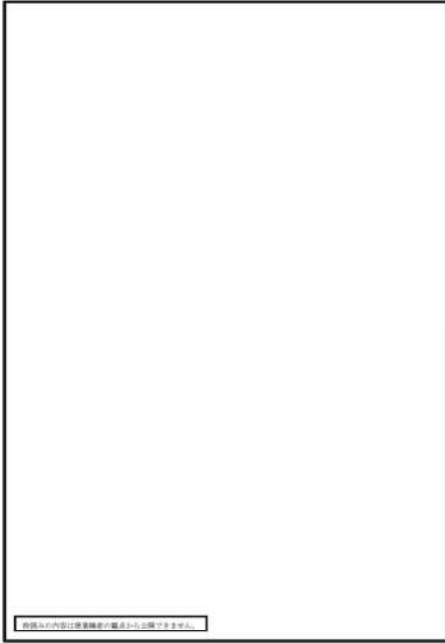
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>



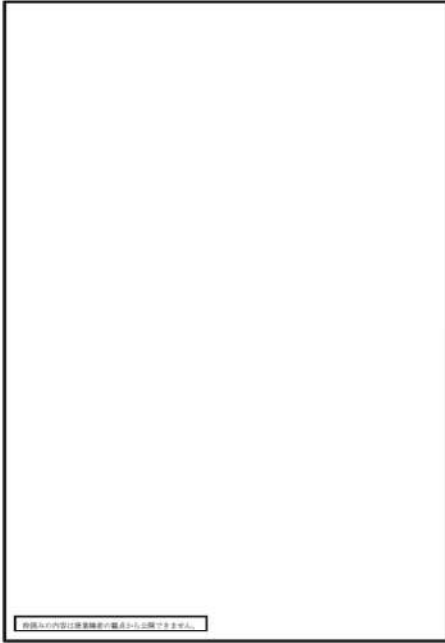
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

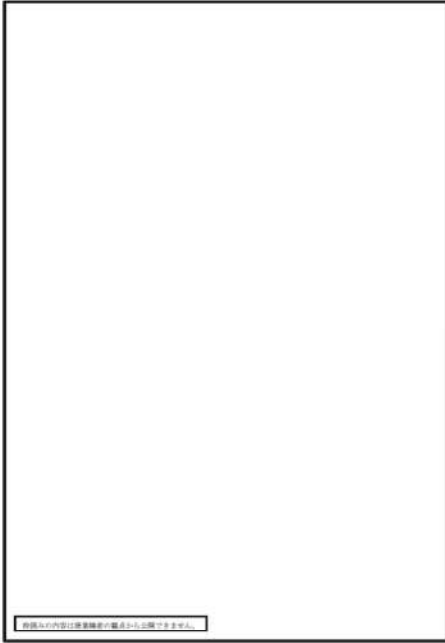
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

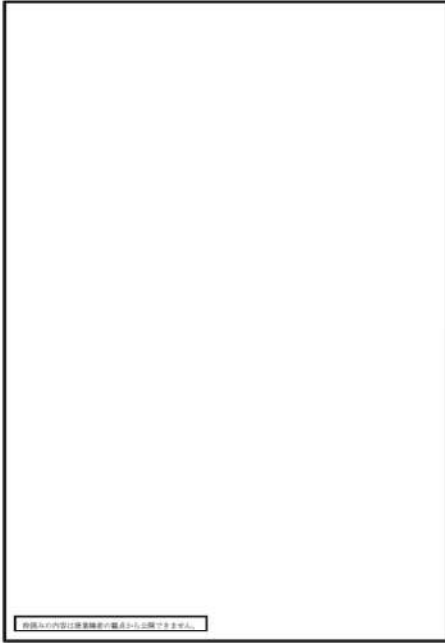
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備構成及び機器配置の相違。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-3 添付資料2 火災荷重の算出方法について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">火災荷重の算出方法について</p> <p>1. 火災荷重及び等価時間の算出方法について                      下記(1)～(5)のプロセスにより火災荷重及び等価時間を算出する。</p> <p>(1) 火災区域（区画）の設定                      重大事故等対処施設が設置されている建屋等において、<b>重大事故等対処施設</b>の設置状況や隔壁、貫通部及び扉の設置状況を考慮し、火災区域（区画）を設定した。</p> <p>(2) 火災区域（区画）内の可燃物の選定                      火災区域（区画）内で、可燃物として抽出すべき対象物をあらかじめ<b>選定</b>した。                      具体的には、原子力発電所<b>内</b>で使用されている可燃物として、潤滑油、グリース、フィルタ、電気盤、ケーブルの他、現場で保管・管理している資機材（<b>持込可燃物</b>）について、不燃性材料以外の難燃性材料も含め、可燃物として選定した。</p> <p>(3) 火災区域（区画）内の可燃物の調査                      (2)で選定した可燃物の種類、量、寸法及び火災区域（区画）の面積等について現場調査及び図面等により調査した。</p> <p>(4) 発熱量の積み上げ                      可燃物の種類及び物量の調査結果から、各可燃物の発熱量を、NFPA（National Fire Protection Association）ハンドブック等から引用した熱含有率（kcal/kg）を乗じて、算出した。                      可燃物<b>毎</b>に発熱量を算出したものを<b>全て</b>積み上げ、火災区域（区画）<b>毎</b>の総発熱量を求めた。</p> <p>(5) 火災荷重及び等価時間の算出                      火災区域（区画）<b>毎</b>に積み上げた総発熱量を面積で割ることで火災荷重を、火災荷重を燃焼率<sup>※1</sup>で割ることで等価時間を算出した。算出式については、以下の通りである。（内部火災影響評価ガイドより抜粋）</p> <p>◆等価時間（h）＝火災荷重／燃焼率                      ＝発熱量／火災区域（区画）の面積／燃焼率</p> <p>ここで、                      火災荷重＝発熱量／火災区画の面積                      燃焼率：単位時間単位面積当たりの燃焼量（908,095kJ/m<sup>2</sup>/h）                      発熱量：火災区画内の総発熱量（kJ）                      ＝可燃性物質の量×熱含有量                      可燃性物質の量：火災区画内の各種可燃性物質の量（m<sup>3</sup> または kg）                      火災区画の面積：火災区画の床面積（m<sup>2</sup>）</p> <p>※1：燃焼率としては、NFPAハンドブックのFire Protection</p>	<p style="text-align: center;">【対応資料なし】</p>	<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">火災荷重の算出方法について</p> <p>1. 火災荷重及び等価時間の算出方法について                      下記(1)～(5)のプロセスにより火災荷重及び等価時間を算出する。</p> <p>(1) 火災区域（区画）の設定                      重大事故等対処施設が設置される建屋等において、これら設備の設置状況や隔壁、貫通部及び扉の設置状況を考慮し、火災区域（区画）を設定した。</p> <p>(2) 火災区域（区画）内の可燃物の選定                      火災区域（区画）内で、可燃物として抽出すべき対象物をあらかじめ<b>設定</b>した。                      具体的には、原子力発電所<b>で</b>使用されている可燃物として、潤滑油、グリース、フィルタ、電気盤、ケーブルの他、現場で保管・管理している資機材（<b>常設物</b>）について、不燃性材料以外の難燃性材料も含め、可燃物として選定した。</p> <p>(3) 火災区域（区画）内の可燃物の調査                      (2)で選定した可燃物の種類、量、寸法及び火災区域（区画）の面積等について現場調査及び図面等により調査した。</p> <p>(4) 発熱量の積み上げ                      可燃物の種類及び物量の調査結果から、各可燃物の発熱量を、NFPA（National Fire Protection Association）ハンドブック等から引用した熱含有率（kcal/kg）を乗じて、算出した。                      可燃物<b>ごと</b>に発熱量を算出したものを<b>すべて</b>積み上げ、火災区域（区画）<b>ごと</b>の総発熱量を求めた。</p> <p>(5) 火災荷重及び等価時間の算出                      火災区域（区画）<b>ごと</b>に積み上げた総発熱量を面積で割ることで火災荷重を、火災荷重を燃焼率<sup>※1</sup>で割ることで等価時間を算出した。算出式については、以下の通りである（内部火災影響評価ガイドより抜粋）。</p> <p>◆等価時間（h）＝火災荷重／燃焼率                      ＝発熱量／火災区域（区画）の面積／燃焼率</p> <p>ここで、                      火災荷重＝発熱量／火災区画の面積                      燃焼率：単位時間単位面積あたりの燃焼量（908,095kJ/m<sup>2</sup>/h）                      発熱量：火災区画内の総発熱量（kJ）                      ＝可燃性物質の量×熱含有量                      可燃性物質の量：火災区画内の各種可燃性物質の量（m<sup>3</sup>又はkg）                      火災区画の面積：火災区画の床面積（m<sup>2</sup>）</p> <p>※1 燃焼率としては、NFPAハンドブックのFire Protection</p>	<p>【女川】                      ■記載充実                      （大飯参照）</p> <p>【大飯】                      ■設計の相違                      本添付資料の主な相違は建屋設計及び火災荷重の相違によるものである、大飯も泊も火災荷重算出及び等価火災時間の評価は同じであり、相違はない。</p> <p>【大飯】                      ■記載方針の相違</p> <p>【大飯】                      ■運用の相違                      泊では持込可燃物については運用にて管理をしているため、相違している。</p> <p>【大飯】                      ■記載方針の相違</p> <p>【大飯】                      ■記載方針の相違</p>





赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>1.2 用語の定義                      本基準において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>(11)「火災区域」 耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域をいう。</p> <p>(12)「火災区画」 火災区域を細分化したものであって、耐火壁、隔離距離、固定式消火設備等により分離された火災防護上の区画をいう。</p> <p>2.3 火災の影響軽減                      2.3.1 安全機能を有する構築物、系統及び機器の重要度に応じ、それらを設置する火災区域又は火災区画内の火災及び隣接する火災区域又は火災区画における火災による影響に対し、以下の各号に掲げる火災の影響軽減のための対策を講じた設計であること。</p> <p>(1) 原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器を設置する火災区域については、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁によって他の火災区域から分離すること。</p> <p>(2) 原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器は、その相互の系統分離及びこれらに関する非安全系ケーブルとの系統分離を行うために、火災区画内又は隣接火災区画間の延焼を防止する設計であること。                      具体的には、火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルが次に掲げるいずれかの要件を満たしていること。</p>	<p style="text-align: center;">【対応資料なし】</p>	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>1.2 用語の定義                      本基準において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>(11)「火災区域」 耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域をいう。</p> <p>(12)「火災区画」 火災区域を細分化したものであって、耐火壁、隔離距離、固定式消火設備等により分離された火災防護上の区画をいう。</p> <p>2.3 火災の影響軽減                      2.3.1 安全機能を有する構築物、系統及び機器の重要度に応じ、それらを設置する火災区域又は火災区画内の火災及び隣接する火災区域又は火災区画における火災による影響に対し、以下の各号に掲げる火災の影響軽減のための対策を講じた設計であること。</p> <p>(1) 原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器を設置する火災区域については、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁によって他の火災区域から分離すること。</p> <p>(2) 原子炉の高温停止及び低温停止に係る安全機能を有する構築物、系統及び機器は、その相互の系統分離及びこれらに関する非安全系ケーブルとの系統分離を行うために、火災区画内又は隣接火災区画間の延焼を防止する設計であること。                      具体的には、火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルが次に掲げるいずれかの要件を満たしていること。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載充実                      (大飯参照)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」(抜粋)</p> <p>5. 火災影響評価の手順                  「火災区域／火災区画の設定」では、火災影響評価の対象となる建屋を、火災区域に分割し、さらに必要に応じて火災区画に細分化する。火災区域は、耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域（部屋）である。火災区画は全周囲を耐火壁で囲まれている必要は必ずしもなく、隔壁や扉の配置状況を目安に設定する。</p> <p>6. 1 火災区域及び火災区画の設定                  6. 1. 1 火災区域の設定                  火災による影響評価を効率的に実施するため、建屋内を火災区域に分割する。火災区域は、耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域であり、下記により設定する。                  ① 建屋ごとに、耐火壁（耐火性能を持つコンクリート壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパなど）により囲われた区域を火災区域として設定する。ただし、屋外に設置される設備に対しては、附属設備も含めて火災区域とみなす。                  ② 系統分離されて配置されている場合には、それを考慮して火災区域を設定する。</p> <p>6. 1. 2 火災区画の設定                  火災区域を分割し、火災区画を設定する。火災区画の範囲は、原子炉の安全停止に係る系統分離等に応じて設定する。図6.4に概念を示す。</p>		<p>「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」(抜粋)</p> <p>5. 火災影響評価の手順                  「火災区域／火災区画の設定」では、火災影響評価の対象となる建屋を、火災区域に分割し、さらに必要に応じて火災区画に細分化する。火災区域は、耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域（部屋）である。火災区画は全周囲を耐火壁で囲まれている必要は必ずしもなく、隔壁や扉の配置状況を目安に設定する。</p> <p>6. 1 火災区域及び火災区画の設定                  6. 1. 1 火災区域の設定                  火災による影響評価を効率的に実施するため、建屋内を火災区域に分割する。火災区域は、耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域であり、下記により設定する。                  ① 建屋ごとに、耐火壁（耐火性能を持つコンクリート壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパなど）により囲われた区域を火災区域として設定する。ただし、屋外に設置される設備に対しては、附属設備も含めて火災区域とみなす。                  ② 系統分離されて配置されている場合には、それを考慮して火災区域を設定する。</p> <p>6. 1. 2 火災区画の設定                  火災区域を分割し、火災区画を設定する。火災区画の範囲は、原子炉の安全停止に係る系統分離等に応じて設定する。図6.4に概念を示す。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>41-4 火災感知設備（資料3）</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 火災感知器選定の考え方</p> <p>3. 火災感知器の設置</p> <p>4. 火災受信機盤</p> <p>4.1 火災感知設備の電源確保</p> <p>4.2 火災感知設備の中央制御室での監視</p> <p>5. 火災感知設備の地震時の機能維持</p> <p>6. 火災感知設備の試験検査</p>	<p>41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域 又は火災区画の火災感知設備について</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 要求事項</p> <p>3. 火災感知設備の概要</p> <p>3.1. 火災感知設備の火災感知器について</p> <p>3.2. 火災感知設備の受信機について</p> <p>3.3. 火災感知設備の電源について</p> <p>3.4. 火災感知設備の中央制御室等での監視について</p> <p>3.5. 火災感知設備の耐震設計について</p> <p>3.6. 火災感知設備に対する試験検査について</p>	<p>41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域 又は火災区画の火災感知設備について</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 要求事項</p> <p>3. 火災感知設備の概要</p> <p>3.1. 火災感知設備の火災感知器について</p> <p>3.2. 火災感知設備の受信機について</p> <p>3.3. 火災感知設備の電源について</p> <p>3.4. 火災感知設備の中央制御室での監視について</p> <p>3.5. 火災感知設備の耐震設計について</p> <p>3.6. 火災感知設備に対する試験検査について</p>	<p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>
<p>添付資料1 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（抜粋）</p>	<p>添付資料1 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（抜粋）</p>	<p>添付資料1 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（抜粋）</p>	<p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p>
<p>添付資料5 光ファイバケーブルを利用した感知器の設備仕様について</p>	<p>添付資料2 女川原子力発電所2号炉 重大事故等対処施設における火災感知器の基本設置方針について</p>	<p>添付資料2 泊発電所3号炉 重大事故等対処施設における火災感知器の基本設置方針について</p>	<p>【大阪】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>
<p>添付資料2 火災感知器配置図</p>	<p>添付資料3 女川原子力発電所2号炉 重大事故等対処施設における火災感知器の配置を明示した図面</p>	<p>添付資料3 泊発電所3号炉 重大事故等対処施設における火災感知器の配置を明示した図面</p>	
<p>添付資料3 防爆型電気機器の使用</p>	<p>添付資料4 女川原子力発電所2号炉 重大事故等対処施設のうち屋外設備の火災感知範囲について</p>	<p>添付資料4 泊発電所3号炉 重大事故等対処施設のうち屋外設備の火災感知範囲について</p>	
<p>添付資料4 原子炉格納容器内に設置する火災感知器について</p>			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>火災感知設備</p>	<p style="text-align: right;">41-4</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について</p> <p>1. 概要            女川原子力発電所2号炉における重大事故等対処施設への火災の影響を限定するように、早期に火災を感知するために設置する火災感知設備について以下に示す。</p> <p>2. 要求事項            「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下、「火災防護に係る審査基準」という。）における火災感知設備の要求事項を以下に示す。</p>	<p style="text-align: right;">41-4</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について</p> <p>1. 概要            泊発電所3号炉における重大事故等対処施設への火災の影響を限定するように、早期に火災を感知するために設置する火災感知設備について以下に示す。</p> <p>2. 要求事項            「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下、「火災防護に係る審査基準」という。）における火災感知設備の要求事項を以下に示す。</p>	<p>【大飯】            ■記載内容の相違            （女川実績の反映）</p> <p>【女川】            ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】            ■記載内容の相違            （女川実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>①各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できる場所に設置すること。</p> <p>②火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講じること。</p> <p>③外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④中央制御室等で適切に監視できる設計であること。</p>	<p>2.2 火災の感知・消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>①各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できるよう固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等（感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。）をそれぞれ設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p> <p>②感知器については消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第23条第4項に従い、感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年自治省令第17号）第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。</p> <p>③外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④中央制御室で適切に監視できる設計であること。</p>	<p>【大阪】</p> <p>■記載内容の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 概要</p> <p>火災が発生した場合に、重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災を早期に感知し、重大事故等対処施設に対する火災の影響を限定するために火災感知設備を設置する。火災感知設備は、周囲の環境条件等を考慮して設置する火災感知器と、中央制御室での火災の監視等の機能を有する受信機を含む火災受信機盤等により構成される。</p> <p>2. 火災感知器選定の考え方</p> <p>原子力発電所で想定される火災は、ポンプ等の潤滑油やケーブルの火災であり、原子力発電所特有の火災が想定される箇所はなく、一般施設で使用されている火災感知設備で感知可能である。</p>	<p>2.2.2 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に示すように、地震等の自然現象によっても、火災感知及び消火の機能、性能が維持される設計であること。</p> <p>(1) 凍結するおそれがある消火設備は、凍結防止対策を講じた設計であること。</p> <p>(2) 風水害に対して消火設備の性能が著しく阻害されない設計であること。</p> <p>(3) 消火配管は、地震時における地盤変位対策を考慮した設計であること。</p> <p>本資料では、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画への火災感知設備の設置方針を示す。</p> <p>3. 火災感知設備の概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉において火災が発生した場合に、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に感知するために、要求事項に応じた「火災感知設備」を設置する。</p> <p>「火災感知設備」は、周囲の環境条件を考慮して設置する「火災感知器」と、中央制御室等での火災の監視等の機能を有する「受信機」を含む火災受信機盤等により構成される。女川原子力発電所2号炉に設置する「火災感知器」及び「受信機」について、以下に示す。</p> <p>3.1. 火災感知設備の火災感知器について</p> <p>火災感知器は、早期に火災を感知するため、火災感知器の取付面高さ、火災感知器を設置する周囲の温度、湿度及び空気流等の環境条件を考慮して設置する。</p> <p>女川原子力発電所2号炉の発電用原子炉施設内で発生する火災としては、ポンプに内包する油やケーブルの火災であり、原子力発電所特有の火災条件が想定される箇所はなく、病院等の施設で使用されている火災感知器を消防法に準じて設置することにより、十分に火災を感知することが可能である。</p>	<p>2.2.2 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に示すように、地震等の自然現象によっても、火災感知及び消火の機能、性能が維持される設計であること。</p> <p>(1) 凍結するおそれがある消火設備は、凍結防止対策を講じた設計であること。</p> <p>(2) 風水害に対して消火設備の性能が著しく阻害されない設計であること。</p> <p>(3) 消火配管は、地震時における地盤変位対策を考慮した設計であること。</p> <p>本資料では、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画への火災感知設備の設置方針を示す。</p> <p>3. 火災感知設備の概要</p> <p>泊発電所3号炉において火災が発生した場合に、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に感知するために、要求事項に応じた「火災感知設備」を設置する。</p> <p>「火災感知設備」は、周囲の環境条件を考慮して設置する「火災感知器」と、中央制御室での火災の監視等の機能を有する「受信機」を含む火災受信機盤等により構成される。泊発電所3号炉に設置する「火災感知器」及び「受信機」について、以下に示す。</p> <p>3.1. 火災感知設備の火災感知器について</p> <p>火災感知器は、早期に火災を感知するため、火災感知器の取付面高さ、火災感知器を設置する周囲の温度、湿度及び空気流等の環境条件を考慮して設置する。</p> <p>泊発電所3号炉の発電用原子炉施設内で発生する火災としては、ポンプに内包する油やケーブルの火災であり、原子力発電所特有の火災条件が想定される箇所はなく、病院等の施設で使用されている火災感知器を消防法に準じて設置することにより、十分に火災を感知することが可能である。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映；着色せず)</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴い火災の監視場所を明確化した。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>火災感知器には、煙、熱、炎を感知するものがあり、煙感知器、熱感知器、炎感知器に区分される。火災感知器による早期感知の観点から、設置環境等についてそれぞれ制約はあるものの、次表の特徴に示すとおり、炎が生じる前のくん焼状態の火災から感知できる煙感知器及び炎が生じた時点で火災を感知できる炎感知器は、熱を感知する熱感知器より優位性がある。</p> <p>審査基準（参考）では、早期感知のために異なる種類の感知器の設置を、誤作動防止のためにアナログ式の感知器の設置を求めている。炎感知器はアナログ式のものがないが、上述するように火災の早期感知の観点で熱感知器より優位性があることから、誤作動防止の他の対策を講じることで火災感知器の選定対象に含め、アナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、またはアナログ式でない炎感知器から、異なる種類の感知器を組み合わせて設置する設計とする。</p> <p>なお、アナログ式の火災感知器は、平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができる設計とする。</p>			<p>【大阪】</p> <p>■記載内容の相違                      （女川実績の反映：着色せず）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p style="text-align: center;"><b>火災感知器の特徴</b></p> <table border="1" data-bbox="174 183 611 821"> <thead> <tr> <th>感知器の種類</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熱感知器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災発生時の熱(感知器周辺の温度上昇)を感知して、警報を発する。</li> <li>実際の温度上昇を感知して警報を発するため、煙感知器と比較して、誤作動要因が少なく、煙感知器の設置が適さない多層構造等や炎感知器の設置が適さない障害物により視野角が確保できない場所でも使用できる。</li> <li>熱を感知して警報を発するため、警報発信時には出火状態となっており、早期に火災を感知する性能は、煙感知器及び炎感知器に及ばない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものがある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>煙感知器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災時に発生する煙を感知して警報を発する。</li> <li>火災が本格化する前から発生する煙を感知するため、熱感知器及び炎感知器より、早期感知に優位性がある。</li> <li>湿度及び塵埃によって誤作動するため、環境条件によっては設置できない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものがある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>炎感知器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>炎から発生する赤外線又は紫外線を感知して警報を発する。</li> <li>炎が生じる前のくも状態の火災は感知できないが、熱感知器及び煙感知器のように火災源から感知器への熱及び煙の到達遅れ時間が存在せず、炎が生じた時点ですぐに感知できるため早期感知の優位性がある。</li> <li>煙や熱が拡散してしまう大空間での火災感知が可能であるが、障害物により視野角が確保できない場所への設置は適さない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものはない。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(火災の早期感知)</p> <p>火災感知器を取り付ける高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件と、感知器を設置する火災区域に設置している重大事故等対処施設で想定される火災の性質を踏まえ、2種類の火災感知器を設置する。</p> <p>重大事故等対処施設を設置している火災区域の火災感知器の組み合わせは、以下を基本とし、火災の早期感知を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該火災区域内の重大事故等対処施設が電気盤またはケーブルの場合、電気盤の筐体内、ケーブルトレイ内に炎が留まることが想定されるため、煙感知器と熱感知器を設置。</li> <li>当該火災区域内の重大事故等対処施設が、火災防護対象のポンプ、集中設置された電気盤の場合、機器外部での火災も想定されるため、火災の早期感知の観点で、より優位性のある煙感知器と炎感知器を設置。ただし、他の機器等によって炎感知器の視野角が確保できない場合は、煙感知器と熱感知器を設置する。</li> </ul>	感知器の種類	特徴	熱感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災発生時の熱(感知器周辺の温度上昇)を感知して、警報を発する。</li> <li>実際の温度上昇を感知して警報を発するため、煙感知器と比較して、誤作動要因が少なく、煙感知器の設置が適さない多層構造等や炎感知器の設置が適さない障害物により視野角が確保できない場所でも使用できる。</li> <li>熱を感知して警報を発するため、警報発信時には出火状態となっており、早期に火災を感知する性能は、煙感知器及び炎感知器に及ばない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものがある。</li> </ul>	煙感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災時に発生する煙を感知して警報を発する。</li> <li>火災が本格化する前から発生する煙を感知するため、熱感知器及び炎感知器より、早期感知に優位性がある。</li> <li>湿度及び塵埃によって誤作動するため、環境条件によっては設置できない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものがある。</li> </ul>	炎感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎から発生する赤外線又は紫外線を感知して警報を発する。</li> <li>炎が生じる前のくも状態の火災は感知できないが、熱感知器及び煙感知器のように火災源から感知器への熱及び煙の到達遅れ時間が存在せず、炎が生じた時点ですぐに感知できるため早期感知の優位性がある。</li> <li>煙や熱が拡散してしまう大空間での火災感知が可能であるが、障害物により視野角が確保できない場所への設置は適さない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものはない。</li> </ul>	<p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画には、基本的に火災発生時に炎が生じる前の発煙段階から感知できる煙感知器を設置し、その他、蒸気及びガスの発生により煙感知器が誤作動する可能性のある火災区域又は火災区画には、熱感知器を設置する。</p>	<p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画には、基本的に火災発生時に炎が生じる前の発煙段階から感知できる煙感知器を設置し、その他、蒸気及びガスの発生により煙感知器が誤作動する可能性のある火災区域又は火災区画には、熱感知器を設置する。</p>	<p>【大阪】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映：着色せず)</p> <p>【大阪】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違                      (女川実績の反映：着色せず)</p>
感知器の種類	特徴										
熱感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災発生時の熱(感知器周辺の温度上昇)を感知して、警報を発する。</li> <li>実際の温度上昇を感知して警報を発するため、煙感知器と比較して、誤作動要因が少なく、煙感知器の設置が適さない多層構造等や炎感知器の設置が適さない障害物により視野角が確保できない場所でも使用できる。</li> <li>熱を感知して警報を発するため、警報発信時には出火状態となっており、早期に火災を感知する性能は、煙感知器及び炎感知器に及ばない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものがある。</li> </ul>										
煙感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災時に発生する煙を感知して警報を発する。</li> <li>火災が本格化する前から発生する煙を感知するため、熱感知器及び炎感知器より、早期感知に優位性がある。</li> <li>湿度及び塵埃によって誤作動するため、環境条件によっては設置できない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものがある。</li> </ul>										
炎感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎から発生する赤外線又は紫外線を感知して警報を発する。</li> <li>炎が生じる前のくも状態の火災は感知できないが、熱感知器及び煙感知器のように火災源から感知器への熱及び煙の到達遅れ時間が存在せず、炎が生じた時点ですぐに感知できるため早期感知の優位性がある。</li> <li>煙や熱が拡散してしまう大空間での火災感知が可能であるが、障害物により視野角が確保できない場所への設置は適さない。</li> <li>審査基準(参考)で誤作動防止のために求めている、アナログ式のものはない。</li> </ul>										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

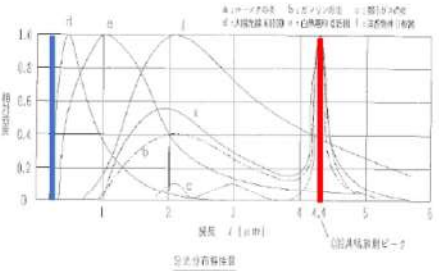

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p>ただし、屋外エリアは、火災による煙は周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難であることから、アナログ式の熱感知器とアナログ式でない炎感知器を選定することとなる。</p> <p>なお、熱感知器については、火災による熱（暖められた空気）が大気中に拡散することから火災が想定される箇所の熱を直接感知できる位置に感知器を設置する配置上の考慮が必要である。放射線量が高い場所は、アナログ式の火災感知器の放射線による故障が想定される。このため、火災感知器の故障を防止する観点から、アナログ式でない火災感知器を選定する。</p> <p>発火性又は引火性の雰囲気を形成するおそれのある場所は、火災感知器作動時の着火を防止するため、アナログ式でない防爆型の火災感知器を選定する。</p> <p>（火災感知設備の誤作動防止）</p> <p>煙感知器は、アナログ式とする。アナログ式の煙感知器は蒸気等が充満する場所には設置せず、環境条件に応じた火災信号を発信させることで、火災感知設備の誤作動防止を図る。</p> <p>屋外につながる箇所（海水管トンネルエリア）に設置する場合は、設置位置、型式（防水仕様等）を考慮し、火災感知設備の誤作動を防止する。</p> <p>熱感知器は、アナログ式とする。アナログ式の熱感知器で、環境条件に応じた火災信号を発信させ、作動温度を周囲温度より高い温度で作動するものを選定することで、火災感知設備の誤作動防止を図る。</p> <p>屋外に熱感知器を設置する場合は、防水型のアナログ式とし、感知器内部への浸水によって誤作動することを防止する。</p>	<p>さらに、「固有の信号を発する異なる種類の火災感知器」の設置要求を満足するため、既存の火災感知器に加えて熱感知器又は煙感知器を組み合わせる。設置にあたっては、消防法に準じた条件で設置する。</p> <p>これらの組合せは、平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式とする。</p> <p>周囲の環境条件から、アナログ式の熱感知器又は煙感知器を設置することが適さない箇所の火災感知器等の選定方法を以下に示す。なお、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、建屋内に設置する火災感知器設備については作動した火災感知器を一つずつ特定できる機能を有する設計とする。</p>	<p>さらに、「固有の信号を発する異なる種類の火災感知器」の設置要求を満足するため、既存の火災感知器に加えて熱感知器又は煙感知器を組み合わせる。設置にあたっては、消防法に準じた条件で設置する。</p> <p>これらの組合せは、平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式とする。</p> <p>周囲の環境条件から、アナログ式の熱感知器又は煙感知器を設置することが適さない箇所の火災感知器等の選定方法を以下に示す。なお、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画のうち、建屋内に設置する火災感知器設備については作動した火災感知器を一つずつ特定できる機能を有する設計とする。</p>	<p>【大阪】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違        （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大阪】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違        （女川実績の反映：着色せず）</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">非火災報を発信させる一般的な要因*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>煙感知器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの煙</li> <li>・調理の煙</li> <li>・チリ、ほこり</li> <li>・湯気、蒸気</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>熱感知器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排気、燃焼ガス</li> <li>・直射日光（外光）</li> <li>・殺虫剤散布</li> <li>・腐食性ガス</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>炎感知器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房の熱（空調）</li> <li>・振動、衝撃</li> <li>・腐食性ガス</li> <li>・調理、照明の熱</li> <li>・ボイラーの熱</li> <li>・風雨</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外光（太陽光）</li> <li>・電車の架線とパンタグラフ間の火花</li> <li>・車両のヘッドランプの光</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>			非火災報を発信させる一般的な要因*		煙感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの煙</li> <li>・調理の煙</li> <li>・チリ、ほこり</li> <li>・湯気、蒸気</li> </ul>	熱感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排気、燃焼ガス</li> <li>・直射日光（外光）</li> <li>・殺虫剤散布</li> <li>・腐食性ガス</li> </ul>	炎感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房の熱（空調）</li> <li>・振動、衝撃</li> <li>・腐食性ガス</li> <li>・調理、照明の熱</li> <li>・ボイラーの熱</li> <li>・風雨</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外光（太陽光）</li> <li>・電車の架線とパンタグラフ間の火花</li> <li>・車両のヘッドランプの光</li> </ul>	
非火災報を発信させる一般的な要因*													
煙感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの煙</li> <li>・調理の煙</li> <li>・チリ、ほこり</li> <li>・湯気、蒸気</li> </ul>												
熱感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排気、燃焼ガス</li> <li>・直射日光（外光）</li> <li>・殺虫剤散布</li> <li>・腐食性ガス</li> </ul>												
炎感知器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房の熱（空調）</li> <li>・振動、衝撃</li> <li>・腐食性ガス</li> <li>・調理、照明の熱</li> <li>・ボイラーの熱</li> <li>・風雨</li> </ul>												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外光（太陽光）</li> <li>・電車の架線とパンタグラフ間の火花</li> <li>・車両のヘッドランプの光</li> </ul>												
<p>※自動火災報知設備の非火災報対策マニュアル        （実務編）第3版より</p>													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>アナログ式でない炎感知器には、赤外線を感知する方式と紫外線を感知する方式の2種類がある。</p> <p>赤外線を感知する方式は、炎に含まれる特有の波長と炎のちらつきを検出するものであり、下図に示すとおり物質の燃焼時に強く現れるCO<sub>2</sub>共鳴放射（約4.4μm）の波長を検出するものである。</p> <p>一方、紫外線を感知する方式は、太陽光、炎、電球の光、溶接の火花などに含まれる微弱な紫外線の量を感知するもので、高感度である。</p> <p>原子力発電所で想定される火災は、ポンプ等の潤滑油やケーブルの火災であることから、高感度ではあるが、太陽光をはじめ多種多様な紫外線に反応する紫外線を感知する方式よりも、物質燃焼時の炎からの赤外線のCO<sub>2</sub>共鳴放射の波長を感知する赤外線を感知する方式を採用し、炎以外の赤外線による誤作動を防止する。</p>  <p>屋内に赤外線方式の炎感知器を設置する場合、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することで、誤作動を防止する。</p> <p>屋外に赤外線方式の炎感知器を設置する場合は、太陽光の影響を防ぐために下図に示すように視野角への影響を考慮した遮光板の設置や防水型の炎感知器を採用することにより、誤作動を防止する。</p>  <p>屋外の設置の例      屋内の設置の例</p>			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      (女川実績の反映:着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 火災感知器の設置</p> <p>2項の考えに従い、添付資料1,2のとおり、火災感知器を設置する。</p> <p>ただし、可燃物の状況や、当該火災区域の放射線の状況等を踏まえ、以下に示す火災区域又は火災区画は、上記とは異なる設計とする。</p> <p>防爆型の電気品の使用に関しては、添付資料3に示す。</p>	<p>○蓄電池室</p> <p>蓄電池室は、蓄電池充電中に少量の水素を発生することから、換気空調設備を設置しており、安定した室内環境を維持しているが、万が一の水素濃度の上昇<sup>*1</sup>を考慮し、防爆型煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。</p> <p>防爆型の煙感知器及び熱感知器は非アナログ式しか製造されていないが、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型煙感知器はアナログ式煙感知器と同様に、炎が生じる前の発煙段階から煙の早期感知が可能である。</p>		<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違        (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違        泊は、蓄電池室は多重化し非常用電源から受電している換気空調設備による換気により、「電気設備に関する技術基準を定める省令」第六十九条及び「工場電気設備防爆指針」で要求される爆発性雰囲気とはならないため、当該の火災区域又は火災区画に設置する電気・計装品は防爆型としない設計である。このため、蓄電池室にはアナログ式の煙とアナログ式の熱感知器を設置する設計としている。        (大飯と同様)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>また、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型熱感知器については、蓄電池室は換気空調設備により安定した室内環境を維持していることから、通常の熱感知器と同様、周囲温度を考慮した作動温度を設定することによって、早期の火災感知及び誤作動の防止を図る。</p> <p>※1 蓄電池室は、換気空調設備の機械換気により、水素濃度の上昇を防止する設計である。</p> <p>○海水ポンプ室（補機ポンプエリア）及びガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリア</p> <p>海水ポンプ室（補機ポンプエリア）及びガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリアは屋外であるため、火災による煙は周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難である。</p> <p>このため、区域全体の火災を感知するために、非アナログ式の炎感知器及びアナログ式の赤外線感知機能を備えた熱感知カメラを監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する。これらはそれぞれ誤作動防止対策として以下の機能を有する。</p> <p>・炎感知器：平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象（急激な環境変化）を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合のみ発報する）を採用し誤作動防止を図る。さらに、降水等の浸入により火災感知器の故障が想定されるため屋外仕様を採用する設計とする。なお、太陽光の影響については、火災発生時の特有な波長帯のみを感知することで誤作動を防止する設計とする。</p>	<p>○代替非常用発電機エリア</p> <p>代替非常用発電機エリアは屋外であるため、火災による煙は周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難である。</p> <p>このため、区域全体の火災を感知するために、非アナログ式の炎検出装置及びアナログ式の赤外線感知機能を備えた熱感知カメラを監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する。これらはそれぞれ誤作動防止対策として以下の機能を有する。</p> <p>・炎検出装置：平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象（急激な環境変化）を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合のみ発報する）を採用し誤作動防止を図る。さらに、降水等の浸入により火災感知器の故障が想定されるため屋外仕様を採用する設計とする。なお、太陽光の影響については、火災発生時の特有な波長帯のみを感知することで誤作動を防止する設計とする。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>屋外に設置している設備の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>泊は使用している機器を明確化した。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違（女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>泊は使用している機器を明確化した。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違（女川実績の反映：着色せず）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


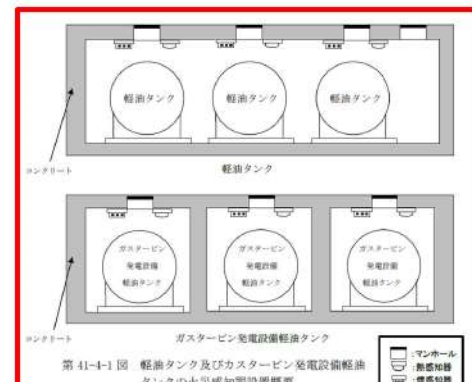
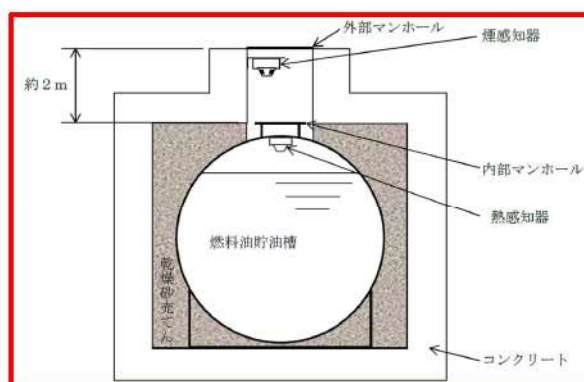
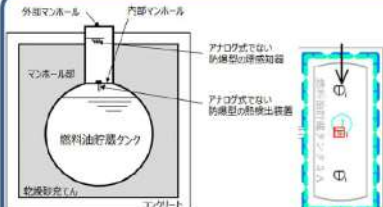
泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリア（設計基準対象施設と共通）</p> <p>燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアは、タンク内部の燃料が気化することを考慮し、アナログ式でない防爆型の熱感知器とアナログ式でない防爆型の炎感知器を設置する設計とする。</p> <p>燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアは、タンク内部の燃料が気化することを考慮し、アナログ式でない防爆型の煙感知器とアナログ式でない防爆型の熱感知器を設置する設計とする。</p> <p>大飯の設置許可申請書（添付書類八）適正化版より参考掲載</p>	<p>・熱感知カメラ：アナログ式の熱感知カメラを使用することによって、誤作動防止を図る。また、サーモグラフィにより、火源の早期確認・判断誤り防止を図る。さらに、屋外に設置することから降水等の浸入により火災感知器の故障が想定されるため屋外仕様を採用する設計とする。なお、熱感知カメラの感知原理は赤外線による熱監視であるが、感知する対象が熱であることから炎感知器とは異なる種類の感知器と考える。</p> <p>○軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンク</p> <p>軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは屋外地下貯蔵式のタンクであり、タンク内部の軽油が気化した状態で、万一タンク室に漏えいするような故障が発生した場合には軽油タンクエリアが引火性又は発火性の雰囲気形成する可能性もあるため、火災を早期に感知できるよう、非アナログ式の防爆型で、かつ固有の信号を発する異なる種類の煙感知器及び熱感知器を設置する。</p>	<p>・熱感知カメラ：アナログ式の熱感知カメラを使用することによって、誤作動防止を図る。また、サーモグラフィにより、火源の早期確認・判断誤り防止を図る。さらに、屋外に設置することから降水等の浸入により火災感知器の故障が想定されるため屋外仕様を採用する設計とする。なお、熱感知カメラの感知原理は赤外線による熱監視であるが、感知する対象が熱であることから炎感知器とは異なる種類の感知器と考える。</p> <p>○ディーゼル発電機燃料油貯油槽</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽は屋外地下貯蔵式のタンクであり、また、引火性又は発火性の雰囲気形成するおそれのある場所であるため、万が一の軽油燃料の気化を考慮し、火災を早期に感知できるよう、ディーゼル発電機燃料油貯油槽上部に非アナログ式の防爆型で、かつ固有の信号を発する異なる種類の煙感知器及び熱感知器を設置する。</p>	<p>【大飯】        ■記載内容の相違        (女川実績の反映：着色せず)</p> <p>【女川・大飯】        ■設計の相違        防爆型の感知器を設置するエリアの相違。</p> <p>【女川】        ■設計の相違        泊は、乾燥砂に覆われた地下構造である。</p> <p>【大飯】        ■設計の相違        感知器の組み合わせが相違。ただし、火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請における基本設計方針を踏まえ適正化した設置許可添付書類八に記載の内容と同様の設計としている。</p> <p>【大飯】        ■記載方針の相違        (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】        ■記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>アナログ式でない防爆型の熱感知器は、<b>燃料油貯蔵タンク及び重油タンク</b>の温度を有意に変動させる加熱源等を設置しないことで、誤作動を防止する設計とする。</p> <p>アナログ式でない防爆型の炎感知器は、外光があたらないタンク内に設置することで、誤作動を防止する設計とする。</p>	<p>これらの防爆型感知器は非アナログ式であるが、<b>軽油タンク</b>室内には蒸気を発生する設備等はないため、蒸気等が充満するおそれはなく、非アナログ式の煙感知器であっても誤作動する可能性は低い。また、火災感知器の作動値を室温より高めに設定する非アナログ式の熱感知器であっても誤作動する可能性は低い。このため、火災発生リスクを低減する観点から、非アナログ式の防爆型の火災感知器を設置する設計とする。感知器設置の概要を第41-4-1図に示す。</p>	<p>これらの防爆型感知器は非アナログ式であるが、<b>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</b>内には蒸気を発生する設備等はないため、蒸気等が充満するおそれはなく、非アナログ式の煙感知器であっても誤作動する可能性は低い。また、火災感知器の作動値を室温より高めに設定する非アナログ式の熱感知器であっても誤作動する可能性は低い。このため、火災発生リスクを低減する観点から、非アナログ式の防爆型の火災感知器を設置する設計とする。感知器設置の概要を第41-4-1図に示す。</p>	<p>【女川・大飯】                  ■設計の相違                  防爆型の感知器を設置するエリアの相違                  【大飯】                  ■記載方針の相違                  (女川実績の反映:着色せず)</p>
<p>アナログ式でない防爆型の煙感知器は、塵埃及び水蒸気の影響を受けない場所に設置することで、誤作動を防止する設計とする。アナログ式でない防爆型の熱感知器は、燃料油貯蔵タンク及び重油タンクの温度を有意に変動させる加熱源等を設置しないことで、誤作動を防止する設計とする。</p> <p>大飯の設置許可申請書 (添付書類八) 適正化版より参考掲載</p>  <p>図1 燃料油貯蔵タンク、重油タンクの火災感知器設置概要図</p>	 <p>第41-4-1図 軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの火災感知器設置概要</p>	 <p>第41-4-1図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽の火災感知器設置概要図</p>	<p>【女川】                  ■設計の相違                  防爆型の感知器を設置するエリア及びタンク室内の構造の相違                  【大飯】                  ■設計の相違                  防爆型の感知器を設置するエリア及び感知器の種類との相違。ただし、火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請における基本設計方針を踏まえ適正化した設置許可添付書類八に記載の内容と同様の設計としている。</p>
 <p>第3-4-1図 燃料油貯蔵タンクエリアの火災感知器設置概要図</p> <p>○ : 熱検出装置 (防護)          □ : 煙感知器 (防護)          □ : 火災区域</p> <p>大飯発電所第3,4号機 火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請 補足説明資料 3-4 燃料油貯蔵タンク及び重油タンクエリアの火災感知器設計について より参考掲載</p>			

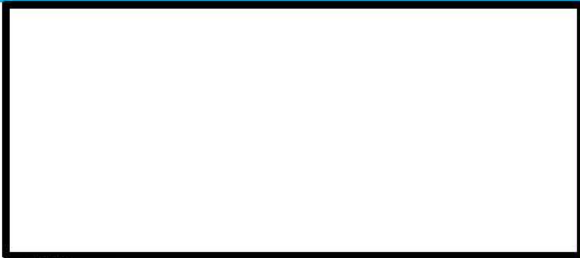


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>○ 燃料取替床等</p> <p>燃料取替床等は天井が高く、大空間となっているため、火災による熱が周囲に拡散することから、熱感知器による感知は困難である。このため、アナログ式の煙感知器と非アナログ式の炎感知器（赤外線）をそれぞれの監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p>	<p>○使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア等</p> <p>使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア等は天井が高く、大空間となっているため、火災による熱が周囲に拡散することから、熱感知器による感知は困難である。このため、アナログ式の煙感知器と非アナログ式の炎感知器（赤外線）をそれぞれの監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p> <p>ただし、天井が高いエリア以外については、アナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器を設置する設計とする。</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>炎感知器を設置するエリアの相違</li> <li>【大飯】</li> <li>■記載方針の相違</li> <li>（女川実績の反映）</li> <li>【女川】</li> <li>■設備の相違</li> <li>建屋構造の相違</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;"> </span> 火災区画</li> <li><span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> </span> 天井が高いエリア</li> <li><span style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> </span> 天井が低いエリア</li> <li><span style="color: red;">●</span> 写真撮影場所</li> <li><span style="color: blue;">↑</span> 写真撮影方向</li> </ul> <p>第41-4-2図：使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア 平面図</p>  <p style="text-align: center;">写真①</p>  <p style="text-align: center;">写真②</p> <p>第41-4-3図：使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリアの状況</p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載の充実</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 原子炉格納容器（設計基準対象施設と共通、添付資料4）</p> <p>原子炉格納容器には、アナログ式の煙感知器とアナログ式の熱感知器を設置する設計とする。</p> <p>ただし、比較的線量の高い原子炉格納容器ループ室及び加圧器室の熱感知器は、放射線による火災感知器の故障を防止するため、アナログ式でないものとする。アナログ式でない熱感知器は、原子炉格納容器の通常時の温度（約65℃以下）より高い温度で作動するものを選定することで、誤作動を防止する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ただし、原子炉格納容器ループ室、加圧器室、再生熱交換器室及び炉内計装用シンプル配管室のうち比較的線量の高い場所に設置する熱感知器は、放射線による火災感知器の故障を防止するため、アナログ式でないものとする。アナログ式でない熱感知器は、原子炉格納容器内の通常時の温度（約65℃以下）より高い温度で作動するものを選定することで、誤作動を防止する設計とする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>大飯の設置許可申請書（添付書類八）適正化版より参考掲載</p> </div>	<p>炎感知器は非アナログ式であるが、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象（急激な環境変化）を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る設計とする。さらに、感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する）を採用し誤作動防止を図る設計とする。</p> <p>○原子炉格納容器</p> <p>原子炉格納容器内の火災感知器は、環境条件や予想される火災の性質を考慮し、原子炉格納容器内には異なる2種類の感知器としてアナログ式の煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。</p> <p>なお、想定される火災源に対しては、さらなる安全性向上のため非アナログ式の熱感知器を設置する設計とする。</p>	<p>炎感知器は非アナログ式であるが、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象（急激な環境変化）を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る設計とする。さらに、感知原理に「赤外線式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を検知した場合にのみ発報する）を採用し誤作動防止を図る設計とする。</p> <p>○原子炉格納容器</p> <p>原子炉格納容器内の火災感知器は、環境条件や予想される火災の性質を考慮し、原子炉格納容器内には異なる種類の感知器としてアナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器又は非アナログ式の炎感知器から異なる種類の感知器を組み合わせて設置する設計とする。</p> <p>ただし、原子炉格納容器ループ室、加圧器室、炉内計装用シンプル配管室及び再生熱交換器室のうち比較的線量の高い場所に設置する熱感知器は、放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式とする。非アナログ式の熱感知器は、原子炉格納容器内の通常時の温度（約65℃以下）より高い温度で作動するものを選定することで、誤作動を防止する設計とする。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載方針の相違（女川実績の反映）</li> <li>【女川】</li> <li>■設計の相違</li> <li>検知原理の相違</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載方針の相違（女川実績の反映）</li> <li>【女川】</li> <li>■設計の相違</li> <li>設置する感知器の組み合わせ、及び非アナログ式の熱感知器を設置する場所の相違。</li> <li>【大飯】</li> <li>■設計の相違</li> <li>非アナログ式の熱感知器を設置する場所の相違。ただし、火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請における基本設計方針を踏まえ適正化した設置許可添付書類八に記載の内容と同様としている。</li> <li>【大飯】</li> <li>■記載表現の相違</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

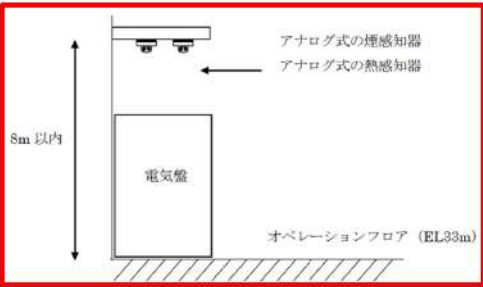
泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(水素の着火性に対する配慮)</p> <p>アナログ式の火災感知器は、火災を感知するプロセスにおいて火花を発生しない。一方、<b>アナログ式でない</b>感知器は、火災を感知するプロセスにおいて火花を発生させる可能性は否定できないため、<b>アナログ式でない火災感知器は、防爆型とする。</b></p>	<p>原子炉格納容器内は、通常運転中、窒素封入により不活性化しており、火災が発生する可能性がない。しかしながら、運転中の原子炉格納容器は、閉鎖した状態で長期間高温かつ高線量環境となることから、アナログ式の火災感知器が故障する可能性がある。このため、原子炉格納容器内の火災感知器は、起動中の窒素封入後に中央制御室内の受信機にて作動信号を除外する運用とする。</p> <p>プラント停止過程における原子炉格納容器内の火災感知器は、運転中の長期間高温かつ高線量環境で電子回路が故障している可能性があることから、アナログ式の煙感知器及び熱感知器は高温停止後の原子炉格納容器内点検において、速やかに取替える設計とする。なお、アナログ式の煙感知器及び熱感知器を取替えるまでの間は非アナログ式の熱感知器での火災監視に加えて、火災発生の可能性を示すパラメータの監視強化を行う設計とする。</p> <p>低温停止中における原子炉格納容器内の火災感知器は、起動中と同様にアナログ式の煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。</p>	<p>アナログ式の火災感知器は、火災を感知するプロセスにおいて火花を発生しない。一方、非アナログ式の熱感知器は、火災を感知するプロセスにおいて火花を発生させる可能性は否定できないため、非アナログ式の熱感知器は、<b>防爆型とする。</b></p>	<p><b>【女川】</b></p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は原子炉格納容器内の放射線量の高いエリアに設置する非アナログ式の熱感知器は、万一、水素が発生するような場合を考慮して、<b>防爆型とする。</b></p> <p><b>【大飯】</b></p> <p>■記載表現の相違</p> <p><b>【女川】</b></p> <p>■設計の相違</p> <p>PWRの原子炉格納容器内はBWRとは異なり、窒素置換していないことから、火災感知器の作動信号を除外する運用とはしていない。</p> <p><b>【女川】</b></p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は放射線による火災感知器の故障を防止するため非アナログ式の熱感知器を設置する方針としている。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(原子炉格納容器内における天井面までの高さが8m以上ある箇所)                      オペレーションフロア (EL33m) については、その外周部床面に一部電気盤等の可燃物が存在するため、下図に従い床面から8mを超えない範囲にアナログ式の煙感知器とアナログ式の熱感知器を設置する。</p> <p>各給気ファン及び再循環ファンの運転時及び停止時において、発炎段階の火災は消防法施行規則第23条第4項に基づきアナログ式でない炎感知器を設置することにより早期に感知し、発熱量の少ないくん焼段階の火災は発火源となり得る設備の直上及び煙の流路上で有効に火災を感知できる場所にアナログ式の煙感知器を設計基準②を満足する設計とする。</p> <p>大飯発電所第3,4号機 火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請 補足説明資料 3-2-3 原子炉格納容器の火災感知器設計 ロ.使用する感知器等の設置方法 より参考掲載</p>  <p>メーカーが調査したところ、アナログ式の火災感知器で使用されているICチップ等の半導体部品の損傷が原因であることが判明した。また、ループ室に設置した火災感知器のみに故障が発生したことから、ICチップ等の半導体部品の損傷は、γ線や中性子線などの放射線の影響と推定された。</p> <p>この調査結果を踏まえ、比較的線量の高いループ室、加圧器室の火災感知器は、従来から使用しているアナログ式でないものに戻し、それ以降、火災感知器の故障は頻発しなくなった。</p>	<p>燃料取替床等は天井が高く、大空間となっているため、火災による熱が周囲に拡散することから、熱感知器による感知は困難である。</p> <p>このため、アナログ式の煙感知器と非アナログ式の炎感知器(赤外線)をそれぞれの監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p> <p>文章構成比較のため、本記載は女川2号炉の3.1.○燃料取替床等より再掲</p> <p>炎感知器は非アナログ式であるが、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る設計とする。さらに、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)を採用し誤作動防止を図る設計とする。</p> <p>文章構成比較のため、本記載は3,43.1.○燃料取替床等より再掲</p>	<p>また、原子炉格納容器内オペレーティングフロアは天井が高く、大空間となっているため、火災による熱が周囲に拡散することから、熱感知器による感知は困難である。</p> <p>このため、炎感知器(赤外線)を火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p> <p>また、発火源となり得る設備の直上及び煙の流路上で有効に火災を感知できる場所にアナログ式の煙感知器を設置する設計とする。</p> <p>炎感知器は非アナログ式であるが、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る設計とする。さらに、感知原理に「赤外線式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を検知した場合にのみ発報する)を採用し誤作動防止を図る設計とする。</p>	<p>【女川】                      ■設計の相違                      泊発電所の格納容器オペレーティングフロアは天井が高く熱感知器の設置に適していないことから、非アナログ式の炎感知器を設置する。</p> <p>【大飯】                      ■設計の相違                      設置する感知器の組合せの相違。ただし、大飯の火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請における基本設計方針と同様の設計である。</p> <p>【大飯】                      ■記載内容の相違                      (女川実績の反映：着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
ユニット	感知器設置場所	故障時期	故障内容			
高浜1号機	ループ室(2個)	H10年8月	信号線異常			【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映：着色せず)
	ループ室(3個)	H11年8月	信号線異常			
	ループ室(1個)	H12年1月	信号線異常			
高浜2号機	ループ室(3個)	H10年2月	信号線異常			
	ループ室(3個)	H11年9月	信号線異常			
高浜3号機	ループ室(1個)	H12年1月	感知器無応答			
高浜4号機	ループ室(3個)	H11年2月	感知器無応答			
このため、比較的線量の高い原子炉格納容器ループ室、加圧器室には、アナログ式でない火災感知器を採用することで、放射線による火災感知器の故障を防止する。						
(参考) 半導体に対する放射線の影響* ・はじき出し損傷効果 (Displacement Damage Dose Effect) 多量の放射線が入射し、半導体結晶を構成する原子が定常位置からはじき出されることによって引き起こされる。はじき出された原子及び空格子点は、欠陥準位を形成し、半導体の諸特性を劣化させる。バルク損傷 (BulkDamage)とも呼ばれる。 ・トータルドーズ効果 (Total Ionizing Dose Effect) 多量の放射線が入射し、電離作用によって引き起こされる。生成された電荷は、固定電荷や界面準位を形成し、半導体の諸特性を劣化させる。累積線量効果とも呼ばれる。 ・シングルイベント効果 (Single Event Effect) 1個の粒子が入射し、電離作用により高密度の電荷が生成されることにより引き起こされる。生成された電荷が半導体素子中を流れることによって、一時的もしくは定常的な故障が起こる。						
※独立行政法人日本原子力研究開発機構「ソフトウェア(などのLSIにおける放射線効果)に関する第1回勉強会(2011年9月7-8日)」より						
火災感知器の型式ごとの特徴等を添付資料2に示す。また、火災感知器の配置図を添付資料3に示す。なお、火災感知器の配置図については、火災防護に係る審査基準に基づき重大事故等対処施設に対して設置する感知器に加え、設計基準対象施設に対して設置する感知器も記載している。また、屋外設置となる常設重大事故等対処設備の感知器の感知範囲と設備の設置場所の関係を添付資料4に示す。				火災感知器の型式ごとの特徴等を添付資料2に示す。また、火災感知器の配置図を添付資料3に示す。なお、火災感知器の配置図については、火災防護に係る審査基準に基づき重大事故等対処施設に対して設置する感知器に加え、設計基準対象施設に対して設置する感知器も記載している。また、屋外設置となる常設重大事故等対処設備の感知器の感知範囲と設備の設置場所の関係を添付資料4に示す。	火災感知器の型式ごとの特徴等を添付資料2に示す。また、火災感知器の配置図を添付資料3に示す。なお、火災感知器の配置図については、火災防護に係る審査基準に基づき重大事故等対処施設に対して設置する感知器に加え、設計基準対象施設に対して設置する感知器も記載している。また、屋外設置となる常設重大事故等対処設備の感知器の感知範囲と設備の設置場所の関係を添付資料4に示す。	
						【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)





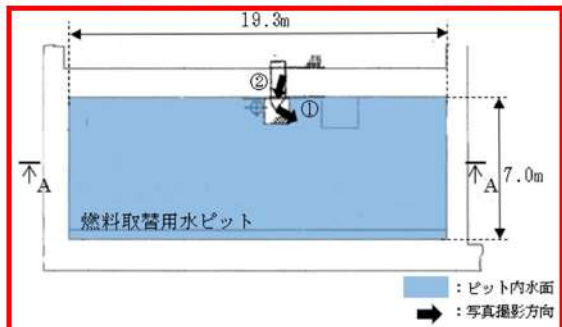
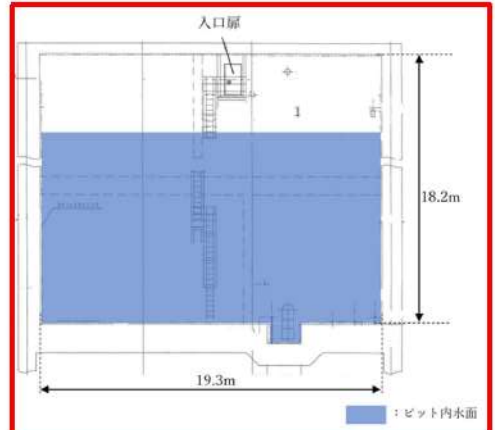
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0


第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(原子炉格納容器内のアナログ式でない熱感知器の誤作動防止)            アナログ式でない熱感知器は、原子炉運転中の原子炉格納容器内の温度より高い温度で作動するものを選定し、誤作動を防止する。</p> <p>(3) 燃料取替用水ピットエリア（設計基準対象施設と共通）            燃料取替用水ピットの側面と底面は、金属に覆われており、ピット内は水で満たされていること、燃料取替用水ピットエリアは、可燃物を置かず、発火源がない設計とすることから、火災が発生するおそれはない。したがって、燃料取替用水ピットエリアには、火災感知器を設置しない設計とする。</p>	<p>○火災の影響を受けるおそれが考えにくい火災区域又は火災区画            火災の影響を受けるおそれが考えにくい火災区域又は火災区画は、感知器を設置しない、若しくは消防法又は建築基準法に基づく火災感知器を設置する設計とする。</p>	<p>また、以下に示す火災区域又は火災区画は、感知器を設置しない設計とする。</p> <p>○燃料取替用水ピット室（設計基準対象施設と共通）            燃料取替用水ピット室は全面が金属に覆われており、ピット内は水で満たされていること、燃料取替用水ピット室は、可燃物を置かず、発火源がない設計とすることから、火災が発生するおそれはない。したがって、燃料取替用水ピット室には、火災感知器を設置しない設計とする。</p>	<p>【女川】            ■記載方針の相違            泊は感知器を設置しないエリアについて個別に記載している。</p> <p>【女川】            ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】            ■記載内容の相違            (女川実績の反映:着色せず)</p> <p>【女川】            ■設計の相違            泊は、先行PWRの感知器BFの審査実績を踏まえ、火災が発生するおそれが無い場所として、燃料取替用水ピットを選定し、大飯と同様にピット室には感知器を設置しない設計としている。</p> <p>【大飯】            ■設備構造の相違            泊のピットは全面が金属により覆われている</p> <p>【大飯】            ■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>燃料取替用水ピットの現場状況</p>		 <p>第41-4-4図：燃料取替用水ピット室イメージ及び現場状況</p>  <p>第41-4-5図：燃料取替用水ピット室 平面図</p>  <p>第41-4-6図：燃料取替用水ピット室 断面図 (A-A 矢視)</p>	<p><b>【女川】</b></p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、先行PWRの感知器BFの審査実績を踏まえ、火災が発生するおそれが無い場所として、燃料取替用水ピットを選定し、大飯と同様にピット室には感知器を設置しない設計としている。</p> <p><b>【大飯】</b></p> <p>■設備名称の相違</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>(4) 復水ピットエリア (設計基準対象施設と共通)</p> <p>復水ピットの側面と底面は、金属に覆われており、ピット内は水で満たされていること、復水ピットエリアは、可燃物を置かず、発火源がない設計とすることから、火災が発生するおそれはない。</p> <p>したがって、復水ピットエリアには、火災感知器を設置しない設計とする。</p>  <p>復水ピットの現場状況</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>○補助給水ピット室 (設計基準対象施設と共通)</p> <p>補助給水ピット室は全面が金属に覆われており、ピット内は水で満たされていること、補助給水ピット室は、可燃物を置かず、発火源がない設計とすることから、火災が発生するおそれはない。</p> <p>したがって、補助給水ピット室には火災感知器を設置しない設計とする。</p>  <p>第41-4-7図：補助給水ピットの現場状況</p>  <p>第41-4-8図：補助給水ピット室 平面図</p>  <p>第41-4-9図：補助給水ピット室 断面図 (A-A矢視)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>泊は、先行PWRの感知器BFの審査実績を踏まえ、火災が発生するおそれが無い場所として、補助給水ピット室を選定し、大飯と同様にピット室には感知器を設置しない設計としている。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設備構造の相違</li> </ul> <p>泊のピットは全面が金属により覆われている</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設備名称の相違</li> </ul>
---	--------------------	--	---



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(5)海水管トンネルエリア（設計基準対象施設と共通）</p> <p>海水管トンネルエリアには、約700mのトンネルに安全系のケーブルが設置されており、消防法の設置基準に基づき設置するアナログ式の煙感知器及び長距離の火災感知に適し、熱感知器と同等の性能を有する光ファイバークーブルをケーブルトレイの各トレンに設置する設計とする。熱を感知できる光ファイバークーブルは、海水管トンネル内の温度を有意に変動させる加熱源を設置しないことで、誤作動を防止する設計とする。</p> <p>ケーブルから火災が発生した場合は、煙とともに熱が生じることから、煙感知器と温度上昇を感知する光ファイバークーブルを設置し、早期感知が図れるようにする。</p> <p>光ファイバークーブルを利用した感知器は、光ファイバークーブルにパルス波を入射したときに発生するラマン散乱光の強度が、散乱を起こした位置の光ファイバークーブルの温度により変化することを利用した検出原理を採用していることから、光ファイバークーブルを広域に布設することにより、スポットではなく広域の温度感知と火源の位置を特定することが可能である。また、光ファイバークーブルは、海水管トンネル内での主たる火源はケーブルであることから、ケーブルが火災となった場合にケーブル付近の温度上昇に伴う火災の感知と位置を特定することができる。（添付資料5）</p> 			<p>【大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊の海水管ダクトは大飯と異なり他号炉と共有していないため、ケーブル敷設部に隔壁を設置しておらず、海水管設置エリアと同一空間となっており、アナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器を設置する設計としている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="159 153 629 485" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="163 493 624 517" data-label="Caption"> <p>図2 海水管トンネルエリアの火災感知器設置概要図</p> </div> <p>4. 火災受信機盤</p> <p>中央制御室に設置する火災受信機盤等で、アナログ式の火災感知器、アナログ式でない火災感知器、アナログ式でない防爆型の火災感知器の作動状況を常時監視する設計とする。</p> <p>また、火災受信機盤は、火災感知設備を構成する火災感知器に応じて、以下の機能を有するよう設計する。</p> <div data-bbox="91 791 707 1027" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中央制御室に設置する火災受信機盤等で、火災感知器の作動状況を常時監視する設計とする。</p> <p>火災受信機盤等は、作動した火災感知器を1つずつ特定することで、火災の発生場所を特定する機能を有するよう設計する。</p> <p>大飯の設置許可申請書（添付書類八）適正化版より参考掲載</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作動したアナログ式の火災感知器を1つずつ特定することで、火災の発生場所を特定する機能</li> </ul> <p>なお、重大事故等に対処する場合を考慮して、緊急時対策所で監視できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作動した防爆型の火災感知器を1つずつ特定することで、火災の発生場所を特定する機能</li> </ul>	<p>3.2. 火災感知設備の受信機について</p> <p>火災感知設備の受信機は、以下のとおり、火災発生場所を特定できる設計とする。</p> <p>①アナログ式の火災感知器が接続可能であり、作動した火災感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p> <p>②水素の漏えいの可能性が否定できない蓄電池室及び可燃性ガスの発生が想定される軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクに設置する非アナログ式の防爆型の火災感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p>	<p>3.2. 火災感知設備の受信機について</p> <p>火災感知設備の受信機は、以下のとおり、火災発生場所を特定できる設計とする。</p> <p>①アナログ式の火災感知器が接続可能であり、作動した火災感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p> <p>②ディーゼル発電機燃料油貯油槽に設置する非アナログ式の防爆型の火災感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>泊の海水管ダクトは大飯と異なり他号炉と共有していないため、ケーブル敷設部に隔壁を設置しておらず、海水管設置エリアと同一空間となっており、アナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器を設置する設計としている。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載方針の相違</li> </ul> <p>（女川実績の反映）</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>防爆型の火災感知器を設置する場所の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・作動したアナログ式でない火災感知器を1つずつ特定することで、火災の発生場所を特定する機能。</p>	<p>③原子炉格納容器内の火災感知設備の火災受信機盤は、中央制御室に設置し常時監視できる設計とする。また、受信機盤は、アナログ式の煙感知器及び熱感知器、非アナログ式の熱感知器を1つずつ特定できる設計とする。ただし、誤作動防止として起動時の窒素封入後に作動信号を除外する運用とする。</p> <p>④屋外の海水ポンプ室（補機ポンプエリア）及びガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリアを監視する非アナログ式の屋外仕様の炎感知器、アナログ式の熱感知カメラの感知器を1つずつ特定できる設計とする。なお、屋外設備火災監視盤においては、火災発生場所の詳細はカメラ機能により映像監視が可能な設計とする。</p> <p>⑤燃料取替床を監視する非アナログ式の炎感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p>	<p>③原子炉格納容器内のアナログ式の煙感知器及び熱感知器、非アナログ式の防爆型の熱感知器並びに非アナログ式の炎感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p> <p>④屋外の代替非常用発電機エリアを監視する非アナログ式の屋外仕様の炎検出装置、アナログ式の熱感知カメラの感知器を1つずつ特定できる設計とする。なお、屋外エリア熱感知カメラ火災受信機盤においては、火災発生場所の詳細はカメラ機能により映像監視が可能な設計とする。</p> <p>⑤使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア等の天井が高い区画を監視する非アナログ式の炎感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p>	<p>【女川】  <b>■設計の相違</b>          ・泊は原子炉格納容器用の火災受信機盤は設置していない。          ・組み合わせる感知器の相違          ・PWRの原子炉格納容器内はBWRとは異なり、窒素置換していないことから、作動信号を除外する運用としない。</p> <p>【大阪】  <b>■記載方針の相違</b>          （女川実績の反映）</p> <p>【女川】  <b>■設計の相違</b>          屋外に設置している設備の相違  <b>■記載表現の相違</b>          使用している機器を明確化したことによる相違、及び設備名称の相違</p> <p>【女川】  <b>■設計の相違</b>          炎感知器を設置するエリアの相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4.1 火災感知設備の電源確保</p> <p>火災区域又は火災区画に設置する火災感知設備は、全交流動力電源喪失時においても火災の感知が可能となるように、消防法を満足する蓄電池を内蔵し60分間*電源供給が可能な設計とする。この蓄電池は、代替電源から電力が供給開始されるまでの容量を有し、また、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能とし、蓄電池の容量は、全交流動力電源喪失時に代替電源から給電されるまでの容量を満足するものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この蓄電池は、ディーゼル発電機から電力が供給開始されるまでの容量を有し、また、火災防護上重要な機器等を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能とし、蓄電池の容量は、全交流動力電源喪失時に代替電源から給電されるまでの容量も満足するものとする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大飯の設置許可申請書（添付書類八）適正化版より参考掲載</p> </div> <p>※消防法施行規則第二十四条で要求している蓄電池容量</p>	<p>3.3. 火災感知設備の電源について</p> <p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、全交流動力電源喪失時に常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間*<sup>1</sup>電力を供給できる容量を有した蓄電池を設け、電源を確保する設計とする。</p> <p>また、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備に供給する電源は、非常用ディーゼル発電機が接続されている非常用電源より供給する設計とする。</p> <p>※1 消防法施行規則第二十四条で要求している蓄電池容量</p>	<p>3.3. 火災感知設備の電源について</p> <p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、全交流動力電源喪失時に常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間*<sup>1</sup>電力を供給できる容量を有した蓄電池を設け、電源を確保する設計とする。</p> <p>また、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備に供給する電源は、ディーゼル発電機が接続されている非常用電源より供給する設計とする。</p> <p>※1 消防法施行規則第二十四条で要求している蓄電池容量</p>	<p>【大飯】  <span style="color: blue;">■</span>記載方針の相違        （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【女川】  <span style="color: green;">■</span>設備名称の相違</p>
<p>4.2 火災感知設備の中央制御室での監視</p>	<p>3.4. 火災感知設備の中央制御室等での監視について</p> <p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備の火災受信機盤には、以下のものがある。</p>	<p>3.4. 火災感知設備の中央制御室での監視について</p> <p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備の火災受信機盤には、以下のものがある。</p>	<p>【女川】  <span style="color: green;">■</span>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由	
	火災受信機	配置場所	電源供給	監視エリア	作動した火災感知器を1つずつ特定できる機能	火災受信機	配置場所	電源供給	監視区域	作動した感知器を1つずつ特定できる機能	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)	
	防災監視操作盤・受信機	中央制御室	非常用電源から受電する。さらに、全交流電源喪失時にも常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間電力を供給できる容量を有した蓄電池を設ける。	○建屋内(原子炉建屋、制御建屋、緊急時対策建屋、緊急用電気品建屋) ○ケーブル連絡トレンチ ○軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク	有り	火災受信機盤(総合操作盤)	中央制御室	非常用電源から受電する。さらに、全交流電源喪失時にも常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間電力を供給できる容量を有した蓄電池を設ける。	○建屋内 ○燃料油貯油槽	有り		
	屋外設備火災監視盤	中央制御室	非常用電源から受電する。さらに、全交流電源喪失時にも常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間電力を供給できる容量を有した蓄電池を設ける。	○海水ポンプ室(補機ポンプエリア) ○ガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリア	有り	火災受信機盤(光ファイバ温度監視端末)	中央制御室	非常用電源から受電する。さらに、全交流電源喪失時にも常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間電力を供給できる容量を有した蓄電池を設ける。	○フロアケーブルダクト	有り		
	原子炉格納容器火災受信機	中央制御室	非常用電源から受電する。さらに、全交流電源喪失時にも常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間電力を供給できる容量を有した蓄電池を設ける。	○原子炉格納容器	有り	屋外エリア熱感知カメラ火災受信機盤(屋外SA設備火災感知装置監視端末)	中央制御室	非常用電源から受電する。さらに、全交流電源喪失時にも常設代替交流電源から電力が供給されるまでの約70分間電力を供給できる容量を有した蓄電池を設ける。	○屋外(代替非常用発電機エリア)	有り		
<p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画に発生した火災は、中央制御室に設置されている火災受信機盤等で監視する設計とする。</p>	<p>ただし、緊急時対策建屋で発生した火災は、緊急時対策建屋内及び2号炉の中央制御室に設置した受信機で監視可能な設計とする。</p>					<p>ただし、緊急時対策所で発生した火災は、緊急時対策所内及び3号炉の中央制御室に設置した受信機で監視可能な設計とする。</p>					【女川】 ■施設名称の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず)	
<p>火災が発生していない平常時においても、火災が発生していないこと及び火災感知設備に異常がないことを火災受信機盤等で常時監視する。</p>												
<p>なお、重大事故等に対処する場合を考慮して、緊急時対策所に警報を発信することが可能な設計とする。</p>												



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<p>5. 火災感知設備の地震時の機能維持</p> <p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画に設置する火災感知設備は、重大事故等対処施設の区分に応じて、機能を維持できる設計とする。具体例を表1に示す。</p> <p>表1 重大事故等対処施設に対する火災感知設備の地震時の機能維持</p> <table border="1" data-bbox="152 464 607 619"> <tr> <th>主な重大事故等に対処するための機能を有する機器</th> <th>火災感知設備の機能維持方針</th> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ、 充てんポンプ、 高圧注入ポンプ、 電動補助給水ポンプ</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> </table> <p>5.1 火災感知設備の地震時の機能維持方針</p> <p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画に設置する火災感知設備は、加振試験又は解析・評価により、機器に要求される機能が維持されることを確認する設計とする。</p> <p>加振試験は、機器の設置場所、設置方法を踏まえ、設置レベルでの応答加速度又は各設置レベルを包絡する応答加速度で、鉛直方向及び水平方向について実施するものとする。また、解析・評価は「原子力発電所耐震設計技術指針許容応力・重要度分類編」(JEAG4601-1984)、「原子力発電所耐震設計技術指針」(JEAG4601-1987)、「原子力発電所耐震設計技術指針追補版」(JEAG4601-1991)を参考に実施するものとする。</p> <p>火災感知設備の Ss 機能維持評価対象部位を表2に示す。表2に示す評価対象部位毎に、設置状態を考慮して、加振試験又は解析・評価による以下の(1)及び(2)の評価を実施することにより、火災感知設備が地震時においても機能を維持できることを確認する。</p> <p>表2 火災感知設備の Ss 機能維持評価対象部位</p> <table border="1" data-bbox="181 1345 607 1434"> <tr> <th>設備名</th> <th>Ss 機能維持評価対象部位</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災感知設備</td> <td>受信機盤</td> </tr> <tr> <td>火災感知器</td> </tr> </table>	主な重大事故等に対処するための機能を有する機器	火災感知設備の機能維持方針	余熱除去ポンプ、 充てんポンプ、 高圧注入ポンプ、 電動補助給水ポンプ	Ss 機能維持	設備名	Ss 機能維持評価対象部位	火災感知設備	受信機盤	火災感知器	<p>3.5. 火災感知設備の耐震設計について</p> <p>重大事故等対処施設を防護するために設置する火災感知設備は、第41-4-1 表及び第41-4-2 表に示すとおり、重大事故等対処施設の耐震クラスに応じて機能を維持できる設計とする。</p> <p>第41-4-1 表 火災感知設備の耐震設計</p> <table border="1" data-bbox="730 419 1171 521"> <tr> <th>主な重大事故等対処施設</th> <th>火災感知設備の耐震設計</th> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> </table> <p>第41-4-2 表 Ss 機能維持を確認するための対応</p> <table border="1" data-bbox="730 563 1171 639"> <tr> <th>確認対象</th> <th>火災感知設備の耐震設計</th> </tr> <tr> <td>受信機</td> <td>加振試験</td> </tr> <tr> <td>感知器</td> <td>加振試験</td> </tr> </table>	主な重大事故等対処施設	火災感知設備の耐震設計	低圧代替注水系	Ss 機能維持	耐圧強化ベント系	Ss 機能維持	常設代替交流電源設備	Ss 機能維持	確認対象	火災感知設備の耐震設計	受信機	加振試験	感知器	加振試験	<p>3.5. 火災感知設備の耐震設計について</p> <p>重大事故等対処施設を防護するために設置する火災感知設備は、第41-4-1 表及び第41-4-2 表に示すとおり、重大事故等対処施設の耐震クラスに応じて機能を維持できる設計とする。</p> <p>第41-4-1 表 火災感知設備の耐震設計</p> <table border="1" data-bbox="1357 432 1962 608"> <tr> <th>主な重大事故等対処施設</th> <th>火災感知設備の耐震設計</th> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> <tr> <td>充てんポンプ</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> <tr> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>Ss 機能維持</td> </tr> </table> <p>第41-4-2 表 Ss 機能維持を確認するための対応</p> <table border="1" data-bbox="1357 662 1962 738"> <tr> <th>感知設備の機器</th> <th>Ss 機能維持を確保するための対応</th> </tr> <tr> <td>受信機</td> <td>加振試験</td> </tr> <tr> <td>感知器</td> <td>加振試験</td> </tr> </table>	主な重大事故等対処施設	火災感知設備の耐震設計	余熱除去ポンプ	Ss 機能維持	充てんポンプ	Ss 機能維持	高圧注入ポンプ	Ss 機能維持	電動補助給水ポンプ	Ss 機能維持	感知設備の機器	Ss 機能維持を確保するための対応	受信機	加振試験	感知器	加振試験	<p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■施設名称の相違</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず)</p>
主な重大事故等に対処するための機能を有する機器	火災感知設備の機能維持方針																																									
余熱除去ポンプ、 充てんポンプ、 高圧注入ポンプ、 電動補助給水ポンプ	Ss 機能維持																																									
設備名	Ss 機能維持評価対象部位																																									
火災感知設備	受信機盤																																									
	火災感知器																																									
主な重大事故等対処施設	火災感知設備の耐震設計																																									
低圧代替注水系	Ss 機能維持																																									
耐圧強化ベント系	Ss 機能維持																																									
常設代替交流電源設備	Ss 機能維持																																									
確認対象	火災感知設備の耐震設計																																									
受信機	加振試験																																									
感知器	加振試験																																									
主な重大事故等対処施設	火災感知設備の耐震設計																																									
余熱除去ポンプ	Ss 機能維持																																									
充てんポンプ	Ss 機能維持																																									
高圧注入ポンプ	Ss 機能維持																																									
電動補助給水ポンプ	Ss 機能維持																																									
感知設備の機器	Ss 機能維持を確保するための対応																																									
受信機	加振試験																																									
感知器	加振試験																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 応力評価            火災感知設備（基礎ボルト等）の応力評価は、設備に発生する種々の荷重を組合せた荷重に対して、地震応答解析により求める荷重から算出する発生応力、又は評価対象設備の応答加速度から算出する発生応力が許容応力以下となることを確認する。</p> <p>(2) 機能維持評価            火災感知設備の機能維持評価は、重大事故等対処施設の区分に応じた地震動による応答加速度が、加振試験等により機能維持を確認した加速度（機能確認済加速度）以下となることを確認する。            火災感知設備の電路についても、地震時において機能を維持できることを確認する。</p> <p>6. 火災感知設備の試験検査            アナログ型の火災感知器を含めた火災感知設備は、機能に異常がないことを確認するため、定期的に自動試験を実施する。</p> <p>ただし、自動試験機能のない火災感知器は、機能に異常がないことを確認するために、煙等の火災を模擬した試験を消防法令に定める頻度で実施する。</p>	<p>3.6. 火災感知設備に対する試験検査について            火災感知器を含めた火災感知設備は、機能に異常が無いことを確認するために、自動試験を実施する。</p> <p>ただし、試験機能のない火災感知器は、機能に異常がないことを確認するために、消防法施行規則第三十一の六に基づき、半年に一度の機器点検時及び1年に一度の総合点検時に、煙等の火災を模擬した試験を実施する。</p> <p>以上より、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画に設置する火災感知器については、火災防護に係る審査基準に則り、環境条件等を考慮した火災感知器の設置、異なる種類を組み合わせた火災感知器の設置、非常用電源からの受電、火災受信機盤の中央制御室への設置を行う設計とする。一部非アナログ式の感知器を設置するが、それぞれ誤作動防止対策を実施する。これにより、火災感知設備については十分な保安水準が確保されているものと考ええる。</p>	<p>3.6. 火災感知設備に対する試験検査について            火災感知器を含めた火災感知設備は、機能に異常がないことを確認するために、自動試験を実施する。</p> <p>ただし、試験機能のない火災感知器は、機能に異常がないことを確認するために、消防法施行規則第三十一条の六に基づき、半年に一度の機器点検時及び1年に一度の総合点検時に、煙等の火災を模擬した試験を実施する。</p> <p>以上より、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画に設置する火災感知器については、火災防護に係る審査基準に則り、環境条件等を考慮した火災感知器の設置、異なる種類を組み合わせた火災感知器の設置、非常用電源からの受電、火災受信機盤の中央制御室への設置を行う設計とする。一部非アナログ式の感知器を設置するが、それぞれ誤作動防止対策を実施する。これにより、火災感知設備については十分な保安水準が確保されているものと考ええる。</p>	<p>■記載方針の相違            （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】            ■記載方針の相違            （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】            ■記載方針の相違            （女川実績の反映）            【女川】            ■記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>①各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、<b>早期に火災を感知できる場所に設置すること。</b></p> <p>②火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講じること。</p> <p>③外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④中央制御室<b>等</b>で適切に監視できる設計であること。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>①各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、<b>早期に火災を感知できる場所に設置すること。</b></p> <p>②火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講じること。</p> <p>③外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④中央制御室<b>等</b>で適切に監視できる設計であること。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」(抜粋)</p> <p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構築物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>①各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、<b>早期に火災を感知できるよう固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等(感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。)</b>をそれぞれ設置すること。また、その設置に当たっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講じること。</p> <p>②感知器については消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)第23条第4項に従い、感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年自治省令第17号)第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。</p> <p>③外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④中央制御室<b>で</b>適切に監視できる設計であること。</p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p>

赤字:設備,運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現,設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(参考)</p> <p>(1) 火災感知設備について</p> <p>早期に火災を感知し、かつ、誤作動(火災でないにもかかわらず火災信号を発すること)を防止するための方策がとられていること。</p> <p>(早期に火災を感知するための方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固有の信号を発する異なる種類の感知器としては、例えば、煙感知器と炎感知器のような組み合わせとなっていること。</li> <li>感知器の設置場所を1つずつ特定することにより火災の発生場所を特定することができる受信機を用いられていること。 (誤作動を防止するための方策)</li> <li>平常時の状況(温度、煙の濃度)を監視し、かつ、火災現象(急激な温度や煙の濃度の上昇)を把握することができるアナログ式の感知器を用いられていること。</li> </ul> <p>感知器取付面の位置が高いこと等から点検が困難になるおそれがある場合は、自動試験機能又は遠隔試験機能により点検を行うことができる感知器が用いられていること。</p> <p>炎感知器又は熱感知器に代えて、赤外線感知機能等を備えた監視カメラシステムを用いても差し支えない。この場合、死角となる場所がないように当該システムが適切に設置されていること。</p>	<p>(参考)</p> <p>(1) 火災感知設備について</p> <p>早期に火災を感知し、かつ、誤作動(火災でないにもかかわらず火災信号を発すること)を防止するための方策がとられていること。</p> <p>(早期に火災を感知するための方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固有の信号を発する異なる種類の感知器としては、例えば、煙感知器と炎感知器のような組み合わせとなっていること。</li> <li>感知器の設置場所を1つずつ特定することにより火災の発生場所を特定することができる受信機を用いられていること。 (誤作動を防止するための方策)</li> <li>平常時の状況(温度、煙の濃度)を監視し、かつ、火災現象(急激な温度や煙の濃度の上昇)を把握することができるアナログ式の感知器を用いられていること。</li> </ul> <p>感知器取付面の位置が高いこと等から点検が困難になるおそれがある場合は、自動試験機能又は遠隔試験機能により点検を行うことができる感知器が用いられていること。</p> <p>炎感知器又は熱感知器に代えて、赤外線感知機能等を備えた監視カメラシステムを用いても差し支えない。この場合、死角となる場所がないように当該システムが適切に設置されていること。</p>	<p>(参考)</p> <p>(1) 火災感知設備について</p> <p>早期に火災を感知し、かつ、誤作動(火災でないにもかかわらず火災信号を発すること)を防止するための方策がとられていること。</p> <p>なお、感知の対象となる火災は、火炎を形成できない状態で燃焼が進行する無炎火災を含む。</p> <p>(早期に火災を感知するための方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等をそれぞれ設置することとは、例えば、熱感知器と煙感知器のような感知方式が異なる感知器の組合せや熱感知器と同等の機能を有する赤外線カメラと煙感知器のような組合せとなっていること。</li> <li>感知器の設置場所を1つずつ特定することにより火災の発生場所を特定することができる受信機を用いられていること。 (誤作動を防止するための方策)</li> <li>平常時の状況(温度、煙の濃度)を監視し、かつ、火災現象(急激な温度や煙の濃度の上昇)を把握することができるアナログ式の感知器を用いられていること。</li> </ul> <p>感知器取付面の位置が高いこと等から点検が困難になるおそれがある場合は、自動試験機能又は遠隔試験機能により点検を行うことができる感知器が用いられていること。</p> <p>炎感知器又は熱感知器に代えて、赤外線感知機能等を備えた監視カメラシステムを用いても差し支えない。この場合、死角となる場所がないように当該システムが適切に設置されていること。</p>	<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載方針の相違</li> </ul> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載方針の相違</li> </ul> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.2.2 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に示すように、地震等の自然現象によっても、火災感知及び消火の機能、性能が維持される設計であること。</p> <p>(1) 凍結するおそれがある消火設備は、凍結防止対策を講じた設計であること。</p> <p>(2) 風水害に対して消火設備の性能が著しく阻害されない設計であること。</p> <p>(3) 消火配管は、地震時における地盤変位対策を考慮した設計であること。</p> <p>(参考)</p> <p>火災防護対象機器等が設置される火災区画には、耐震B・Cクラスの機器が設置されている場合が考えられる。これらの機器が基準地震動により損傷しSクラス機器である原子炉の火災防護対象機器の機能を失わせることが要求される場所であるが、その際、耐震B・Cクラス機器に基準地震動による損傷に伴う火災が発生した場合においても、火災防護対象機器等の機能が維持されることについて確認されていなければならない。</p> <p>(2) 消火設備を構成するポンプ等の機器が水没等で機能しなくなることはないよう、設計に当たっては配置が考慮されていること。</p>	<p>2.2.2 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に示すように、地震等の自然現象によっても、火災感知及び消火の機能、性能が維持される設計であること。</p> <p>(1) 凍結するおそれがある消火設備は、凍結防止対策を講じた設計であること。</p> <p>(2) 風水害に対して消火設備の性能が著しく阻害されない設計であること。</p> <p>(3) 消火配管は、地震時における地盤変位対策を考慮した設計であること。</p> <p>(参考)</p> <p>火災防護対象機器等が設置される火災区画には、耐震B・Cクラスの機器が設置されている場合が考えられる。これらの機器が基準地震動により損傷しSクラス機器である原子炉の火災防護対象機器の機能を失わせることが要求される場所であるが、その際、耐震B・Cクラス機器に基準地震動による損傷に伴う火災が発生した場合においても、火災防護対象機器等の機能が維持されることについて確認されていなければならない。</p> <p>(2) 消火設備を構成するポンプ等の機器が水没等で機能しなくなることはないよう、設計に当たっては配置が考慮されていること。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違                      (女川実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【対応資料なし】</p>	<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉</p> <p>重大事故等対処施設における火災感知器の基本設置方針について</p> <p>1. はじめに</p> <p>女川原子力発電所2号炉において、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定している。各設置対象区域又は区画における火災感知器の基本設置方針及び火災感知器の型式毎の原理と特徴を示す。</p> <p>2. 要求事項</p> <p>火災感知設備は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」の「2.2 火災の感知、消火」の2.2.1に基づき実施することが要求されている。</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」の記載を以下に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料2</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉</p> <p>重大事故等対処施設における火災感知器の基本設置方針について</p> <p>1. はじめに</p> <p>泊発電所3号炉において、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備は、放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定している。各設置対象区域又は区画における火災感知器の基本設置方針及び火災感知器の型式毎の原理と特徴を示す。</p> <p>2. 要求事項</p> <p>火災感知設備は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」の「2.2 火災の感知、消火」の2.2.1に基づき実施することが要求されている。</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」の記載を以下に示す。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</li> <li>【女川】</li> <li>■設備名称の相違</li> <li>【大飯】</li> <li>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</li> <li>【女川】</li> <li>■設備名称の相違</li> <li>【大飯】</li> <li>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>① 各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、<b>早期に火災を感知できる場所に設置すること。</b></p> <p>② 火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p> <p>③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④ 中央制御室<b>等</b>で適切に監視できる設計であること。</p>	<p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>①各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できるよう固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等（感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。）をそれぞれ設置すること。また、その設置に当たっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p> <p>②感知器については消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第23条第4項に従い、感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年自治省令第17号）第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。</p> <p>③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④ 中央制御室で適切に監視できる設計であること。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違                      （女川実績の反映）</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違                      実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(参考)</p> <p>(1) 火災感知設備について</p> <p>早期に火災を感知し、かつ、誤作動（火災でないにもかかわらず火災信号を発すること）を防止するための方策がとられていること。</p> <p>(早期に火災を感知するための方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固有の信号を発する異なる種類の感知器としては、例えば、煙感知器と炎感知器のような組み合わせとなっていること。</li> <li>感知器の設置場所を1つずつ特定することにより火災の発生場所を特定することができる受信機を用いられていること。 (誤作動を防止するための方策)</li> <li>平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式の感知器を用いられていること。</li> </ul> <p>感知器取付面の位置が高いこと等から点検が困難になるおそれがある場合は、自動試験能又は遠隔試験機能により点検を行うことができる感知器が用いられていること。</p> <p>炎感知器又は熱感知器に代えて、赤外線感知機能等を備えた監視カメラシステムを用いても差し支えない。この場合、死角となる場所がないように当該システムが適切に設置されていること。</p>	<p>(参考)</p> <p>(1) 火災感知設備について</p> <p>早期に火災を感知し、かつ、誤作動（火災でないにもかかわらず火災信号を発すること）を防止するための方策がとられていること。</p> <p>なお、感知の対象となる火災は、火炎を形成できない状態で燃焼が進行する無炎火災を含む。</p> <p>(早期に火災を感知するための方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固有の信号を発する異なる種類の感知器等をそれぞれ設置することとは、例えば、熱感知器と煙感知器のような感知方式が異なる感知器の組合せや熱感知器と同等の機能を有する赤外線カメラと煙感知器のような組合せとなっていること。</li> <li>感知器の設置場所を1つずつ特定することにより火災の発生場所を特定することができる受信機を用いられていること。 (誤作動を防止するための方策)</li> <li>平常時の状況（温度、煙の濃度）を監視し、かつ、火災現象（急激な温度や煙の濃度の上昇）を把握することができるアナログ式の感知器を用いられていること。</li> </ul> <p>感知器取付面の位置が高いこと等から点検が困難になるおそれがある場合は、自動試験能又は遠隔試験機能により点検を行うことができる感知器が用いられていること。</p> <p>炎感知器又は熱感知器に代えて、赤外線感知機能等を備えた監視カメラシステムを用いても差し支えない。この場合、死角となる場所がないように当該システムが適切に設置されていること。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準改正に伴う相違</p>



赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
3. 火災感知器の基本設置方針						
設置対象区域 又は区域	具体的 区域	設置の標準条件と 感知器の選定方針	種類	非アナログ式 アナログ式	設備選定を踏まえた 火災感知器の 動作動作止対策	【女川】 ■設計の相違 設置する感知器の組合 せ、及び設置対象区域・ 区画の相違 【大阪】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)
通路部・ 配電等	通路部・ 配電等	・消防法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。	① 煙感知器 ② 熱感知器 ③ 煙感知器 ④ 熱感知器 ⑤ 煙感知器 ⑥ 熱感知器 ⑦ 煙感知器 ⑧ 熱感知器 ⑨ 煙感知器 ⑩ 熱感知器	非アナログ式 アナログ式	・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置	
燃料貯蔵庫	燃料貯蔵庫	・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。	① 煙感知器 ② 熱感知器 ③ 煙感知器 ④ 熱感知器 ⑤ 煙感知器 ⑥ 熱感知器 ⑦ 煙感知器 ⑧ 熱感知器 ⑨ 煙感知器 ⑩ 熱感知器	非アナログ式 アナログ式	・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置	
一般区域	一般区域	・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。	① 煙感知器 ② 熱感知器 ③ 煙感知器 ④ 熱感知器 ⑤ 煙感知器 ⑥ 熱感知器 ⑦ 煙感知器 ⑧ 熱感知器 ⑨ 煙感知器 ⑩ 熱感知器	非アナログ式 アナログ式	・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置	
設備対象区域 又は区域	具体的 区域	設置の標準条件と 感知器の選定方針	種類	非アナログ式 アナログ式	設備選定を踏まえた 火災感知器の 動作動作止対策	【女川】 ■設計の相違 設置する感知器の組合 せ、及び設置対象区域・ 区画の相違 【大阪】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)
通路部・ 配電等	通路部・ 配電等	・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。	① 煙感知器 ② 熱感知器 ③ 煙感知器 ④ 熱感知器 ⑤ 煙感知器 ⑥ 熱感知器 ⑦ 煙感知器 ⑧ 熱感知器 ⑨ 煙感知器 ⑩ 熱感知器	非アナログ式 アナログ式	・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置	
使用済燃料ピ ット及び新燃 料貯蔵庫エリ ア等	使用済燃料ピ ット及び新燃 料貯蔵庫エリ ア等	・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。	① 煙感知器 ② 熱感知器 ③ 煙感知器 ④ 熱感知器 ⑤ 煙感知器 ⑥ 熱感知器 ⑦ 煙感知器 ⑧ 熱感知器 ⑨ 煙感知器 ⑩ 熱感知器	非アナログ式 アナログ式	・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置	
一般区域	一般区域	・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。 ・感知法施行規則に準じ煙感知器と熱 感知器を設置 ・感知器は非アナログ式であるが、 感知器は非アナログ式であるため、 感知器は非アナログ式であること が、火災の早期感知に優位性があ る。	① 煙感知器 ② 熱感知器 ③ 煙感知器 ④ 熱感知器 ⑤ 煙感知器 ⑥ 熱感知器 ⑦ 煙感知器 ⑧ 熱感知器 ⑨ 煙感知器 ⑩ 熱感知器	非アナログ式 アナログ式	・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置 ・火災特有の性質を抽出する非外機 方式を採用し、火災感知器の選定 にない箇所に設置	



赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉における火災感知設備の基本設計方針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置対象区域 又は区画</th> <th>具体的 区域</th> <th>周囲の環境条件と 感知器の選定方針</th> <th>種類</th> <th>アナログ式/ 非アナログ式</th> <th>非アナログ式 火災感知器の種類 及び選定理由</th> <th>設置環境を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放射線量が低い場所</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>・プラント運転中は高放射線環境となることからアナログ式感知器を室外に設置すると故障する可能性がある。ただし、プラント運転中の原子炉格納容器は作業員により木質化しており火災の発生の可能性が低い。このため、プラント運転中の作業員入場を受信機にて作動信号を除外する。 ・プラント停止から低放射線までの期間において、火災早期検出を確保するため、高放射線環境及び低放射線環境にそれぞれ非アナログ式の熱感知器を設置。 ・保安通行規則に非アナログ式の熱感知器と熱感知器を設置。また、想定火災源の近傍上側に非アナログ式の熱感知器を設置。</td> <td>① 煙感知器</td> <td>非アナログ式 非アナログ式</td> <td>・煙感知器以外の動作原理を有する感知器として熱感知器及び熱感知器等があるが感知精度の非等を受けにくいものは非アナログ式の熱感知器が適当。</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮タンク</td> <td>・保安通行規則に非アナログ式の熱感知器と熱感知器を設置。</td> <td>① 煙感知器 ④ 熱感知器</td> <td>非アナログ式 非アナログ式</td> <td>・熱感知器は作動温度が周囲環境より高い温度のものを選定。 ・熱感知器試験で、凝縮タンク室内の1.5m高サイタルを想定した物品を選定での健全性を確認した物品を選定。 ・1.5m高サイタル毎に、物品を交換。</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置対象区域 又は区画	具体的 区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式 火災感知器の種類 及び選定理由	設置環境を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策	放射線量が低い場所	原子炉格納容器	・プラント運転中は高放射線環境となることからアナログ式感知器を室外に設置すると故障する可能性がある。ただし、プラント運転中の原子炉格納容器は作業員により木質化しており火災の発生の可能性が低い。このため、プラント運転中の作業員入場を受信機にて作動信号を除外する。 ・プラント停止から低放射線までの期間において、火災早期検出を確保するため、高放射線環境及び低放射線環境にそれぞれ非アナログ式の熱感知器を設置。 ・保安通行規則に非アナログ式の熱感知器と熱感知器を設置。また、想定火災源の近傍上側に非アナログ式の熱感知器を設置。	① 煙感知器	非アナログ式 非アナログ式	・煙感知器以外の動作原理を有する感知器として熱感知器及び熱感知器等があるが感知精度の非等を受けにくいものは非アナログ式の熱感知器が適当。	-	凝縮タンク	・保安通行規則に非アナログ式の熱感知器と熱感知器を設置。	① 煙感知器 ④ 熱感知器	非アナログ式 非アナログ式	・熱感知器は作動温度が周囲環境より高い温度のものを選定。 ・熱感知器試験で、凝縮タンク室内の1.5m高サイタルを想定した物品を選定での健全性を確認した物品を選定。 ・1.5m高サイタル毎に、物品を交換。	-	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における火災感知設備の基本設計方針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置対象区域 又は区画</th> <th>具体的区域</th> <th>周囲の環境条件と 感知器の選定方針</th> <th>種類</th> <th>アナログ式/ 非アナログ式</th> <th>非アナログ式/ 火災感知器の種類 及び選定理由</th> <th>設置環境を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放射線量が 高い場所</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>・原子炉格納容器には、アナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器及び非アナログ式の熱感知器を設置する。ただし、比較的低放射線環境の煙感知器は、放射線による故障を防止するため、非アナログ式とする。 ・非アナログ式の煙感知器及び非アナログ式の熱感知器は本装置が発生するような事故を考慮して念のため防塵型とする。 ・熱感知器は非アナログ式であるが、放射線による赤外線感知のため、放射線が生じた時点で感知することができ、火災の早期感知に優位性がある。</td> <td>① 煙感知器 ③ 熱感知器 ④ 防塵型 熱感知器 ⑤ 赤外線 熱感知器 (赤外線)</td> <td>非アナログ式 非アナログ式</td> <td>・放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式の熱感知器を選定した。 ・全周構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない。 ・熱感知器は放射線から放射される熱エネルギーの特有の波長成分とららつきを赤外線により検出。 ・非アナログ式の火災感知器であるが、火災の感知に時間差がなく、火災の早期感知が可能。</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>放射線量が 高い場所</td> <td></td> <td></td> <td>非アナログ式 非アナログ式</td> <td>・放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式の熱感知器を選定した。 ・全周構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない。 ・熱感知器は放射線から放射される熱エネルギーの特有の波長成分とららつきを赤外線により検出。 ・非アナログ式の火災感知器であるが、火災の感知に時間差がなく、火災の早期感知が可能。</td> <td>・熱感知器は作動温度が周囲の温度より高い温度のものを選定。 ・火災特有の性質を検出する赤外線方式を採用。 ・放射線が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置。</td> </tr> </tbody> </table>	設置対象区域 又は区画	具体的区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式/ 火災感知器の種類 及び選定理由	設置環境を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策	放射線量が 高い場所	原子炉格納容器	・原子炉格納容器には、アナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器及び非アナログ式の熱感知器を設置する。ただし、比較的低放射線環境の煙感知器は、放射線による故障を防止するため、非アナログ式とする。 ・非アナログ式の煙感知器及び非アナログ式の熱感知器は本装置が発生するような事故を考慮して念のため防塵型とする。 ・熱感知器は非アナログ式であるが、放射線による赤外線感知のため、放射線が生じた時点で感知することができ、火災の早期感知に優位性がある。	① 煙感知器 ③ 熱感知器 ④ 防塵型 熱感知器 ⑤ 赤外線 熱感知器 (赤外線)	非アナログ式 非アナログ式	・放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式の熱感知器を選定した。 ・全周構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない。 ・熱感知器は放射線から放射される熱エネルギーの特有の波長成分とららつきを赤外線により検出。 ・非アナログ式の火災感知器であるが、火災の感知に時間差がなく、火災の早期感知が可能。	-	放射線量が 高い場所			非アナログ式 非アナログ式	・放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式の熱感知器を選定した。 ・全周構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない。 ・熱感知器は放射線から放射される熱エネルギーの特有の波長成分とららつきを赤外線により検出。 ・非アナログ式の火災感知器であるが、火災の感知に時間差がなく、火災の早期感知が可能。	・熱感知器は作動温度が周囲の温度より高い温度のものを選定。 ・火災特有の性質を検出する赤外線方式を採用。 ・放射線が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置。	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>設置する感知器の組合せ、及び設置対象区域・区画の相違</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違</li> <li>(女川実績の反映)</li> </ul>
設置対象区域 又は区画	具体的 区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式 火災感知器の種類 及び選定理由	設置環境を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策																																					
放射線量が低い場所	原子炉格納容器	・プラント運転中は高放射線環境となることからアナログ式感知器を室外に設置すると故障する可能性がある。ただし、プラント運転中の原子炉格納容器は作業員により木質化しており火災の発生の可能性が低い。このため、プラント運転中の作業員入場を受信機にて作動信号を除外する。 ・プラント停止から低放射線までの期間において、火災早期検出を確保するため、高放射線環境及び低放射線環境にそれぞれ非アナログ式の熱感知器を設置。 ・保安通行規則に非アナログ式の熱感知器と熱感知器を設置。また、想定火災源の近傍上側に非アナログ式の熱感知器を設置。	① 煙感知器	非アナログ式 非アナログ式	・煙感知器以外の動作原理を有する感知器として熱感知器及び熱感知器等があるが感知精度の非等を受けにくいものは非アナログ式の熱感知器が適当。	-																																					
	凝縮タンク	・保安通行規則に非アナログ式の熱感知器と熱感知器を設置。	① 煙感知器 ④ 熱感知器	非アナログ式 非アナログ式	・熱感知器は作動温度が周囲環境より高い温度のものを選定。 ・熱感知器試験で、凝縮タンク室内の1.5m高サイタルを想定した物品を選定での健全性を確認した物品を選定。 ・1.5m高サイタル毎に、物品を交換。	-																																					
設置対象区域 又は区画	具体的区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式/ 火災感知器の種類 及び選定理由	設置環境を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策																																					
放射線量が 高い場所	原子炉格納容器	・原子炉格納容器には、アナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器及び非アナログ式の熱感知器を設置する。ただし、比較的低放射線環境の煙感知器は、放射線による故障を防止するため、非アナログ式とする。 ・非アナログ式の煙感知器及び非アナログ式の熱感知器は本装置が発生するような事故を考慮して念のため防塵型とする。 ・熱感知器は非アナログ式であるが、放射線による赤外線感知のため、放射線が生じた時点で感知することができ、火災の早期感知に優位性がある。	① 煙感知器 ③ 熱感知器 ④ 防塵型 熱感知器 ⑤ 赤外線 熱感知器 (赤外線)	非アナログ式 非アナログ式	・放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式の熱感知器を選定した。 ・全周構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない。 ・熱感知器は放射線から放射される熱エネルギーの特有の波長成分とららつきを赤外線により検出。 ・非アナログ式の火災感知器であるが、火災の感知に時間差がなく、火災の早期感知が可能。	-																																					
	放射線量が 高い場所			非アナログ式 非アナログ式	・放射線による火災感知器の故障を防止するため、非アナログ式の熱感知器を選定した。 ・全周構造であり可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発を生じた場合に、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない。 ・熱感知器は放射線から放射される熱エネルギーの特有の波長成分とららつきを赤外線により検出。 ・非アナログ式の火災感知器であるが、火災の感知に時間差がなく、火災の早期感知が可能。	・熱感知器は作動温度が周囲の温度より高い温度のものを選定。 ・火災特有の性質を検出する赤外線方式を採用。 ・放射線が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置。																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<table border="1"> <caption>女川原子力発電所2号炉における火災感知器の基本設計方針</caption> <thead> <tr> <th>設置対象区域 又は区画</th> <th>具体的 区域</th> <th>周囲の環境条件と 感知器の選定方針</th> <th>種類</th> <th>アナログ式/ 非アナログ式</th> <th>非アナログ式 火災感知器の特徴 及び優位点</th> <th>設置領域を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれ がある箇所</td> <td>DC125V バッテ リ室(A)01室 区分用バッチ リ室 DC250V バッテ リ室 緊急時対応建 屋バッチリ室 緊急用電気品 建屋蓄電池室</td> <td>・充電池に水素発生のおそれがある蓄 電池室は、引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれがあるため、防 爆型の煙感知器及び熱感知器を設 置</td> <td>① 煙感知 器(熱型)</td> <td>アナログ式 非アナログ式 (アナログ式 防爆型熱感知 器が存在しな いため)</td> <td>・引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれがあるため、感知器作 動時の爆発を考慮した防爆型火 災感知器を選定</td> <td>・設置領域は動作動作を発生する警 告風を形成する設備がない ・爆発を抑制設備により安定した室内 環境を確保していることから、新 作防止対策</td> </tr> <tr> <td>高湿度環境の ケーブル/コネクタ</td> <td>区分1ケーブ ル連絡コネク タ 区分目ケーブ ル連絡コネク タ 区分目ケーブ ル連絡コネク タ 液体貯蔵タン クエリア DC100(A) 01KS /連絡配管コネ クタ DC100(B)連絡配 管コネクタ</td> <td>・コネクタ内の湿度環境を考慮し、防 爆型煙感知器と防水型熱感知器を 設置</td> <td>② 煙感知 器(防爆型)</td> <td>アナログ式<sup>①</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>③ 熱感知 器(防爆型)</td> <td>アナログ式<sup>①</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置対象区域 又は区画	具体的 区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式 火災感知器の特徴 及び優位点	設置領域を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策	引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれ がある箇所	DC125V バッテ リ室(A)01室 区分用バッチ リ室 DC250V バッテ リ室 緊急時対応建 屋バッチリ室 緊急用電気品 建屋蓄電池室	・充電池に水素発生のおそれがある蓄 電池室は、引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれがあるため、防 爆型の煙感知器及び熱感知器を設 置	① 煙感知 器(熱型)	アナログ式 非アナログ式 (アナログ式 防爆型熱感知 器が存在しな いため)	・引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれがあるため、感知器作 動時の爆発を考慮した防爆型火 災感知器を選定	・設置領域は動作動作を発生する警 告風を形成する設備がない ・爆発を抑制設備により安定した室内 環境を確保していることから、新 作防止対策	高湿度環境の ケーブル/コネクタ	区分1ケーブ ル連絡コネク タ 区分目ケーブ ル連絡コネク タ 区分目ケーブ ル連絡コネク タ 液体貯蔵タン クエリア DC100(A) 01KS /連絡配管コネ クタ DC100(B)連絡配 管コネクタ	・コネクタ内の湿度環境を考慮し、防 爆型煙感知器と防水型熱感知器を 設置	② 煙感知 器(防爆型)	アナログ式 <sup>①</sup>						③ 熱感知 器(防爆型)	アナログ式 <sup>①</sup>				<p><b>【女川】</b></p> <p>■設計の相違</p> <p>設置する感知器の組合 せ、及び設置対象区域・ 区画の相違。</p> <p>泊は、蓄電池室は多重化 し非常用電源から受電 している換気空調設備 による換気により、「電 気設備に関する技術 基準を定める省令」 第六十九条及び「工 場電気設備防爆指 針」で要求される爆 発性雰囲気とはなら ないため、当該の火 災区域又は火災区画 に設置する電気・計 装品は防爆型としない 設計である。この ため、蓄電池室にはア ナログ式の煙とアナロ グ式の熱感知器を設 置する設計としている。 また、泊は高湿度環境 になりやすく一般的な アナログ式の煙感知器 及び熱感知器による火 災感知器が適さない場 所は無い。</p> <p><b>【大飯】</b></p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>
設置対象区域 又は区画	具体的 区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式 火災感知器の特徴 及び優位点	設置領域を踏まえた 火災感知器の 動作防止対策																									
引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれ がある箇所	DC125V バッテ リ室(A)01室 区分用バッチ リ室 DC250V バッテ リ室 緊急時対応建 屋バッチリ室 緊急用電気品 建屋蓄電池室	・充電池に水素発生のおそれがある蓄 電池室は、引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれがあるため、防 爆型の煙感知器及び熱感知器を設 置	① 煙感知 器(熱型)	アナログ式 非アナログ式 (アナログ式 防爆型熱感知 器が存在しな いため)	・引火性又は発火性の警 告風を形成するおそれがあるため、感知器作 動時の爆発を考慮した防爆型火 災感知器を選定	・設置領域は動作動作を発生する警 告風を形成する設備がない ・爆発を抑制設備により安定した室内 環境を確保していることから、新 作防止対策																									
高湿度環境の ケーブル/コネクタ	区分1ケーブ ル連絡コネク タ 区分目ケーブ ル連絡コネク タ 区分目ケーブ ル連絡コネク タ 液体貯蔵タン クエリア DC100(A) 01KS /連絡配管コネ クタ DC100(B)連絡配 管コネクタ	・コネクタ内の湿度環境を考慮し、防 爆型煙感知器と防水型熱感知器を 設置	② 煙感知 器(防爆型)	アナログ式 <sup>①</sup>																											
			③ 熱感知 器(防爆型)	アナログ式 <sup>①</sup>																											



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
		<table border="1"> <caption>泊発電所3号炉における火災感知設備の基本設計方針</caption> <thead> <tr> <th>設置対象区域 又は区画</th> <th>具体的区域</th> <th>周囲の環境条件と 感知器の選定方針</th> <th>種類</th> <th>アナログ式/ 非アナログ式</th> <th>非アナログ式 火災感知器の特徴 及び優位点</th> <th>設備環境を踏まえた 火災感知器の 誤作動防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替非常用 発電機エリア</td> <td>代替非常用 発電機エリア</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替非常用発電機エリアは屋外であるため、エリア全体の火災を感知する必要はないが、火災による煙が周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難であることと及び降水等の侵入により火災感知器の故障が想定される。</li> <li>アナログ式の屋外仕様の赤外線感知機能を備えた熱感知カメラ(赤外線方式)及び非アナログ式の屋外仕様の炎検出装置(赤外線方式)を設置する</li> </ul> </td> <td>⑦ 炎検出装置 (赤外線方式)</td> <td>非アナログ式の 炎検出装置 が存在しない ため</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>炎検出装置は、物質の燃焼時に発生する「特有な赤外線放射」の3つの波長帯を監視し、CO<sub>2</sub>共鳴放射線(「炎のちからつき」をとらえること)で検知することから早期の火災感知が可能である</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>降水等の侵入を考慮して、屋外仕様の炎検出器を選定することで、</li> <li>遮光版を視野角に影響がないよう設置し、太陽光の影響を防ぐ</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>代替非常用 発電機エリア</td> <td>代替非常用 発電機エリア</td> <td></td> <td>⑧ 熱感知 カメラ (赤外線方式)</td> <td>アナログ式<sup>※1</sup></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ここである「アナログ式」は、平常時の(温度、煙の濃度)を監視し、かつ火災現象(急激な温度や煙の濃度を上昇を)把握することのできる機能を持つものと定義する。</p>	設置対象区域 又は区画	具体的区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式 火災感知器の特徴 及び優位点	設備環境を踏まえた 火災感知器の 誤作動防止対策	代替非常用 発電機エリア	代替非常用 発電機エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替非常用発電機エリアは屋外であるため、エリア全体の火災を感知する必要はないが、火災による煙が周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難であることと及び降水等の侵入により火災感知器の故障が想定される。</li> <li>アナログ式の屋外仕様の赤外線感知機能を備えた熱感知カメラ(赤外線方式)及び非アナログ式の屋外仕様の炎検出装置(赤外線方式)を設置する</li> </ul>	⑦ 炎検出装置 (赤外線方式)	非アナログ式の 炎検出装置 が存在しない ため	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎検出装置は、物質の燃焼時に発生する「特有な赤外線放射」の3つの波長帯を監視し、CO<sub>2</sub>共鳴放射線(「炎のちからつき」をとらえること)で検知することから早期の火災感知が可能である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>降水等の侵入を考慮して、屋外仕様の炎検出器を選定することで、</li> <li>遮光版を視野角に影響がないよう設置し、太陽光の影響を防ぐ</li> </ul>	代替非常用 発電機エリア	代替非常用 発電機エリア		⑧ 熱感知 カメラ (赤外線方式)	アナログ式 <sup>※1</sup>	—	—	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>設置する感知器の組合せ、及び設置対象区域・区画の相違</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違</li> </ul> <p>(女川実績の反映)</p>
設置対象区域 又は区画	具体的区域	周囲の環境条件と 感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	非アナログ式 火災感知器の特徴 及び優位点	設備環境を踏まえた 火災感知器の 誤作動防止対策																		
代替非常用 発電機エリア	代替非常用 発電機エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替非常用発電機エリアは屋外であるため、エリア全体の火災を感知する必要はないが、火災による煙が周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難であることと及び降水等の侵入により火災感知器の故障が想定される。</li> <li>アナログ式の屋外仕様の赤外線感知機能を備えた熱感知カメラ(赤外線方式)及び非アナログ式の屋外仕様の炎検出装置(赤外線方式)を設置する</li> </ul>	⑦ 炎検出装置 (赤外線方式)	非アナログ式の 炎検出装置 が存在しない ため	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎検出装置は、物質の燃焼時に発生する「特有な赤外線放射」の3つの波長帯を監視し、CO<sub>2</sub>共鳴放射線(「炎のちからつき」をとらえること)で検知することから早期の火災感知が可能である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>降水等の侵入を考慮して、屋外仕様の炎検出器を選定することで、</li> <li>遮光版を視野角に影響がないよう設置し、太陽光の影響を防ぐ</li> </ul>																		
代替非常用 発電機エリア	代替非常用 発電機エリア		⑧ 熱感知 カメラ (赤外線方式)	アナログ式 <sup>※1</sup>	—	—																		



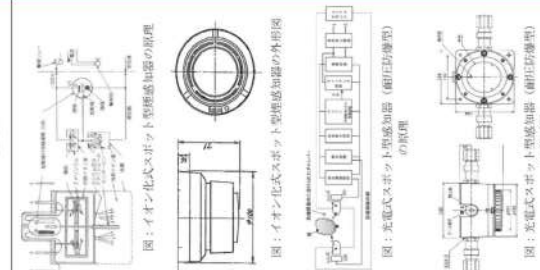
赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
○火災感知器の型式毎の原理と特徴						
型式	原理と特徴	適応箇所	適応箇所	アナログ/非アナログ	放射線の影響	概要図
① 煙感知器	<p>感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、発光素子に光が当たることによって煙を感知する。</p> <p>・炎が生じる際の発煙段階からの煙の早期感知が可能である。</p> <p>【設置範囲の例】※1 20m未満 75㎡又は150㎡あたり1個</p>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・大空間(通路等)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス・蒸気等が日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・大空間(通路等)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス・蒸気等が日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発光素子から出力される信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することが可能である。</li> <li>・受信機では平常時の状態を監視し、急激な温度上昇の把握が可能である。</li> </ul>	<p>感知器内部に半導体基板を積層していることから放射線により放射線の可能性がある。</p>	<p>図：煙感知器の原理</p> <p>図：煙感知器の外形</p>
② 煙感知器(防湿型)	<p>感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、発光素子に光が当たることによって煙を感知する。</p> <p>・炎が生じる際の発煙段階からの煙の早期感知が可能である。</p> <p>・ヒーパード付で放射線に強い。</p> <p>【設置範囲の例】※1 15㎡又は100㎡あたり1個</p>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発光素子から出力される信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することが可能である。</li> <li>・受信機では平常時の状態を監視し、急激な温度上昇の把握が可能である。</li> </ul>	<p>感知器内部に半導体基板を積層していることから放射線により放射線の可能性がある。</p>	<p>図：煙感知器の原理</p> <p>図：煙感知器の外形</p>
③ 防湿型煙感知器	<p>感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、発光素子に光が当たることによって煙を感知する。</p> <p>・炎が生じる際の発煙段階からの煙の早期感知が可能である。</p> <p>・全閉構造であり可燃性ガス又は引火性の混合気体が感知器内部に進入して発煙を生じた場合、感知器が感知能力を失った場合、感知による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気には感知しない。</p>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> <li>・小空間(室内)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>非アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発光素子から出力される信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することが可能である。</li> <li>・受信機では平常時の状態を監視し、急激な温度上昇の把握が可能である。</li> </ul>	<p>感知器内部に半導体基板を積層していることから放射線により放射線の可能性がある。</p>	<p>図：煙感知器の原理</p> <p>図：煙感知器の外形</p>
○火災感知器の型式毎の原理と特徴						
型式	原理と特徴	適応箇所	適応箇所	アナログ/非アナログ	放射線の影響	概要図
① 煙感知器	<p>感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、発光素子に光が当たることによって煙を感知する。</p> <p>・炎が生じる際の発煙段階からの煙の早期感知が可能である。</p> <p>【適応高さの例】※1 20m未満 75㎡又は150㎡あたり1個</p>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・大空間(通路等)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス・蒸気等が日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小空間(室内)</li> <li>・大空間(通路等)</li> </ul> <p>不適切な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス・蒸気等が日常的に発生する場所</li> </ul>	<p>アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検知素子から出力される信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することが可能である。</li> <li>・受信機では平常時の状態を監視し、急激な温度上昇の把握が可能である。</li> </ul>	<p>感知器内部に半導体基板を積層していることから放射線により放射線の可能性がある。</p>	<p>図：煙感知器の原理</p> <p>図：煙感知器の外形</p>

【女川】  
 ■設計の相違  
 設置する感知器の種類及び構造の相違。  
 泊は防湿型の煙感知器を使用する必要のあるエリアは無く、防湿型でないアナログ式又は防湿型の非アナログ式の煙感知器を設置する設計としている。

【大阪】  
 ■記載内容の相違  
 (女川実績の反映)

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>概要図</p>  <p>図：イオン化式スポット型煙感知器の原理</p> <p>図：イオン化式スポット型煙感知器の外形図</p> <p>図：光電式スポット型煙感知器の原理</p> <p>図：光電式スポット型煙感知器の外形図</p> <p>放射線の影響</p> <p>アナログ/非アナログ</p> <p>運転箇所</p> <p>原理と特徴</p> <p>型式</p> <p>②                      点検型                      煙感知器</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>設置する感知器の種類及び構造の相違</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違</li> </ul> <p>(女川実績の反映)</p>

赤字: 設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

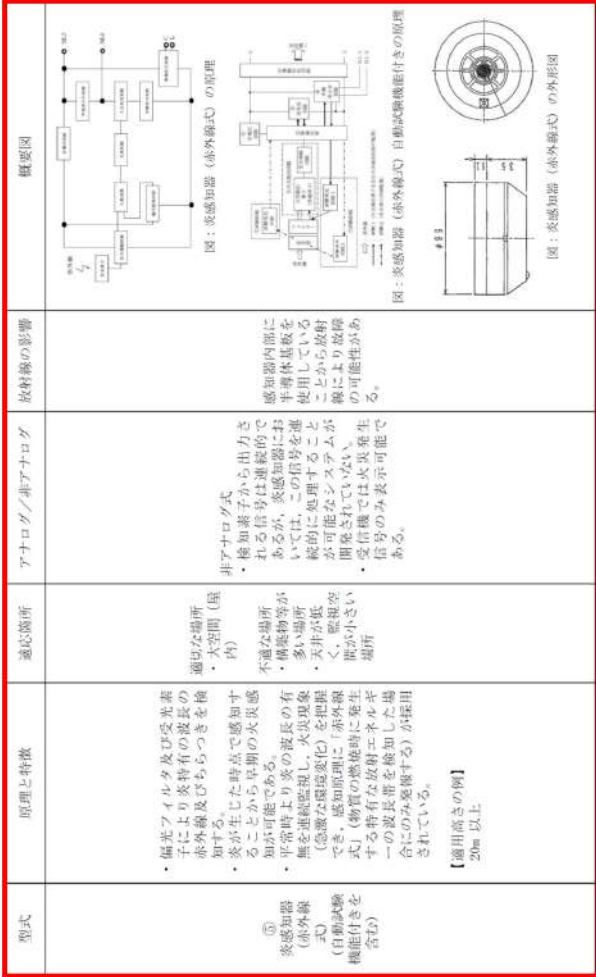
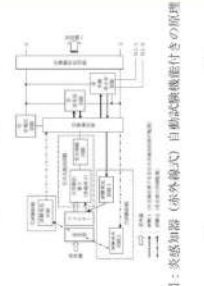
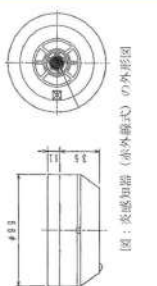
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>型式</th> <th>原理と特徴</th> <th>適用箇所</th> <th>アナログ/非アナログ</th> <th>放射線の影響</th> <th>概要図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ 熱感知器</td> <td>温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合</td> <td>アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。</td> <td>感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図</td> </tr> <tr> <td>④ 熱感知器(日本製)</td> <td>温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合</td> <td>アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。</td> <td>感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図</td> </tr> <tr> <td>⑤ 熱感知器(海外製)</td> <td>温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合</td> <td>アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。</td> <td>感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図</td> </tr> </tbody> </table>	型式	原理と特徴	適用箇所	アナログ/非アナログ	放射線の影響	概要図	③ 熱感知器	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図	④ 熱感知器(日本製)	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図	⑤ 熱感知器(海外製)	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図	<table border="1"> <thead> <tr> <th>型式</th> <th>原理と特徴</th> <th>適用箇所</th> <th>アナログ/非アナログ</th> <th>放射線の影響</th> <th>概要図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ 熱感知器</td> <td>温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合</td> <td>アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。</td> <td>感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個</td> <td>概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図</td> </tr> </tbody> </table>	型式	原理と特徴	適用箇所	アナログ/非アナログ	放射線の影響	概要図	③ 熱感知器	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>設置する感知器の種類及び構造の相違。      泊は防水型の熱感知器を使用する必要のあるエリアは無く、防水型でないアナログ式又は非アナログ式の熱感知器を設置する設計としている。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違</li> </ul> <p>(女川実績の反映)</p>
型式	原理と特徴	適用箇所	アナログ/非アナログ	放射線の影響	概要図																																		
③ 熱感知器	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図																																		
④ 熱感知器(日本製)	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図																																		
⑤ 熱感知器(海外製)	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図																																		
型式	原理と特徴	適用箇所	アナログ/非アナログ	放射線の影響	概要図																																		
③ 熱感知器	温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	適切な場所 ・小空間(室内) 不適な場所 ・火災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考慮される場合	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的に処理することにより、この信号を連続的に処理することにより、急激な温度上昇の把握が可能である。	感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性が大きい。 【設置高さの例】※1 15 m~70 mあたり1個	概要図 図: 熱感知器の原理 図: 熱感知器の外形図																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><b>概要図</b></p> <p>図：防煙型熱感知器の原理</p> <p>図：防煙型熱感知器(自動試験機能付き)の外形図</p> <p><b>放射線の影響</b></p> <p>【防煙型熱感知器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感知器内部に半導体を使用していないため、放射線による放射線による劣化の可能性はない。</li> </ul> <p>【防煙型熱感知器(自動試験機能付き)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感知器内部に半導体を使用していることから放射線による劣化の可能性はある。</li> </ul> <p><b>アナログ/非アナログ</b></p> <p>非アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感知器から出力される信号は接点のオンオフのみである。</li> <li>受信機では水災発生信号のみ表示可能である。</li> <li>なお、温度検知素子により感知する防煙型の感知器は開発されていない。</li> </ul> <p><b>適応箇所</b></p> <p>適応な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引火柱又は発火性の発生所を形成するおそれがある場所</li> <li>不適な場所</li> <li>水災源からの距離が離れており、温度上昇が遅いと考えられる場合</li> </ul> <p><b>原理と特徴</b></p> <p>【防煙型熱感知器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>膨張係数の大きい金属の外筒と膨張係数の小さいストラットを組合せ、その膨張係数の差によって接点を閉じて火災として感知する。</li> <li>炎が生じ、温度上昇した場</li> <li>全周構造であり可燃性ガス内部に進入して燃焼を生じた場合に、当該感知器の膨張力に耐え、かつ、膨発による炎災が当該火災感知器の外筒のガス又は蒸気、点火しない。</li> </ul> <p>【防煙型熱感知器(自動試験機能付き)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度検知素子により感知器周辺の雰囲気温度を検知する。</li> <li>炎が生じ、温度上昇した場</li> <li>合に火災として感知する。</li> <li>又は引火柱の可燃性ガス内部に進入して燃焼を生じた場合に、当該感知器の膨張力に耐え、かつ、膨発による炎災が当該火災感知器の外筒のガス又は蒸気、点火しない。</li> </ul> </div>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> <li>設置する感知器の種類及び構造の相違</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違</li> <li>(女川実績の反映)</li> </ul>
		<p>型式</p> <p>④ 防煙型熱感知器</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><b>概要図</b></p>  <p>図：炎感知器 (赤外線式) の原理</p>  <p>図：炎感知器 (赤外線式) 自動試験機能付きの原理</p>  <p>図：炎感知器 (赤外線式) の外形図</p> </div> <p><b>型式</b></p> <p>⑤              炎感知器              (赤外線              式)              (自動試験              機能付きを              含む)</p> <p><b>原理と特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>偏光ファイバが及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びびつきを検知する。</li> <li>炎が生じた時点で感知することが可能である。</li> <li>平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象 (急激な環境変化) を把握でき、感知原理に「赤外線式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を検知した場場合にのみ発報する) が採用されている。</li> </ul> <p>【適用高さの例】 20m 以上</p> <p><b>適応箇所</b></p> <p>適応した場所 (屋内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大空間</li> </ul> <p>不適応な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造物等が多い場所</li> <li>天井が低く、監視空間が小さい場所</li> </ul> <p><b>アナログ/非アナログ</b></p> <p>非アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検知素子から出力される信号は連続的であるが、炎感知器においては、この信号を連続的に処理することが可能ない。そのため、関係されたシステムが受信機では火災発生信号のみ表示可能である。</li> </ul> <p><b>放射線の影響</b></p> <p>感知器内部に半導体素子を使用していることから放射線により故障の可能性が有る。</p>	<p><b>相違理由</b></p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>設置する感知器の種類及び構造の相違</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</li> </ul>

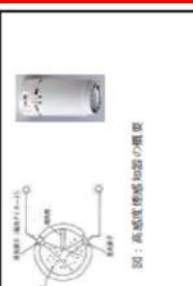
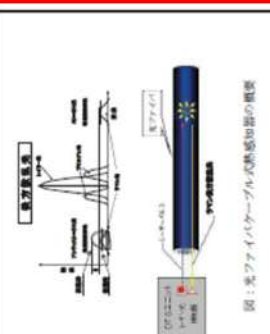
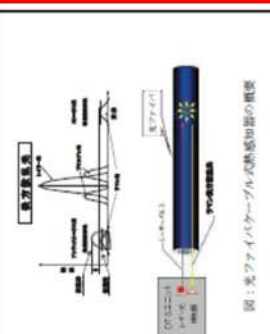

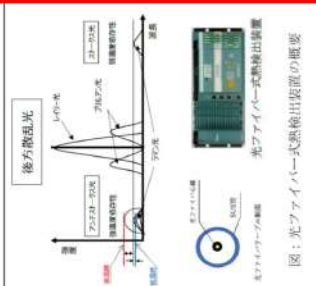
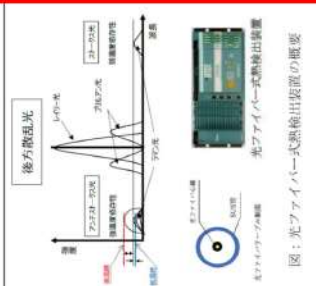
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1366 159 1926 558"> <p>概要図</p> <p>図：光電分離型煙感知器の原理</p> <p>図：光電分離型煙感知器の外形図</p> </div>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違</li> </ul> <p>設置する感知器の種類及び構造の相違</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</li> </ul>
		<p>放射線の影響</p> <p>感知器内部に半導体基板を使用していることから放射線により故障の可能性があら。</p>	
		<p>アナログ式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検知素子から出力される信号は連続的であり、この信号を連続的な制御器等がある。</li> <li>受信機では平常時の状態を監視し、急激な温度上昇の把握が可能である。</li> </ul>	
		<p>適応箇所</p> <p>適切な場所                  ・大空間 (屋内)</p> <p>不適な場所                  ・ガス・蒸気等が日常的に発生する場所</p>	
		<p>原理と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光を發する送光部から發せられた光を受け、火災の際の煙の煙による受光部の受光量の変化を検出して感知する。</li> <li>夜が生じる前の発煙段階からの煙の早期感知が可能である。</li> </ul> <p>【適用高さの例】 20m未満</p>	
		<p>型式</p> <p>⑥ 光電分離型煙感知器</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
型式	④ 熱感知器 (金属の膨張係数の差を利用したもの)	④ 屋外仕様 熱感知器 (赤外線)	④ 屋外仕様 熱感知カメラ (赤外線)	型式	⑦ 炎検出装置 (赤外線方式)	【女川】 ■設計の相違 設置する感知器の種類及び構造の相違 【大阪】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)
原理と特徴	・熱膨張係数の大きい金属の筒の内径と膨張係数の小さいストロークの内径を組合せてその差で感知する。 ・火災発生により膨張係数の差を利用して火災を検知する。 ・多岐にわたる温度上昇した場合に火災として感知する。	・高温状態にある物質から放射される赤外線エネルギーから火災を検知する。 ・赤外線カメラから放射されるエネルギーのみをセンサーで検知し、その発生を検知する。 ・炎が生じた時点で感知することから早期の火災感知が可能である。 ・設置、防水構造のハウジングを有しており、屋外でも使用可能である。	・赤外線によって対象箇所が放射する赤外線エネルギーをセンサーで検知する。 ・熱感知カメラからの信号が設定温度(80℃)に設定値は変更可能)を超えると、受信機は火災と感知してアラームを吹鳴する。 ・熱センサーがハウジングを有しており、屋外でも使用可能である。	原理と特徴 ・炎検出装置は、物質の燃焼時に発生する「特有な赤外線放射」の3つの波長帯を監視し、CO共鳴放射帯のピークを検出した場合」と、それらを検知する。 ・炎が生じた時点で感知することから早期の火災感知が可能である。	型式 ⑦ 炎検出装置 (赤外線方式)	
用途箇所	適切な場所 ・小空間(室内) 不適切な場所 ・大空間(屋外) ・構造物等が多い場所	適切な場所 ・大空間(屋外) 不適切な場所 ・小空間(室内) ・構造物等が多い場所	適切な場所 ・大空間(屋外) 不適切な場所 ・小空間(室内) ・構造物等が多い場所	用途箇所 適切な場所 ・大空間(屋外) 不適切な場所 ・小空間(室内) ・構造物等が多い場所	用途箇所 適切な場所 ・大空間(屋外) 不適切な場所 ・小空間(室内) ・構造物等が多い場所	
アラログ/非アラログ	アラログ方式 ・感知器から出力される信号は検出のオンオフのみである。 ・受信機では火災発生信号のみ表示可能である。	アラログ方式 ・検知素子から出力される信号は連続的であるが、感知器は連続的に処理することによりアラームを発生し、緊急の温度上昇を監視し、火災発生信号のみ表示可能である。	アラログ方式 ・熱感知カメラからの出力される信号は連続的であり、受信機ではサーモグラフィ映像により異常時の状態を監視し、火災発生信号のみ表示可能である。	アラログ/非アラログ ・検知素子から出力される信号は連続的であるが、感知器は連続的に処理することによりアラームを発生し、緊急の温度上昇を監視し、火災発生信号のみ表示可能である。	アラログ/非アラログ ・検知素子から出力される信号は連続的であるが、感知器は連続的に処理することによりアラームを発生し、緊急の温度上昇を監視し、火災発生信号のみ表示可能である。	
放射線の影響	感知器内部に半導体基盤を使用せず、接点方式であることにより放射線の影響を受けにくい。	感知器内部に半導体基盤を使用していることにより放射線により故障の可能性がある。	感知器内部に半導体基盤を使用していることにより放射線により故障の可能性がある。	放射線の影響 感知器内部に半導体基盤を使用していることにより放射線により故障の可能性がある。	放射線の影響 感知器内部に半導体基盤を使用していることにより放射線により故障の可能性がある。	
概要図	図：熱感知器の取組(金属の膨張係数の差を利用したもの) 図：熱感知器の外形(金属の膨張係数の差を利用したもの)	図：屋外仕様熱感知器の概要 図：屋外仕様熱感知カメラの概要	図：屋外仕様熱感知カメラの概要	概要図 図：炎検出装置の概要 図：熱感知カメラの概要	概要図 図：炎検出装置の概要 図：熱感知カメラの概要	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
型式	① 高感度煙 検出設備	② 光ファイバセ ンサー式熱感 知器	③ 光ファイバセ ンサー式熱感 知器	型式	④ 煙検出装置	【女川】 ■設計の相違 設置する感知器の種類及び構造の相違。 女川は中央制御盤内に高感度煙検出装置を設置しているのに対し、泊の中央制御盤は小型であるため盤内に煙検出装置を設置する設計としている。  【大阪】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)	
原理と特徴	・感知器内に煙が取り込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・光ファイバセンサーにパルス光を入射すると、その光は光ファイバセンサー中で散乱を生じながら進行する。その散乱光の一つであるラムマン散乱光には偏極依存性があり、これを検知することにより感煙を監視する。 ・光ファイバセンサーにパルス光を入射してから、発生した後方ラムマン散乱光が入射端に戻ってくるまでの往復時間を測定することで、散乱光が発生した位置 (火災源) を検知可能である。	・検出装置内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・検出装置内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・検出装置内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・光ファイバセンサーにパルス光を入射すると、その光は光ファイバセンサー中で散乱を生じながら進行する。その散乱光の一つであるラムマン散乱光には偏極依存性があり、これを検知することにより感煙を監視する。 ・光ファイバセンサーにパルス光を入射してから、発生した後方ラムマン散乱光が入射端に戻ってくるまでの往復時間を測定することで、散乱光が発生した位置 (火災源) を検知可能である。	
原価と特徴	・感知器内に煙が取り込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・光ファイバセンサーにパルス光を入射すると、その光は光ファイバセンサー中で散乱を生じながら進行する。その散乱光の一つであるラムマン散乱光には偏極依存性があり、これを検知することにより感煙を監視する。 ・光ファイバセンサーにパルス光を入射してから、発生した後方ラムマン散乱光が入射端に戻ってくるまでの往復時間を測定することで、散乱光が発生した位置 (火災源) を検知可能である。	・光ファイバセンサーにパルス光を入射すると、その光は光ファイバセンサー中で散乱を生じながら進行する。その散乱光の一つであるラムマン散乱光には偏極依存性があり、これを検知することにより感煙を監視する。 ・光ファイバセンサーにパルス光を入射してから、発生した後方ラムマン散乱光が入射端に戻ってくるまでの往復時間を測定することで、散乱光が発生した位置 (火災源) を検知可能である。	・検出装置内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・検出装置内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・検出装置内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当たることによって煙を検知する。 ・多がるる前の感煙段階からの煙の早期感知が可能である。 ・一般の煙感知器よりも高感度であり、小型であることから制御盤内等への設置に適する。 【感度】 下記感煙仕様の製品があり、設置環境に応じて適切なものを選択可能である。 ・0.1~10%	・光ファイバセンサーにパルス光を入射すると、その光は光ファイバセンサー中で散乱を生じながら進行する。その散乱光の一つであるラムマン散乱光には偏極依存性があり、これを検知することにより感煙を監視する。 ・光ファイバセンサーにパルス光を入射してから、発生した後方ラムマン散乱光が入射端に戻ってくるまでの往復時間を測定することで、散乱光が発生した位置 (火災源) を検知可能である。
適応箇所	適切な場所 ・小空間 (制御盤内) 不適切な場所 ・大空間 ・積圧が多いところ	適切な場所 ・水蒸気の滞留 (火災源直上) 不適切な場所 ・水蒸気からの滞留 ・煙が滞留し、検出が困難な場所	適切な場所 ・水蒸気の滞留 (火災源直上) 不適切な場所 ・水蒸気からの滞留 ・煙が滞留し、検出が困難な場所	適切な場所 ・小空間 (室内) 不適切な場所 ・ガス・蒸気等が日常的に発生する場所	適切な場所 ・火災源 (直上) 不適切な場所 ・水蒸気からの滞留 ・煙が滞留し、検出が困難な場所	適切な場所 ・火災源 (直上) 不適切な場所 ・水蒸気からの滞留 ・煙が滞留し、検出が困難な場所	
アナログ/非アナログ	アナログ式 ・検知素子から出力される信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することにより感煙が可能となる。 ・受信機では異常時の状態を監視し、急激な感煙上昇の把握が可能である。	アナログ式 ・光ファイバセンサーからの信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することにより感煙が可能となる。 ・受信機では異常時の状態を監視し、急激な感煙上昇の把握が可能である。	アナログ式 ・検知素子からの信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することにより感煙が可能となる。 ・受信機では異常時の状態を監視し、急激な感煙上昇の把握が可能である。	非アナログ式 ・検知素子での検知は連続的であり、監視しているが常に検知する信号の処理はできない。	アナログ式 ・光ファイバセンサーからの信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することにより感煙が可能となる。 ・受信機では異常時の状態を監視し、急激な感煙上昇の把握が可能である。	アナログ式 ・検知素子からの信号は連続的であり、この信号を連続的に処理することにより感煙が可能となる。 ・受信機では異常時の状態を監視し、急激な感煙上昇の把握が可能である。	
放射線の影響	検出装置内部に半導体基板を使用していることから、放射線の影響を受ける可能性がある。	検出装置内部に半導体基板を使用していることから、放射線の影響を受ける可能性がある。	検出装置内部に半導体基板を使用していることから、放射線の影響を受ける可能性がある。	検出装置内部に半導体基板を使用していることから、放射線の影響を受ける可能性がある。	検出装置内部に半導体基板を使用していることから、放射線の影響を受ける可能性がある。	検出装置内部に半導体基板を使用していることから、放射線の影響を受ける可能性がある。	
概要図	 図：高感度煙感知器の概要	 図：光ファイバセンサー式熱感知器の概要	 図：光ファイバセンサー式熱感知器の概要	 図：煙検出装置の外形図	 図：光ファイバセンサー式熱検出装置の概要	 図：光ファイバセンサー式熱検出装置の概要	

※1：消防法施行規則第二十三条で定める設置範囲による。

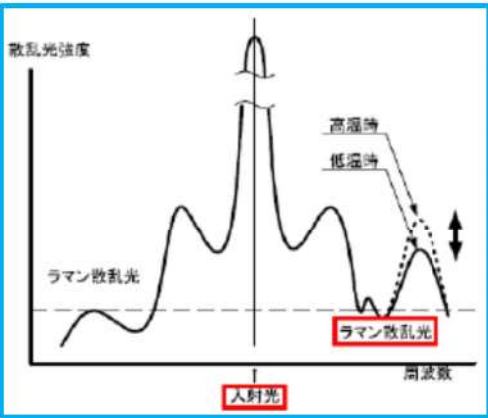
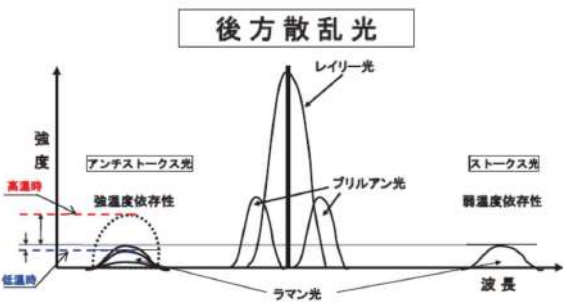
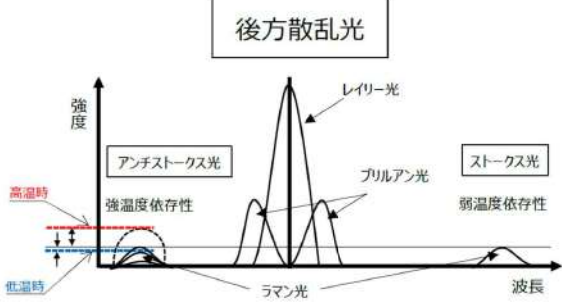
※1：消防法施行規則第二十三条で定める設置範囲による。



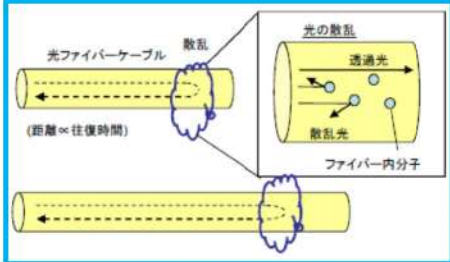
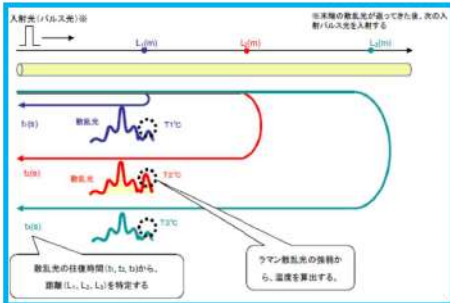
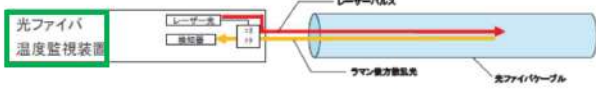
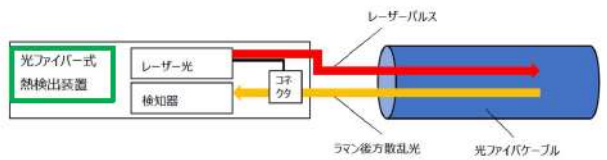
赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉 添付資料5 光ファイバケーブルを利用した感知器の設備仕様について	女川原子力発電所2号炉 別紙1 光ファイバケーブル式熱感知器の仕様及び動作原理について	泊発電所3号炉 別紙1 光ファイバ式熱検出装置の仕様及び動作原理について	相違理由																											
1. 設備仕様	2. 仕様	2. 仕様	【女川】 ■設備名称の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違 【女川】 ■設計の相違 泊は安全系計装盤室床下のフロアケーブルダクトについても光ファイバ式熱検出装置を設置 【女川・大飯】 ■設計の相違 設備仕様の相違																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>仕 様</th> <th>概要図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     光ファイバケーブル                      ・測定範囲 -20.0~150.0℃                      ・SUS管被覆付き光ファイバ                      ・SUS管 外径 2.0mm 内径 1.6mm                      ・光ファイバ 外径 0.7mm                 </td> <td>                      光ファイバケーブル断面                 </td> </tr> <tr> <td>                     光ファイバ式温度計測装置                      ・感知 1m毎の分解能                      ・温度表示範囲 -200.0℃~320.0℃                      ・表示サンプリング周期 0~60秒で設定可能                      ・無停電電源装置を設置                 </td> <td>                      光ファイバ式温度分布計測装置                 </td> </tr> <tr> <td>                     監視                      ・ケーブル布設エリア毎に、0.1℃刻みで温度を表示                      ・以下に示す、2種類の警報を発報                      ○上方しきい値警報                      ・温度測定値が、上方しきい値(例 60.0℃)を超えた場合警報を発報(警報値は、測定エリア毎に0.1℃刻みで任意に設定可能)                      ○差分上方しきい値警報                      ・過去の温度測定値と現在の温度測定値とを比較し、温度上昇が差分上方しきい値(例 14.0℃)を超えた場合警報を発報                 </td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>	仕 様	概要図	光ファイバケーブル ・測定範囲 -20.0~150.0℃ ・SUS管被覆付き光ファイバ ・SUS管 外径 2.0mm 内径 1.6mm ・光ファイバ 外径 0.7mm	 光ファイバケーブル断面	光ファイバ式温度計測装置 ・感知 1m毎の分解能 ・温度表示範囲 -200.0℃~320.0℃ ・表示サンプリング周期 0~60秒で設定可能 ・無停電電源装置を設置	 光ファイバ式温度分布計測装置	監視 ・ケーブル布設エリア毎に、0.1℃刻みで温度を表示 ・以下に示す、2種類の警報を発報 ○上方しきい値警報 ・温度測定値が、上方しきい値(例 60.0℃)を超えた場合警報を発報(警報値は、測定エリア毎に0.1℃刻みで任意に設定可能) ○差分上方しきい値警報 ・過去の温度測定値と現在の温度測定値とを比較し、温度上昇が差分上方しきい値(例 14.0℃)を超えた場合警報を発報		<table border="1"> <thead> <tr> <th>仕 様</th> <th>概要図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     光ファイバケーブル                      ・外被材料：SUS304                      ・外径：1.4mm                      ・光ファイバ芯数：1芯                      ・光ファイバ材質：石英系                      ・温度測定範囲：-20℃~80℃                 </td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>                     光ファイバ温度監視装置(DTS)                      ・光ファイバ敷設方向に対して1mの分解能                      ・温度測定範囲：-200.0℃~350.0℃                      ・非常用電源から給電し、無停電電源装置も設置                 </td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>                     監視状況                      ・ケーブル敷設箇所ごとに0.1℃刻みで温度を表示                      ・温度測定値が設定値を超えた場合に警報を発報                      ・選択した複数箇所の経時温度表示                 </td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>                     光ファイバケーブル設置方法                      ・監視対象物近傍の上部等にセンサ用光ファイバケーブルを敷設し、火災の早期感知を図る。                 </td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>	仕 様	概要図	光ファイバケーブル ・外被材料：SUS304 ・外径：1.4mm ・光ファイバ芯数：1芯 ・光ファイバ材質：石英系 ・温度測定範囲：-20℃~80℃		光ファイバ温度監視装置(DTS) ・光ファイバ敷設方向に対して1mの分解能 ・温度測定範囲：-200.0℃~350.0℃ ・非常用電源から給電し、無停電電源装置も設置		監視状況 ・ケーブル敷設箇所ごとに0.1℃刻みで温度を表示 ・温度測定値が設定値を超えた場合に警報を発報 ・選択した複数箇所の経時温度表示		光ファイバケーブル設置方法 ・監視対象物近傍の上部等にセンサ用光ファイバケーブルを敷設し、火災の早期感知を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>仕 様</th> <th>概要図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     光ファイバケーブル                      ・測定範囲 -20.0℃~150.0℃                      ・SUS管被覆付き光ファイバ                      ・SUS管 外径 2.0mm 内径 1.6mm                      ・光ファイバ 外径 0.7mm                 </td> <td>                      光ファイバケーブル断面                 </td> </tr> <tr> <td>                     光ファイバ式熱検出装置                      ・光ファイバケーブル敷設方向に対して1m毎の分解能                      ・測定可能範囲：-200.0℃~800.0℃                      ・表示サンプリング周期 1分以内                      ・非常用内電源から給電可能                      ・無停電電源装置を設置                 </td> <td>                      光ファイバ式熱検出装置                 </td> </tr> <tr> <td>                     監視状況                      ・ケーブル布設エリア毎に、0.1℃刻みで温度を表示                      ・以下に示す、2種類の警報を発信                      ○上限警報                      ・温度測定値が上限警報設定値(例：60.0℃)を超えた場合警報を発信                      ・測定エリア毎に、0.1℃刻みで任意に設定可能                      ○温度上昇変化率警報                      ・過去の温度測定値と現在の温度測定値とを比較し、温度上昇の変化率が一定温度(例 7.0℃)を超えた場合警報を発報                      ・選択した複数箇所の経時温度表示                 </td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>                     光ファイバケーブル設置方法                      ・監視対象物近傍の上部等にセンサ用光ファイバケーブルを敷設し、火災の早期感知を図る。                 </td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>	仕 様	概要図	光ファイバケーブル ・測定範囲 -20.0℃~150.0℃ ・SUS管被覆付き光ファイバ ・SUS管 外径 2.0mm 内径 1.6mm ・光ファイバ 外径 0.7mm	 光ファイバケーブル断面	光ファイバ式熱検出装置 ・光ファイバケーブル敷設方向に対して1m毎の分解能 ・測定可能範囲：-200.0℃~800.0℃ ・表示サンプリング周期 1分以内 ・非常用内電源から給電可能 ・無停電電源装置を設置	 光ファイバ式熱検出装置	監視状況 ・ケーブル布設エリア毎に、0.1℃刻みで温度を表示 ・以下に示す、2種類の警報を発信 ○上限警報 ・温度測定値が上限警報設定値(例：60.0℃)を超えた場合警報を発信 ・測定エリア毎に、0.1℃刻みで任意に設定可能 ○温度上昇変化率警報 ・過去の温度測定値と現在の温度測定値とを比較し、温度上昇の変化率が一定温度(例 7.0℃)を超えた場合警報を発報 ・選択した複数箇所の経時温度表示		光ファイバケーブル設置方法 ・監視対象物近傍の上部等にセンサ用光ファイバケーブルを敷設し、火災の早期感知を図る。	
仕 様	概要図																													
光ファイバケーブル ・測定範囲 -20.0~150.0℃ ・SUS管被覆付き光ファイバ ・SUS管 外径 2.0mm 内径 1.6mm ・光ファイバ 外径 0.7mm	 光ファイバケーブル断面																													
光ファイバ式温度計測装置 ・感知 1m毎の分解能 ・温度表示範囲 -200.0℃~320.0℃ ・表示サンプリング周期 0~60秒で設定可能 ・無停電電源装置を設置	 光ファイバ式温度分布計測装置																													
監視 ・ケーブル布設エリア毎に、0.1℃刻みで温度を表示 ・以下に示す、2種類の警報を発報 ○上方しきい値警報 ・温度測定値が、上方しきい値(例 60.0℃)を超えた場合警報を発報(警報値は、測定エリア毎に0.1℃刻みで任意に設定可能) ○差分上方しきい値警報 ・過去の温度測定値と現在の温度測定値とを比較し、温度上昇が差分上方しきい値(例 14.0℃)を超えた場合警報を発報																														
仕 様	概要図																													
光ファイバケーブル ・外被材料：SUS304 ・外径：1.4mm ・光ファイバ芯数：1芯 ・光ファイバ材質：石英系 ・温度測定範囲：-20℃~80℃																														
光ファイバ温度監視装置(DTS) ・光ファイバ敷設方向に対して1mの分解能 ・温度測定範囲：-200.0℃~350.0℃ ・非常用電源から給電し、無停電電源装置も設置																														
監視状況 ・ケーブル敷設箇所ごとに0.1℃刻みで温度を表示 ・温度測定値が設定値を超えた場合に警報を発報 ・選択した複数箇所の経時温度表示																														
光ファイバケーブル設置方法 ・監視対象物近傍の上部等にセンサ用光ファイバケーブルを敷設し、火災の早期感知を図る。																														
仕 様	概要図																													
光ファイバケーブル ・測定範囲 -20.0℃~150.0℃ ・SUS管被覆付き光ファイバ ・SUS管 外径 2.0mm 内径 1.6mm ・光ファイバ 外径 0.7mm	 光ファイバケーブル断面																													
光ファイバ式熱検出装置 ・光ファイバケーブル敷設方向に対して1m毎の分解能 ・測定可能範囲：-200.0℃~800.0℃ ・表示サンプリング周期 1分以内 ・非常用内電源から給電可能 ・無停電電源装置を設置	 光ファイバ式熱検出装置																													
監視状況 ・ケーブル布設エリア毎に、0.1℃刻みで温度を表示 ・以下に示す、2種類の警報を発信 ○上限警報 ・温度測定値が上限警報設定値(例：60.0℃)を超えた場合警報を発信 ・測定エリア毎に、0.1℃刻みで任意に設定可能 ○温度上昇変化率警報 ・過去の温度測定値と現在の温度測定値とを比較し、温度上昇の変化率が一定温度(例 7.0℃)を超えた場合警報を発報 ・選択した複数箇所の経時温度表示																														
光ファイバケーブル設置方法 ・監視対象物近傍の上部等にセンサ用光ファイバケーブルを敷設し、火災の早期感知を図る。																														

赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

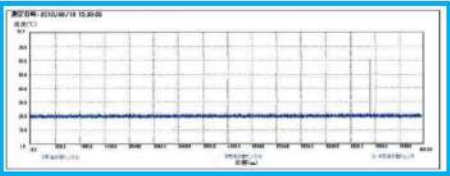
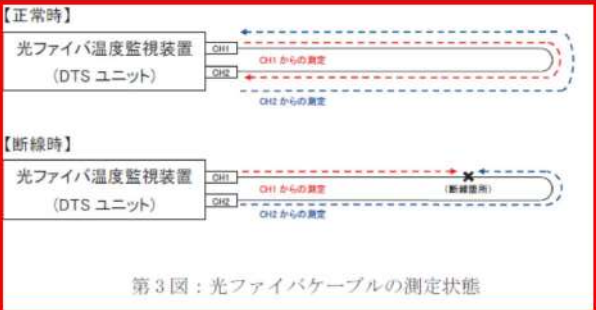
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 温度測定及び位置特定の原理</p> <p>(1) 温度測定の原理</p> <p>入射光は、光ファイバケーブル内の分子によって散乱され、一部の散乱光は波長(周波数)がシフトする。このうちラマン散乱光と呼ばれる散乱光は温度依存性を有している。したがって、光ファイバケーブルのラマン散乱光の強度を測定することにより、温度を測定することができる。</p> <p style="text-align: center;">温度測定の原理</p>  <p>(2) 位置特定の原理</p> <p>光ファイバケーブル内にパルス光を入射してから、ラマン散乱光が入射端に戻ってくるまでの往復時間を測定することで、散乱光が発生した地点を特定することができる。(図3)</p>	<p>3. 温度測定及び位置特定の原理</p> <p>(1) 温度測定の原理</p> <p>入射光は、光ファイバケーブル内の分子によって散乱され、一部の散乱光は波長(周波数)がシフトする。このうちラマン散乱光と呼ばれる散乱光は温度依存性を有している。ラマン散乱光にはストークス光とアンチストークス光があり、温度依存性の強いアンチストークス光と温度依存性の弱いストークス光の後方散乱光強度の比を測定し温度を測定することができる。(第1図)</p> <p style="text-align: center;">後方散乱光</p>  <p>第1図：温度測定の原理</p> <p>(2) 位置特定の原理</p> <p>位置情報は第2図のようにDTSユニット内の光源より出射した光パルスの後方散乱光が検知器に到達するまでの遅延時間を測定することにより、その後方散乱光の発生位置を特定することができる。</p>	<p>3. 温度測定及び位置特定の原理</p> <p>(1) 温度測定の原理</p> <p>入射光は、光ファイバケーブル内の分子によって散乱され、一部の散乱光は波長(周波数)がシフトする。このうちラマン散乱光と呼ばれる散乱光は温度依存性を有している。ラマン散乱光にはストークス光とアンチストークス光があり、温度依存性の強いアンチストークス光と温度依存性の弱いストークス光の後方散乱光強度の比を測定し温度を測定することができる。(第1図)</p> <p style="text-align: center;">後方散乱光</p>  <p>第1図：温度測定の原理</p> <p>(2) 位置特定の原理</p> <p>位置情報は第2図のように光ファイバ式熱検出装置内の光源より出射した光パルスの後方散乱光が検知器に到達するまでの遅延時間を測定することにより、その後方散乱光の発生位置を特定することができる。</p>	<p>【大飯】                  ■記載方針の相違                  (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】                  ■記載方針の相違                  原理説明図の相違</p> <p>【女川】                  ■設備名称の相違                  【大飯】                  ■記載方針の相違                  (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

<p>大飯発電所3 / 4号炉</p>  <p>図3 位置特定の原理 (1)</p> <p>入射光 (パルス光) の往復時間 (入射～受光) を測定することにより、入射点からの距離を特定できる。(図4)</p>  <p>図4 位置特定の原理 (2)</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第2図：位置特定の原理</p> <p>(3) ケーブル断線時の影響</p> <p>正常時は2つのチャンネルからそれぞれ光ファイバケーブル敷設箇所の温度を測定しており、断線が発生した場合は2つのチャンネルにおいて、断線地点までの測定が可能である。断線地点では光の異常反射が生じる場合があることから、断線箇所は温度測定ができませんが、それ以外の箇所では温度を測定することが可能である。(第3図)</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第2図：位置特定の原理</p> <p>(3) ケーブル断線時の影響</p> <p>正常時は1つのチャンネルから光ファイバケーブル敷設箇所の温度を測定しており、断線が発生した場合は、断線地点までの測定が可能である。断線時には早急に断線箇所を特定し、光ファイバケーブルの繋ぎ直し又は引き直しによる復旧を行う。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】              ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】              ■記載方針の相違              原理説明図の相違</p> <p>【大飯】              ■記載方針の相違              (女川実績の反映)</p> <p>【女川】              ■設計の相違              泊は光ファイバケーブル断線時には早急に断線部の融着による繋ぎ直し、あるいは光ファイバケーブルの引き直しによる復旧を行う方針としている。</p>
--	--	--	---



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 光ファイバー温度監視装置における火災発生箇所の表示</p> <p>光ファイバー温度監視装置は光ファイバケーブルを用いて温度を計測・監視しており、予め設定したしきい値を超えた場合は、警報発信するとともに、その位置を画面に表示する。</p> <p>以下に光ファイバー温度監視装置の表示画面を示す。光ファイバー温度監視画面では、設定したしきい値を超えた温度測定箇所が表示され、火災の発生場所を特定することが可能である。また、光ファイバケーブルで測定される温度分布を表示画面で確認できる。</p>  <p>光ファイバー温度監視装置表示画面</p>	 <p>第3図：光ファイバケーブルの測定状態</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は光ファイバケーブル断線時には早急に断線部の融着による繋ぎ直し、あるいは光ファイバケーブルの引き直しによる復旧を行う方針としている。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違              (女川実績の反映)</p>





赤字：設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【省令要求(省令15条3)】</b></p> <p>公称感知温度範囲の下限値から上限値に達するまでその温度が2℃/min以下の一定の割合で直線的に上昇する水平気流を加えたとき、そのときの気流の温度に対応した火災情報信号を発信するものでなければならない。</p> <p>・公称感知温度範囲：</p> <p>    上限：60℃～165℃</p> <p>    下限：10℃～(上限値-10)℃</p> <p><b>【試験方法】</b></p> <p>試験ファイバーを恒温槽(10℃)に入れ、恒温槽を10℃から2℃/minの一定の上昇率で80℃まで上昇させ、その温度変化を確認する。光ファイバーケーブルでの測定温度が、基準温度と比較して±2℃以内にて追隨していることを確認する。</p> <p><b>【試験結果】</b></p> <p>すべての試験で、基準温度との温度差が±2℃以内であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">光ファイバー長2kmでの試験結果</p> 			<p><b>【大飯】</b></p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-4 添付資料3 重大事故等対処施設における火災感知器の配置を明示した図面）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉 重大事故等対処施設における火災感知器の 配置を明示した図面</p> <div style="border: 2px solid red; width: 200px; height: 400px; margin: 0 auto;"></div>	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 重大事故等対処施設における火災感知器の 配置を明示した図面</p> <div style="border: 2px solid red; width: 200px; height: 500px; margin: 0 auto;"></div> <p style="margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</li> </ul> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設備名称の相違</li> </ul> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設計の相違 プラント配置設計の相違による感知器配置の相違</li> </ul>